

令和6年度
ウェルビーイング県民意識調査
結果報告書

令和6年12月

富山県

< 目 次 >

I. 調査概要.....	1
II. 回答者の属性	4
III. 調査結果.....	14
1. 生活での実感について	15
問 6. 普段のあなた自身の実感について.....	15
問 7. 家族との関係について	137
問 8. 友人との関係について	148
問 9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について.....	153
問 10. お住まいの場所の近所や町内について	162
問 11. 富山県での暮らしに対するあなたの実感について	171
問 12. あなたの生活全体に対する実感について.....	188
問 13. 最も理想的な生活に対する評価	194
2. その他の事項について	228
問 14. 自身の状況や意識、考えについて.....	228
問 15. 家族や親しい友人等への推薦度	300
IV. 調査票（設問部分）	339

■調査報告書の見方

- (1) 結果は百分比で表示し、百分比は少数点第2位を四捨五入している。
したがって、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 図表・数表中の「N」は、回答者数を示しており、百分比の基数である。
- (3) 本文中において、各選択肢を加算して割合（百分率）を表している場合、集計数を基に改めて計算を行っていることから、小数点以下第2位を四捨五入している図表や個々の選択肢の割合の合計とは必ずしも一致しない。
- (4) 本文中の選択肢表記、図表等は、見やすさに配慮するために、語句を簡略化している場合がある。
- (5) クロス分析において回答者数が30以下の場合、サンプル数が少ないため分析には使用せず参考値としている。
- (6) 同居構成「孫のみ」は、回答数が「0」であったためクロスグラフに表記していない。

I . 調查概要

I. 調査概要

1. 調査の目的

県民のウェルビーイング実感に関する意識調査を実施し、ウェルビーイングに関する現状を把握するとともに、調査結果を今後の県施策に活用するもの。

2. 調査項目

(1) 生活での実感について

- ・ 普段の回答者自身の実感について
- ・ 家族との関係について
- ・ 友人との関係について
- ・ 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について
- ・ 住まいの場所の近所や町内について
- ・ 富山県での暮らしに対する実感について
- ・ 回答者自身の生活全体に対する実感について
- ・ 最も理想的な生活について

(2) その他の事項

- ・ 健康、余暇活動等について
- ・ 食について
- ・ 地域とのつながり、交流について
- ・ 地域や住まいの安全・安心について
- ・ 仕事について
- ・ 家族や親しい友人等への推奨度

3. 調査の方法

- (1) 調査地域 富山県全域
- (2) 調査対象 満 15 歳以上の男女
- (3) 標 本 数 5,500 人
- (4) 抽出方法 以下に示す各年齢層別の標本数を、県内 15 市町村の人口に応じて比例配分し、各市町村から無作為に抽出
(各年齢層別の標本数)
15～19 歳：850、20～29 歳：1,100、30～39 歳：900、40～49 歳：800、
50～59 歳：700、60～69 歳：550、70 歳以上：600 (計：5,500)
- (5) 抽出台帳 住民基本台帳
- (6) 調査方法 郵送法（回収は、郵便返送及び WEB での回答を併用）

4. 調査時期

令和6年7月上旬～7月26日

5. 有効回答数

2,723件（有効回答率49.5%）

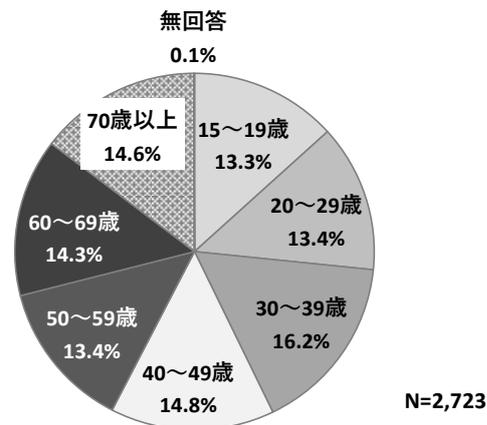
Ⅱ. 回答者の属性

Ⅱ. 回答者の属性

問1. あなたの年齢（満年齢）をお答えください。（※記入日現在）

「30～39歳」が16.2%と最も高く、次いで「40～49歳」（14.8%）、「70歳以上」（14.6%）となっている。

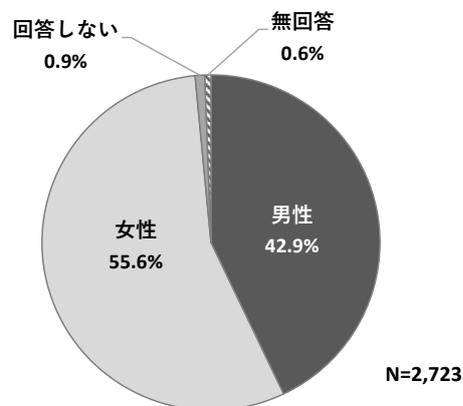
図表1 年齢



問2. あなたの性別をお答えください（※記入は任意です）。

「男性」が42.9%、「女性」が55.6%となっている。

図表2 性別



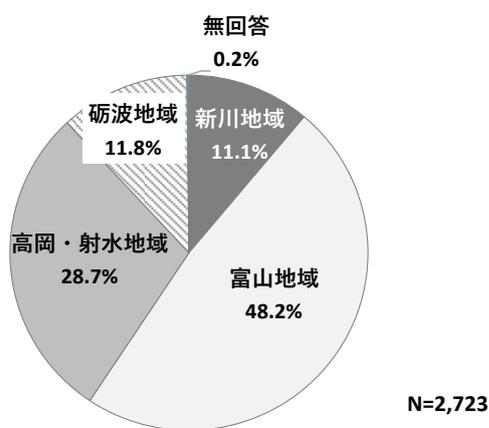
問3. お住まい等について

(1) 現在お住まいの市町村は、どちらですか。

「新川地域」が11.1%、「富山地域」が48.2%、「高岡・射水地域」が28.7%、「砺波地域」が11.8%となっている。「富山地域」と「高岡・射水地域」を合わせて76.9%を占めている。

内訳を見ると、「富山市」が40.4%と最も高く、次いで「高岡市」が15.9%、「射水市」が9.5%となり、上位3市で65.8%となっている。

図表 3-1-1 居住地



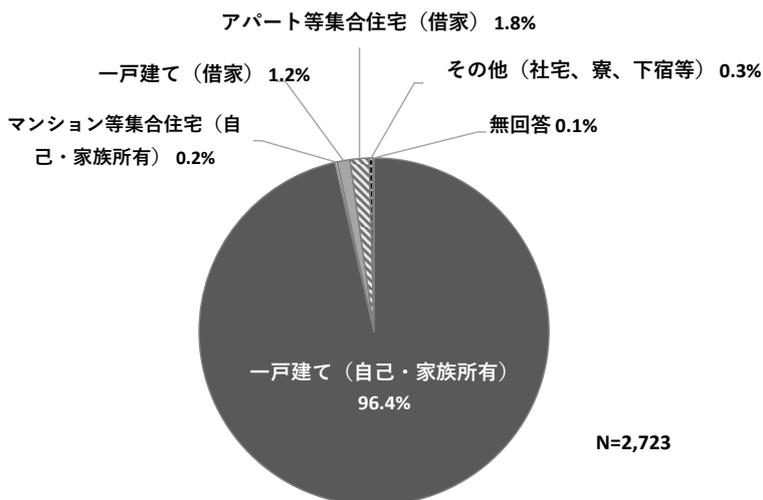
図表 3-1-2 居住地内訳

地域	市町村	人	%
新川地域	魚津市	96	3.5
	黒部市	111	4.1
	入善町	64	2.4
	朝日町	32	1.2
富山地域	富山市	1,099	40.4
	滑川市	86	3.2
	舟橋村	7	0.3
	上市町	49	1.8
	立山町	72	2.6
高岡・射水地域	高岡市	434	15.9
	氷見市	88	3.2
	射水市	260	9.5
砺波地域	砺波市	129	4.7
	小矢部市	63	2.3
	南砺市	128	4.7
	無回答	5	0.2
	全体	2,723	100.0

(2) 現在の住居の状況は、次のどれにあたりますか。

「一戸建て（自己・家族所有）」が 96.4%と最も高く、次いで「アパート等集合住宅（借家）」が 1.8%、「一戸建て（借家）」が 1.2%となっている。

図表 3-2 現在の住居の状況

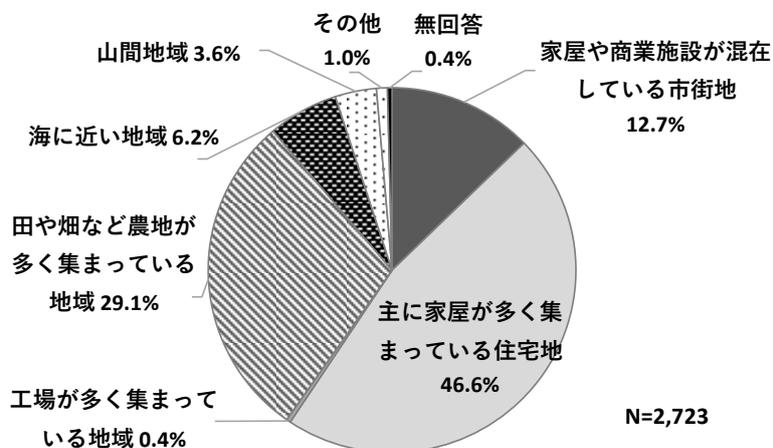


(3) 現在お住まいの地域の環境は、次のどれにあたりますか。

(ご自身の判断で、最もあてはまると思うものを1つ選択してください。)

「主に家屋が多く集まっている住宅地」が 46.6%と最も高く、次いで「田や畑など農地が多く集まっている地域」が 29.1%、「家屋や商業施設が混在している市街地」が 12.7%となっている。

図表 3-3 現在の居住地域の環境

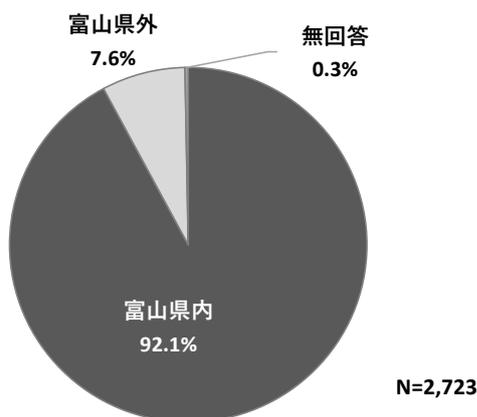


(4) あなたの出身地をお答えください。

※この設問では、出身地は「生まれてから18歳までの間で、最も長く暮らした地域」を目安としますが、ご自身の判断で構いません。あてはまると思うものをお選びください。

「富山県内」が92.1%、「富山県外」が7.6%となっている。

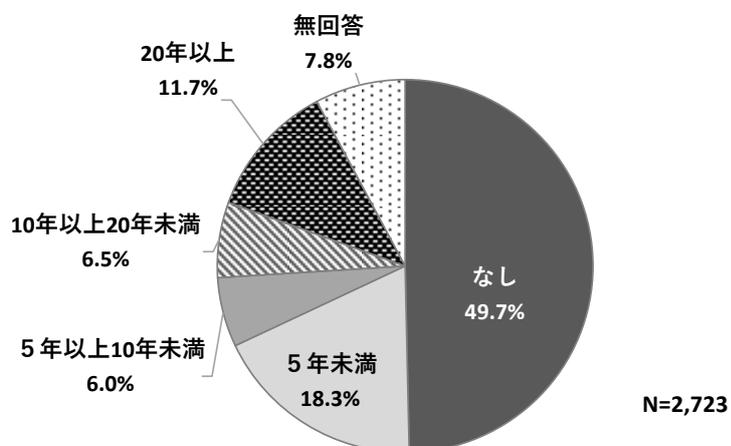
図表 3-4 出身地



(5) 富山県外でのあなたの居住年数（通算）について、1つ選んでください。

富山県外での居住年数は、「なし」が49.7%と最も高く、次いで「5年未満」が18.3%、「20年以上」が11.7%となっている。

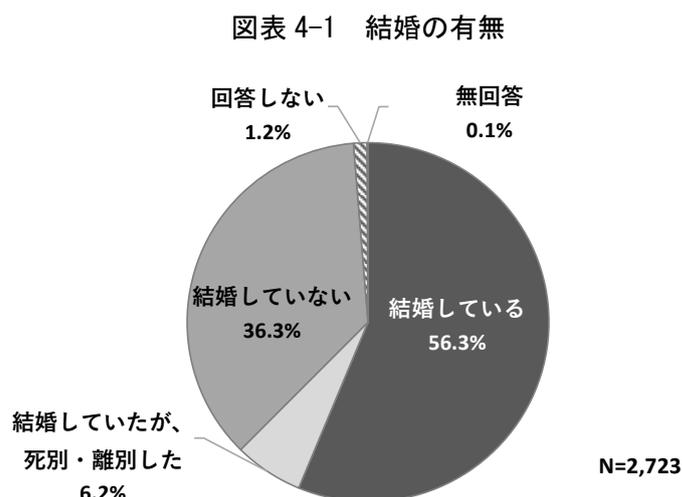
図表 3-5 富山県外での居住年数



問4. ご家族等について

(1) あなたは、現在結婚していらっしゃいますか。(※事実婚を含みます。)

「結婚している」が56.3%、「結婚していたが、死別・離別した」が6.2%、「結婚していない」が36.3%となっている。



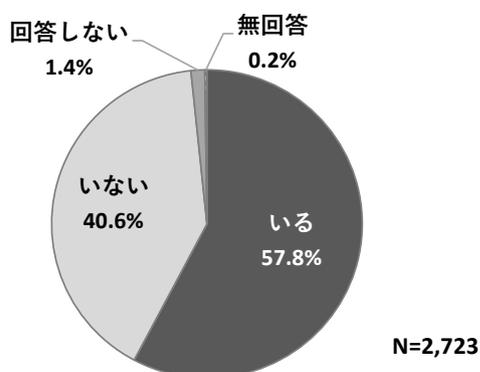
(2) あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。

(※成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。)

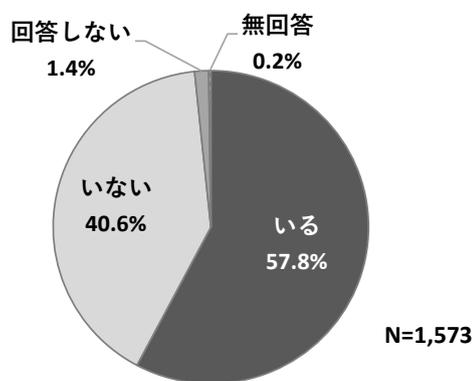
「いる」が57.8%、「いない」が40.6%となっている。

また、「いる」と回答した人の子どもの人数は、「1人」が21.3%、「2人」が55.4%、「3人」が20.3%、「4人以上」が2.7%となっている。

図表 4-2-1 子どもの有無



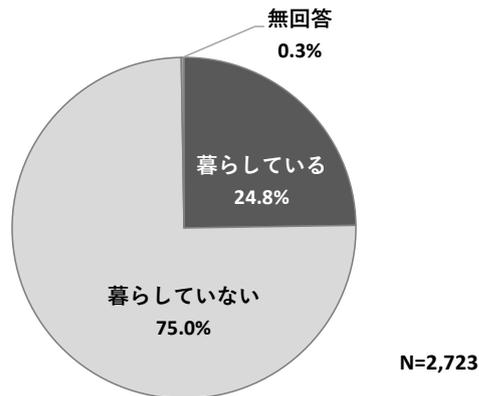
図表 4-2-2 子どもの人数



(3) あなたは、ペットと一緒に暮らしていますか。

「暮らしている」が24.8%、「暮らしていない」が75.0%となっている。

図表 4-3 ペットの有無



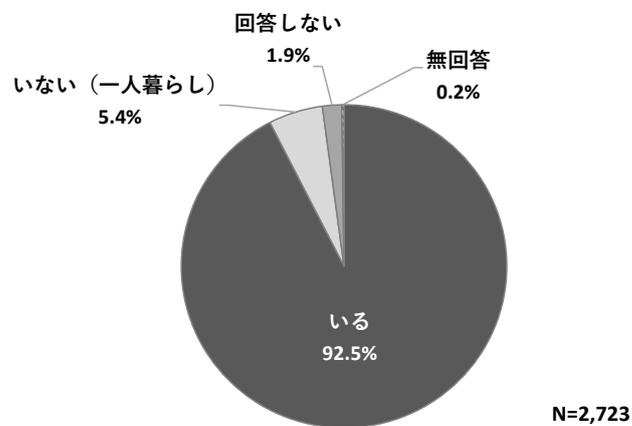
(4) あなたには、同居されている方はいますか。

また、「いる」場合は、同居されている方の構成もお答えください。

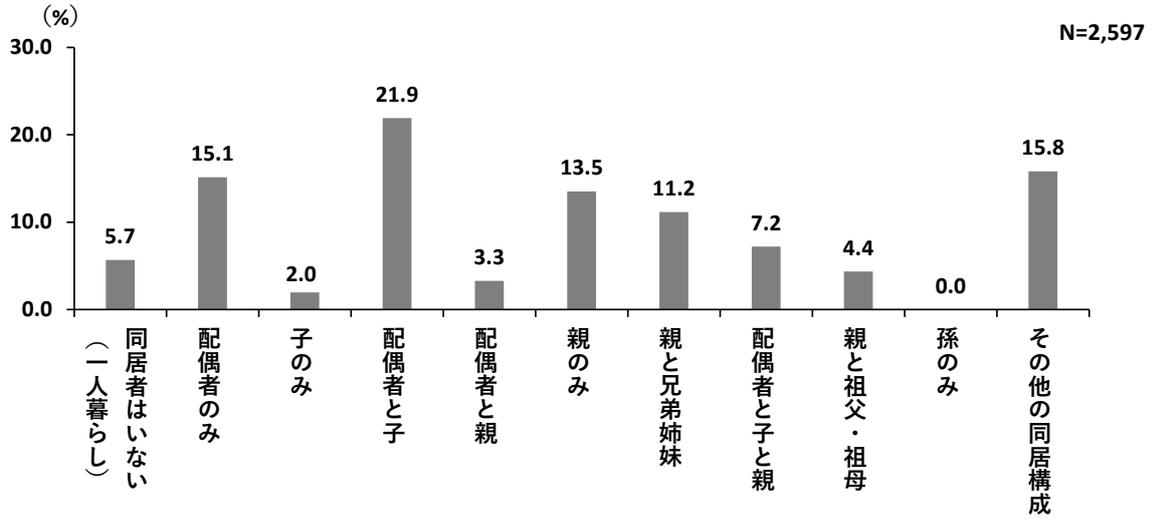
「いる」が92.5%、「いない（一人暮らし）」が5.4%となっている。

「配偶者と子」が21.9%と最も高く、次いで「その他の同居構成」が15.8%、「配偶者のみ」が15.1%、「親のみ」が13.5%となっている。

図表 4-4-1 同居の有無



図表 4-4-2 同居の家族構成



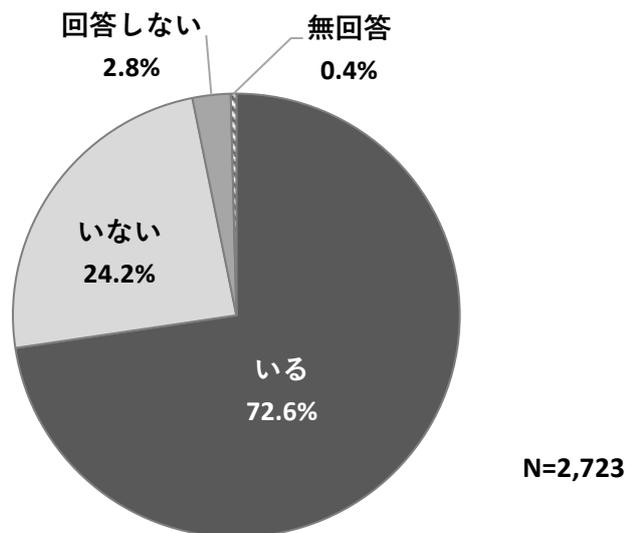
(5) あなたが普段行き来する、別居の親族(※)はいますか。

次の中からあてはまるものを1つお答えください。

※ 祖父母(配偶者の祖父母含む)、父母(配偶者の父母含む)、兄弟姉妹、子、孫など

「いる」が72.6%、「いない」が24.2%となっている。

図表 4-5 別居親族の有無

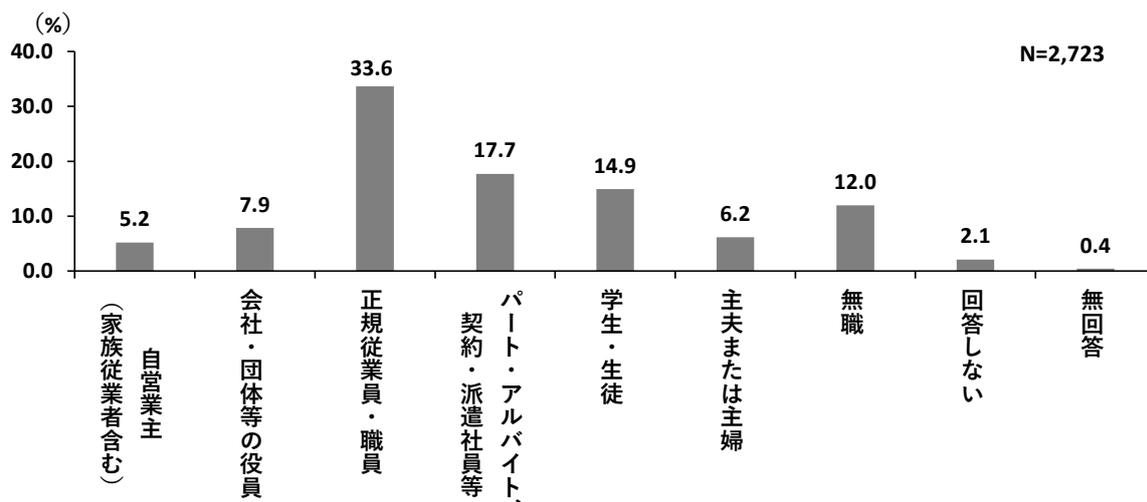


問5. ご職業・年収等について

(1) あなたの主なご職業等について、次の中から1つ選んでください。

「正規従業員・職員」が33.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」が17.7%、「学生・生徒」が14.9%、「無職」が12.0%となっている。

図表 5-1 職業

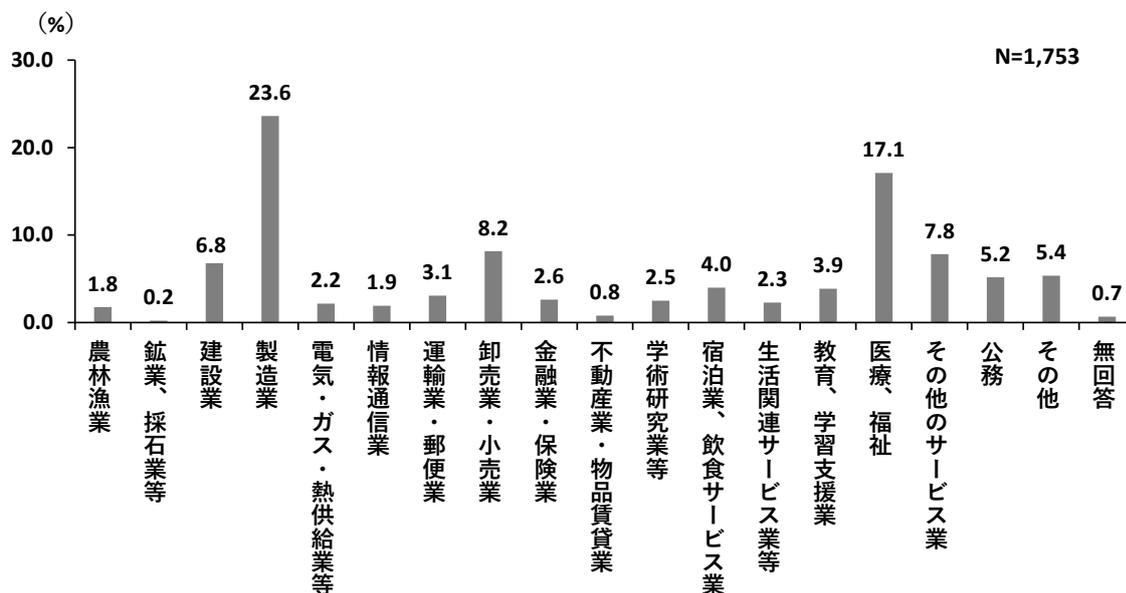


(2) (1) で1～4に○をつけられた方のみお答えください。

該当する職業分野について、あてはまる番号を1つ選んでください。

「製造業」が23.6%と最も高く、次いで「医療、福祉」が17.1%、「卸売業・小売業」が8.2%となっている。

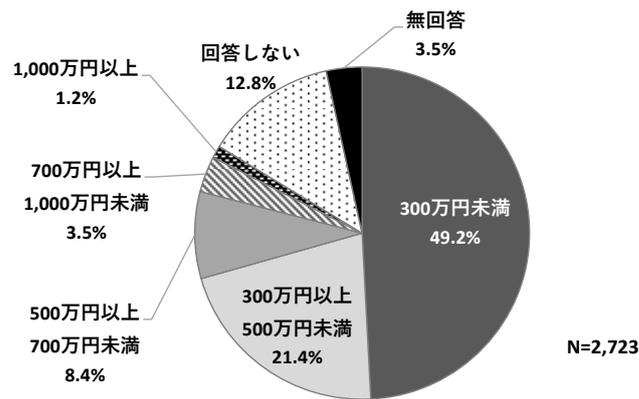
図表 5-2 職業分野



(3) あなた自身のおおよその年収（税・社会保険料込み）について、次の中から1つ選んでください。

「300万円未満」が49.2%と最も高く、次いで「300万円以上500万円未満」が21.4%、「500万円以上700万円未満」が8.4%となっている。

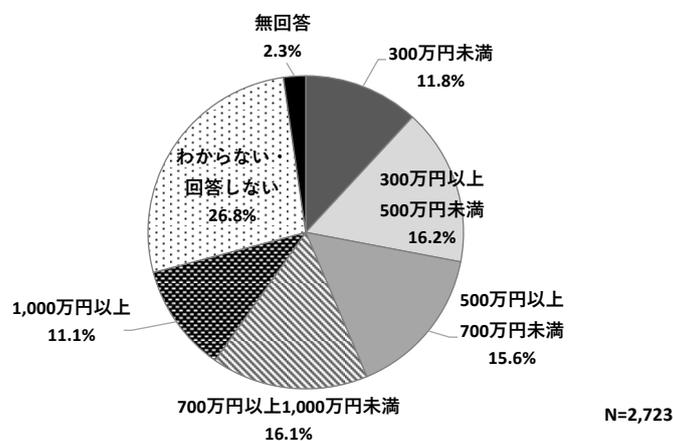
図表 5-3 年収



(4) あなたの世帯全体のおおよその年収（税・社会保険料込み）の合計額について、次の中から1つ選んでください。

「300万円以上500万円未満」が16.2%と最も高く、次いで「700万円以上1,000万円未満」が16.1%、「500万円以上700万円未満」が15.6%となっている。なお、「わからない・回答しない」は26.8%を占めている。

図表 5-4 世帯年収



Ⅲ. 調查結果

Ⅲ. 調査結果

1. 生活での実感について

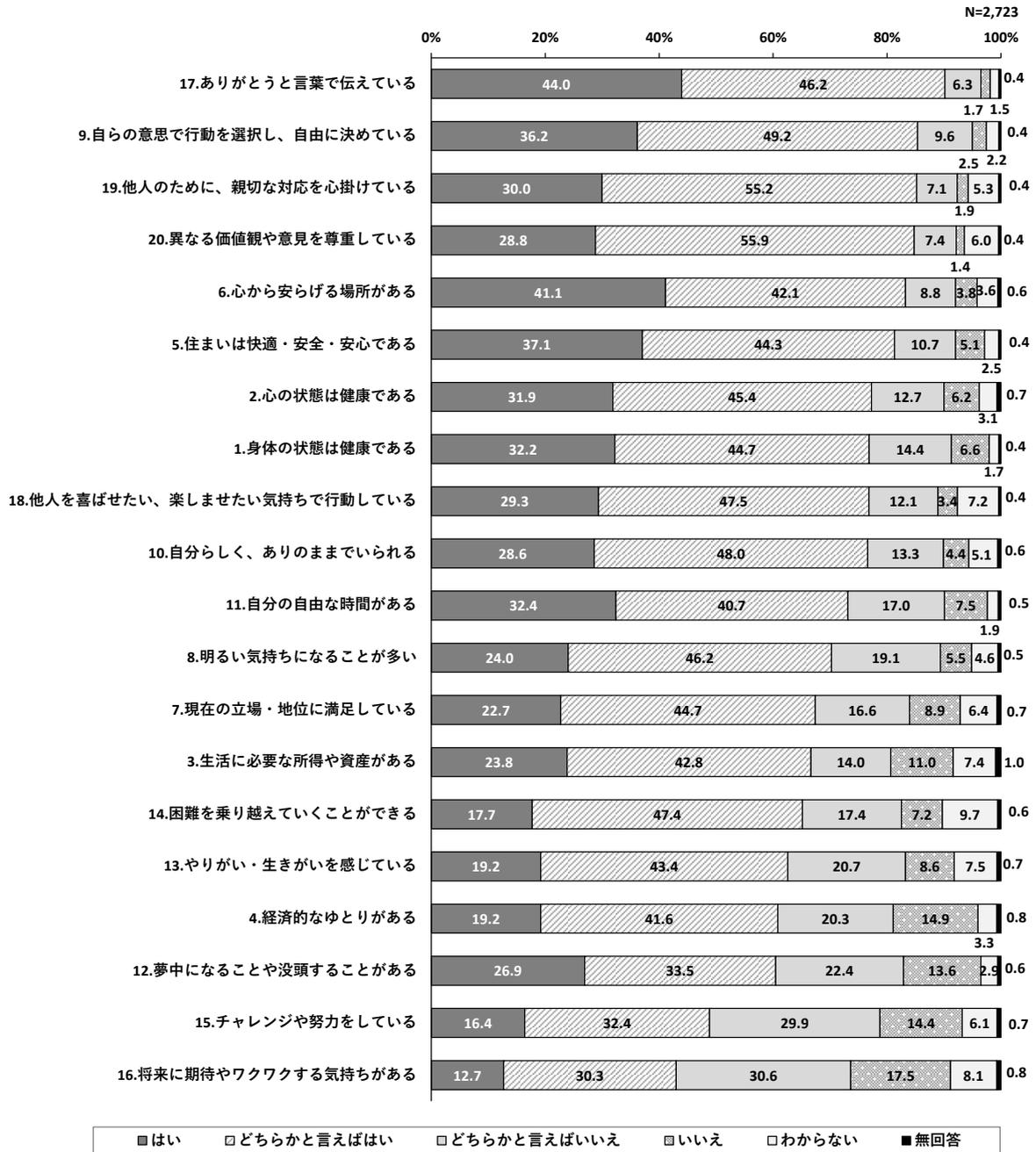
問6. 普段のあなた自身の実感について、お気持ちをお聞きます。
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

普段の回答者自身の実感として、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「17.ありがとうと言葉で伝えている」が90.2%と最も高く、次いで「9.自らの意思で行動を選択し、自由に決めている」が85.4%、「19. 他人のために、親切な対応を心がけている」が85.2%、「20.異なる価値観や意見を尊重している」が84.7%、「6. 心から安らげる場所がある」が83.2%であった。「17.ありがとうと言葉で伝えている」では、「はい」と回答した人も44.0%と高い割合を占めている。

一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「16.将来に期待やワクワクする気持ちがある」が48.1%と最も高く、次いで「15.チャレンジや努力をしている」が44.3%、「12. 夢中になることや没頭することがある」が36.0%、「4.経済的なゆとりがある」が35.2%であった。なかでも、「16.将来に期待やワクワクする気持ちがある」では、「いいえ」が17.5%と比較的高い割合を占めている。

全体的に見て、多くの設問で『はい』が6割以上を占めているが、地域や社会に関することや、将来的なこと、チャレンジすることといった社会とのつながりや未来に対する夢・希望に関する設問では比較的割合が低い。

図表6 普段のあなた自身の実感について



問6-1 身体の状態は健康だと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が76.9%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は21.0%であった。

(2) 年齢別

69歳以下で『はい』が7割を超えている。「15～19歳」では「はい」が61.5%を占めている。また、「70歳以上」でも68.0%が『はい』であった。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が「男性」よりも1.6ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えており、「富山地域」では78.1%と、他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が76.8%となっており、「アパート等集合住宅（借家）」では73.0%であった。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では「はい」が37.4%と、他の居住地環境と比較して若干高い。

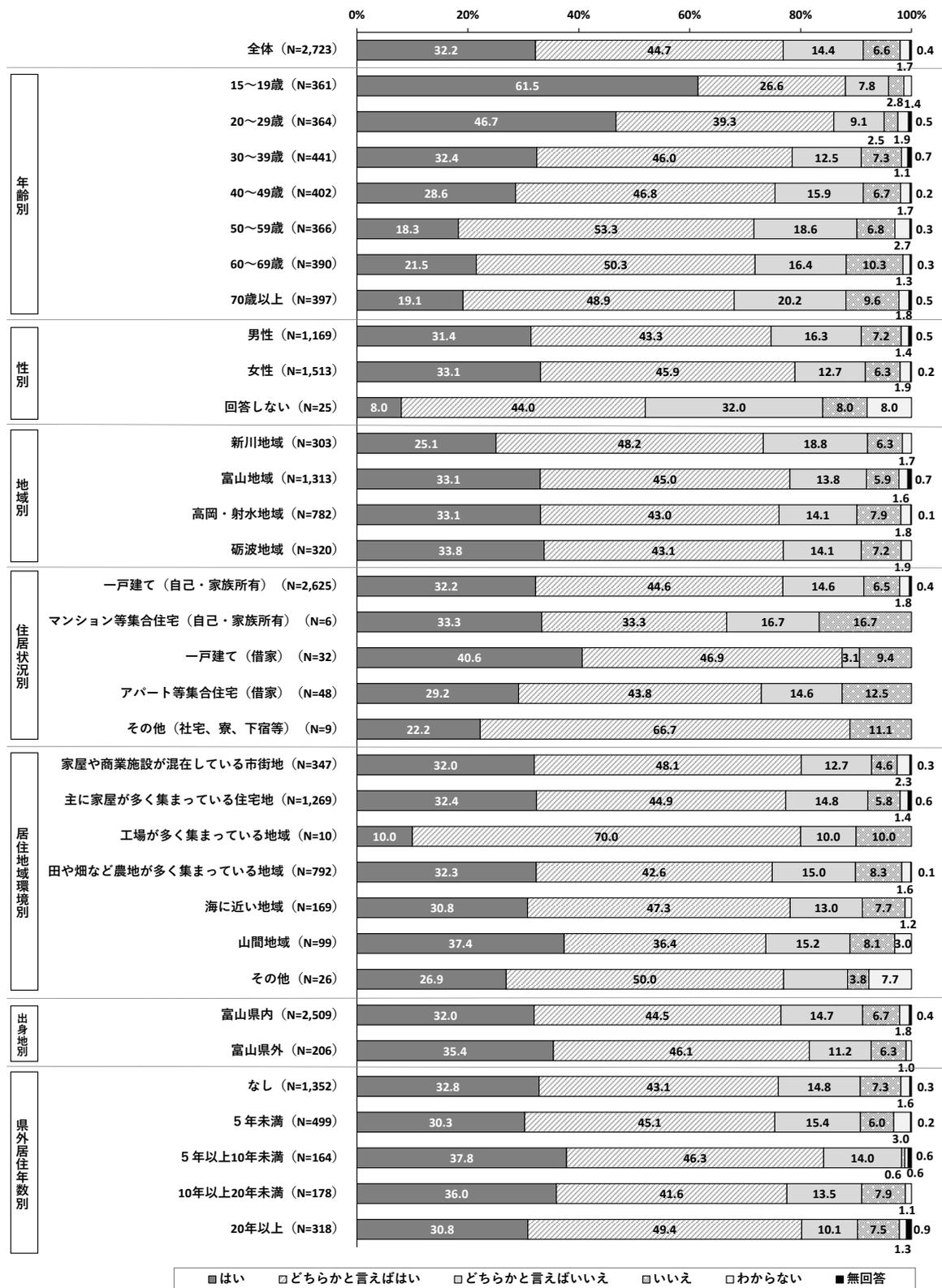
(4) - 4 出身地別

『はい』は、「富山県内」よりも「富山県外」の方が3.4ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が7割を超えており、「5年以上10年未満」では84.1%を占めている。

図表 6-1-1 身体の状態は健康だと感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が80.0%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が79.9%と「いる」よりも4.8ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

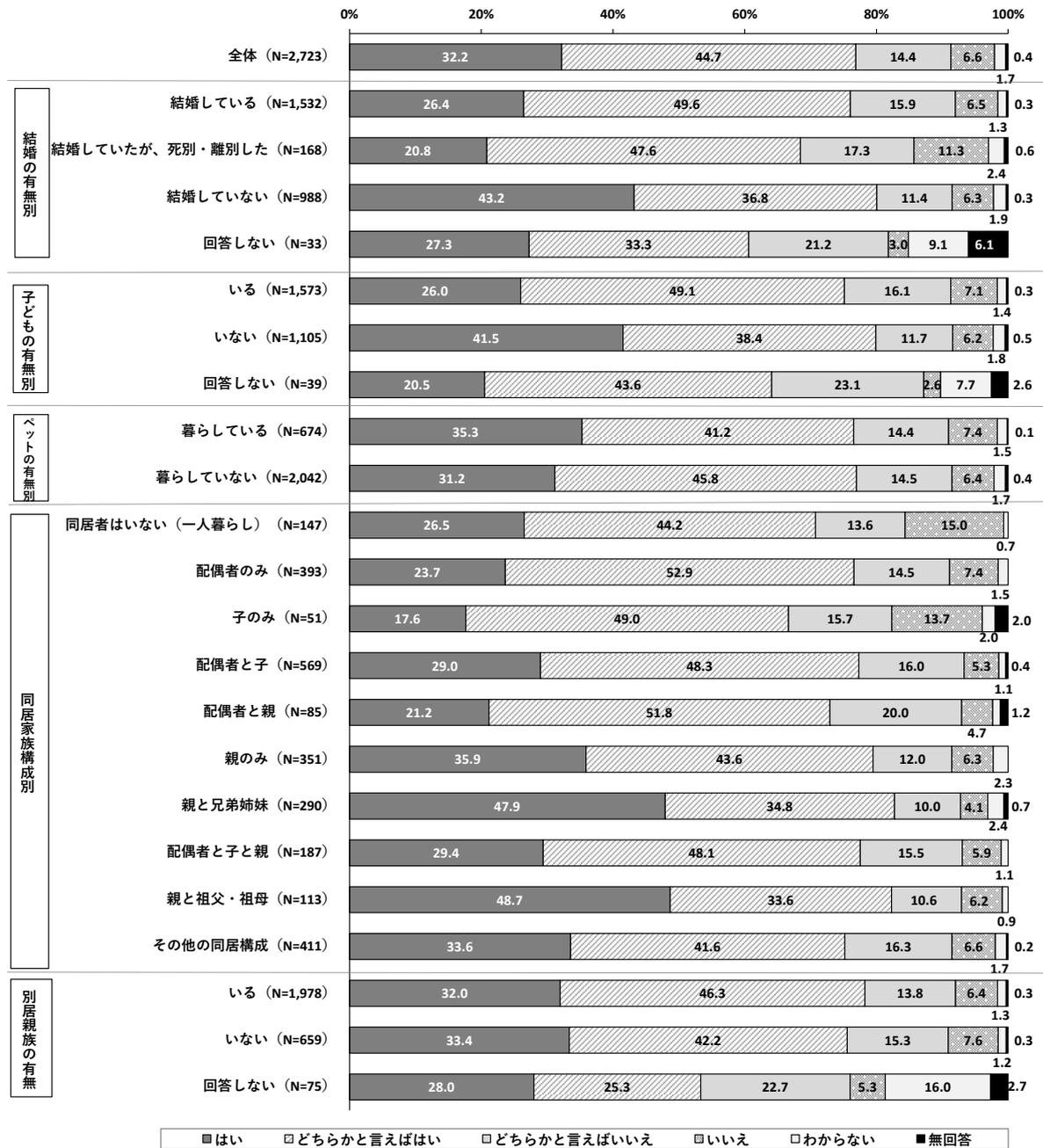
(5) - 4 同居家族の構成別

すべてで『はい』が6割を超えており、特に、「親と兄弟姉妹」では82.7%と高い割合を占めている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の「いる」「いない」ともに『はい』が7割を超えており、「いない」の方が2.7ポイント高い。

図表 6-1-2 身体の状態は健康だと感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が89.0%（うち「はい」が62.7%）と他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が59.2%、『いいえ』が38.4%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が67.6%と、他の職業分野と比較して若干低くなっている。その他の職業分野で『はい』が7割を超え、「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「運輸業・郵便業」「金融業・保険業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「公務」では8割台となっている。

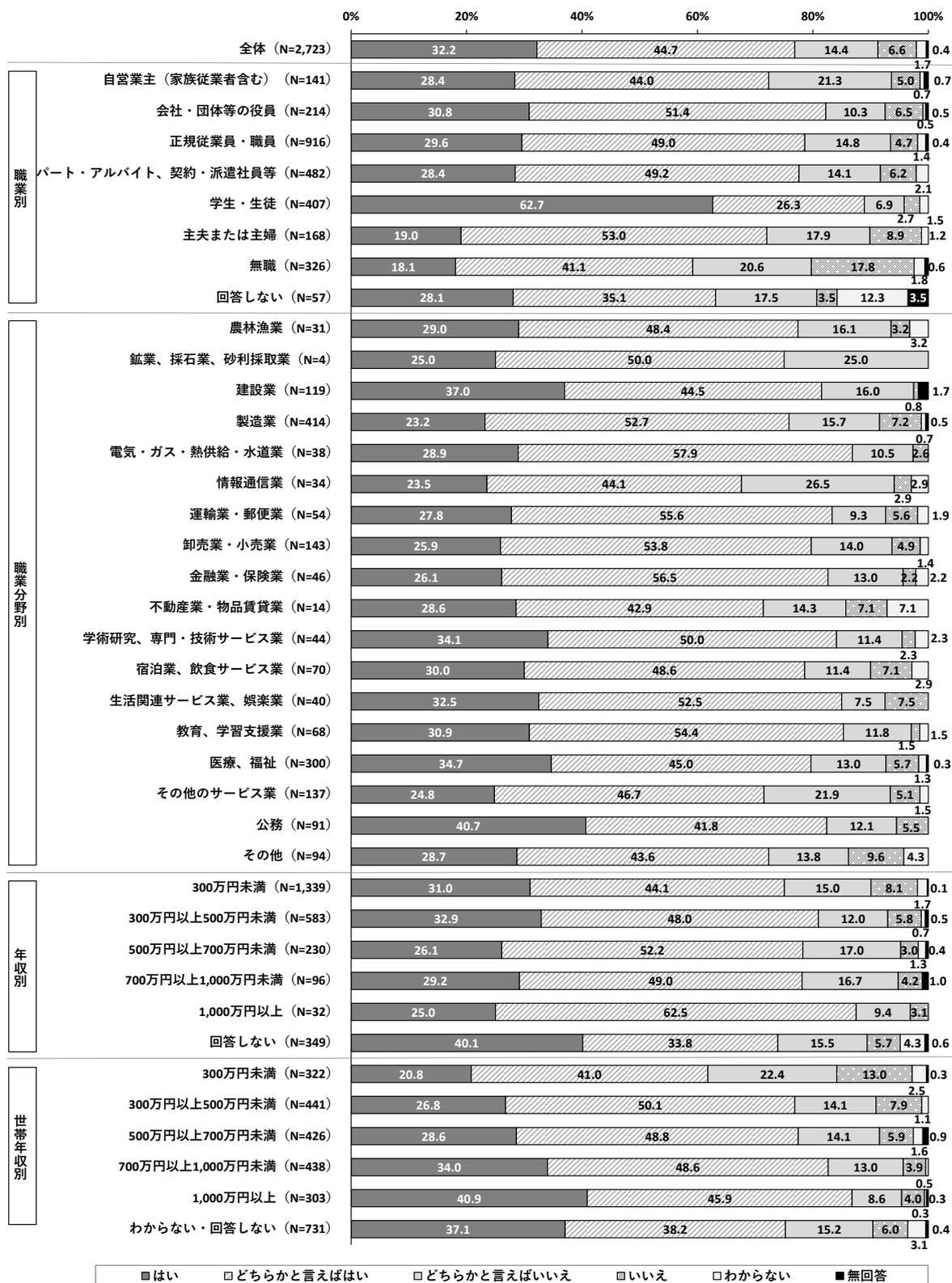
(6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が7割を超えている。「300万円以上500万円未満」と「1,000万円以上」では『はい』が8割台となっている。

(6) - 4 世帯年収別

「300万円未満」では『はい』が61.8%と、他と比較して低い。

図表 6-1-3 身体の状態は健康だと感じている。(職業・年収別)



問6-2 心の状態は健康だと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が77.3%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は18.9%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超えている。「15～19歳」では「はい」が54.0%を占めている。また、「70歳以上」でも80.1%が『はい』であった。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」よりも「男性」の方が0.9ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えており、「富山地域」では「はい」が33.7%と他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が77.5%となっており、「アパート等集合住宅（借家）」では75.0%であった。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が8割を超えている。

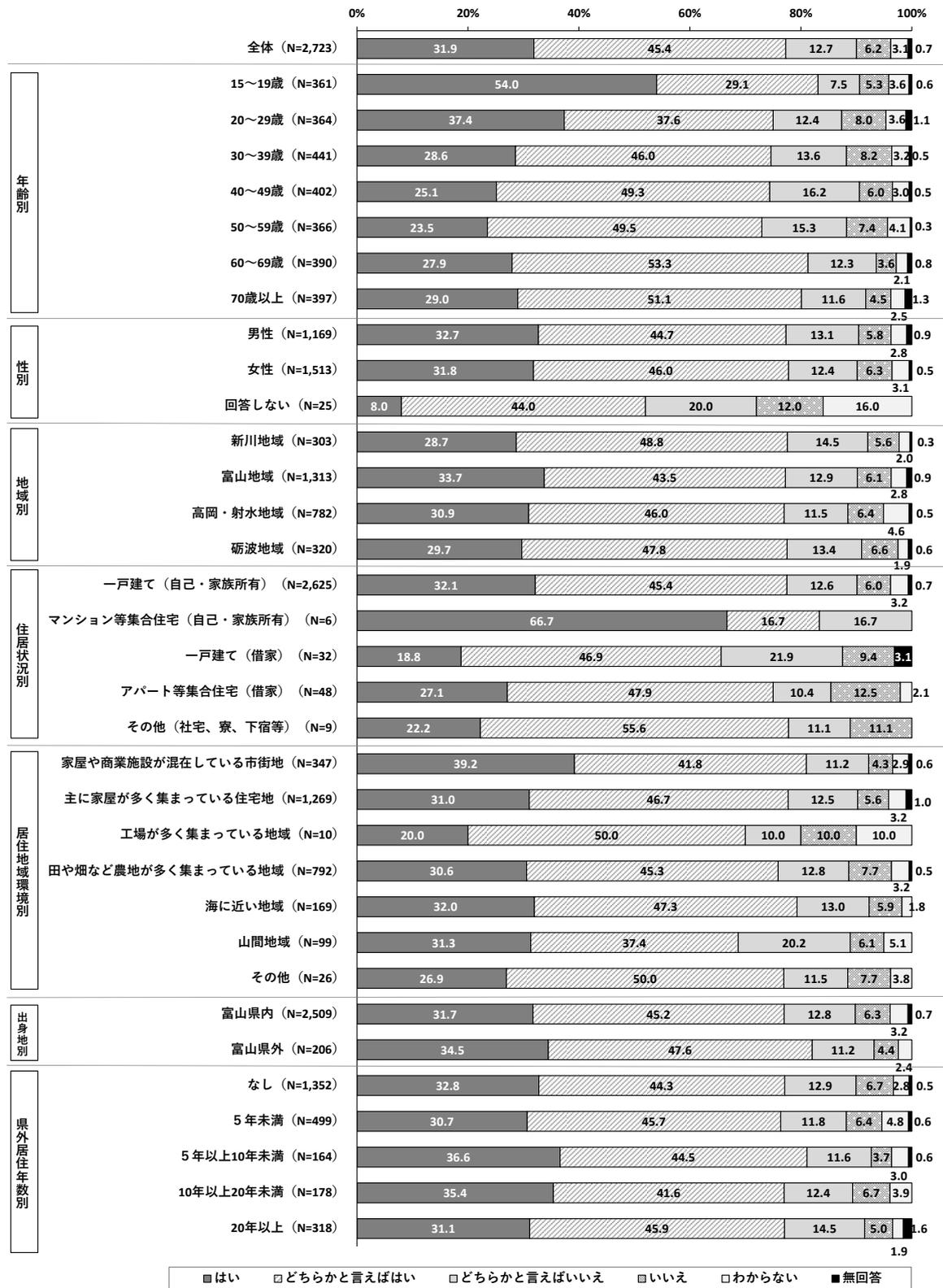
(4) - 4 出身地別

『はい』は、「富山県外」よりも「富山県内」の方が5.2ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が7割を超えており、「5年以上10年未満」では81.1%を占めている。

図表 6-2-1 心の状態は健康だと感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が81.0%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られないが、『はい』は子どもが「いる」の方が7.1ポイント高い。一方、「はい」では、子どもが「いない」では36.3%と、子どもが「いる」よりも7.4ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無では大きな差は見られない。

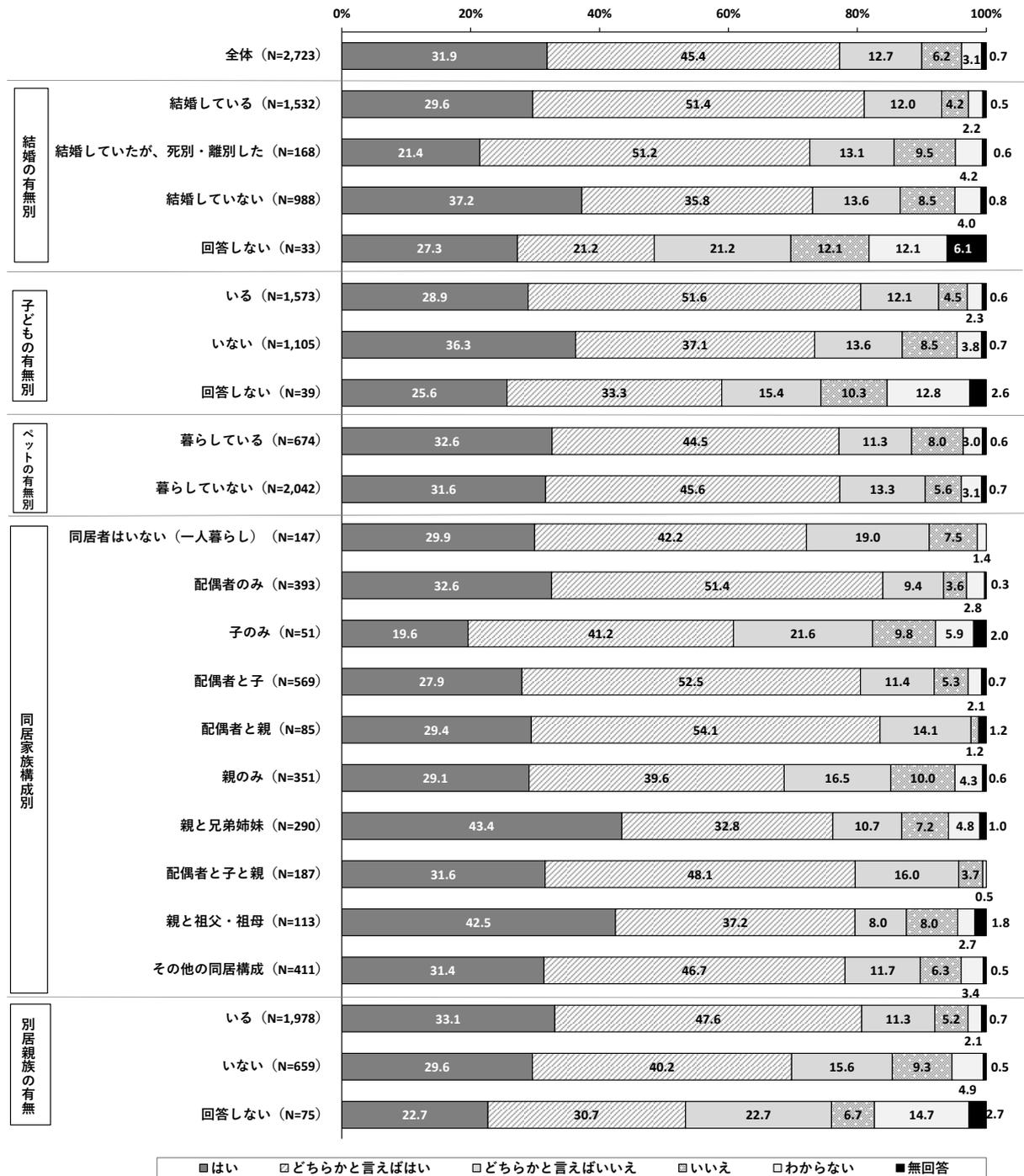
(5) - 4 同居家族の構成別

すべてで『はい』が6割を超えている。「子のみ」では『はい』が60.8%と、他よりも低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が80.7%と、「いない」よりも10.9ポイント高い。

図表 6-2-2 心の状態は健康だと感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が83.8%（うち「はい」が55.3%）と他の職業と比べて若干高い。一方、「無職」では『はい』が69.6%と、他よりも若干低い。

(6) - 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が58.9%と、他の職業分野と比較して低くなっている。一方、「農林漁業」「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「運輸業・郵便業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「医療、福祉」「公務」では8割以上となっている。

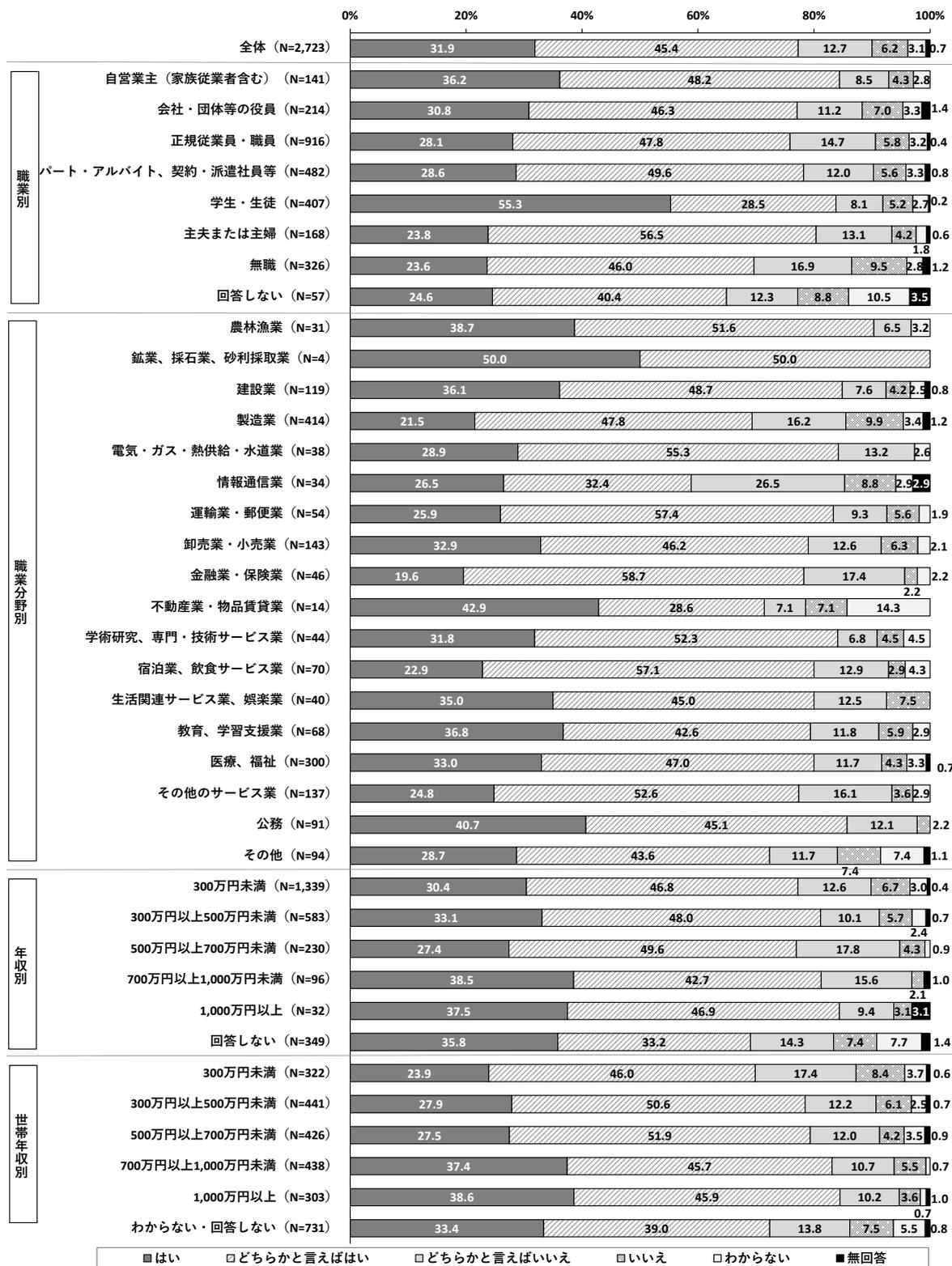
(6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が7割を超えており、「300万円以上500万円未満」「700万円以上1,000万円未満」「1,000万円以上」では『はい』が8割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

700万円以上では『はい』が8割台と、他と比較して若干高い。

図表 6-2-3 心の状態は健康だと感じている。(職業・年収別)



問6-3 生活に必要な所得や資産がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が66.6%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は25.0%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が5割以上であった。「15～19歳」では「はい」が37.4%を占めている。一方、「70歳以上」では『いいえ』が30.7%と、他の年代よりも若干高い割合を占めている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が2.2ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超え、「富山地域」では『はい』が68.7%と他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が66.7%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が76.4%と、他の地域環境よりも若干高い。

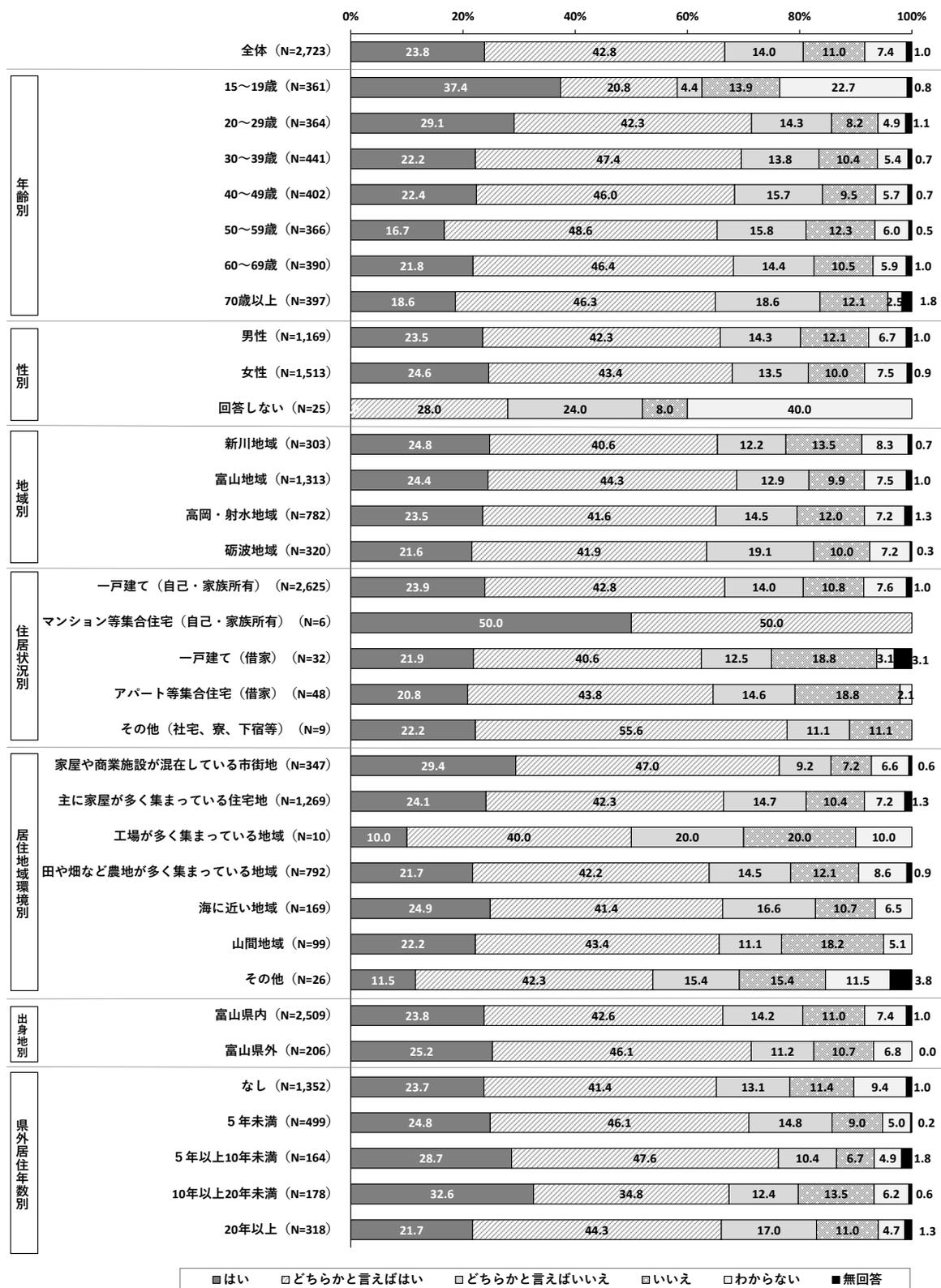
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県外」の方が1.4ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「5年以上10年未満」では『はい』が76.3%と、他の居住年数よりも高い。

図表 6-3-1 生活に必要な所得や資産がある。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が51.2%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では、「いない」よりも『はい』が4.9ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットと「暮らしていない」では「暮らしている」よりも『はい』が4.9ポイント高い。

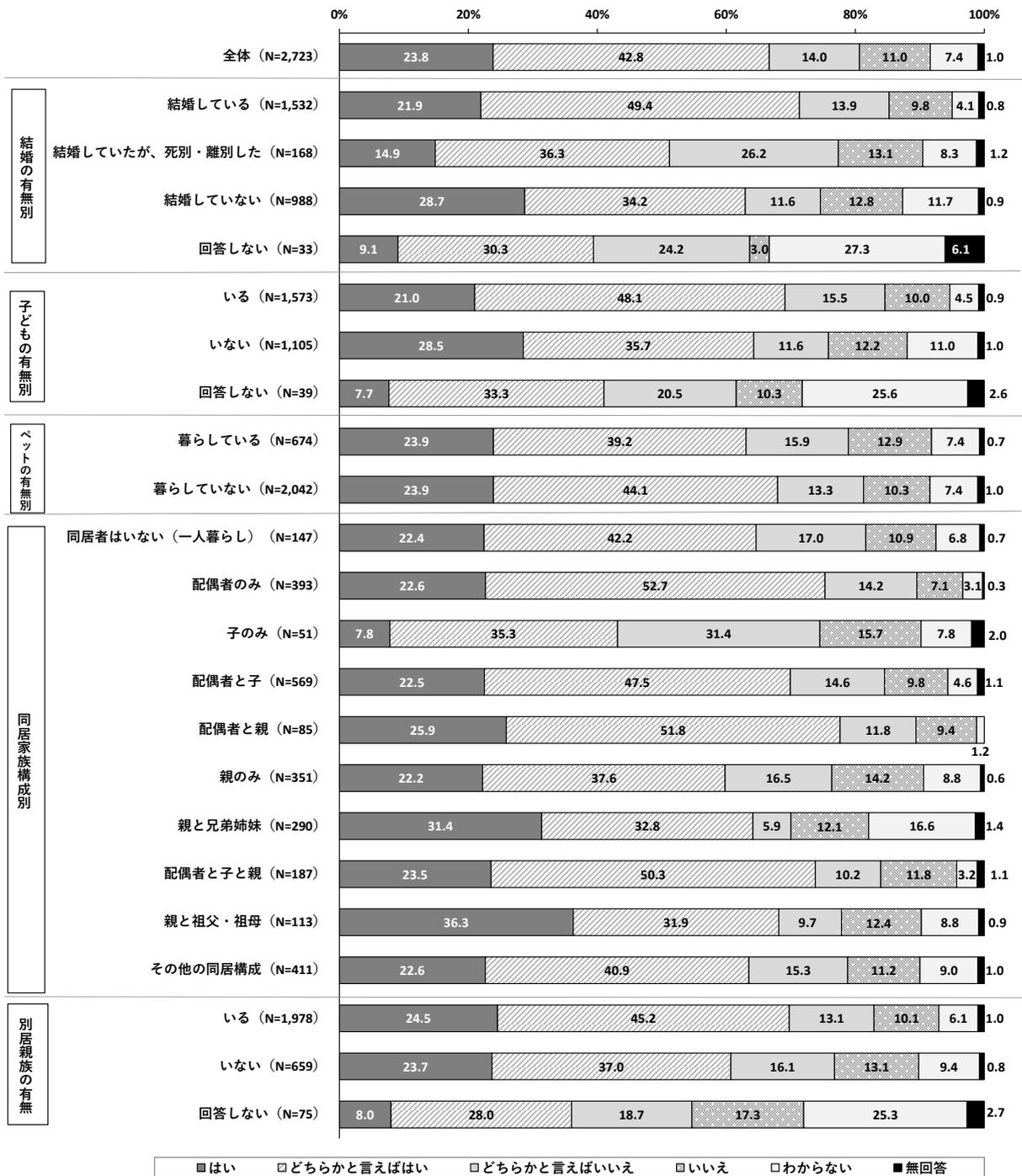
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「配偶者と親」「配偶者と子と親」では『はい』が7割台となっている。一方、「子のみ」では『はい』が4割台と、他よりも若干低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が69.7%と、「いない」よりも9.0ポイント高い。

図表 6-3-2 生活に必要な所得や資産がある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」では『はい』が7割台となっている。一方、「無職」では『はい』が56.4%、『いいえ』が35.6%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が8割台となっている。一方、「その他サービス業」では『はい』が6割台と、他の職業分野よりも低い。

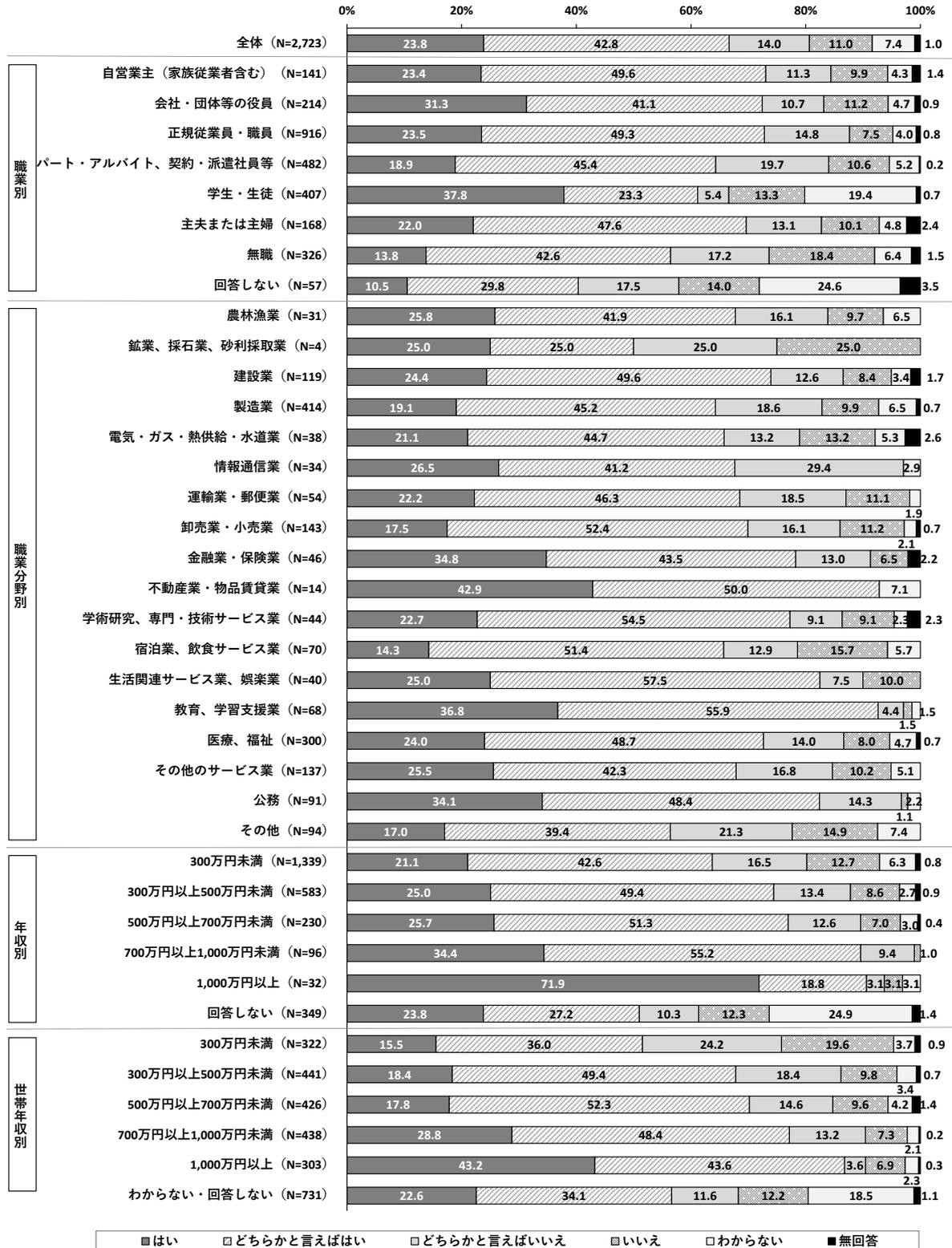
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「700万円以上1,000万円未満」「1,000万円以上」では8割以上を占めている。一方、「300万円未満」では『はい』が63.7%と、他と比較して低い。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では86.8%を占めている。一方、「300万円未満」では『いいえ』が43.8%を占めている。

図表 6-3-3 生活に必要な所得や資産がある。(職業・年収別)



問6-4 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が60.8%、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が35.2%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」「20～29歳」「60～69歳」では『はい』が6割を超えており、「15～19歳」では72.0%を占めている。一方、「50～59歳」では、『いいえ』が4割を超えている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が5.8ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「新川地域」を除くすべての地域で『はい』が6割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が61.0%となっている。一方、「アパート等集合住宅（借家）」では『いいえ』が41.7%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が、他の居住地環境よりも若干高い。

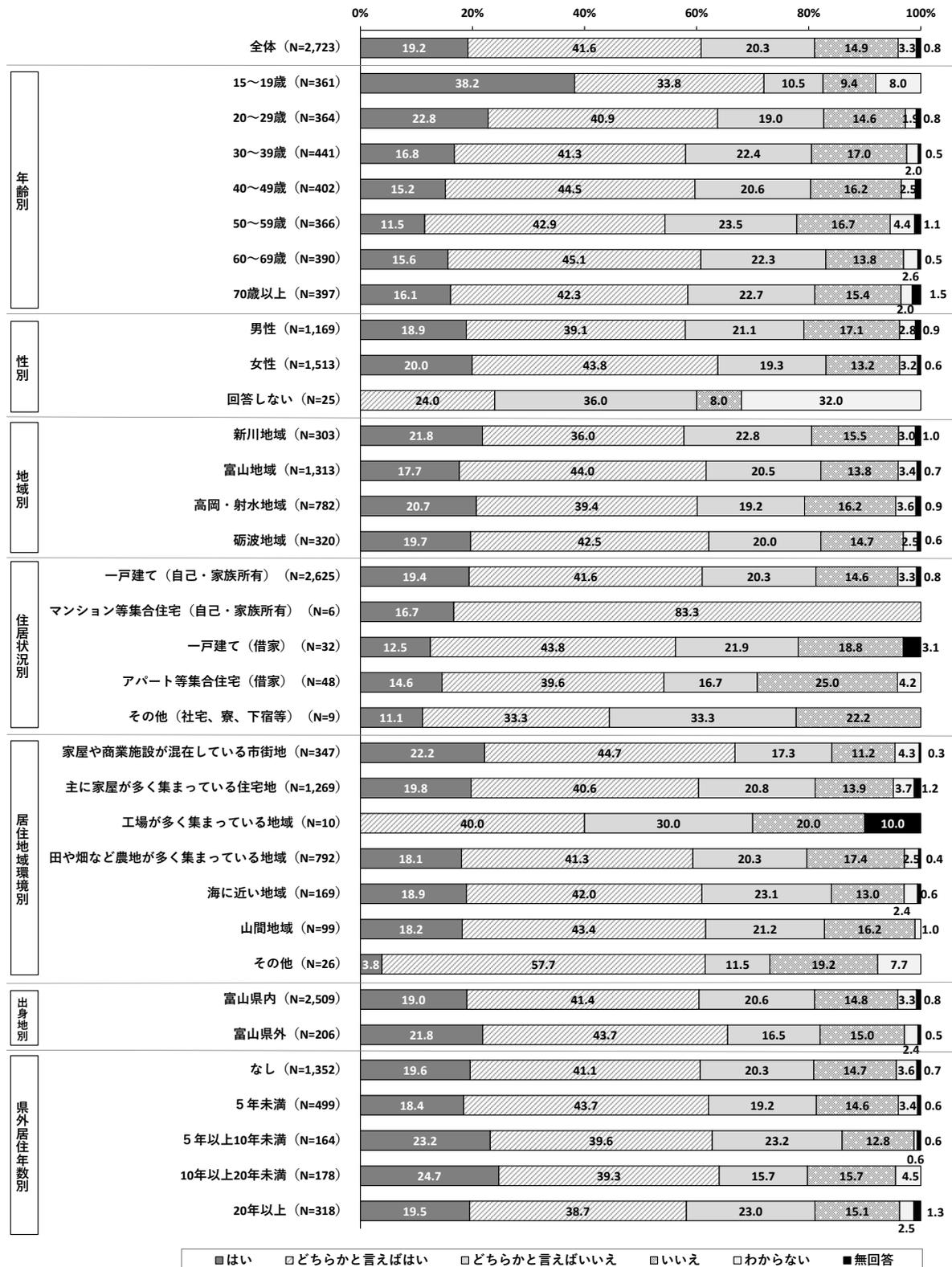
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県外」の方が5.1ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「10年以上20年未満」では『はい』が64.0%と、他と比較して若干高い。

図表 6-4-1 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が50.0%と他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が66.1%と、「いる」よりも8.0ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットと「暮らしていない」では『はい』が61.7%と、「暮らしている」よりも3.1ポイント高い。

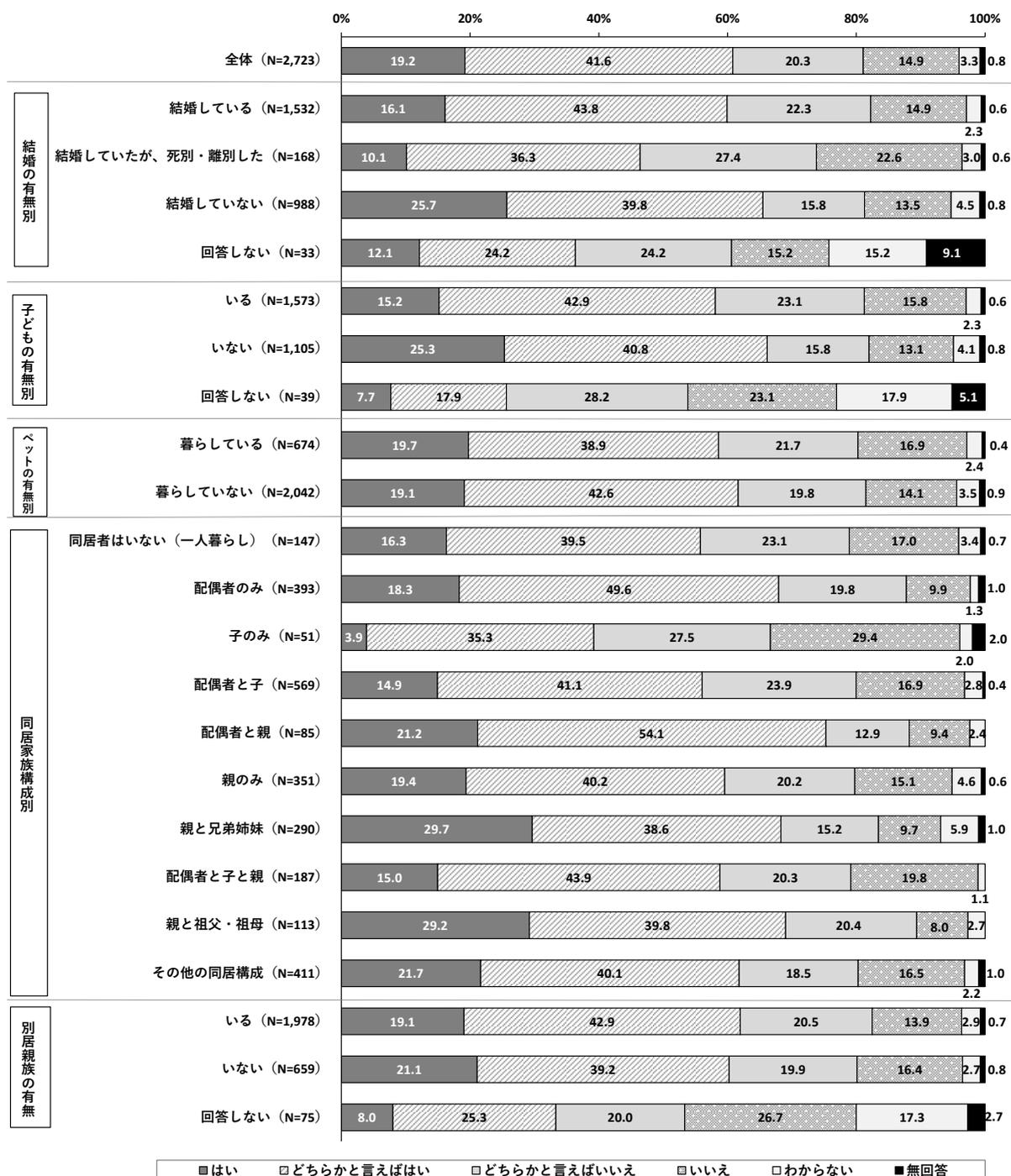
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者と親」では『はい』が75.3%と、他よりも高い。一方、「子のみ」では『はい』が39.2%と他よりも低く、『いいえ』(56.9%)の方が上回っている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の有無で大きな差は見られない。

図表 6-4-2 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。
(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が7割を占めている。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」と「無職」では『いいえ』が4割を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が8割台となっている。一方、「電気・ガス・熱供給・水道業」「宿泊業、飲食サービス業」「その他サービス業」「その他」では『はい』が他の職業分野よりも低くなっている。

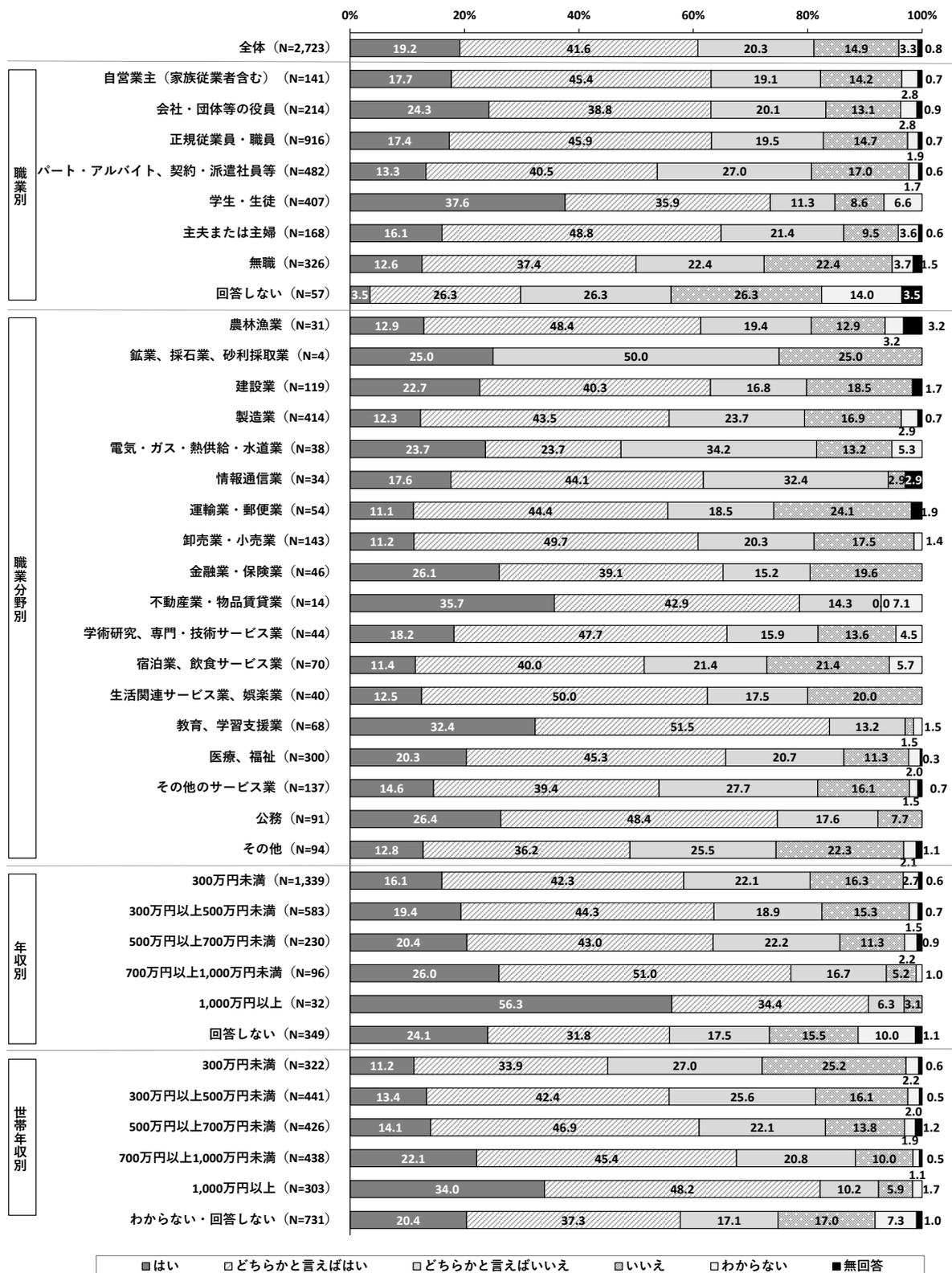
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、700万円以上では7割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では7割を超えている。一方、「300万円未満」では『いいえ』が52.2%を占めている。

図表 6-4-3 自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。
(職業・年収別)



問6-5 住まいは快適・安全・安心であると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が81.4%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は15.8%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超えている。また、「15～19歳」では「はい」が66.5%と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えており、「富山地域」では82.8%を占めている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が83.4%を占めている。一方、「一戸建て（借家）」では『いいえ』が37.5%であった。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」「主に家屋が多く集まっている住宅地」では『はい』が8割を超えている。

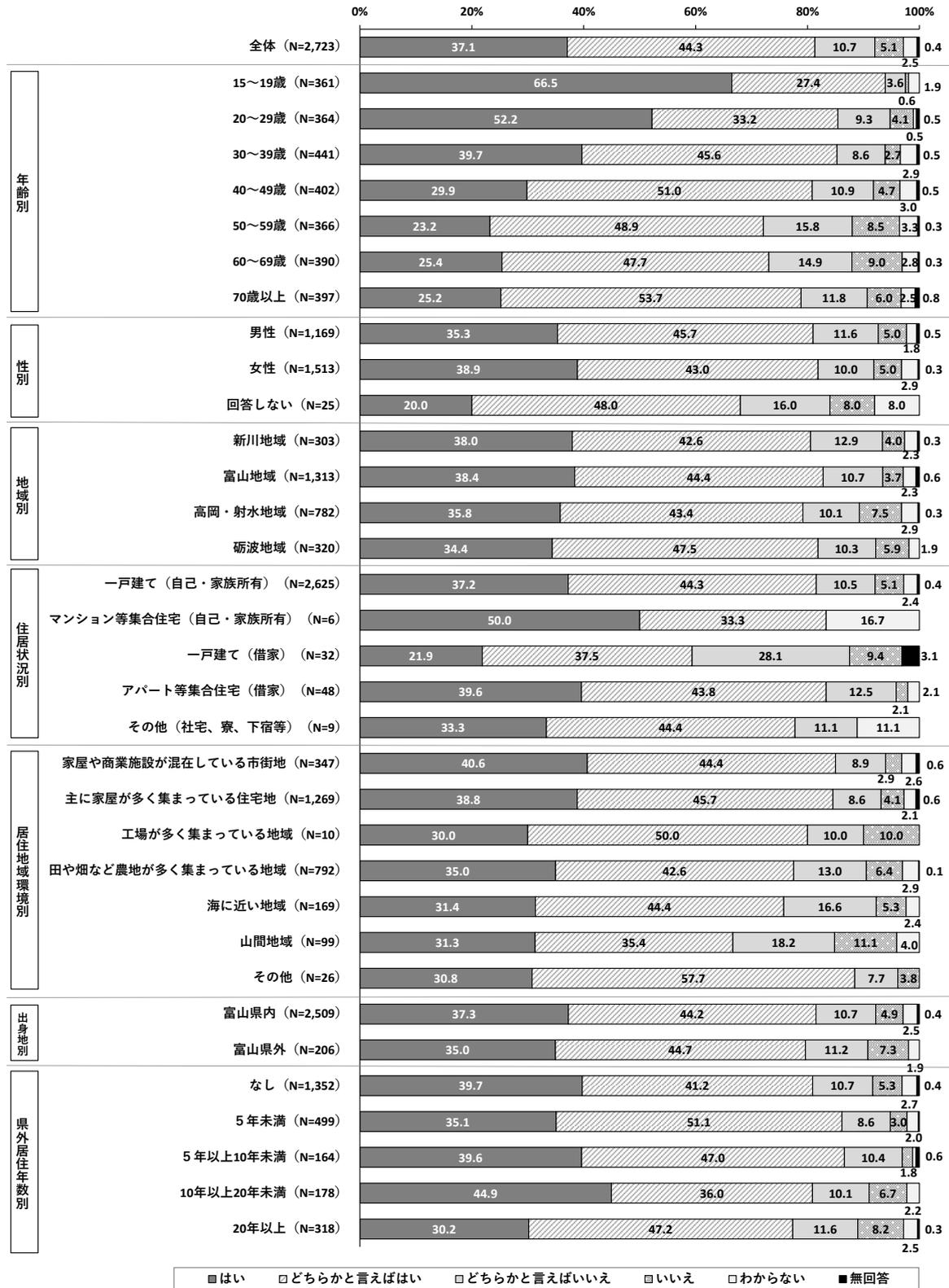
(4) - 4 出身地別

出身地で大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

「なし」「5年未満」「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」では『はい』が8割を超えている。

図表 6-5-1 住まいは快適・安全・安心であると感じている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が83.7%（うち「はい」が48.9%）と、他よりも若干高い。一方、「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が23.8%と、他と比較して若干高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が83.5%と、「いる」よりも3.0ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

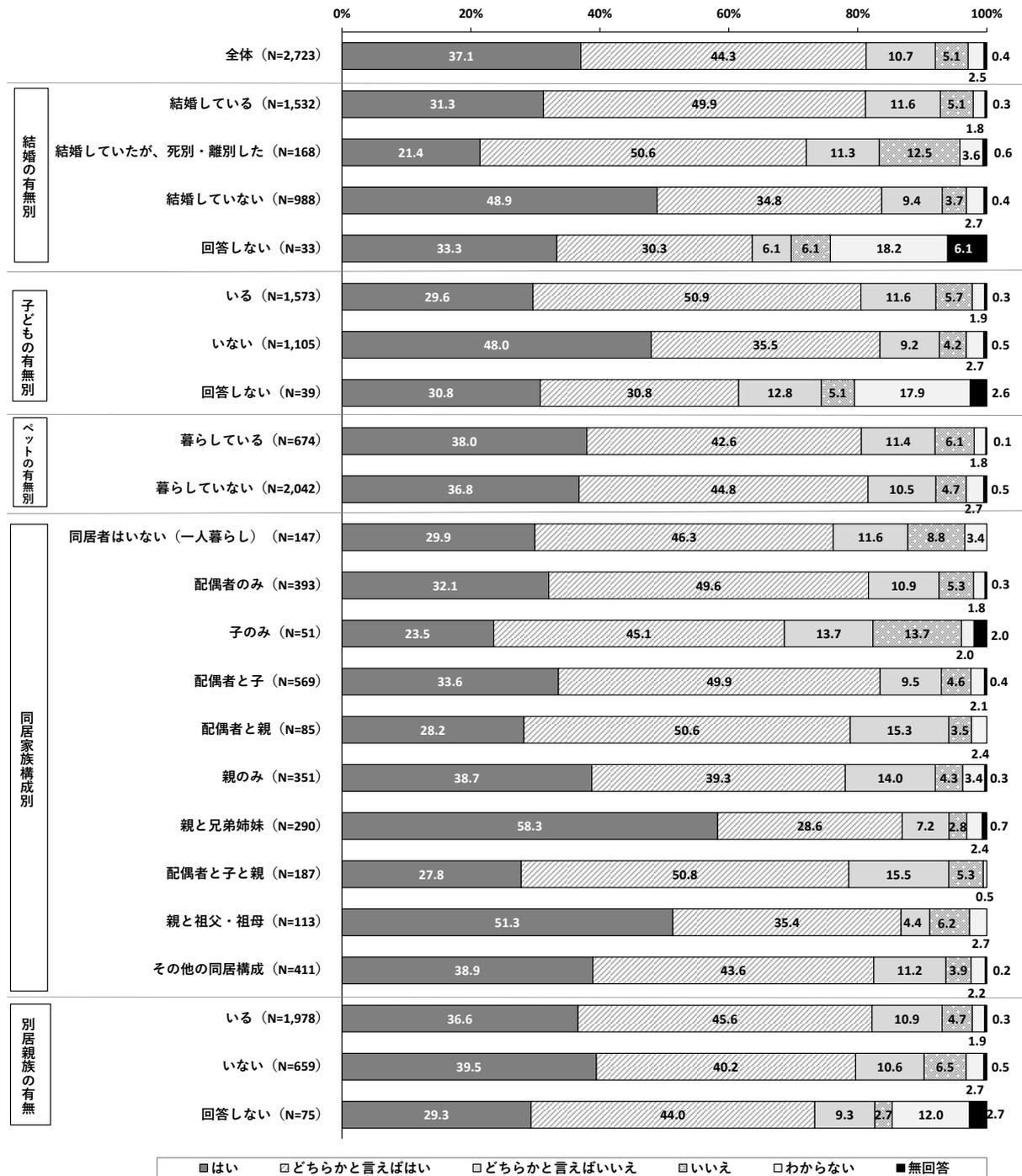
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「配偶者と子」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」「その他の同居構成」では『はい』が8割台と、他と比較して若干高い。一方、「子のみ」では『はい』が6割台と、他よりも低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の「いる」では『はい』が82.2%と、「いない」よりも2.5ポイント高い。

図表 6-5-2 住まいは快適・安全・安心であると感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が95.1%（うち「はい」が67.8%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が70.2%、『いいえ』が25.8%となっている。

(6) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が7割を超えている。「公務」では「はい」が4割以上を占めている。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が75.0%と、他の職業分野よりも低い。

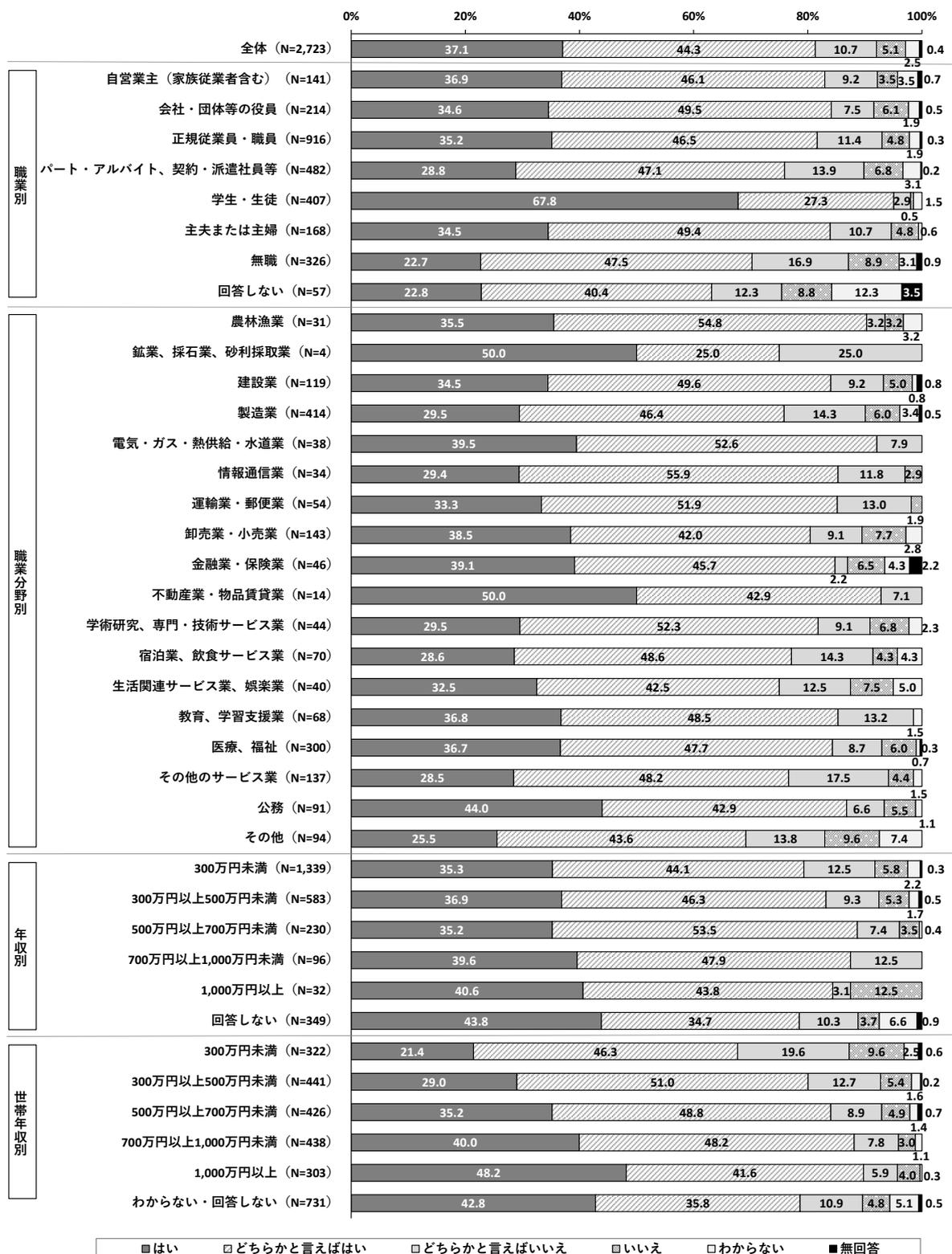
(6) - 3 年収別

300万円以上で『はい』が8割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、300万円以上では『はい』が8割を超え、「1,000万円以上」では89.8%と高い割合を占めている。

図表 6-5-3 住まいは快適・安全・安心であると感じている。(職業・年収別)



問6-6 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が83.2%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は12.6%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が7割を超え、40歳代以下では8割を超えている。また、「15～19歳」では「はい」が67.3%と高い割合を占めている。

(3) 性別

「はい」は「女性」の方が4.3ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が83.5%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」「主に家屋が多く集まっている住宅地」「田や畑など農地が多く集まっている地域」では『はい』が8割を超えており、他の居住地環境よりも若干高い。

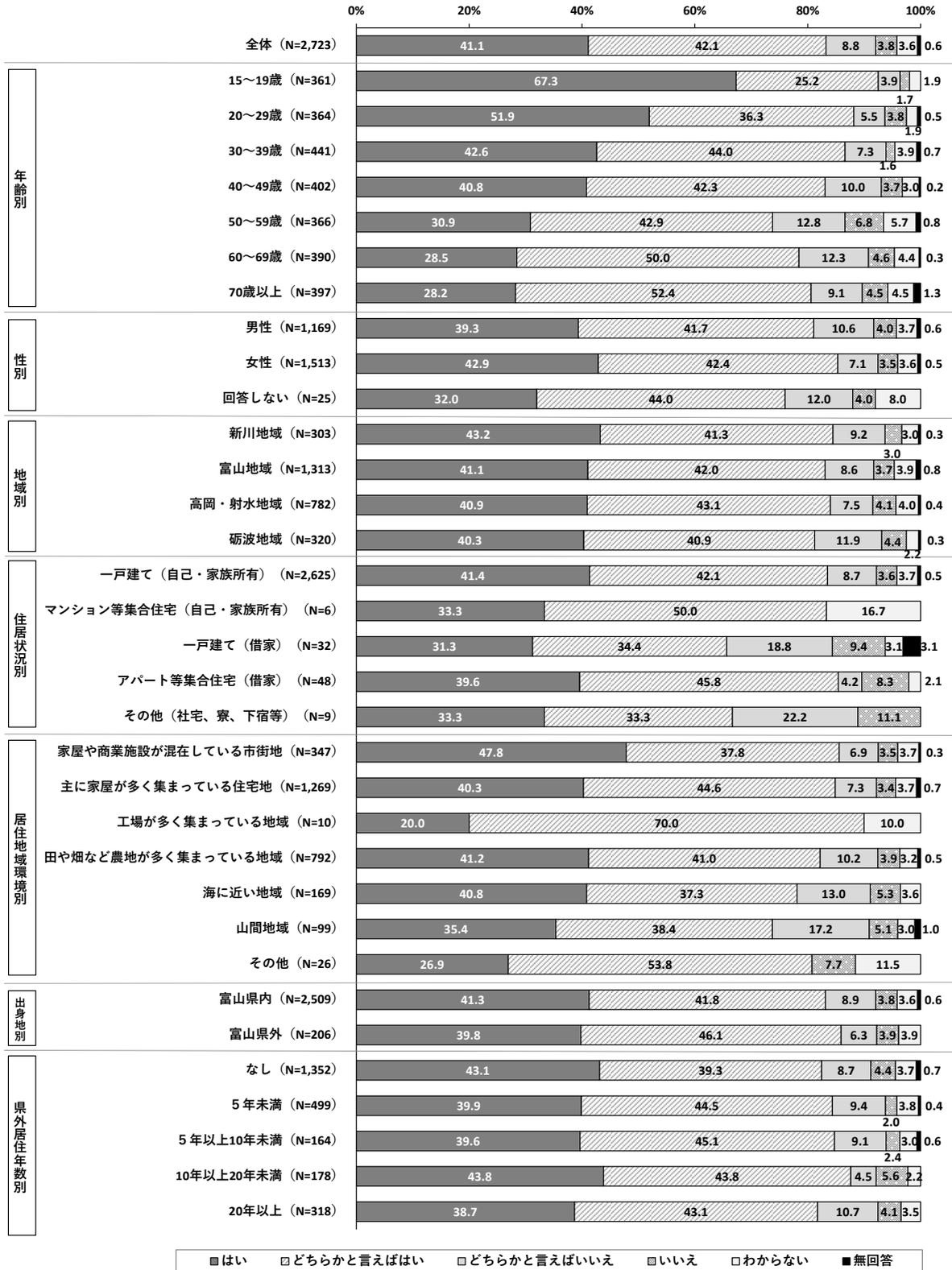
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県外」の方が2.8ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えている。

図表 6-6-1 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が70.3%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

『はい』では、子どもの有無で大きな差は見られないが、「はい」では子どもが「いない」で、子どもが「いる」よりも11.4ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、「はい」は「暮らしている」の方が3.1ポイント高い。

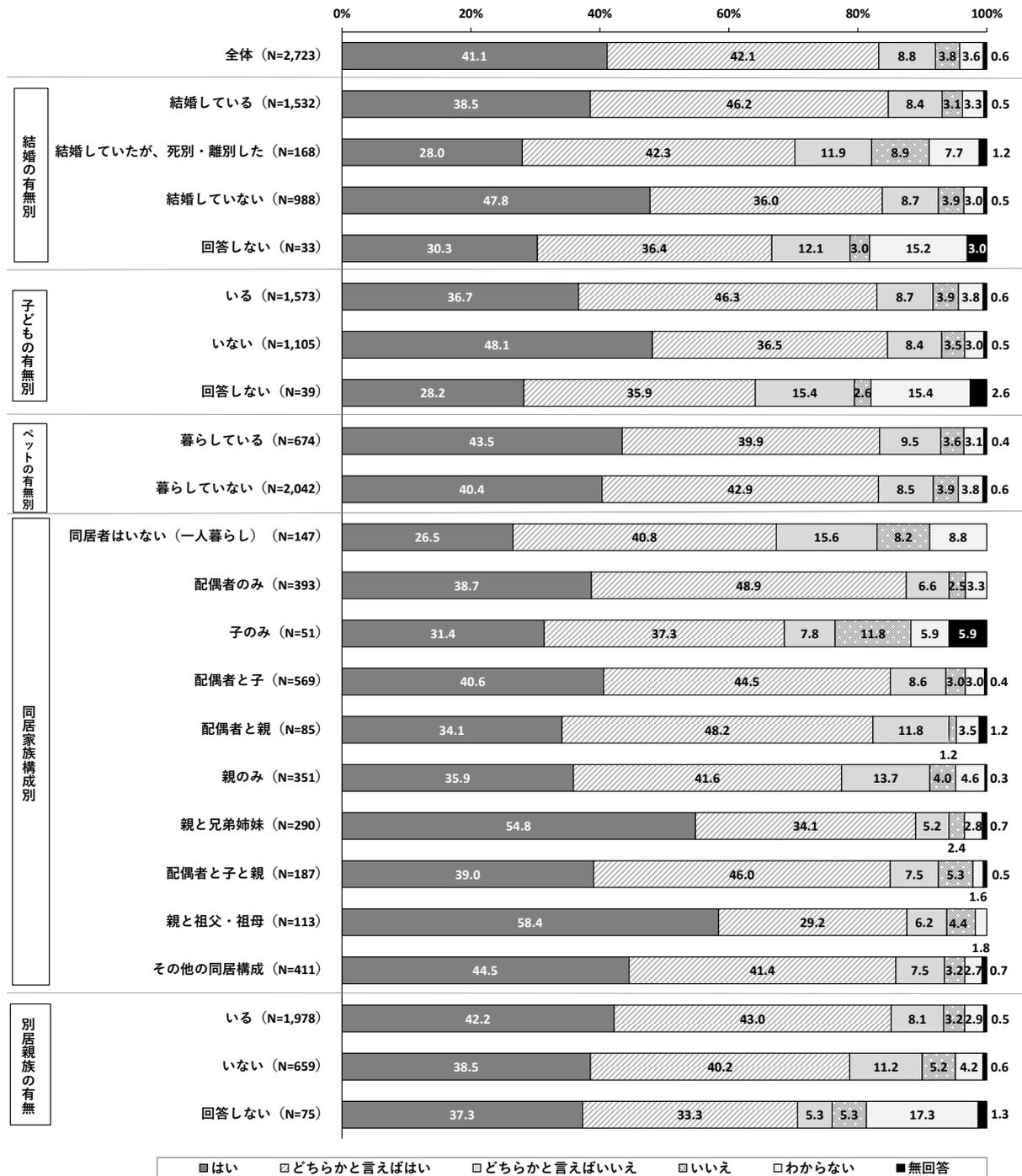
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」では『はい』が88.9%と、他と比較して若干高い。一方、「同居者はいない(一人暮らし)」と「子のみ」では『はい』が6割台と、他よりも低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が85.2%と、「いない」よりも6.5ポイント高い。

図表 6-6-2 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が93.6%（うち「はい」が67.1%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が73.6%、『いいえ』が19.7%となっている。

(6) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が7割を超えている。「教育、学習支援業」「公務」では「はい」が5割を超え、他の職業分野よりも高い。

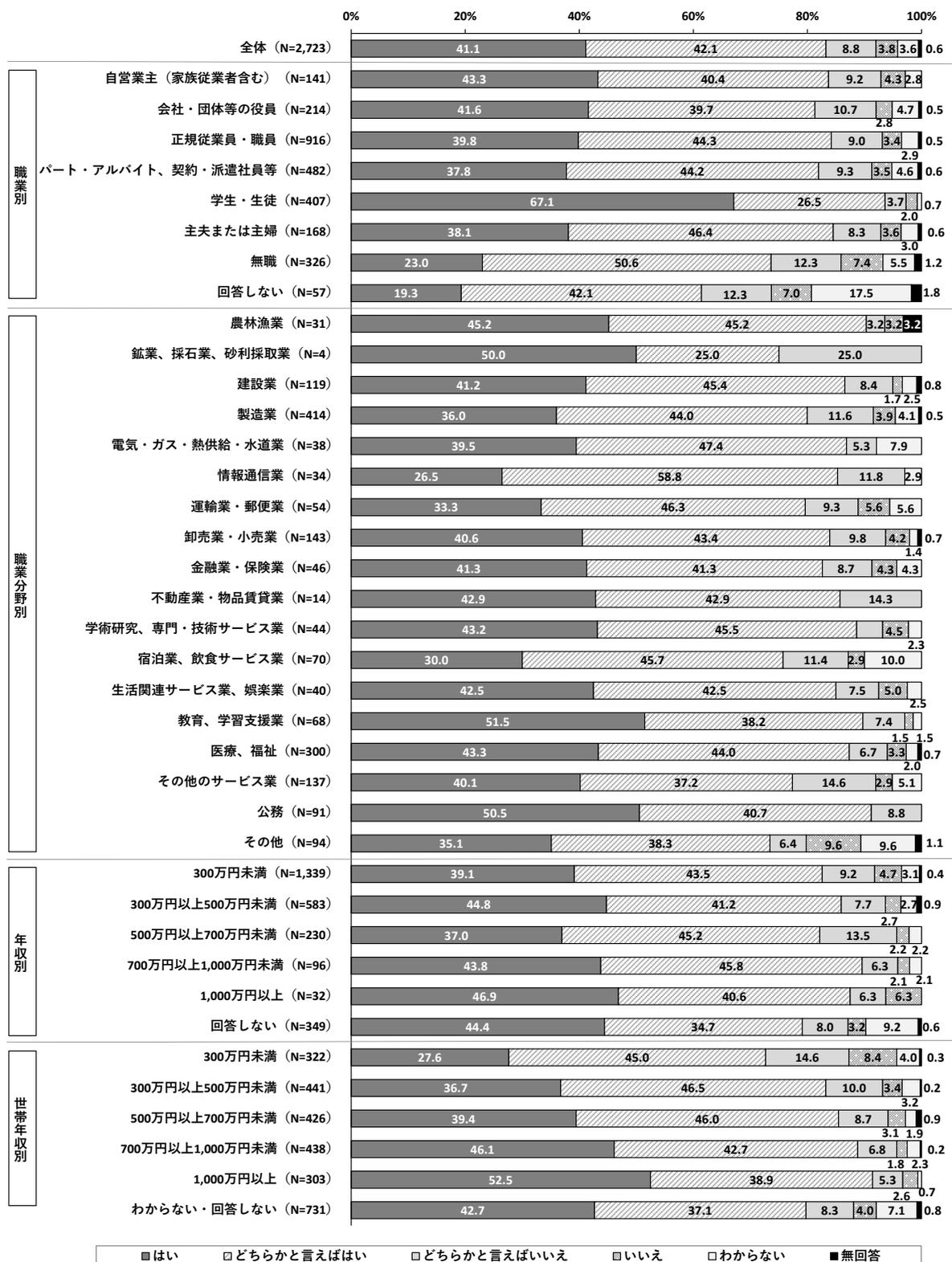
(6) - 3 年収別

すべてで『はい』が8割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

「1,000万円以上」では『はい』が91.4%となっている。一方、「300万円未満」では『はい』が72.6%と、他よりも低い。

図表 6-6-3 自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。(職業・年収別)



問6-7 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が67.4%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が25.5%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が82.6%を占めている。一方、「50～59歳」では5割台となっており、他の年代よりも『はい』が低い。

(3) 性別

『はい』は「男性」より「女性」の方が5.2ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えており、「富山地域」では69.0%と、他の地域よりも高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が67.7%、「アパート等集合住宅（借家）」では62.6%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が73.5%と、他の居住地域環境よりも高い。

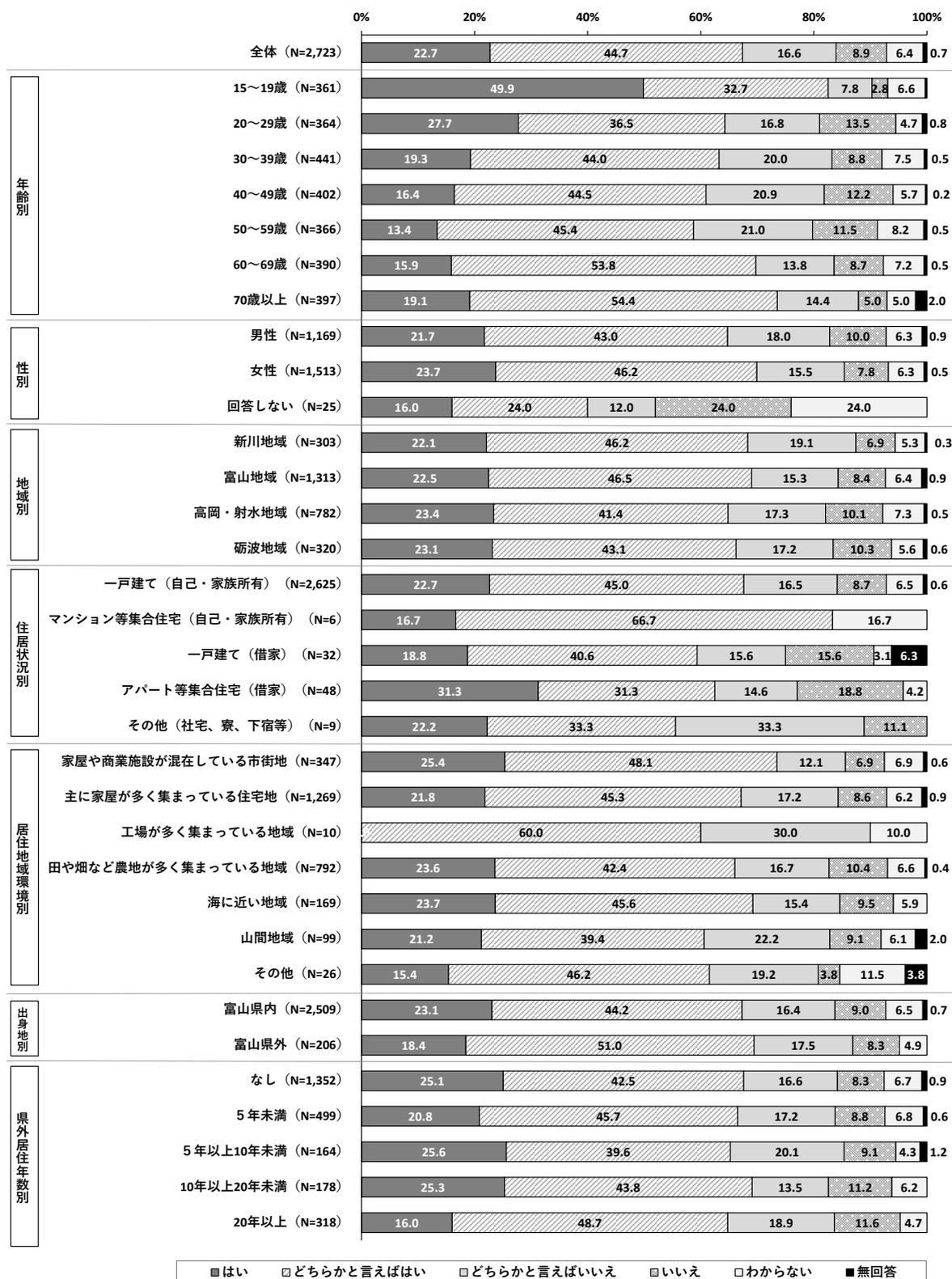
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県外」の方が2.1ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が6割を超えている。

図表 6-7-1 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が58.3%と、他よりも若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では、「はい」が29.0%と、子どもが「いる」よりも10.6ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

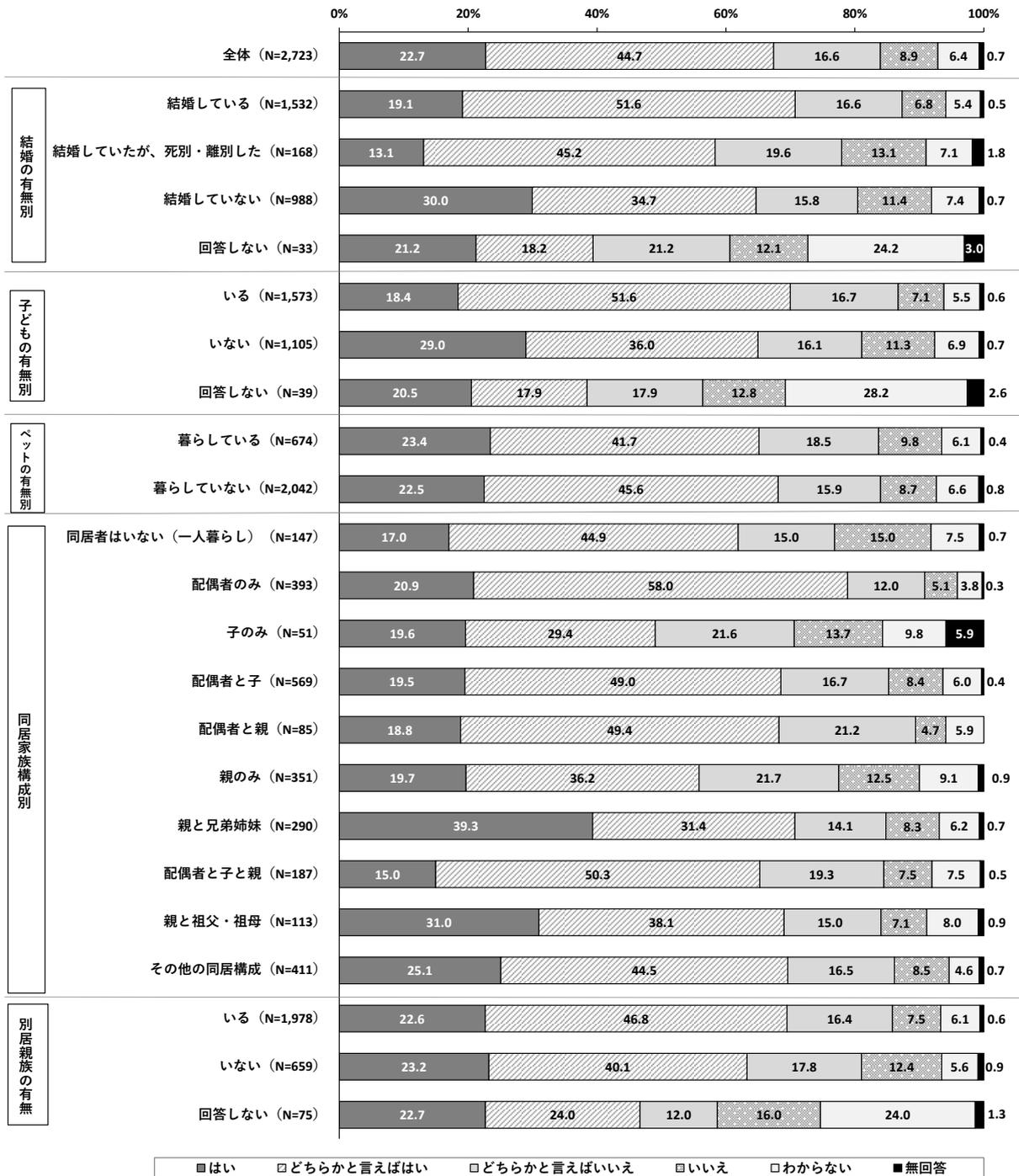
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者のみ」では『はい』が78.9%と、他と比較して若干高い。一方、「子のみ」では『はい』が49.0%と、他よりも低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が69.4%と、「いない」よりも6.1ポイント高い。

図表 6-7-2 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が83.1%（うち「はい」が50.4%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が60.7%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「情報通信業」「運輸業・郵便業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が7割台と、他の職業分野よりも比較的高い。

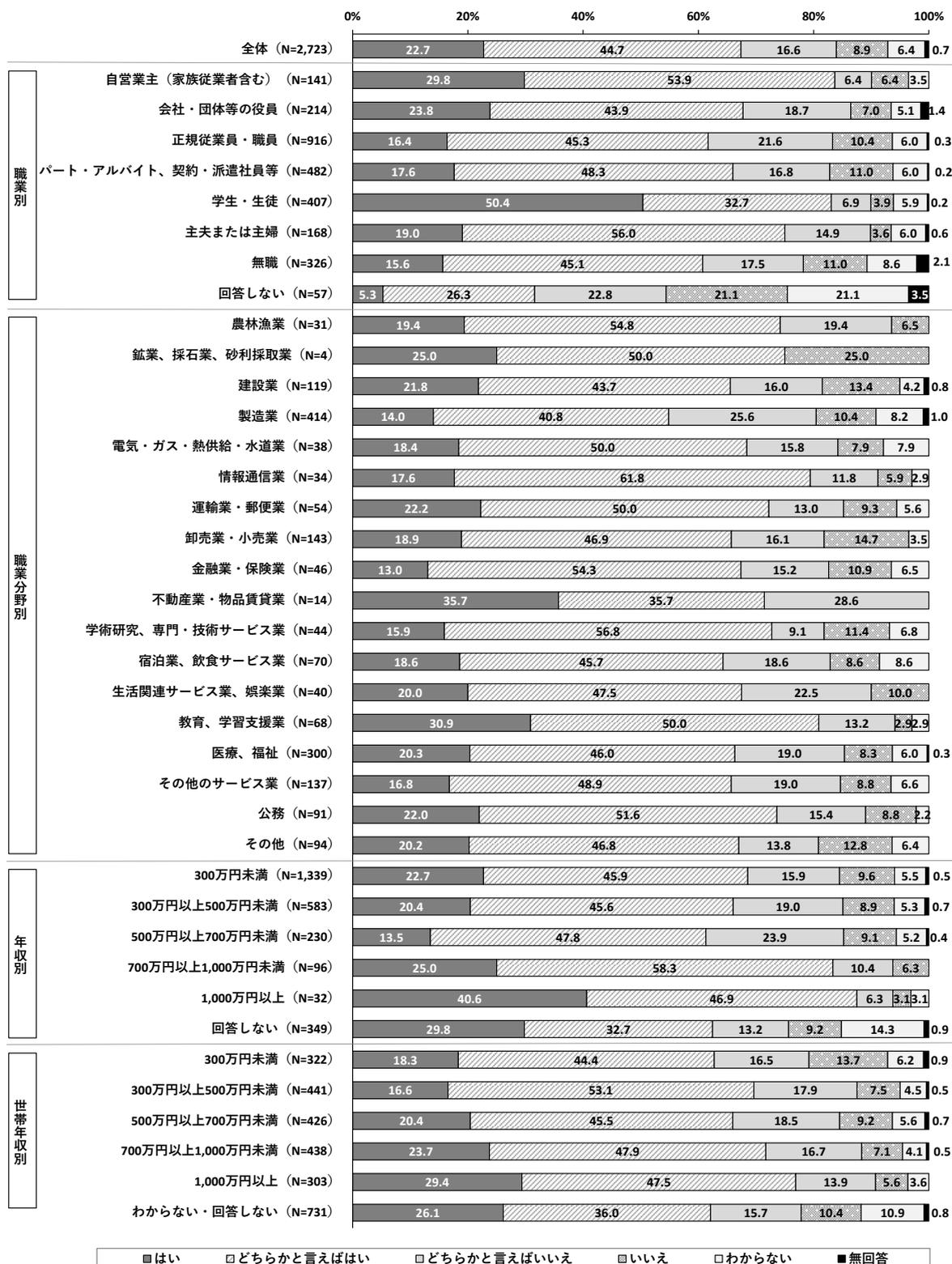
(6) - 3 年収別

700万円未満では『はい』が6割台となっている。一方、年収700万円以上では8割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

700万円以上では『はい』が7割台となっている。

図表 6-7-3 現在置かれている立場・地位に満足を感じている。(職業・年収別)



問6-8 楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が70.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が24.6%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が85.6%を占めている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が6.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が約7割を占めている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が72.9%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」「主に家屋が多く集まっている住宅地」「海に近い地域」では『はい』が7割を超えている。

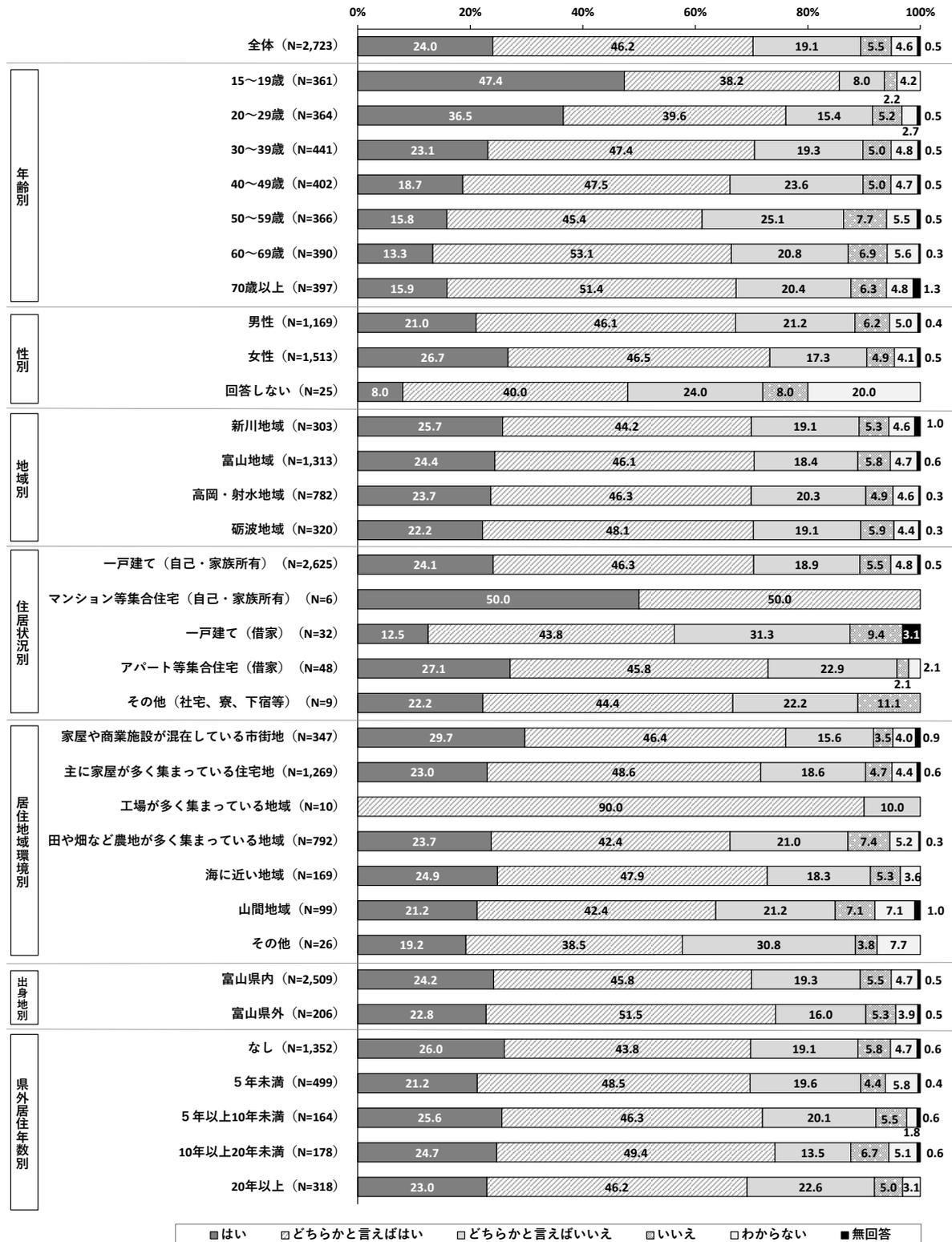
(4) - 4 出身地別

『はい』は、「富山県外」の方が4.3ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」では『はい』が7割を超えている。

図表 6-8-1 楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」と「結婚していない」では『はい』が7割を超えている。「結婚していたが、死別・離別した」では60.8%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られない。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

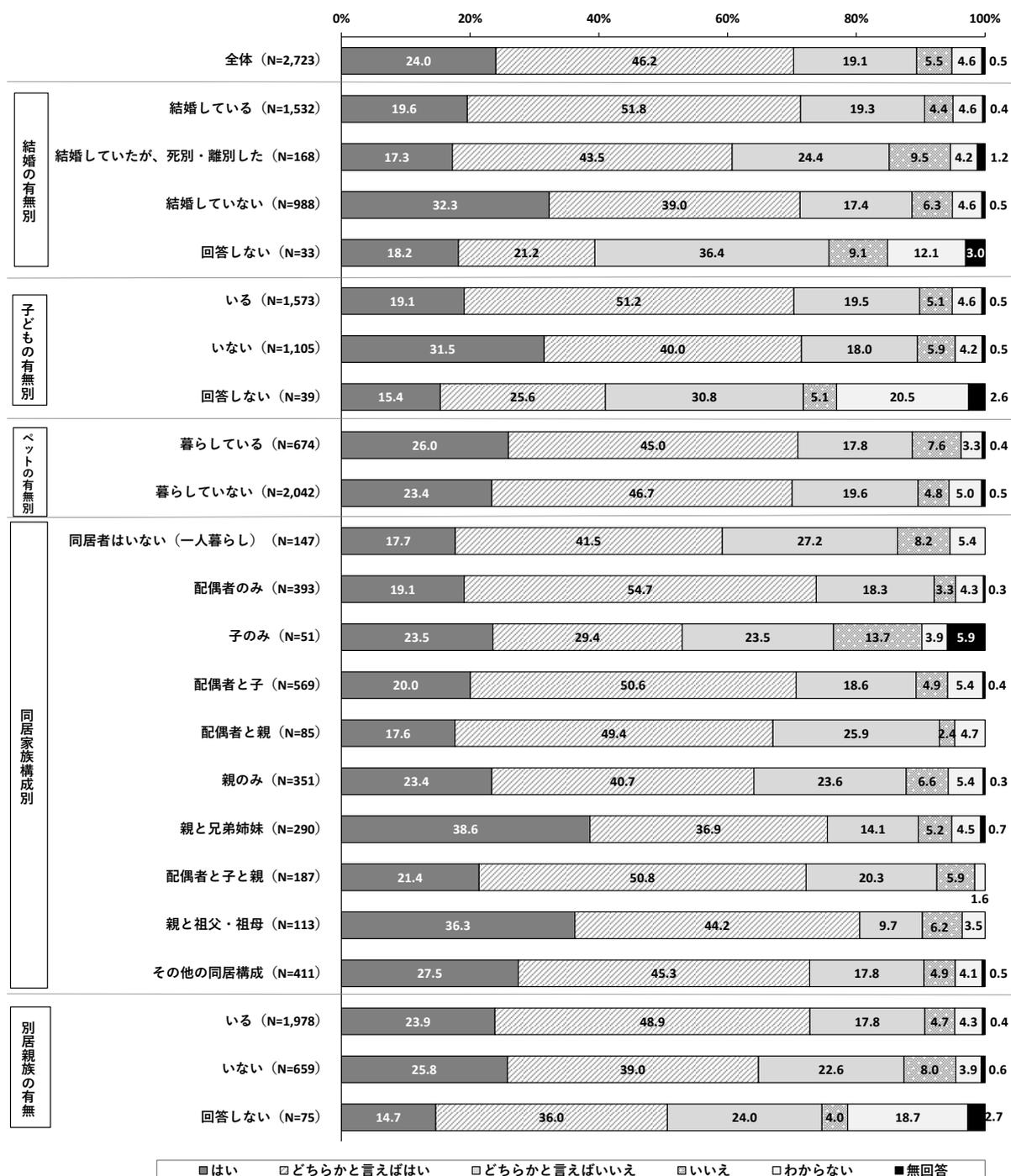
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」では『はい』が75.5%と、他よりも若干高い。一方、「子のみ」では『はい』が52.9%と、他よりも低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が72.8%と、「いない」よりも8.0ポイント高い。

図表 6-8-2 楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。
（家族状況別）



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が86.3%（うち「はい」が49.9%）と比較的高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が59.5%、『いいえ』が33.8%を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」と「教育、学習支援業」では『はい』が8割台と、他の職業分野と比較して高い。

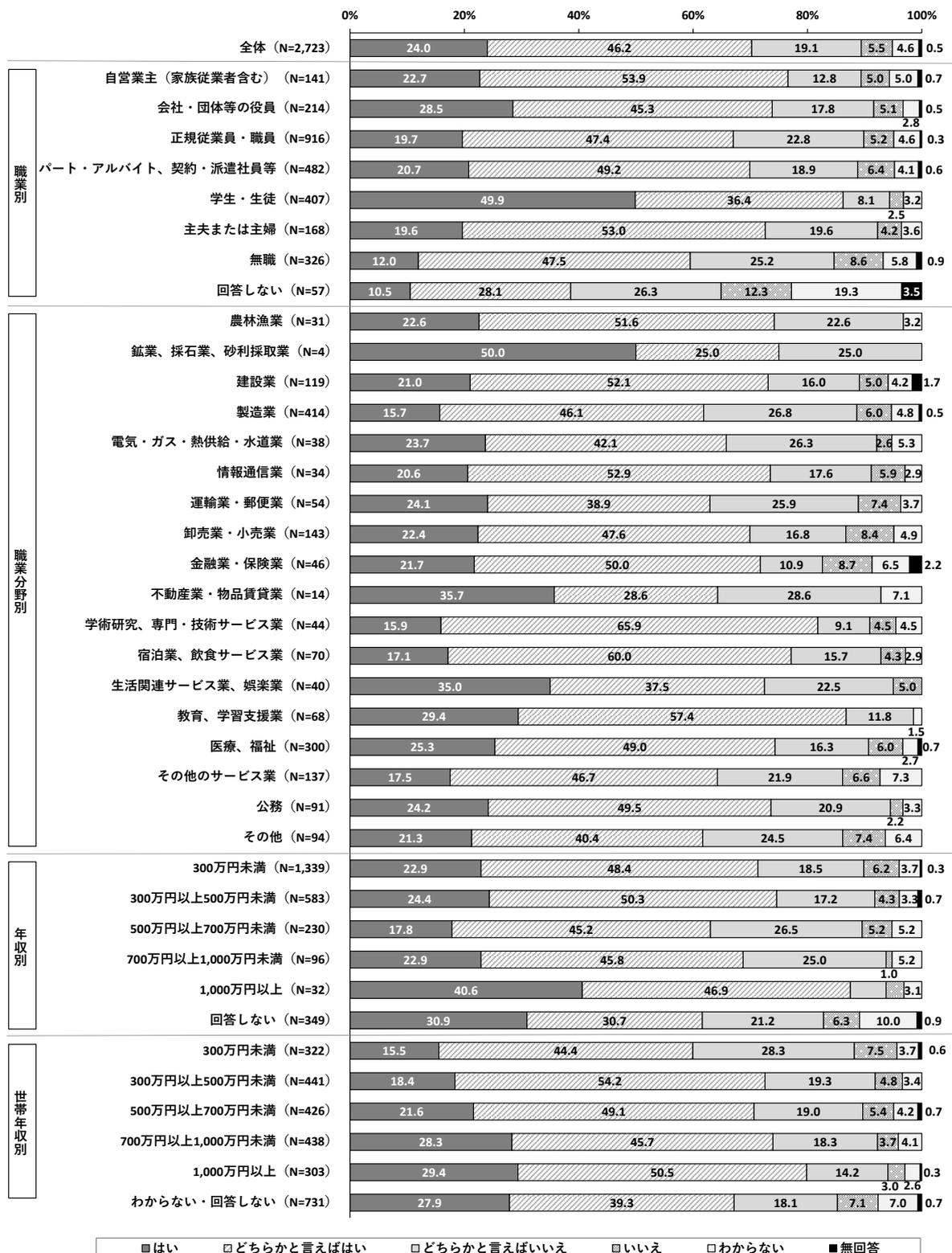
(6) - 3 年収別

500万円未満と「1,000万円以上」では『はい』が7割台と、他よりも若干高い。

(6) - 4 世帯年収別

300万円以上では『はい』が7割を超え、「1,000万円以上」では79.9%と高い割合を占めている。

図表 6-8-3 楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。
（職業・年収別）



問6-9 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が85.4%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は12.1%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が8割を超えている。「15～19歳」では『はい』が90.8%と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『はい』は「女性」の方が2.0ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（借家）」を除くすべての住居状況で『はい』が8割を超えている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

すべての居住地環境で『はい』が8割を超えている。

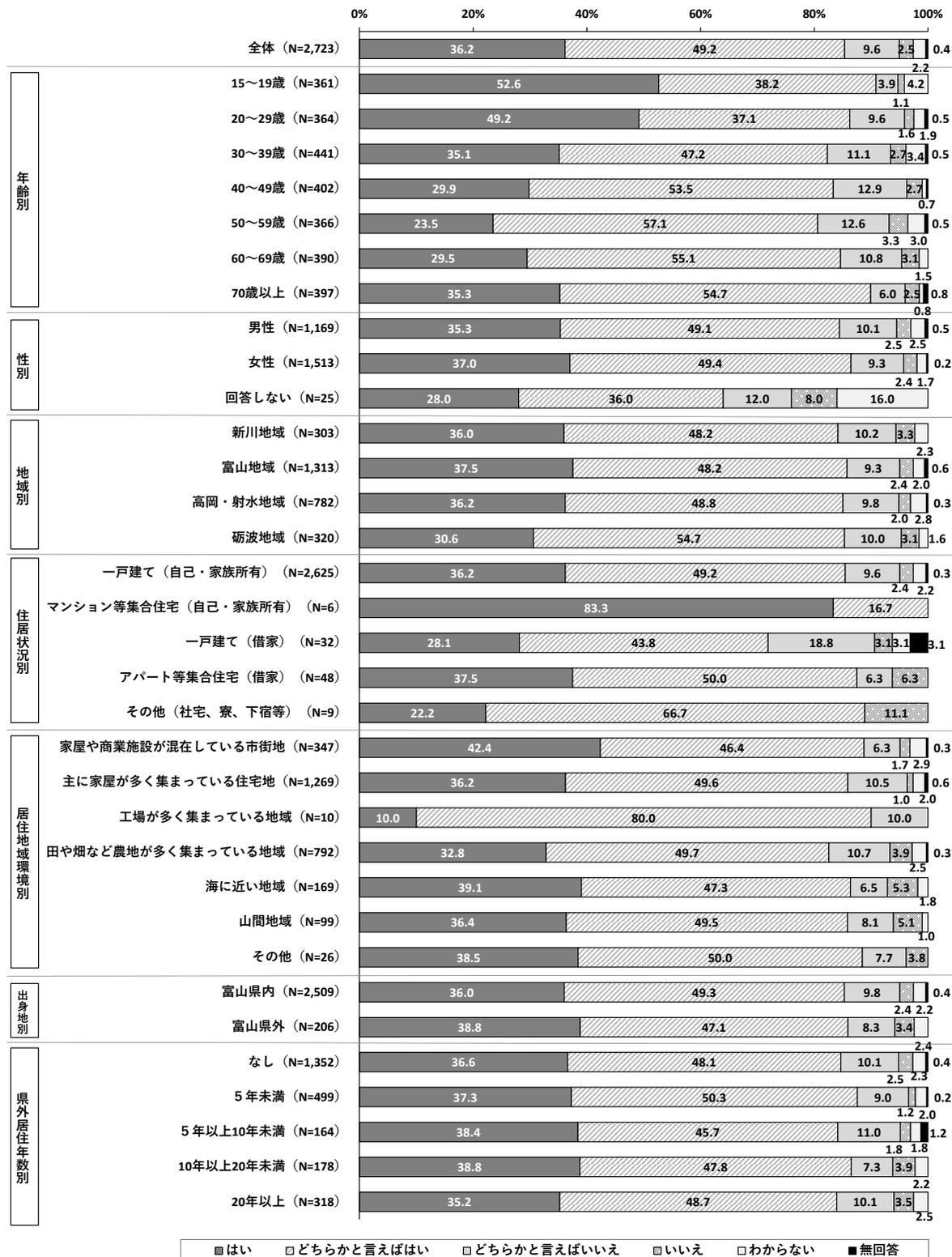
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えており、「5年未満」では87.6%と、他よりも高い。

図表 6-9-1 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。



(5) - 1 結婚の有無別

結婚の有無で大きな差は見られないが、「結婚していない」では「はい」が45.5%と、「結婚している」よりも15.0ポイント高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が45.2%と、子どもが「いる」よりも15.3ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

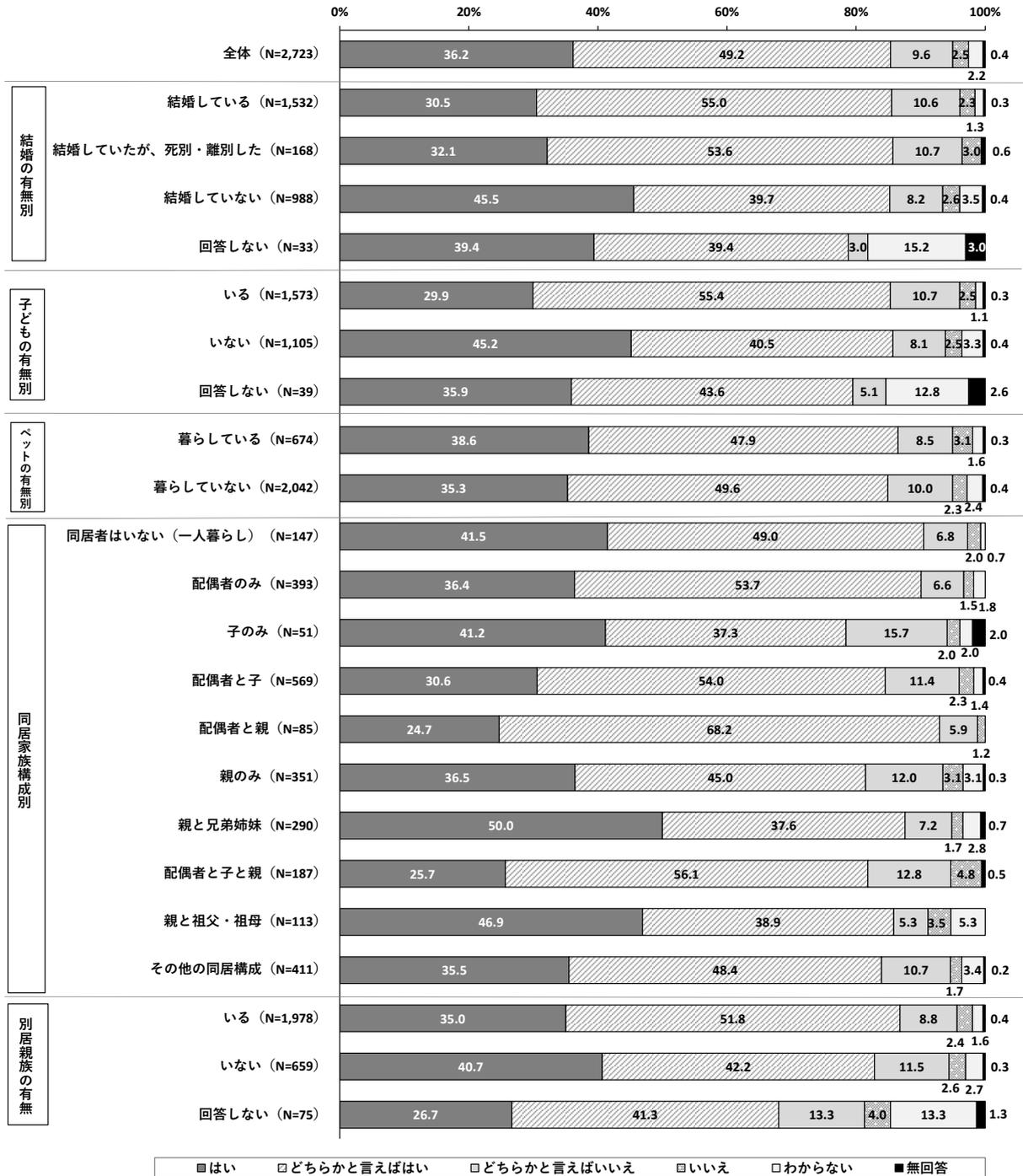
(5) - 4 同居家族の構成別

「子のみ」を除くすべてで『はい』が8割を超えており、「同居者はいない(一人暮らし)」「配偶者のみ」「配偶者と親」では『はい』が9割台と、他よりも若干高い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が86.8%と、「いない」よりも3.9ポイント高い。

図表 6-9-2 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が92.4%（うち「はい」が54.1%）と高い割合を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」では『はい』が9割台と、他の職業分野よりも若干高くなっている。

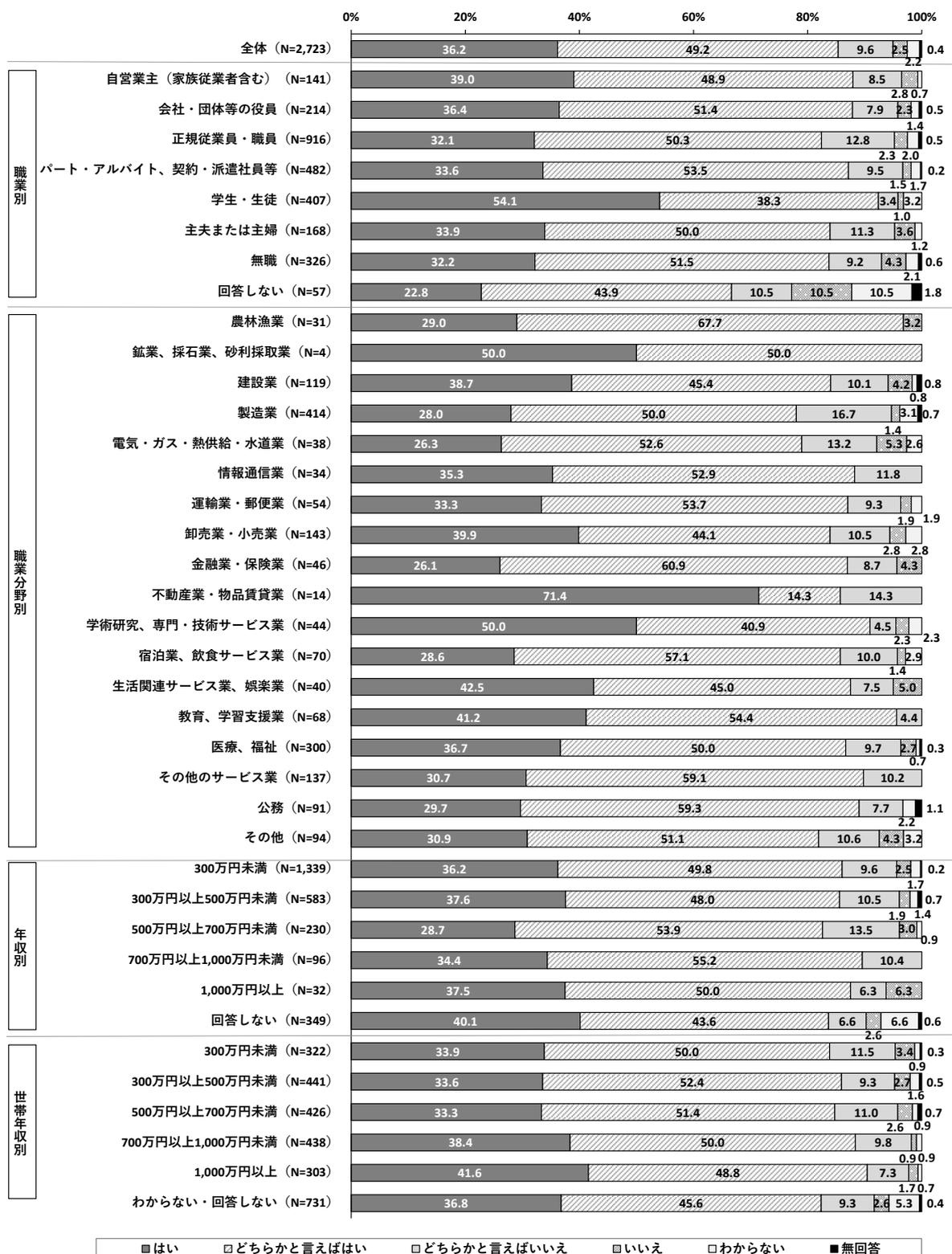
(6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えており、「1,000万円以上」では90.4%と高い割合を占めている。

図表 6-9-3 自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。(職業・年収別)



問6-10 自分らしく、ありのままでいられている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が76.6%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は17.7%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」「70歳以上」では『はい』が8割を超えている。「15～19歳」では「はい」が50.7%を占め、他の年代よりも高い。

(3) 性別

『はい』は「女性」の方が3.0ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超え、「富山地域」では77.3%と、他の地域と比べて若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が最も多い「一戸建て（自己・家族）」では『はい』が76.8%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

すべての居住地環境で『はい』が7割以上となっている。

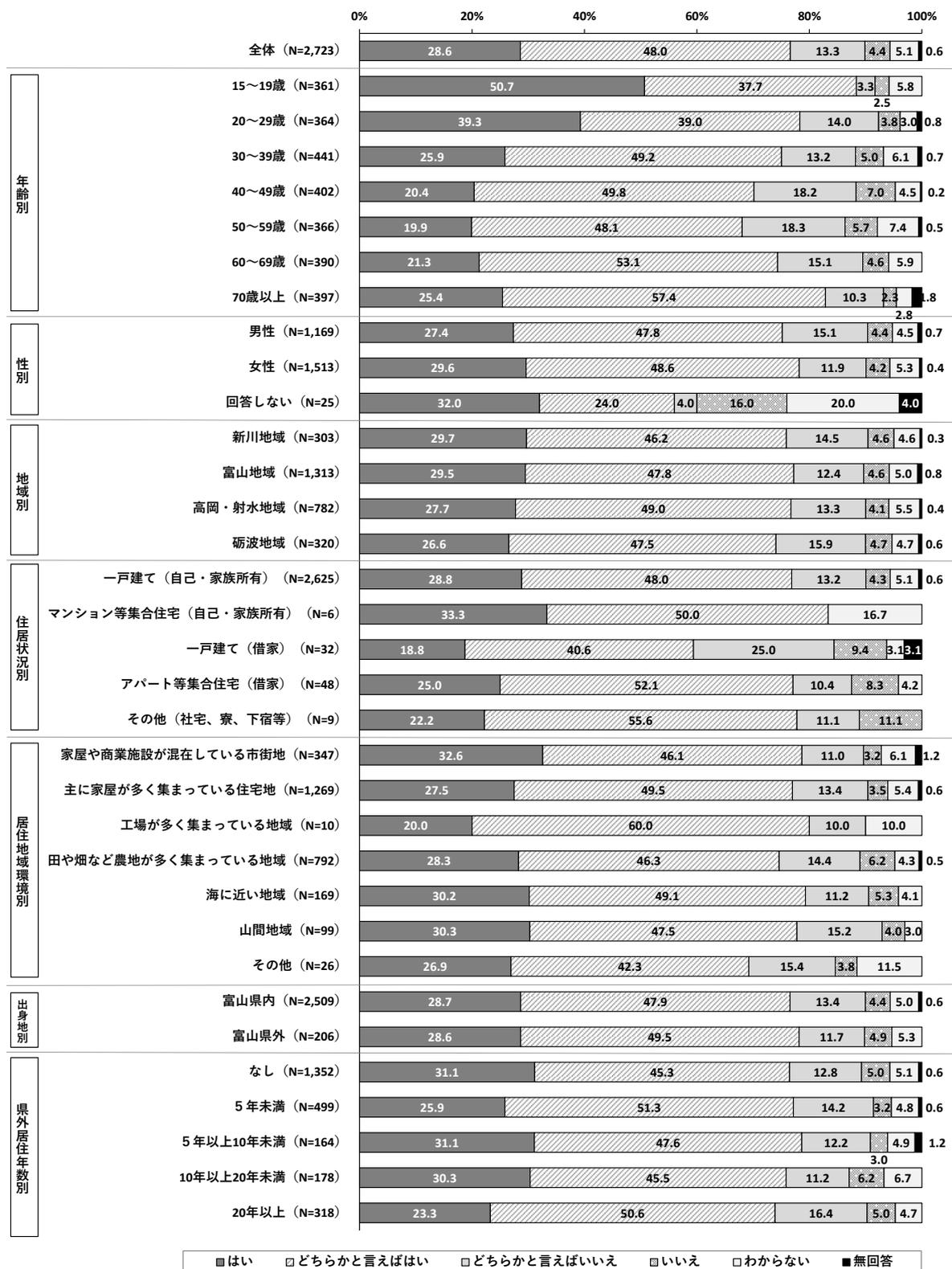
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が7割を超えている。

図表 6-10-1 自分らしく、ありのままでいられている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「はい」が36.5%と、「結婚している」よりも12.8ポイント高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が36.3%と、子どもが「いる」よりも13.0ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

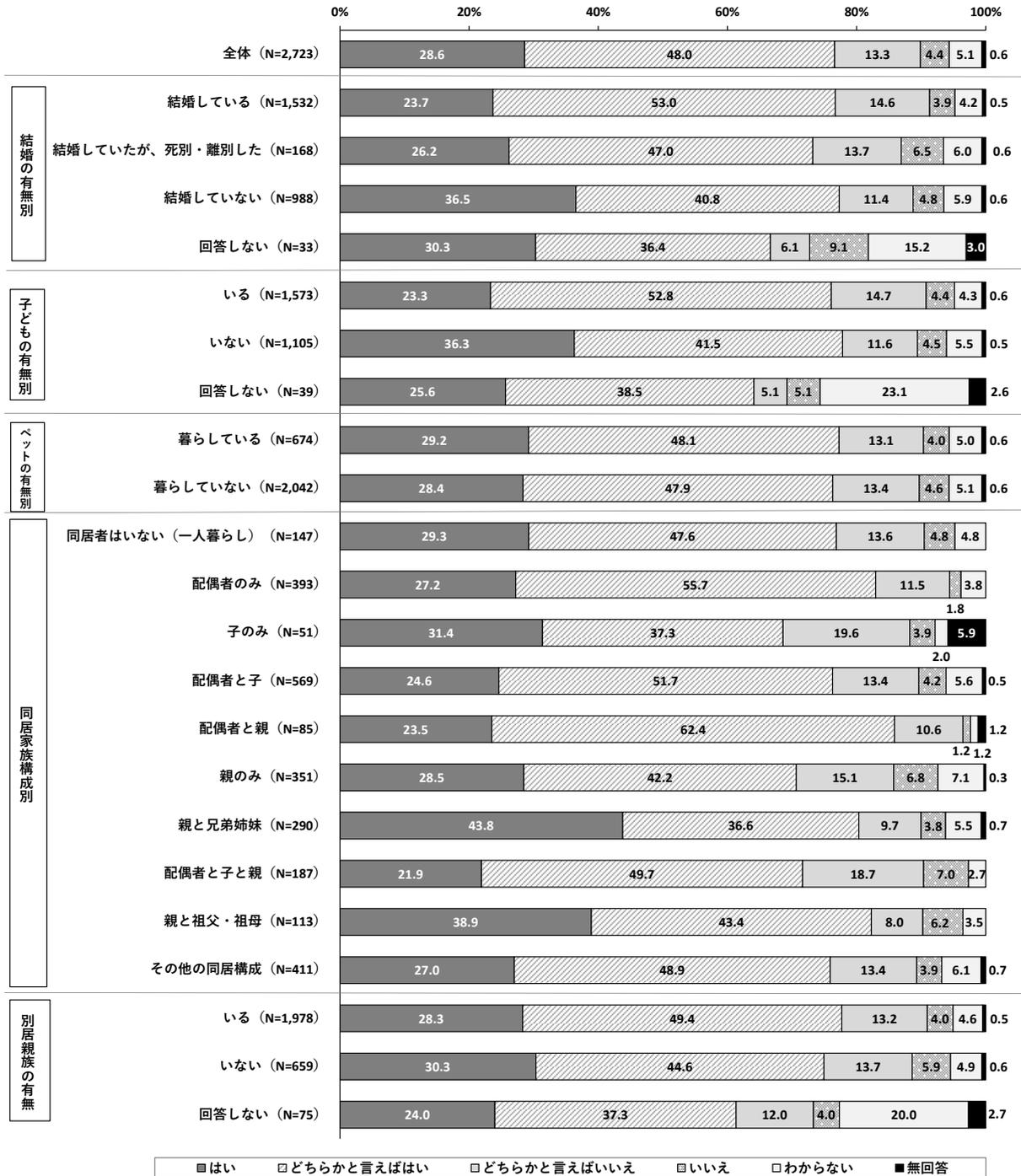
(5) - 3 同居家族の構成別

「子のみ」を除くすべてで『はい』が7割を超えている。「子のみ」では68.7%と、他よりも若干低い。

(5) - 4 別居親族の有無別

別居親族の有無で大きな差は見られない。

図表 6-10-2 自分らしく、ありのままでいられている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が89.4%（うち「はい」が51.1%）と高い割合を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「運輸業・郵便業」「学研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『はい』が8割台と、他の職業分野よりも若干高い。

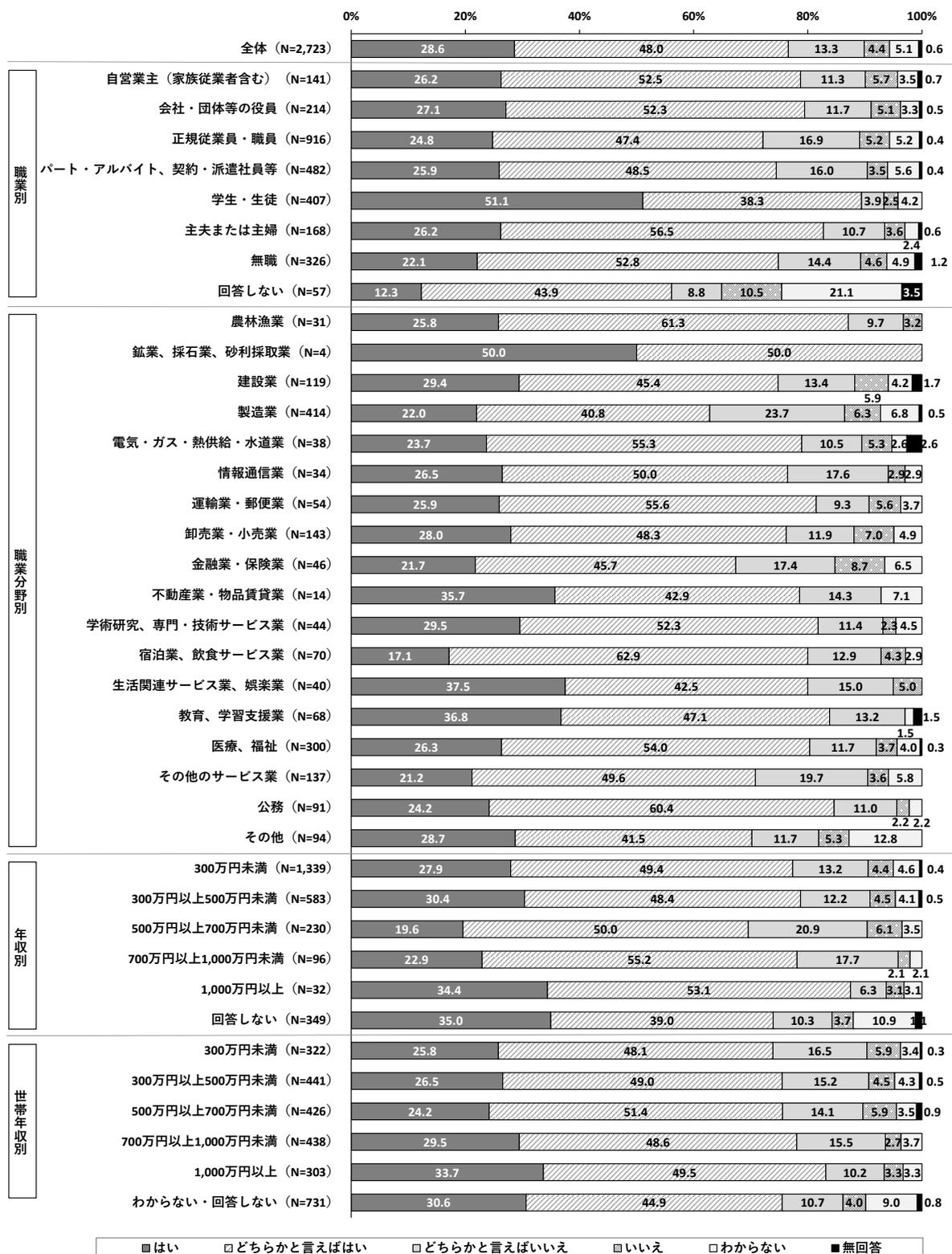
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」で『はい』が87.5%と高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

「1,000万円以上」で『はい』が83.2%と高い割合を占めている。

図表 6-10-3 自分らしく、ありのままでいられている。(職業・年収別)



問6-11 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が73.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が24.5%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が92.0%（うち「はい」が63.7%）と高い割合を占めている。「30～39歳」では『はい』が59.8%と他より低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

「新川地域」では『はい』が75.2%と、他の地域よりも高くなっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が85.4%となっている。

(4) - 3 現在の居住地域環境別

「海に近い地域」を除くすべてで『はい』が7割を超え、「山間地域」では「はい」が36.4%と、他の居住地域環境よりも高い。

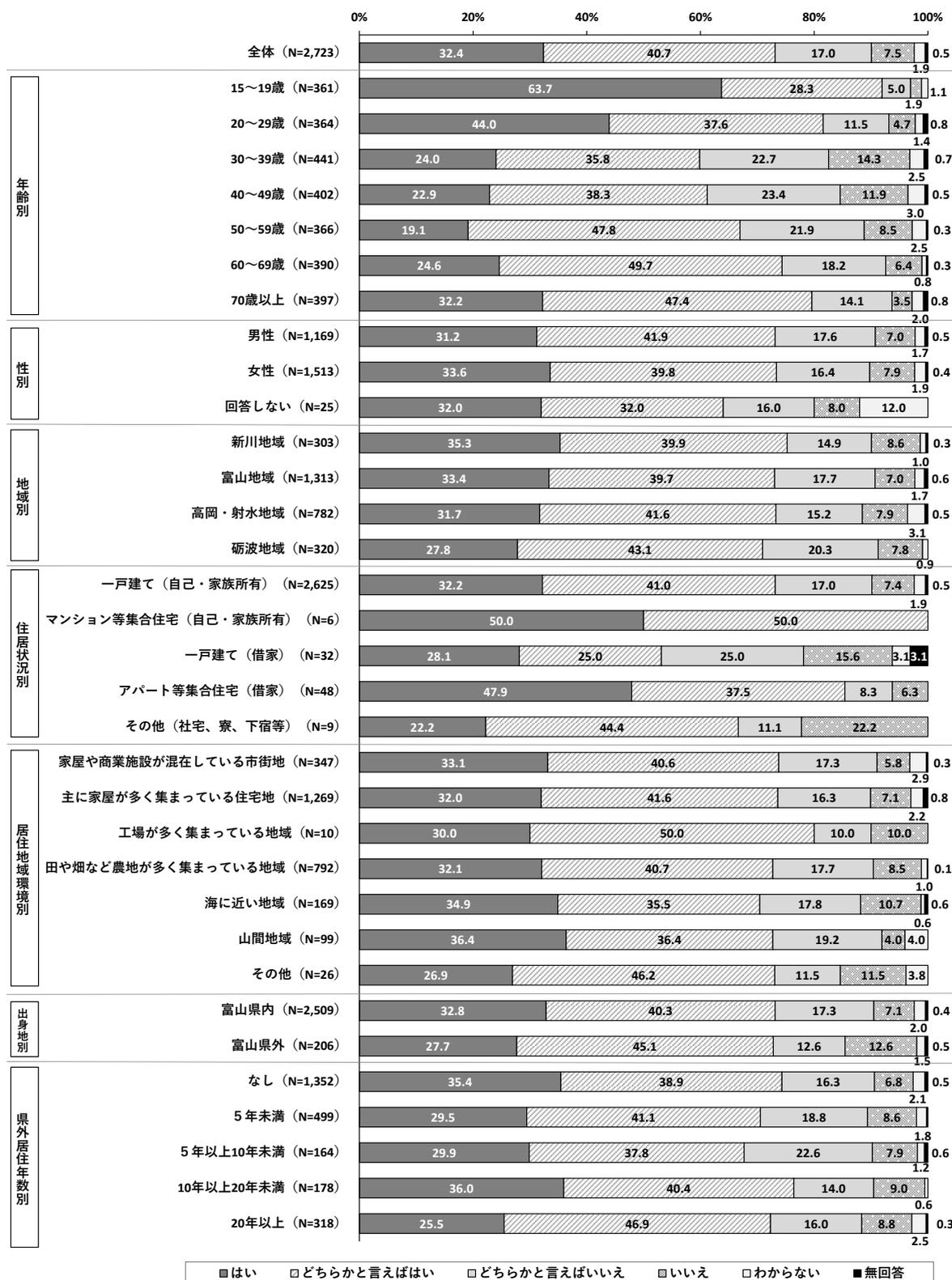
(4) - 4 出身地別

出身地で大きな差は見られないが、「はい」は「富山県内」の方が5.1ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が6割を超えている。

図表 6-11-1 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が85.7%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」よりも「いない」の方が『はい』が19.2ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

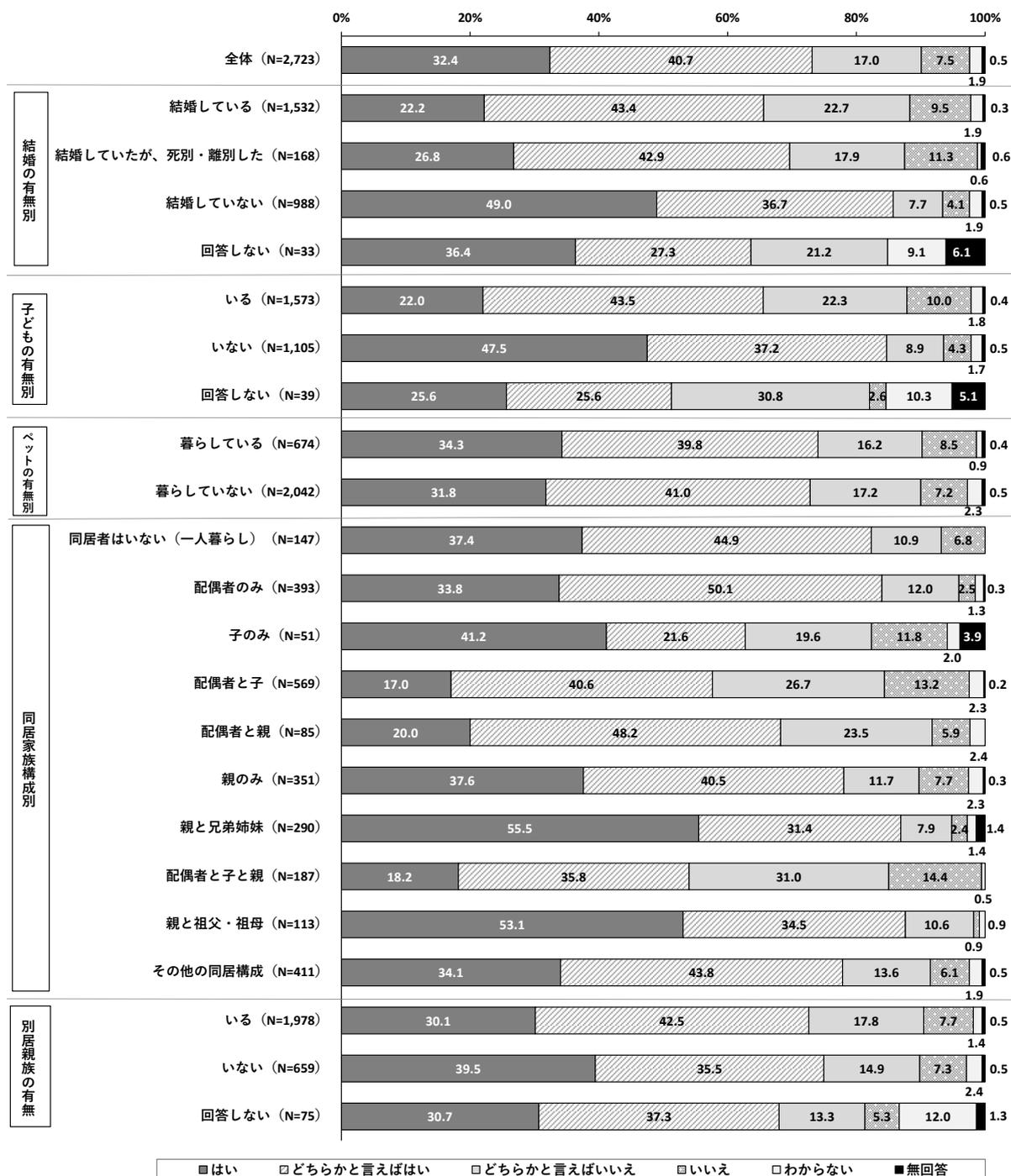
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」と「親と祖父・祖母」では『はい』が8割台（うち「はい」は5割台）と、比較的高い割合を占めている。一方、「配偶者と子と親」では『はい』が54.0%と他よりも低くなっている。

(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

別居親族が「いない」では『はい』が75.0%と、「いる」よりも2.4ポイント高い。

図表 6-11-2 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が92.4%（うち「はい」が65.1%）と高い割合を占めている。一方、「正規従業員・職員」では『はい』が66.6%、『いいえ』が31.7%を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「卸売業・小売業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「その他」では、『はい』が7割台と、他の職業分野よりも高い割合を占めている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が52.9%と、他の職業分野よりも低い。

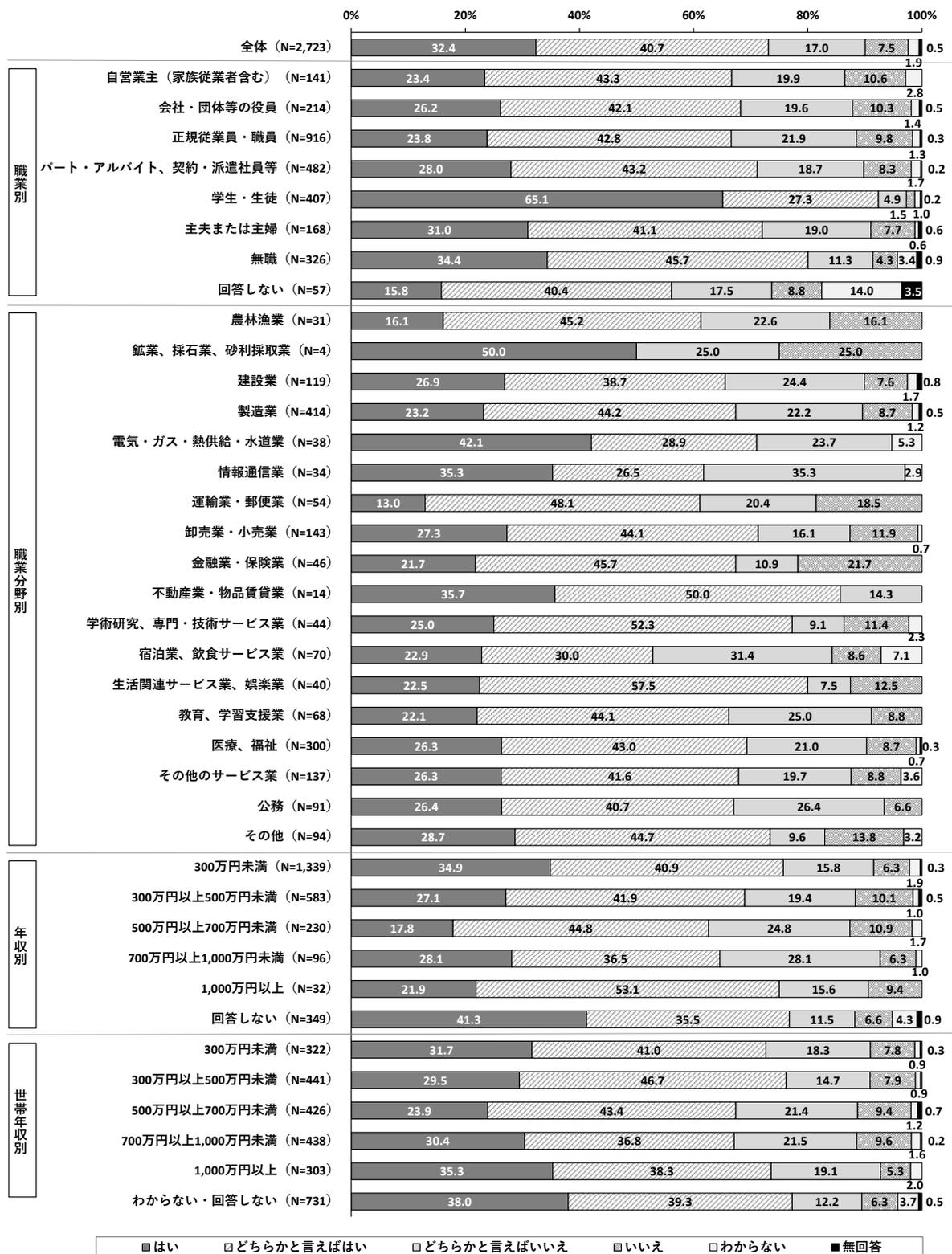
(6) - 3 年収別

「300万円未満」では『はい』が75.8%（うち「はい」が34.9%）と比較的高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

500万円以上1,000万円未満では『はい』が6割台と、他と比べて若干低い。

図表 6-11-3 娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。(職業・年収別)



問6-12 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が60.4%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が36.0%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が87.5%（うち「はい」が61.5%）を占め、他の年代と比べ高い割合を占めている。一方、30歳以上では『はい』が5割台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

「富山地域」では『はい』が6割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が75.0%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が64.6%と、他の居住地環境よりも若干高い。

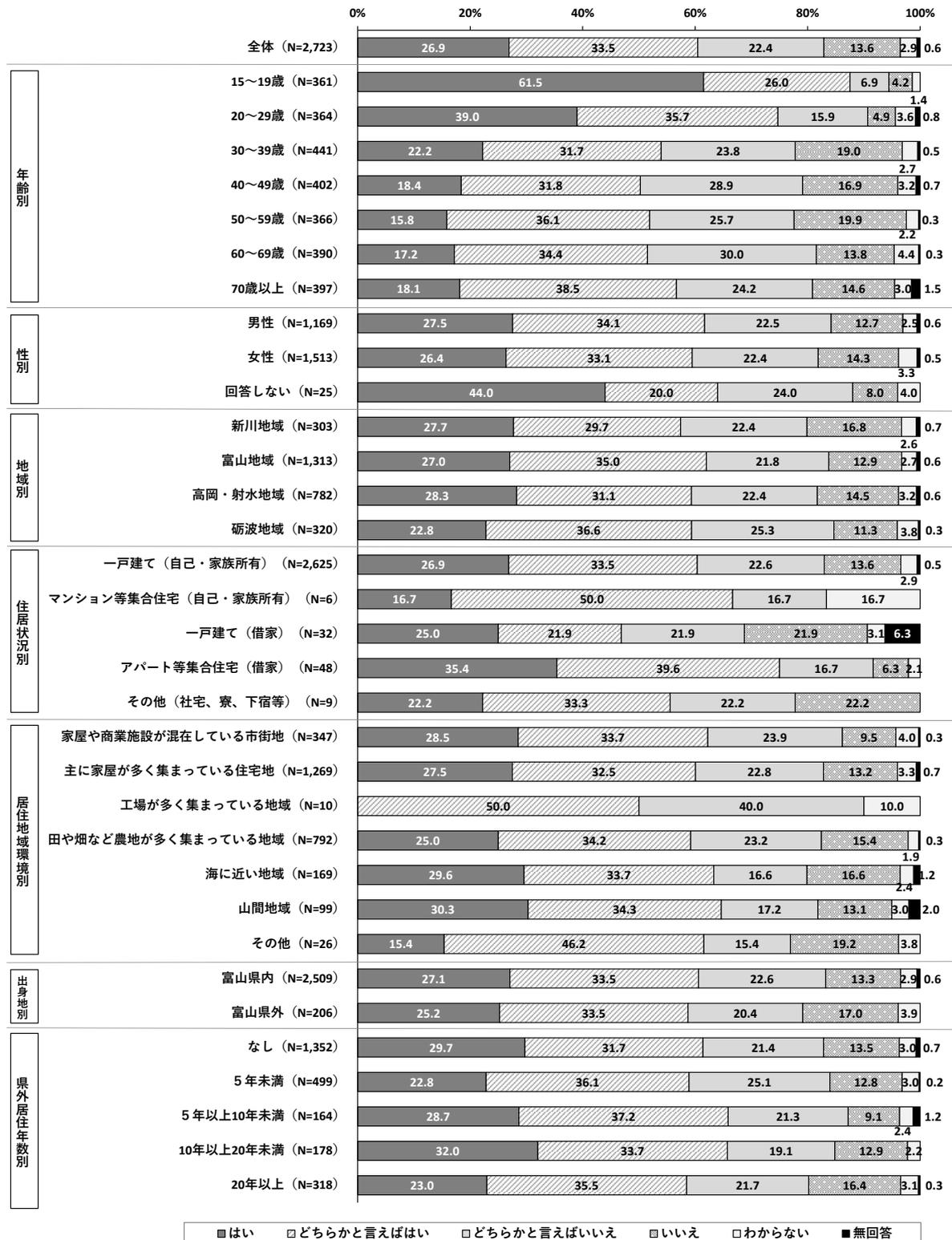
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

「なし」「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」では『はい』が6割台と、他の居住年数よりも高い。

図表 6-12-1 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が75.1%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が74.4%となっている。一方、子どもが「いる」では『いいえ』が45.0%となっている。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

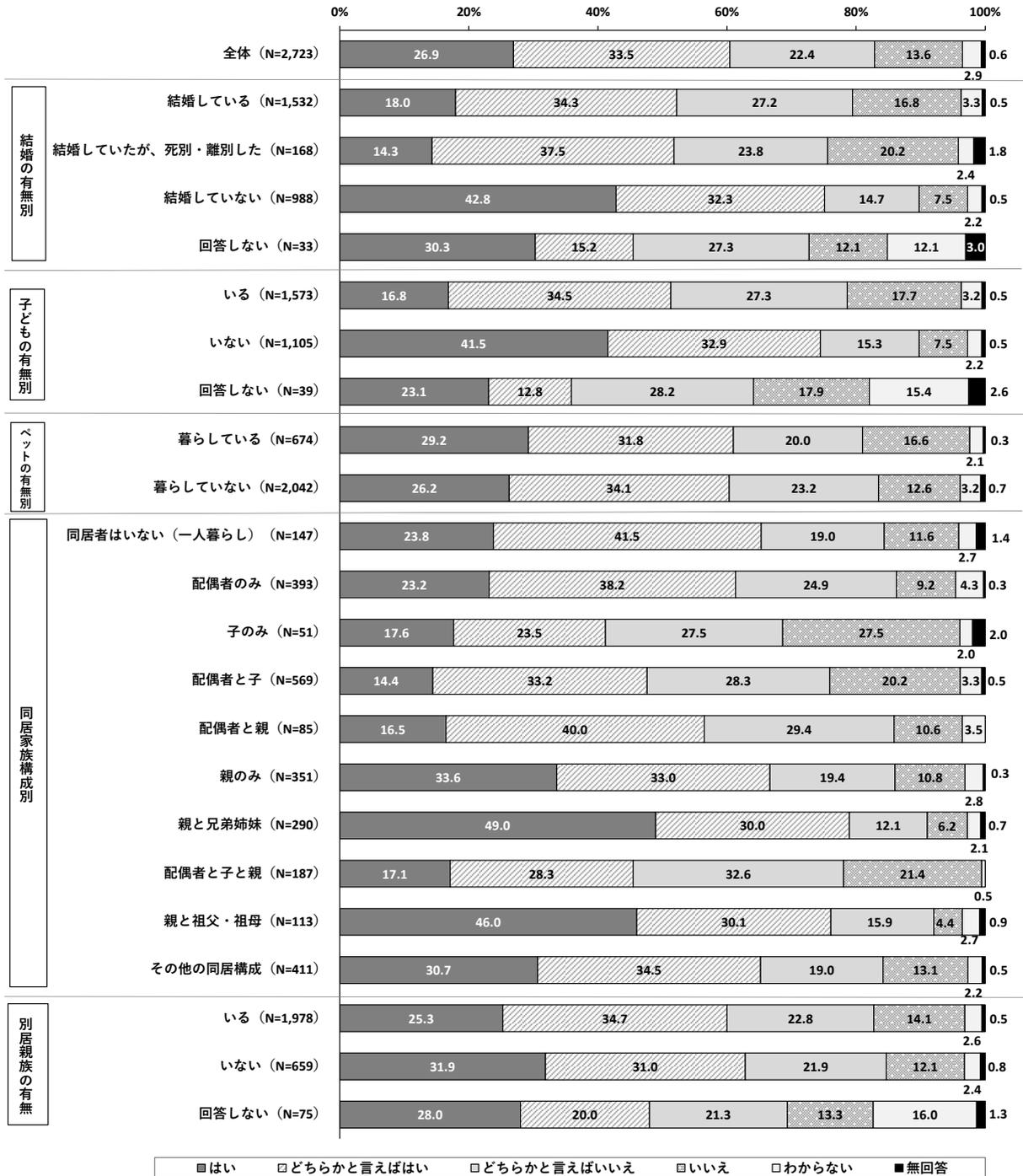
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」と「親と祖父・祖母」では『はい』が7割台と、他よりも高い。一方、「のみ」「配偶者と子と親」では『いいえ』が5割台となっている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いない」では『はい』が62.9%と、「いる」よりも2.9ポイント高い。

図表 6-12-2 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が88.5%（うち「はい」が60.2%）と高い割合を占めている。「無職」では、『いいえ』が41.1%を占めている。

(6) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」では『いいえ』が48.2%と、他の職業分野よりも若干高い。

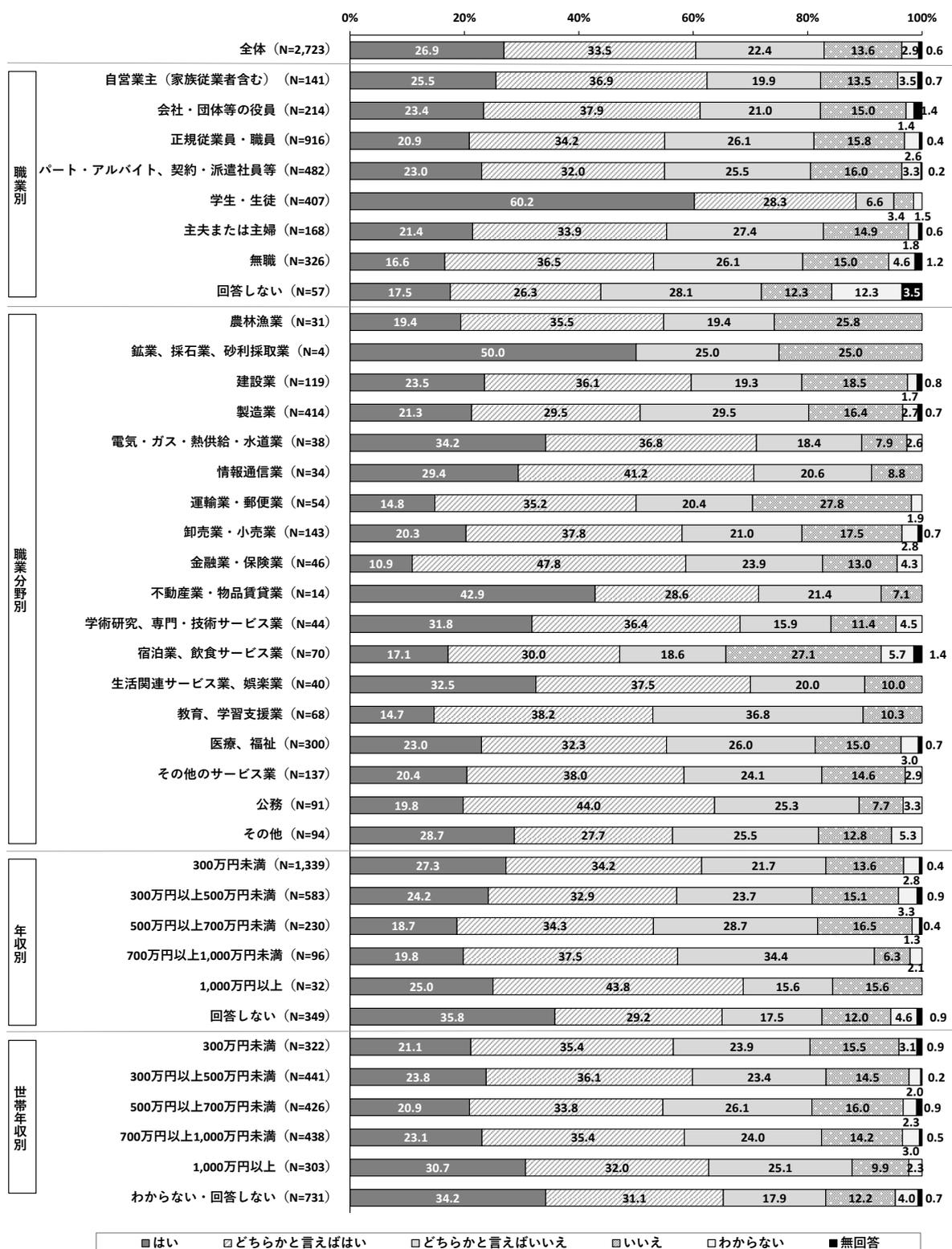
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が68.8%を占め、他と比較して若干高い。

(6) - 4 世帯年収別

「500万円以上700万円未満」では『いいえ』が42.1%を占めており、他よりも若干高くなっている。

図表 6-12-3 時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。(職業・年収別)



問6-13 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が62.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が29.3%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が80.1%を占めている一方で、30～69歳では5割台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

「新川地域」を除くすべての地域で『はい』が6割台となっているが、「富山地域」が他の地域よりも若干高い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が62.5%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

すべての居住地環境で『はい』が6割を超えている。

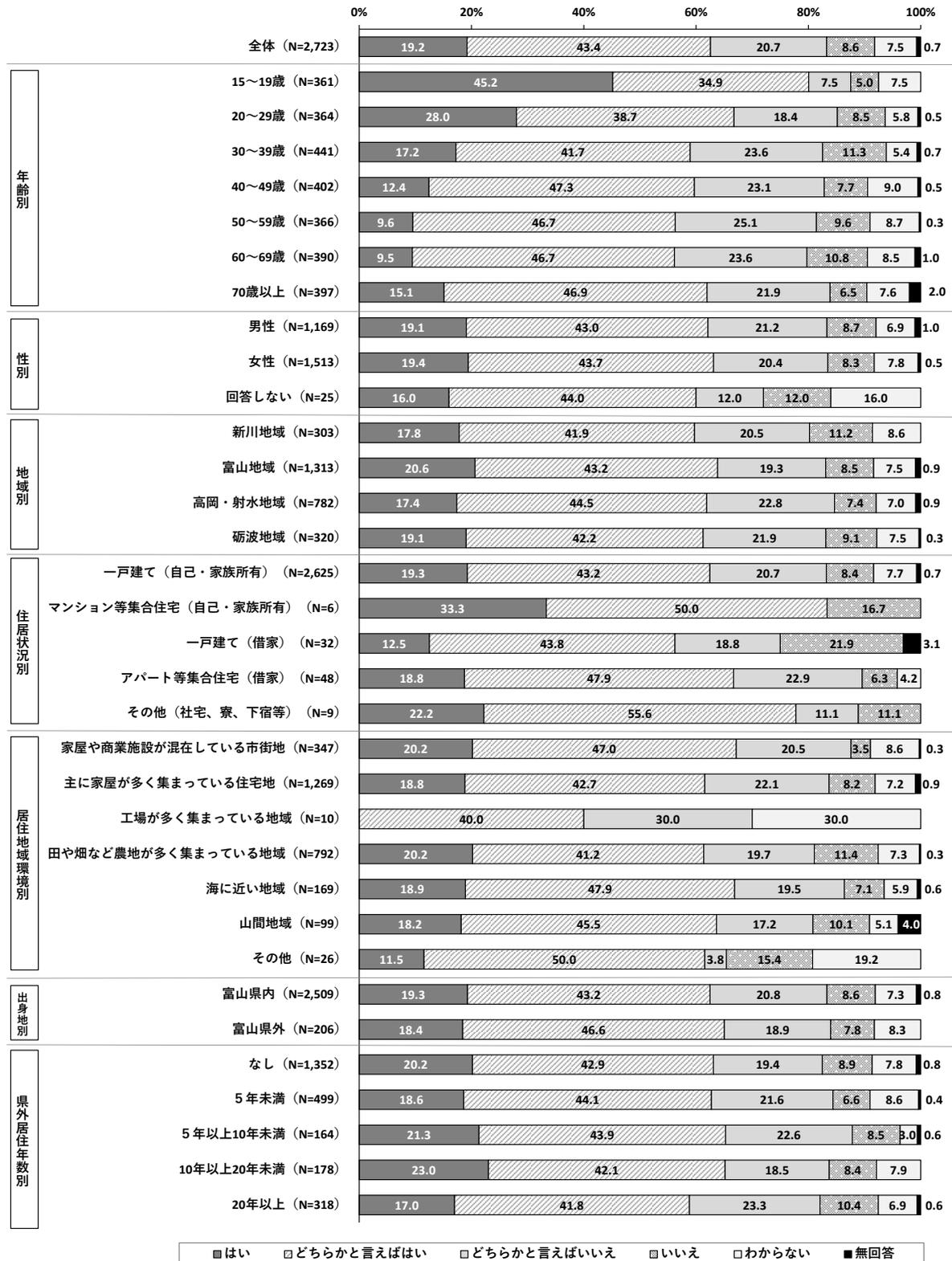
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が4.5ポイント高い。

(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

「20年以上」を除くすべての居住年数で『はい』が6割を超えている。

図表 6-13-1 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。



■はい □どちらかと言えば □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が65.4%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が66.0%と、「いる」よりも5.2ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

『はい』は「暮らしていない」よりも「暮らしている」の方が1.5ポイント高い。

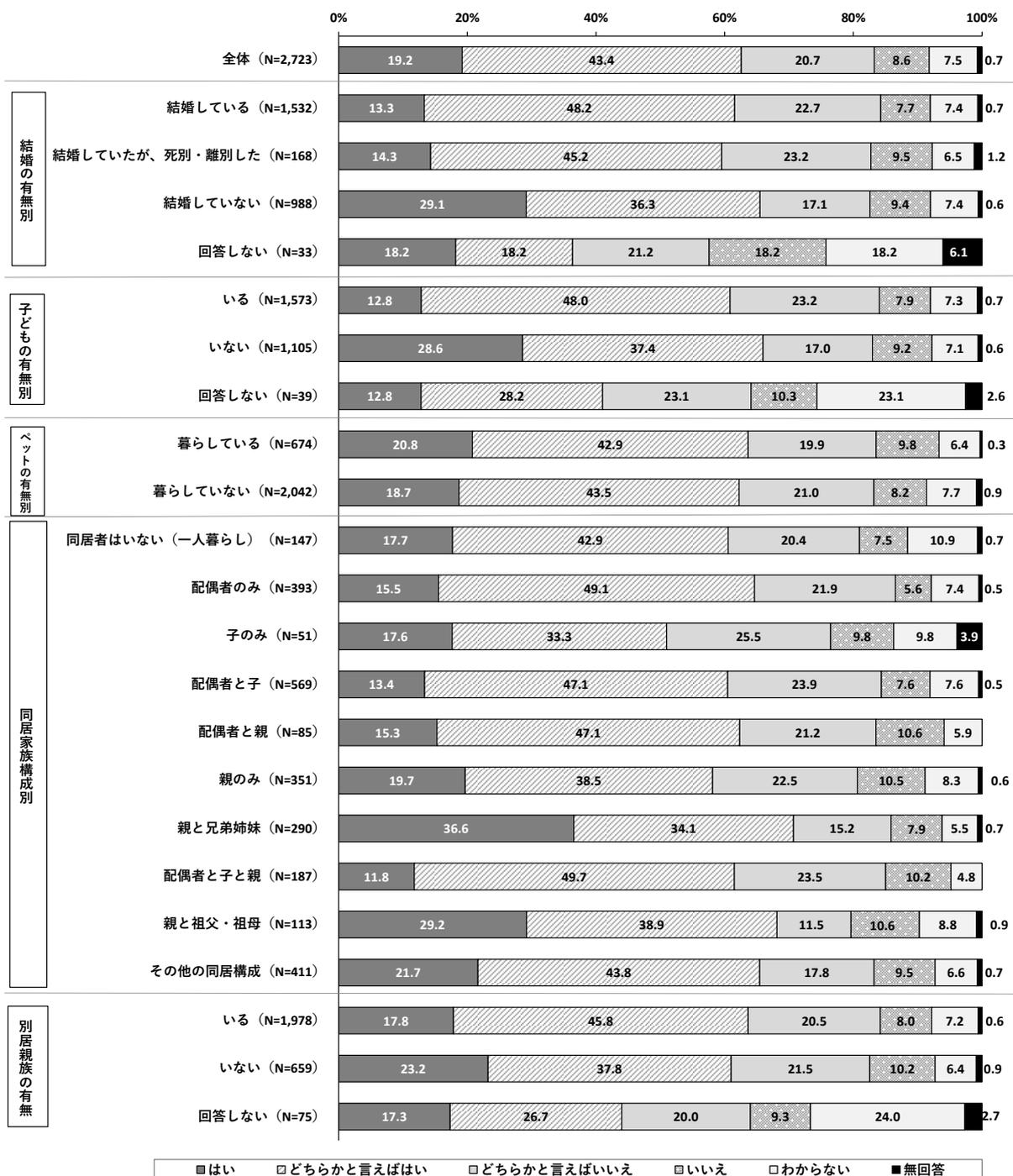
(5) - 3 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」では『はい』が70.7%と、他よりも若干高い。一方、「親のみ」では『はい』が58.2%と、他と比較して若干低い。

(5) - 4 別居親族の有無別

別居親族が「いない」では「はい」が23.2%と、別居親族が「いる」よりも5.4ポイント高い。

図表 6-13-2 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が81.6%（うち「はい」は46.7%）と、他の職業と比較して高い。一方、「無職」では『はい』が47.8%、『いいえ』が40.2%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「学研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」では『はい』が8割台と、他の職業分野よりも高い。

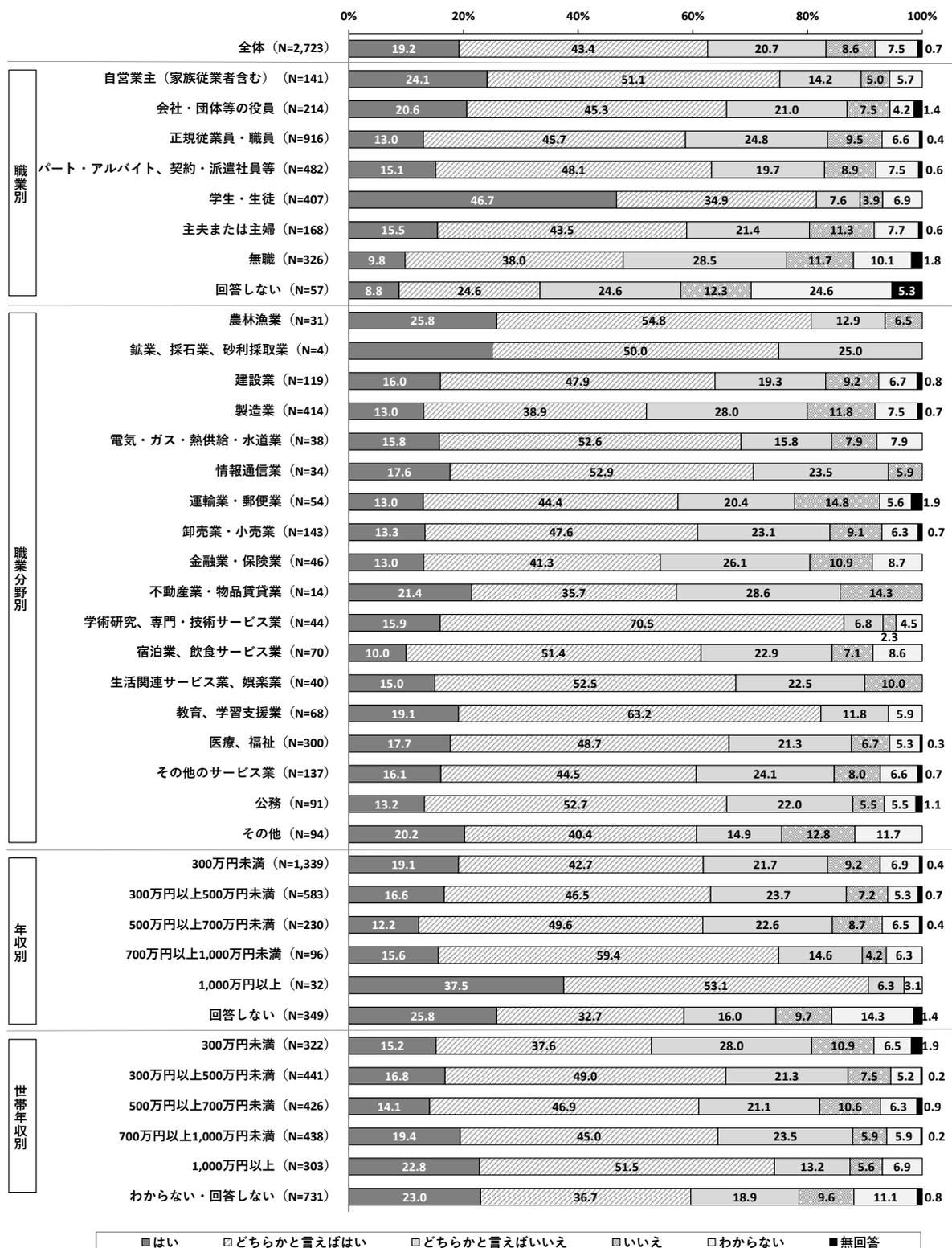
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が90.6%と高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

「1,000万円以上」では『はい』が74.3%を占めている。一方、「300万円未満」では『はい』が52.8%と、他よりも低い。

図表 6-13-3 自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。(職業・年収別)



問6-14 様々な困難があっても、乗り越えていくことができると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が65.1%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は24.6%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が77.1%を占めており、他の年代よりも高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『はい』は「女性」の方が2.7ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が65.2%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「海に近い地域」では『はい』が71.0%と、他の居住地環境と比較して若干高い。

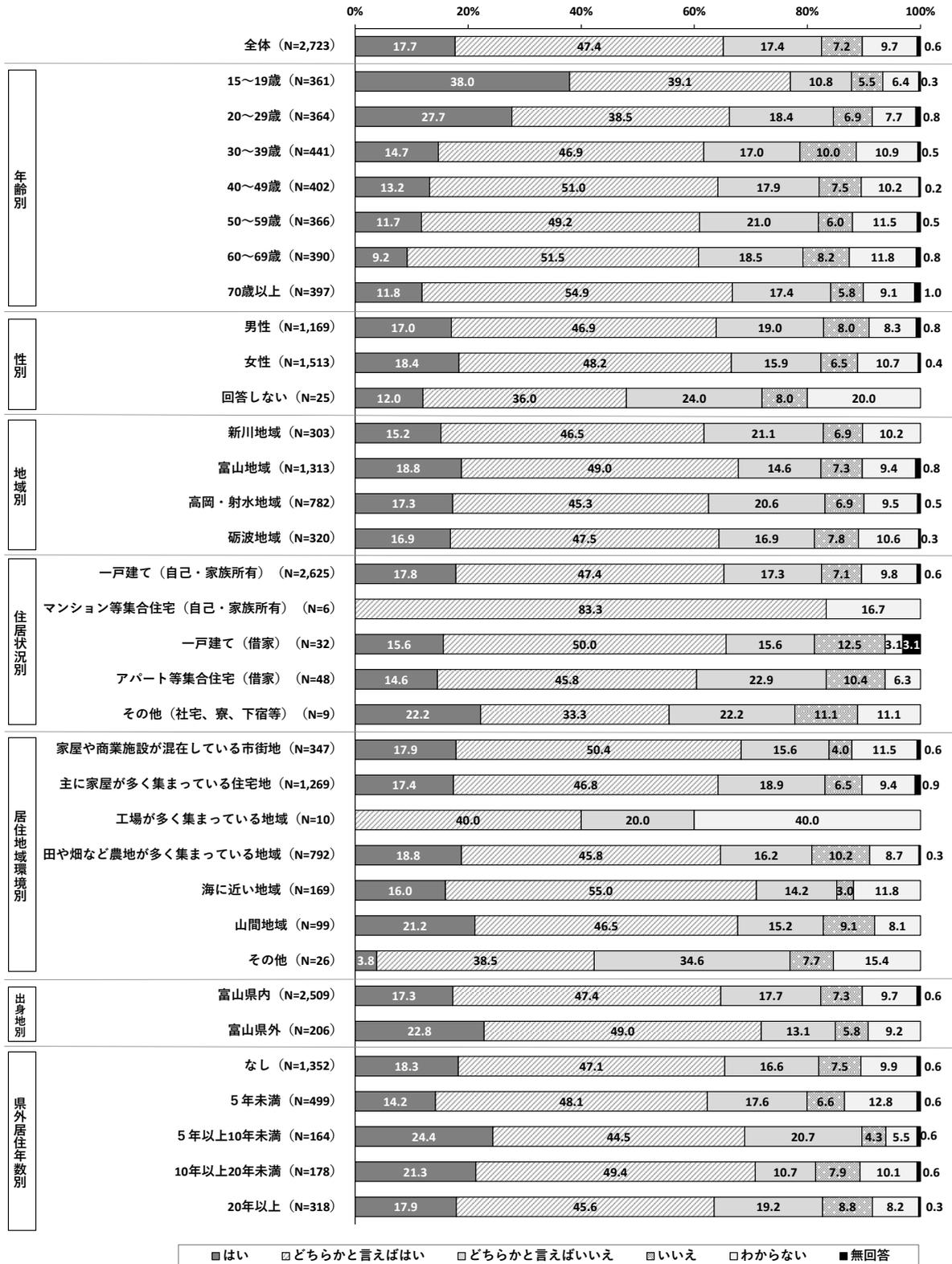
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が7.1ポイント高い。

(4) - 5 - ② 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が6割を超えている。

図表 6-14-1 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。



■ はい □ どちらかと言えばはい □ どちらかと言えばいいえ □ いいえ □ わからない ■ 無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「はい」が25.3%と、「結婚している」よりも11.8ポイント高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が24.6%と、子どもが「いる」よりも11.6ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

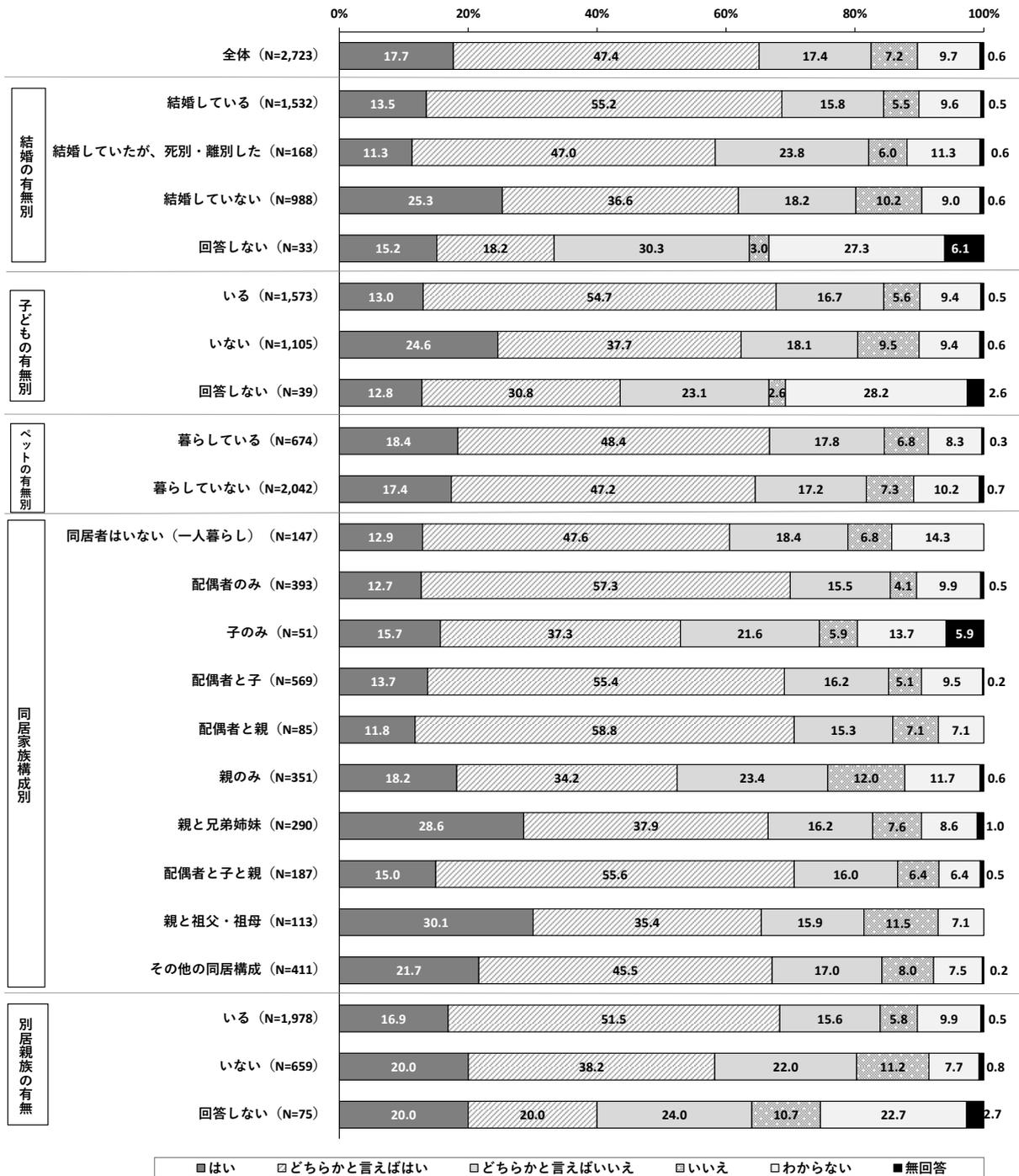
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者と親」「配偶者と子と親」では『はい』が各70.6%と、ともに他よりも高い。一方、「子のみ」「親のみ」では5割台と、他と比較して若干低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が68.4%と、別居親族が「いない」よりも10.2ポイント高い。

図表 6-14-2 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が77.9%（うち「はい」が39.3%）を占め、他の職業と比較して若干高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が55.9%と、他の職業と比べて低い。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「学研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が8割台と、他の職業分野と比べて高い。

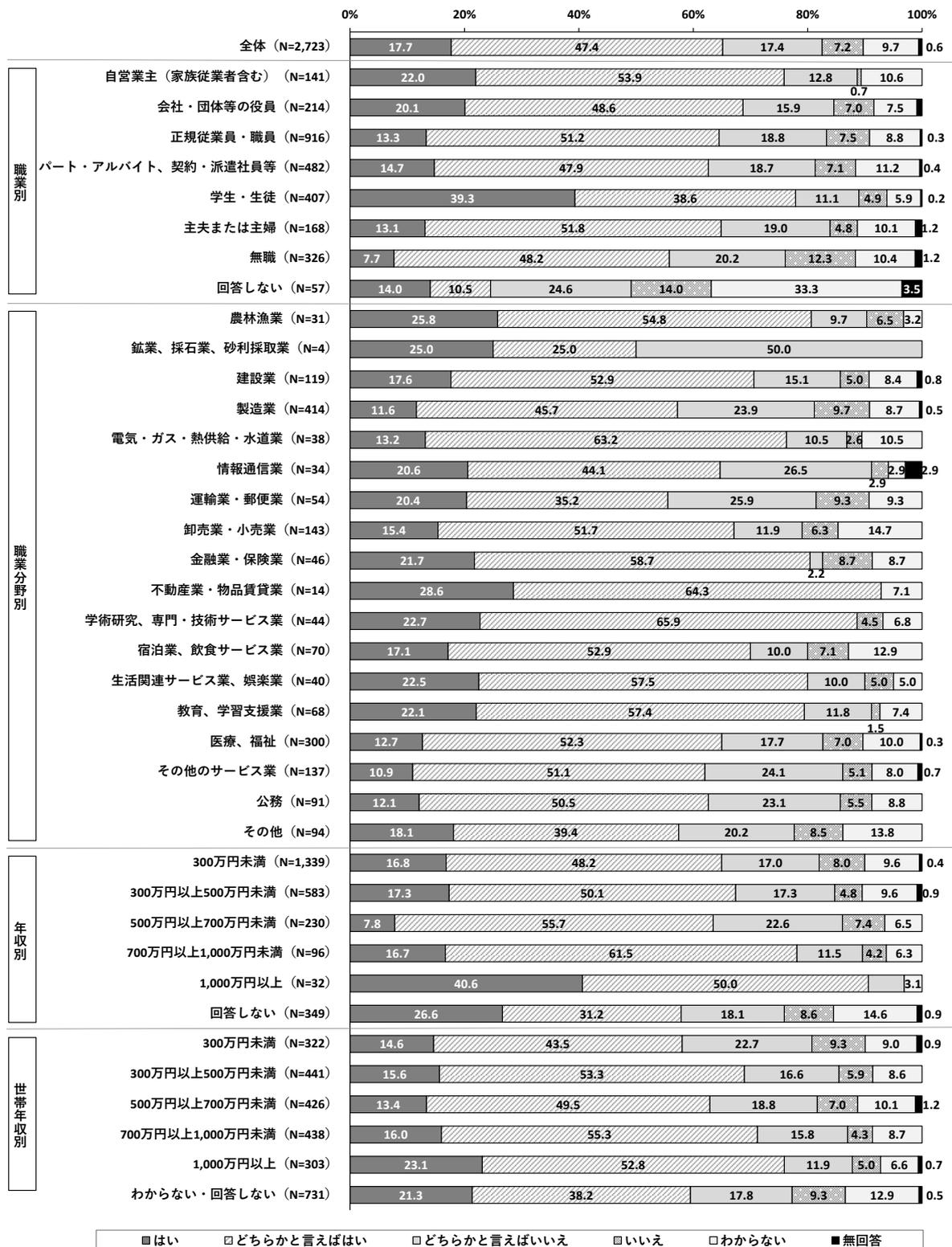
(6) - 3 年収別

700万円以上では『はい』が7割台と、他の年収と比べて高い。

(6) - 4 世帯年収別

700万円以上では『はい』が7割台と、他の世帯年収と比べて高い。

図表 6-14-3 様々な困難があっても、乗り越えていくことができていると感じている。
(職業・年収別)



問6-15 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が48.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が44.3%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が79.5%と高い割合を占めているが、「50～59歳」「60～69歳」では4割を下回っている。

(3) 性別

「男性」では『はい』が50.0%と、「女性」よりも2.0ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「高岡・射水地域」では『はい』が44.9%と、他の地域よりも低くなっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

サンプル数が多い「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が48.8%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が59.6%と、他の居住地環境よりも高くなっている。

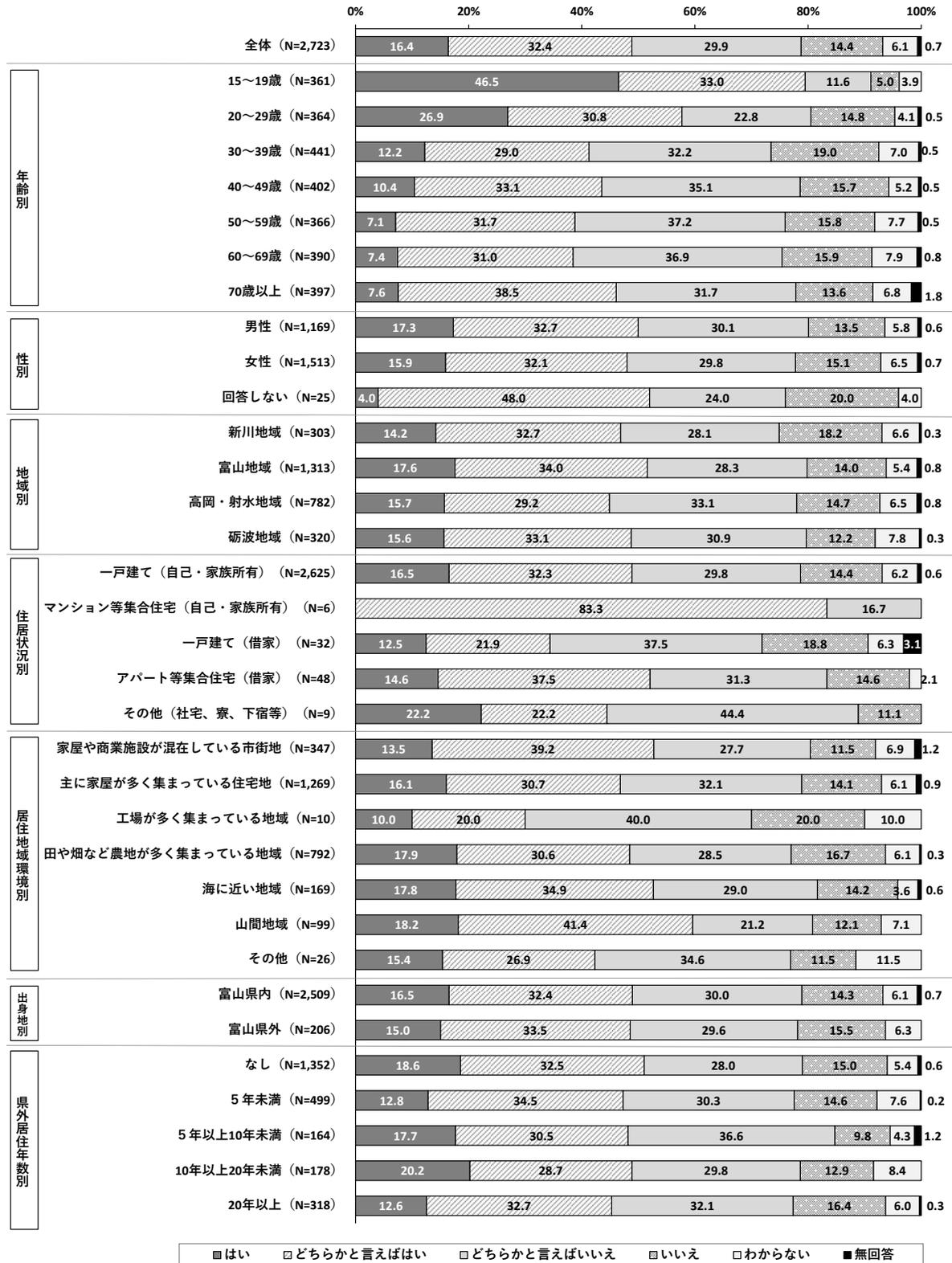
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 5 県外での居住年数別

「なし」では『はい』が51.1%と、他と比べて若干高い。

図表 6-15-1 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。



■ はい □ どちらかと言えばいい □ どちらかと言えはいいえ □ いいえ □ わからない ■ 無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「はい」が28.1%と、「結婚している」より18.4ポイント高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が26.5%を占め、「いる」より17.1ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

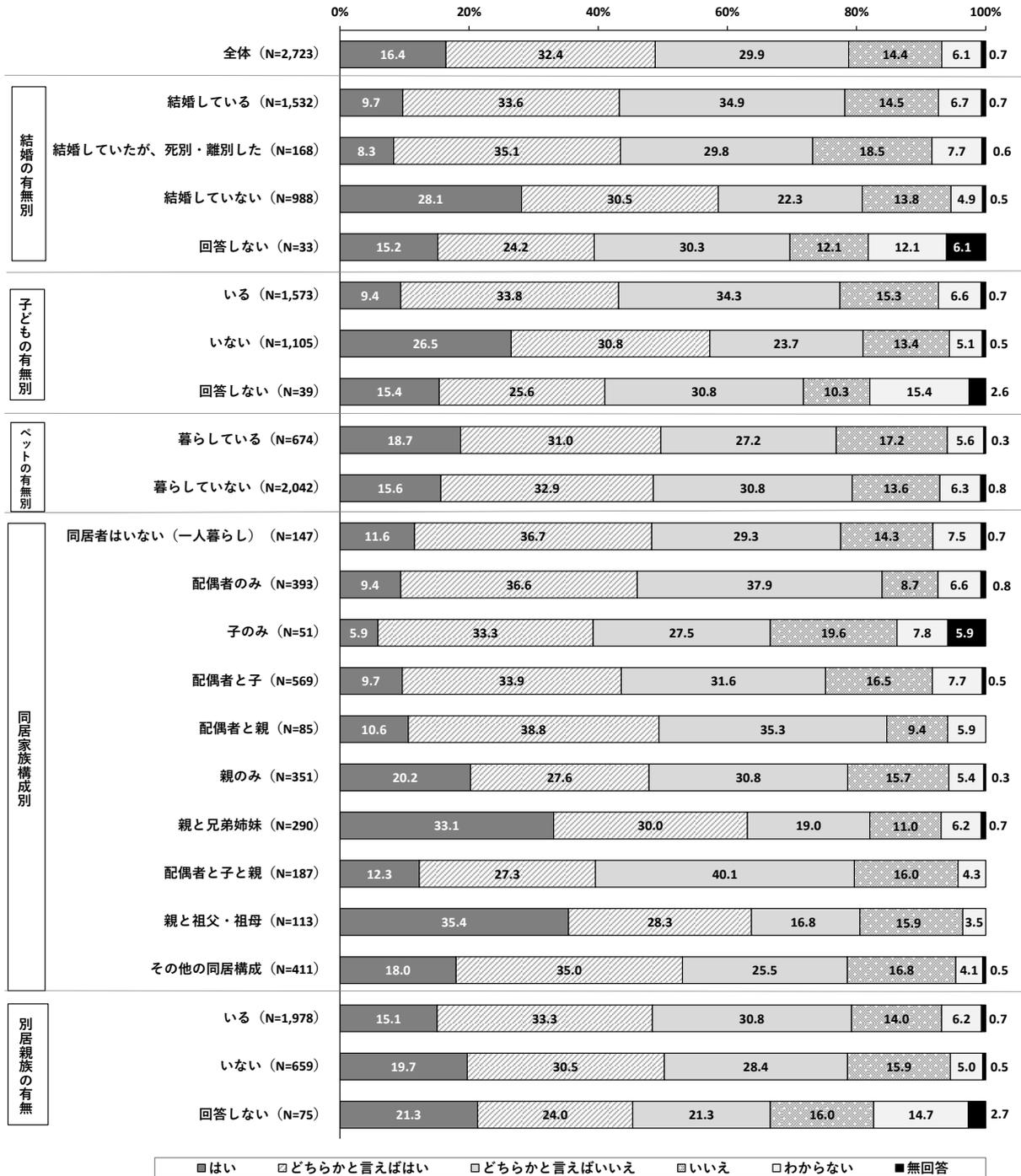
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では『はい』が6割台と、他と比較して高い。一方、「配偶者と子と親」では『はい』が39.6%と、他と比較して低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の有無で大きな差は見られない。

図表 6-15-2 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が79.4%（うち「はい」が47.2%）を占めている。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「主夫または主婦」「無職」では『いいえ』が5割台となっている。

(6) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が72.8%と、他の職業分野よりも高い。一方、「製造業」「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が3割台となっている。

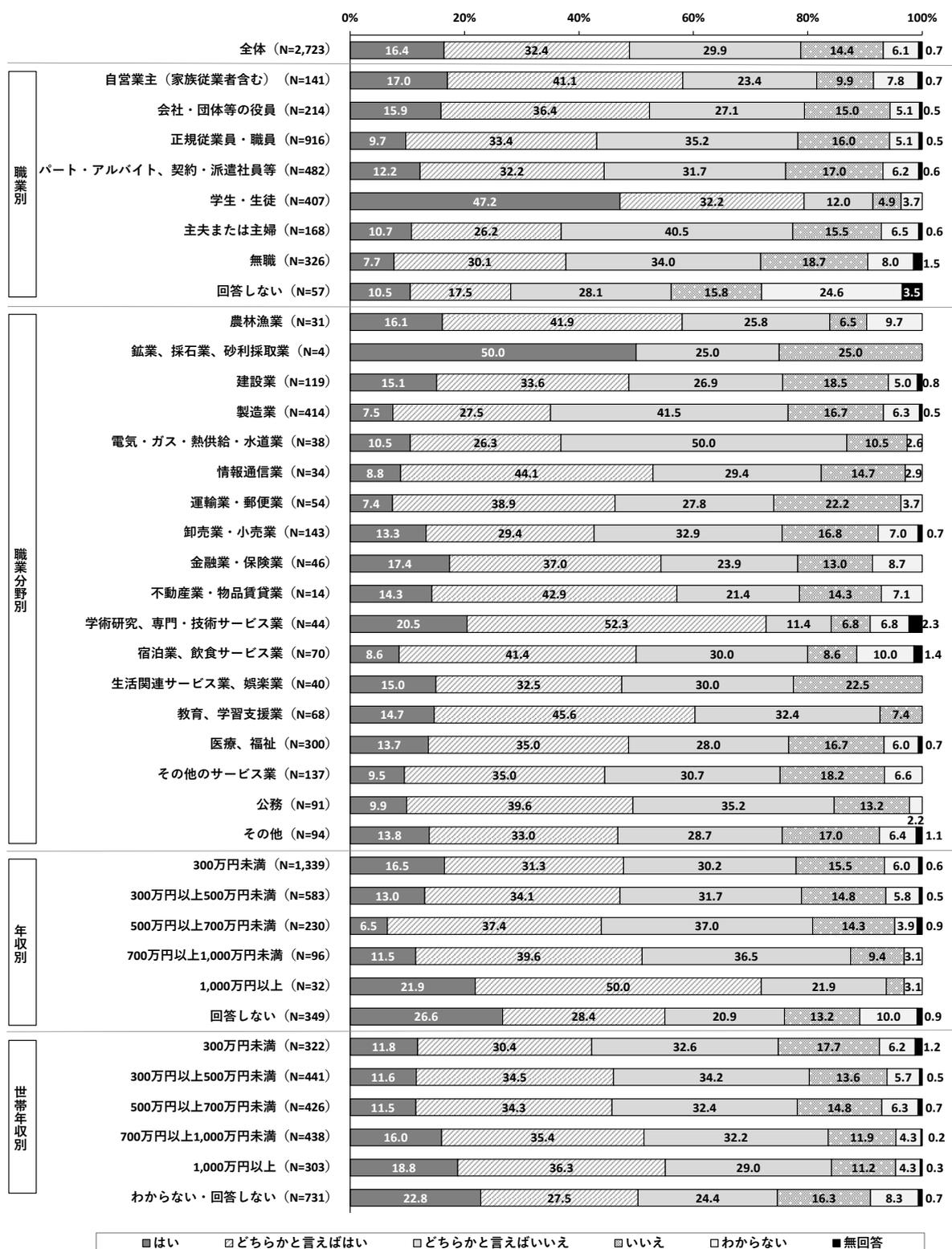
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が71.9%と他と比べて高くなっている。

(6) - 4 世帯年収別

「1,000万円以上」では『はい』が55.1%を占めており、他の世帯年収よりも若干高い。

図表 6-15-3 夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。(職業・年収別)



問6-16 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が43.0%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が48.1%と、『いいえ』の方が5.1ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が72.1%であるものの、30歳代以上では5割を下回っている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 地域別

「富山地域」では『はい』が45.8%と他の地域と比べて高くなっている。一方、「新川地域」では『はい』が35.3%と他と比べて低くなっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『いいえ』が48.0%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

すべての居住地環境で『はい』が4割台となっている。

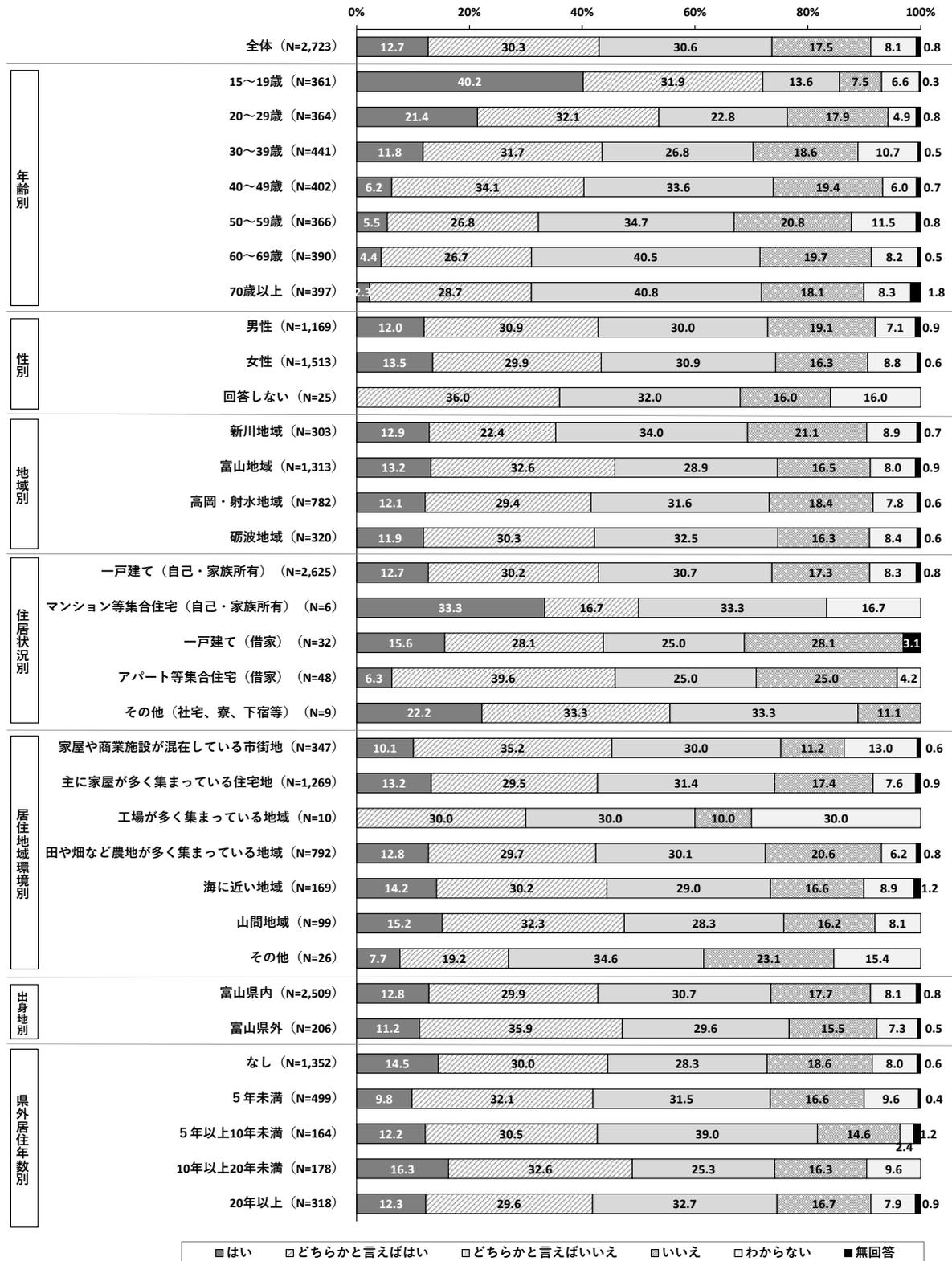
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が4.4ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「10年以上20年未満」では『はい』が48.9%と、他の居住年数よりも若干高い。

図表 6-16-1 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。



はい
 どちらかと言えばはい
 どちらかと言えばいいえ
 いいえ
 わからない
 無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が61.9%と、他と比較して高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が48.0%と、「いる」よりも8.1ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

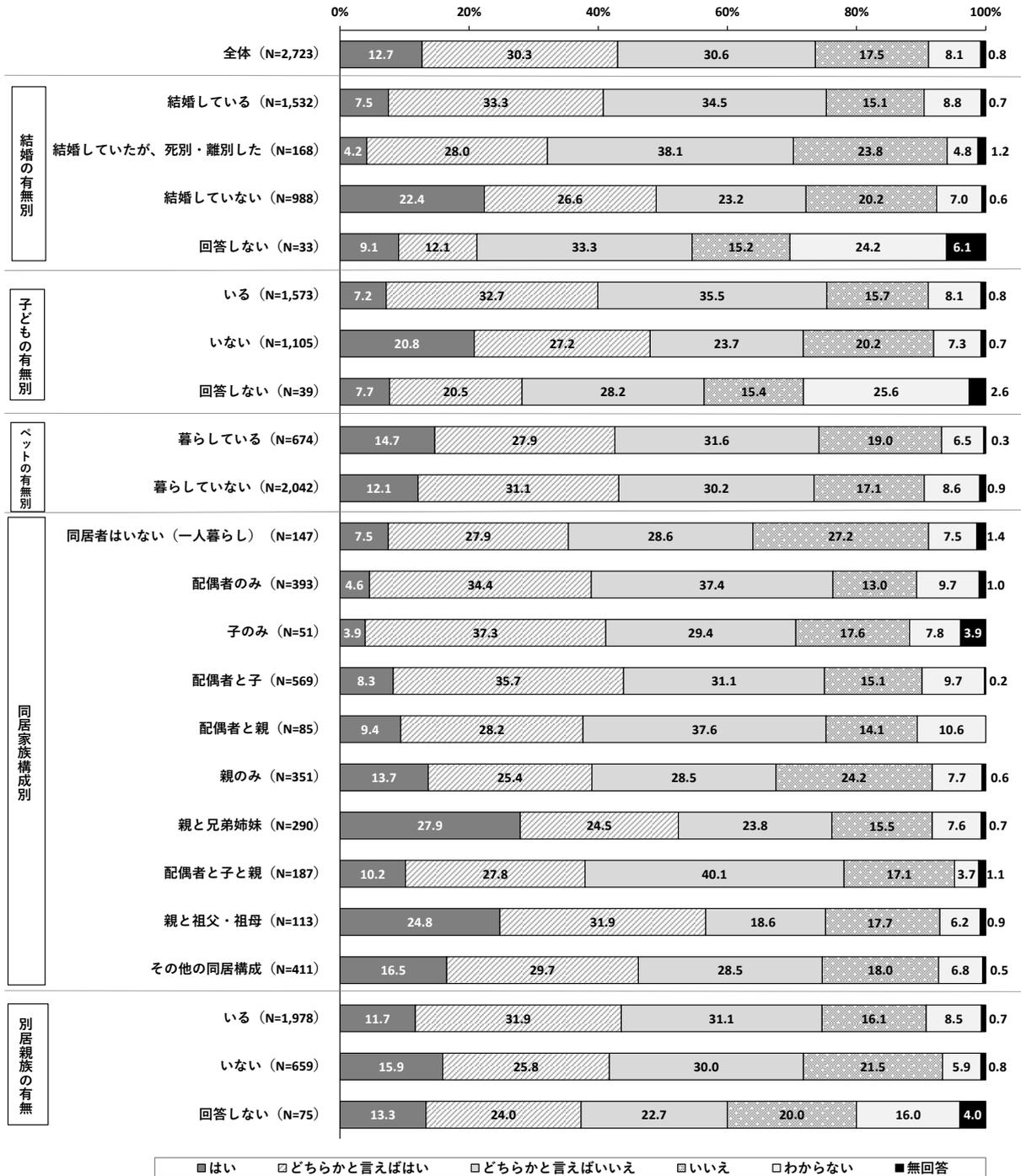
(5) - 4 同居家族の構成別

「親と兄弟姉妹」と「親と祖父・祖母」では『はい』が5割台と、他よりも若干高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では『いいえ』が55.8%と、他よりも高くなっている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が47.2と、「いない」よりも1.9ポイント高い。

図表 6-16-2 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が71.5%を占めている。一方、「無職」では『いいえ』が63.5%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「情報通信業」「金融業・保険業」「教育、学習支援業」では『はい』が5割台となっている。一方、「学術研究、専門・技術サービス業」では、『はい』が61.4%と他よりも高い。

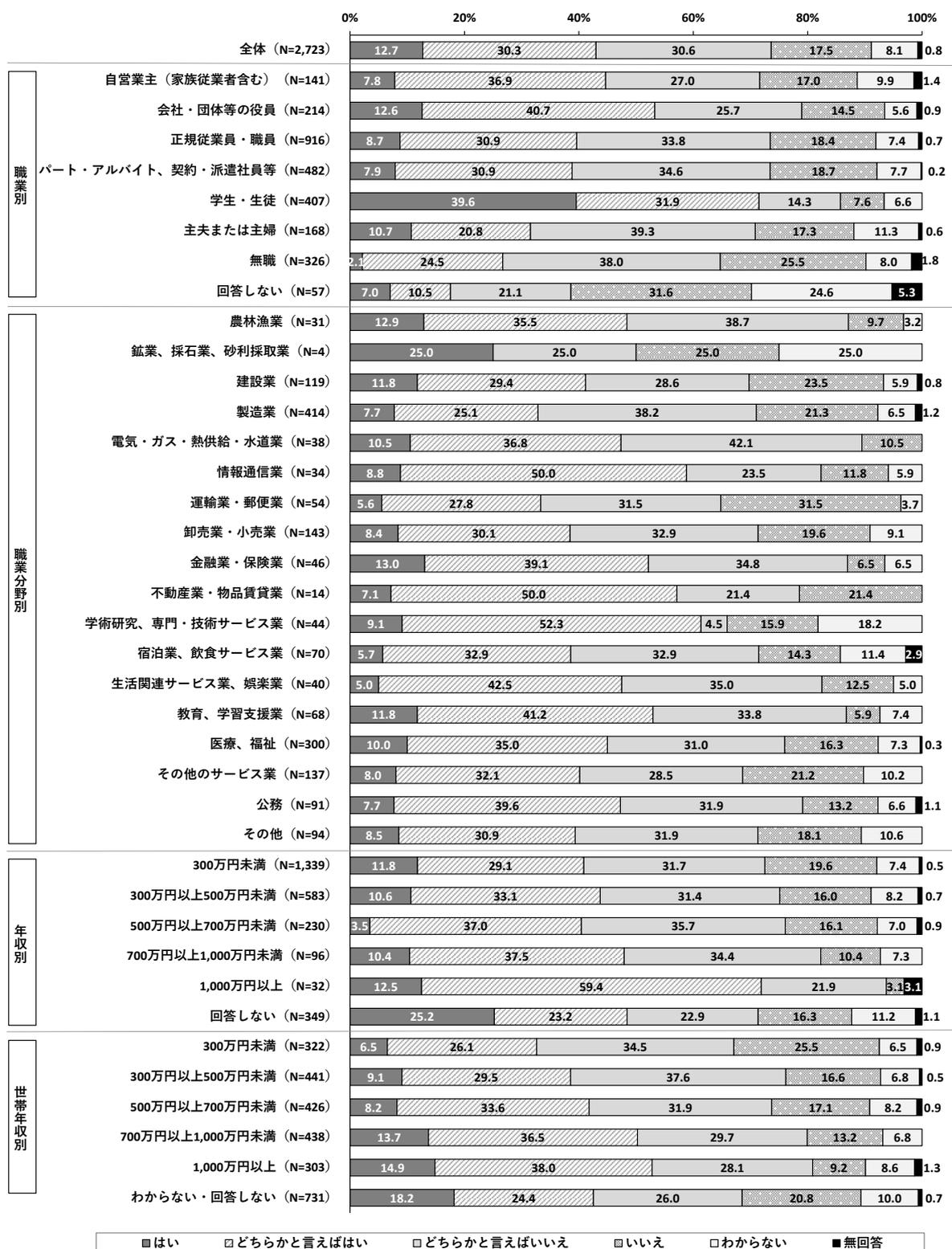
(6) - 3 年収別

「300万円未満」「500万円以上700万円未満」では『いいえ』が5割台を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では52.9%となっている。

図表 6-16-3 将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。(職業・年収別)



問6-17 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が90.2%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は8.0%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が8割を超えている。特に、40歳代以下では9割を超えている。

(3) 性別

「女性」では「はい」が49.2%と高い割合を占めている。『はい』は「男性」よりも「女性」の方が8.1ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えており、「高岡・射水地域」を除くすべての地域で9割以上となっている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が90.1%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

どの地域環境でも『はい』が8割を超えている。「山間地域」では「はい」が48.5%と、他の地域環境よりも高い割合を占めている。

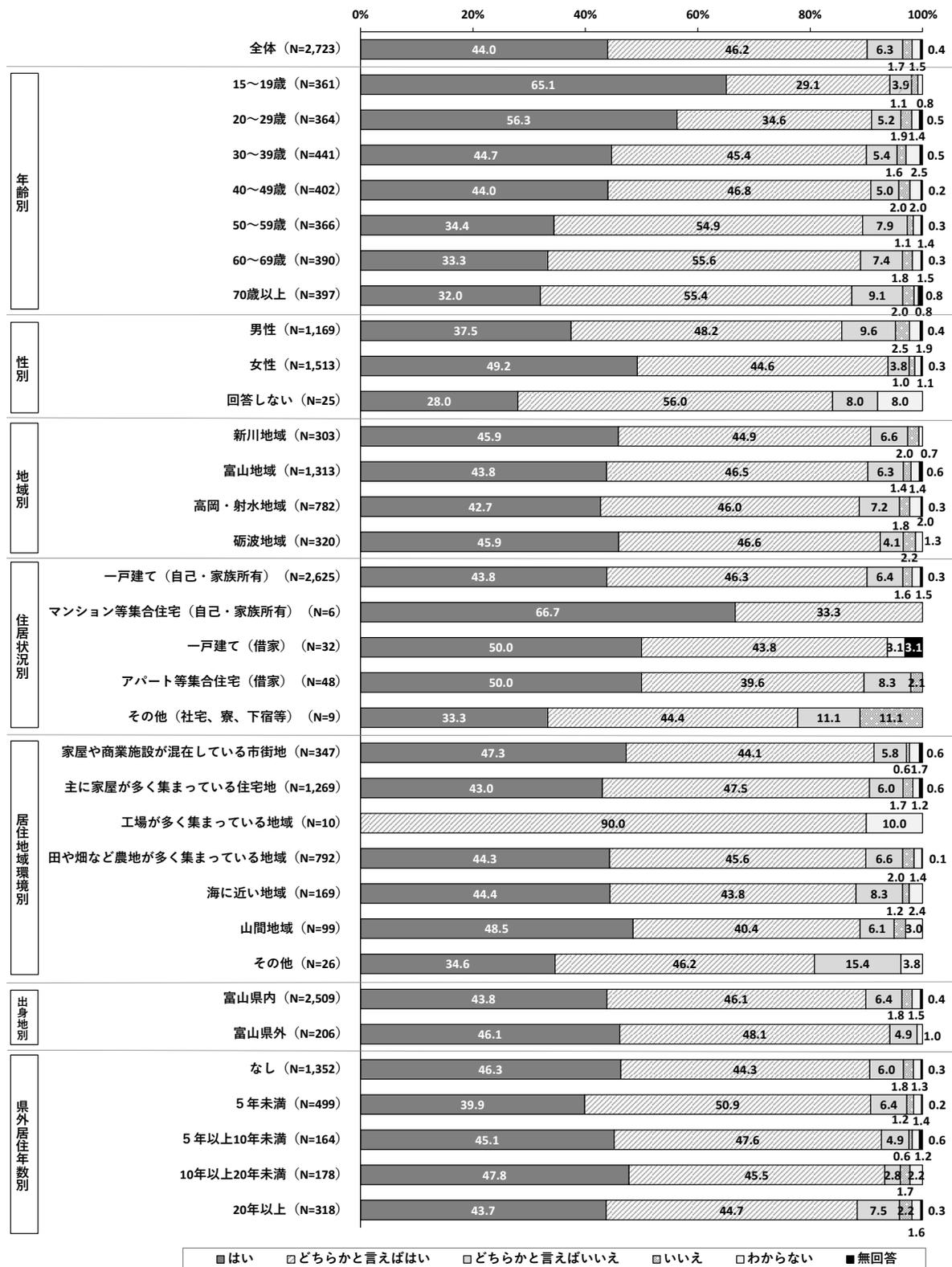
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が4.3ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「20年以上」を除くすべての居住年数で『はい』が9割を超えている。

図表 6-17-1 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が91.3%と、他よりも若干高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が51.0%と、「いる」よりも11.5ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットと「暮らしている」では『はい』が92.2%と、「暮らしていない」よりも3.2ポイント高い。

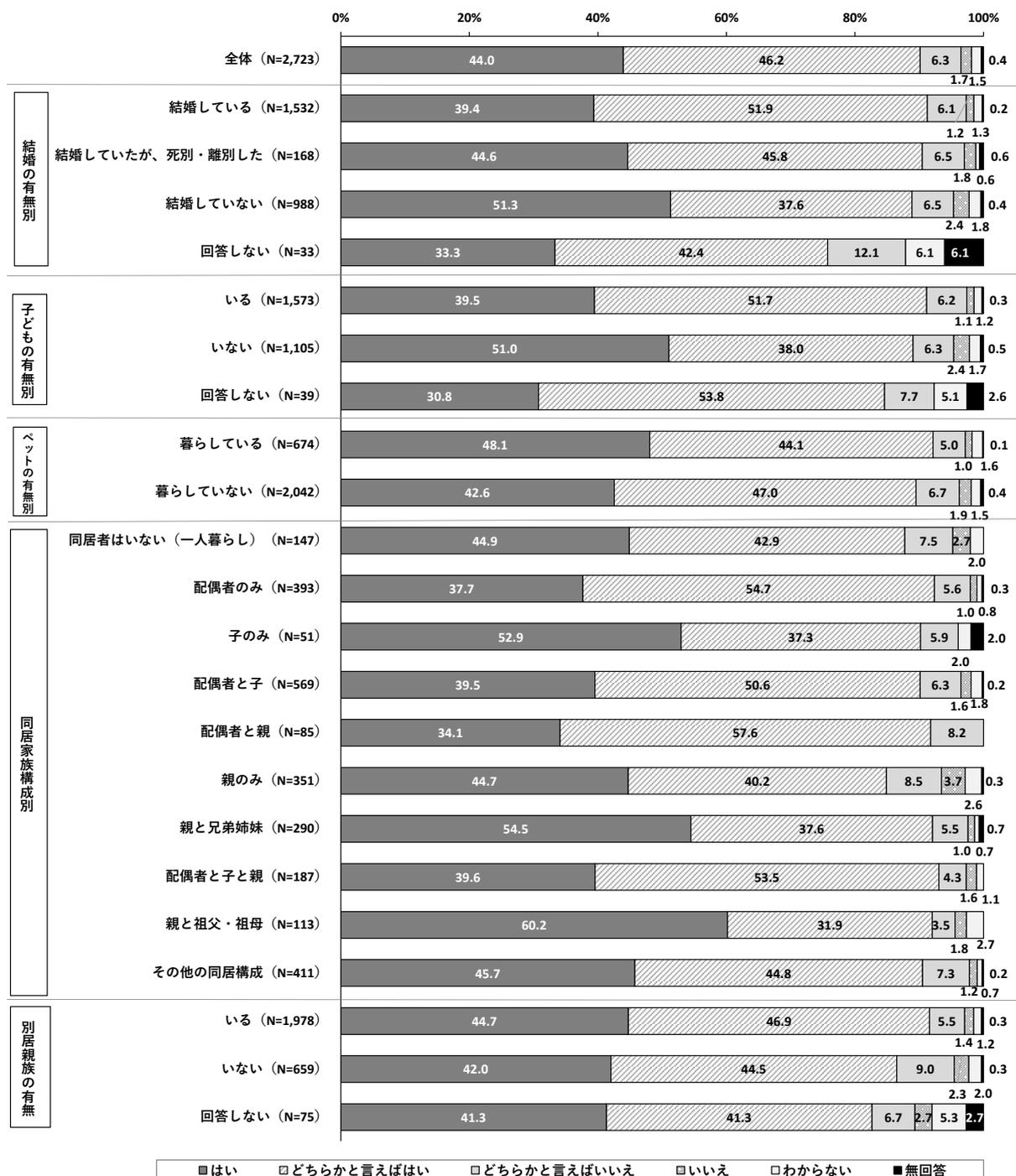
(5) - 4 同居家族の構成別

「同居者はいない（一人暮らし）」「親のみ」を除くすべてで『はい』が9割を超えている。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が91.6%と、「いない」よりも5.1ポイント高い。

図表 6-17-2 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」「会社・団体等の役員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「学生・生徒」「主夫または主婦」では『はい』が9割台となっている。一方、「無職」では『はい』が82.3%と、他の職業よりも低い。

(6) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」を除くすべての職業分野で『はい』が8割を超えており、「建設業」「金融業・保険業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では9割台を占めている。

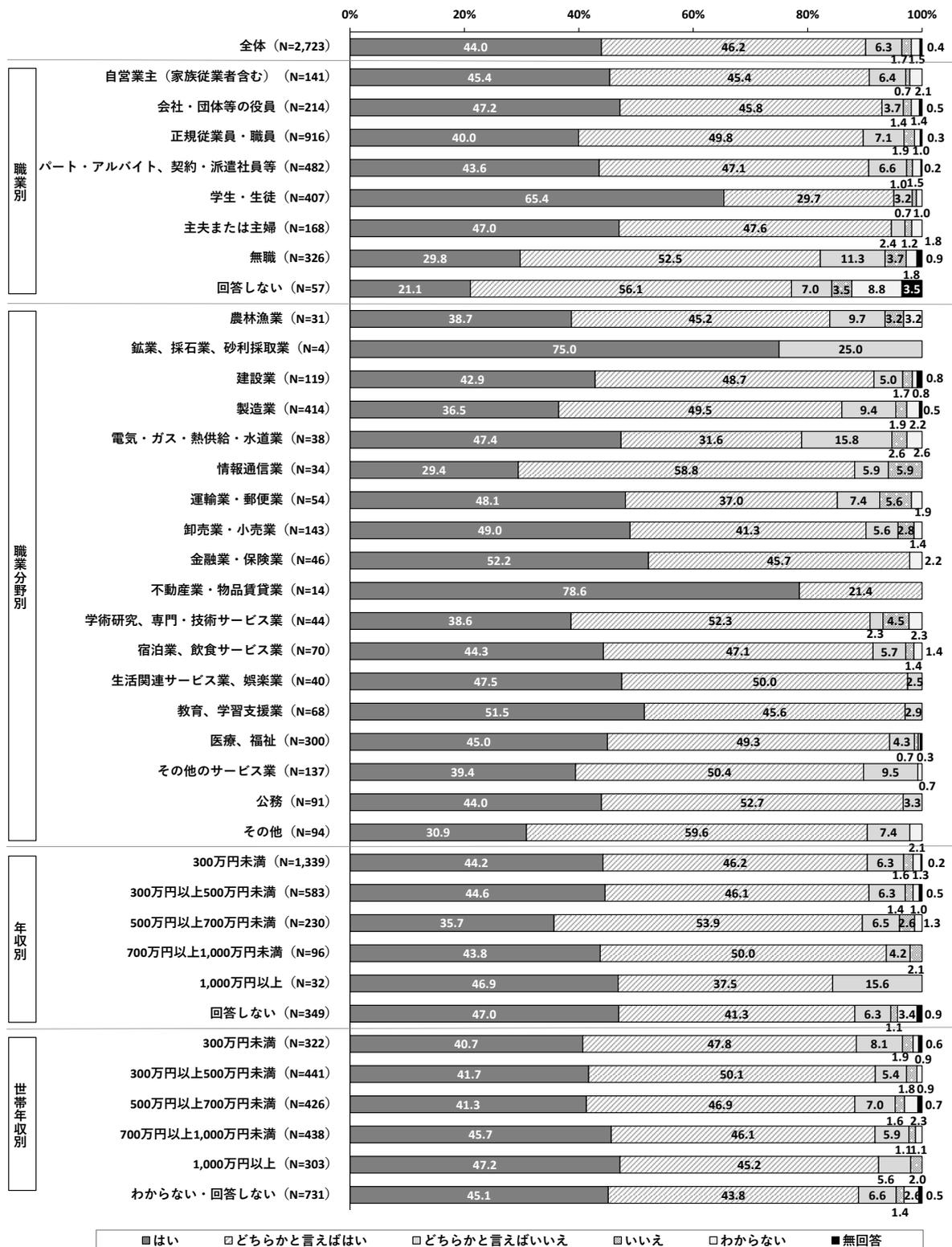
(6) - 3 年収別

すべての年収で『はい』が8割を超えており、「700万円以上1,000万円未満」では93.8%と高い割合を占めている。

(6) - 4 世帯年収別

すべての世帯年収で『はい』が8割を超えており、「300万円以上500万円未満」と700万円以上では9割台となっている。

図表 6-17-3 他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。
(職業・年収別)



問6-18 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が76.8%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は15.5%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」「20～29歳」「40～49歳」では『はい』が8割を超えている。特に、「15～19歳」では「はい」が50.4%と高い割合を占めている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が80.4%と、「男性」よりも8.0ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が76.9%となっている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「山間地域」を除くすべてで『はい』が7割を超えている。一方、「山間地域」では『はい』が68.7%と他よりも低くなっている。

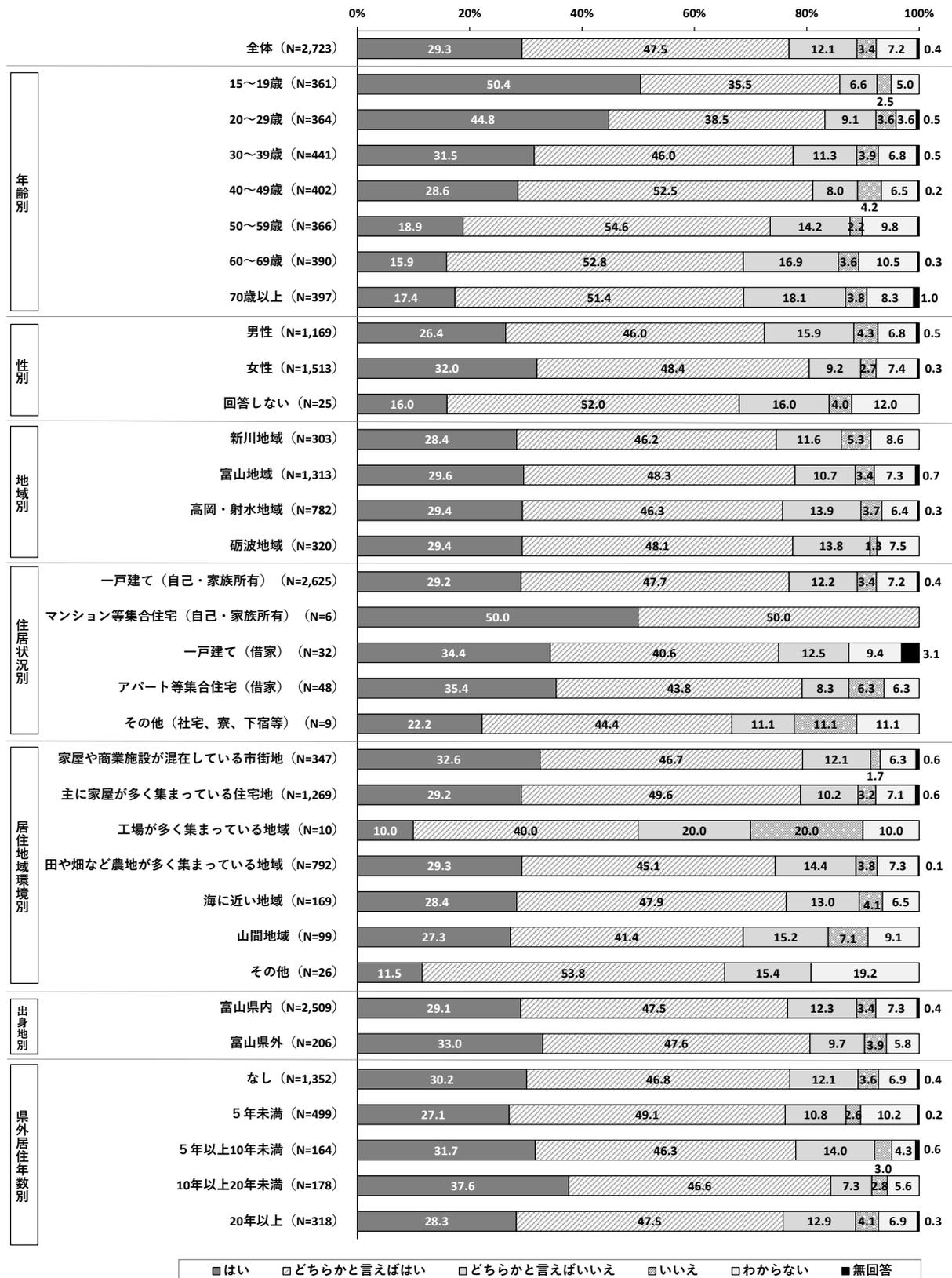
(4) - 4 出身地別

『はい』は「富山県内」よりも「富山県外」の方が4.0ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

「10年以上20年未満」では『はい』が84.2%を占めている。

図表 6-18-1 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

結婚の有無で大きな差は見られない。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が37.2%と、「いる」よりも13.0ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、「暮らしている」では『はい』が79.3%と、「暮らしていない」よりも3.3ポイント高い。

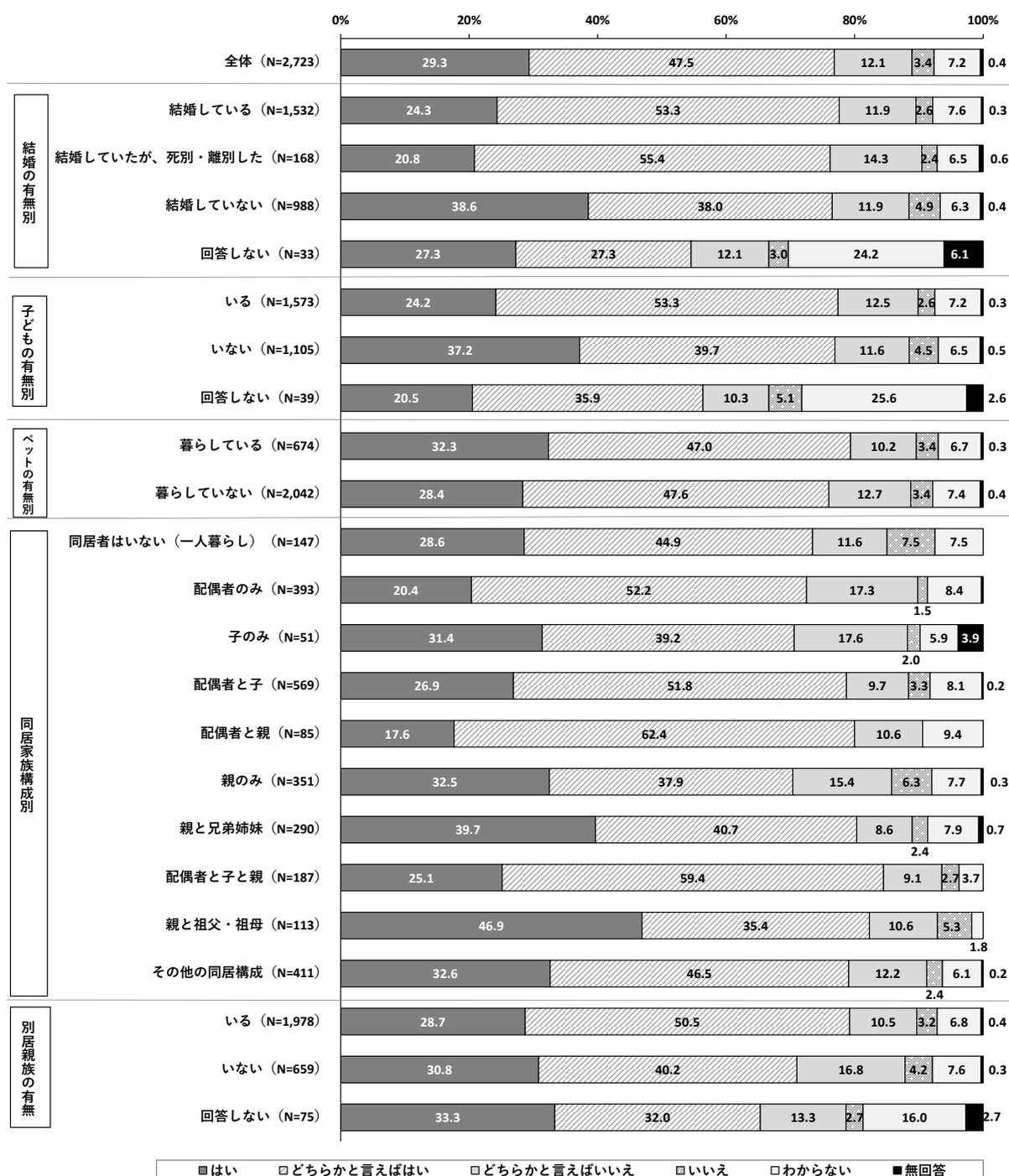
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者と子と親」では『はい』が84.5%と、他よりも若干高い。一方、「親のみ」では『はい』が70.4%と、他と比べて低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が79.2%と、「いない」よりも8.2ポイント高い。

図表 6-18-2 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。
(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が87.0%（うち「はい」が51.6%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が58.6%、『いいえ』が29.4%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が90.0%と、他の職業分野よりも高い割合を占めている。

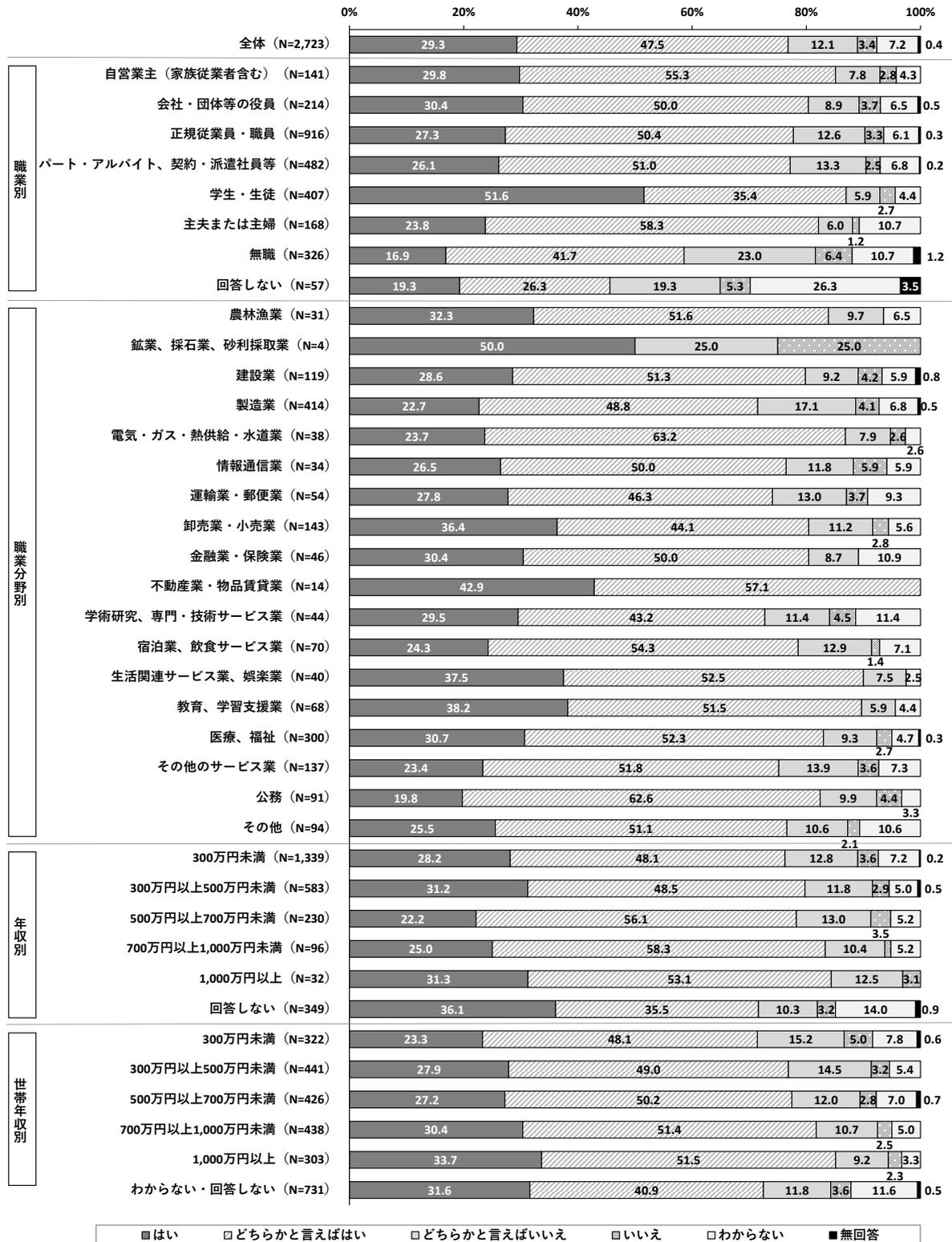
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が84.4%を占め、他と比べて高くなっている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では85.2%と高い割合を占めている。

図表 6-18-3 他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。
(職業・年収別)



問6-19 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が85.2%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は9.0%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が92.5%と高い割合を占めている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が89.1%と、「男性」よりも8.7ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。

(4) - 2 現在の住居状況別

「アパート等集合住宅（借家）」では『はい』が93.7%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

すべての居住地環境で『はい』が8割台となっている。

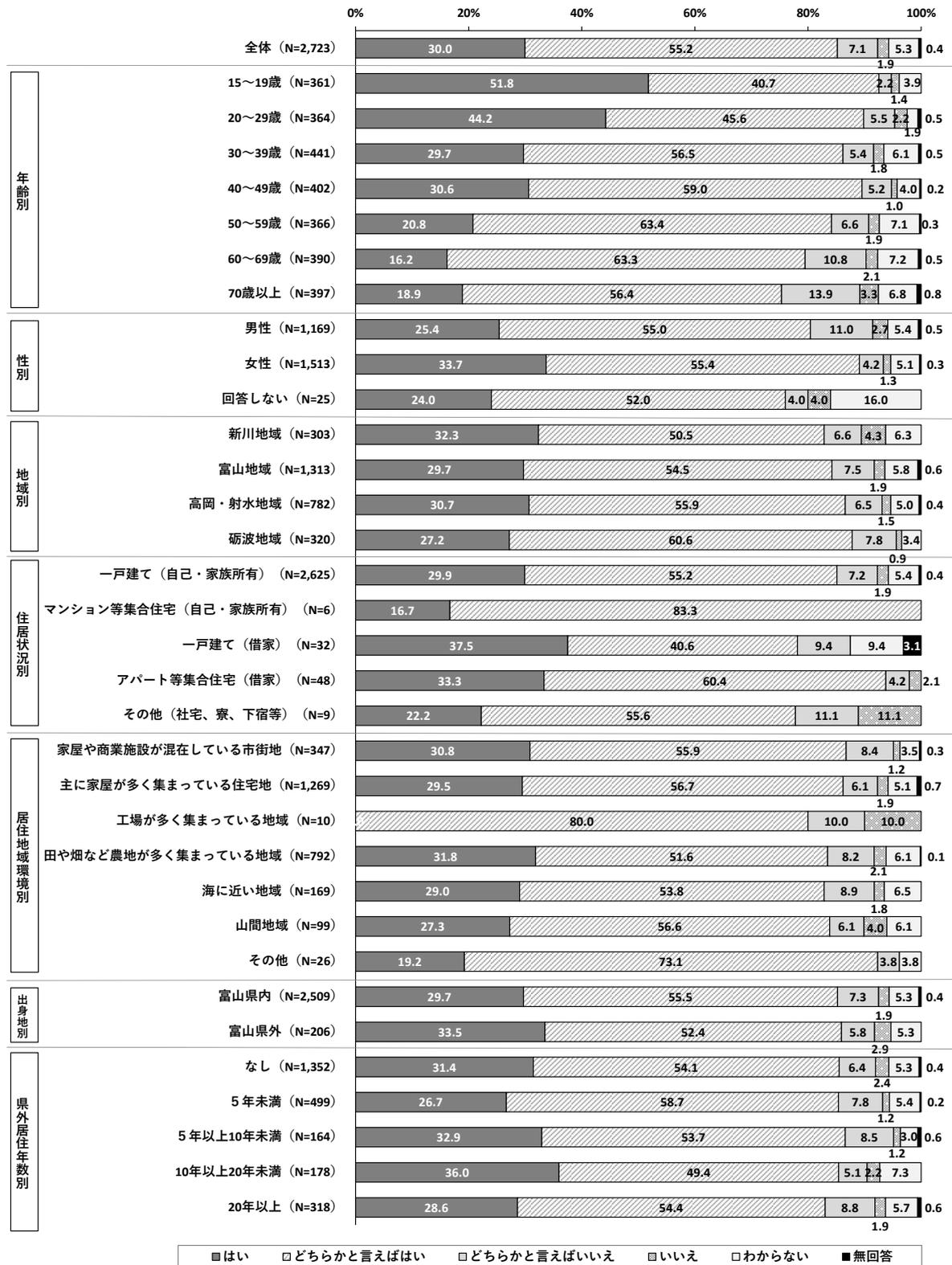
(4) - 4 出身地別

出身地による大きな差は見られないが、「はい」は「富山県内」よりも「富山県外」の方が3.8ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

どの居住年数でも『はい』が8割を超えており、「5年以上10年未満」では86.6%を占めている。

図表 6-19-1 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。



■はい □どちらかと言えばいい □どちらかと言えはいえ □いい □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「はい」が38.8%と、「結婚している」よりも14.0ポイント高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が37.9%と、「いる」よりも13.3ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

「暮らしている」では「はい」が「暮らしていない」よりも4.6ポイント高い。

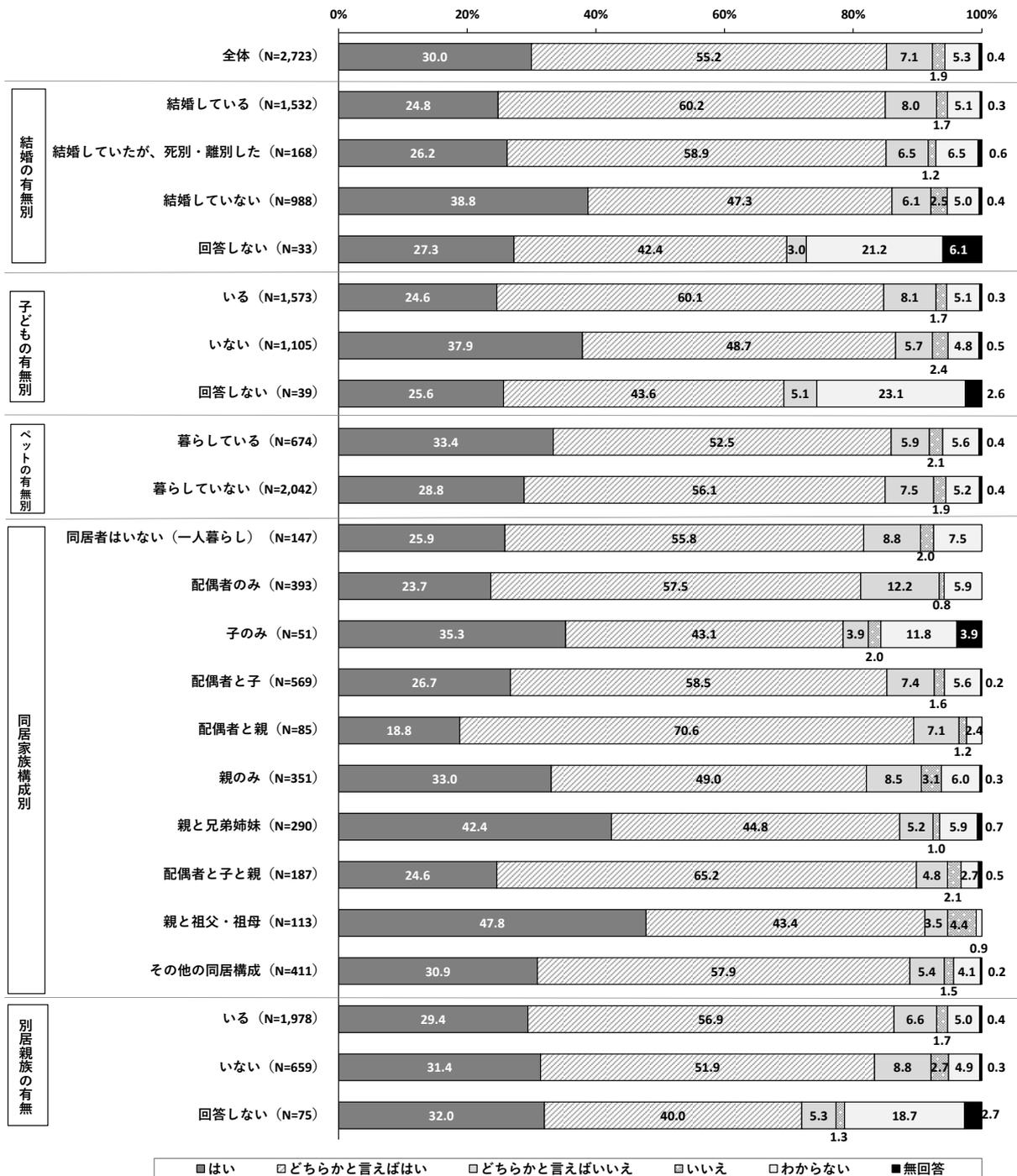
(5) - 4 同居家族の構成別

「子のみ」を除くすべてで『はい』が8割を超えており、「親と祖父・祖母」では9割台となっている。一方、「子のみ」では『はい』が78.4%と、他よりも若干低い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族が「いる」では『はい』が86.3%と、「いない」よりも3.0ポイント高い。

図表 6-19-2 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が94.6%（うち「はい」が53.1%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が69.9%と、他の職業と比べて低い。

(6) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『はい』が9割以上と、他の職業分野と比べて若干高い。

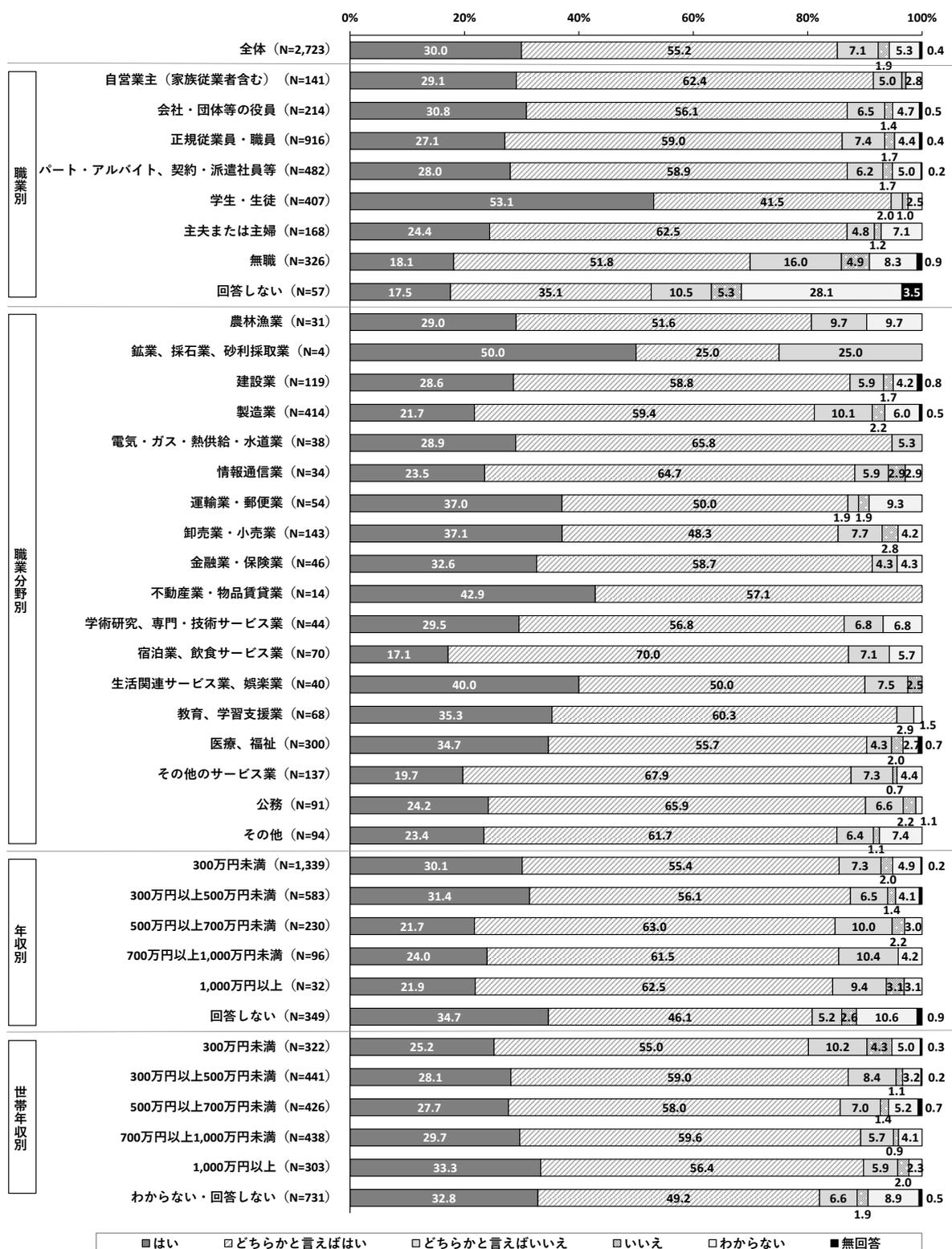
(6) - 3 年収別

すべてで『はい』が8割を超えている。

(6) - 4 世帯年収別

すべてで『はい』が8割を超えている。

図表 6-19-3 他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。(職業・年収別)



問6-20 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が84.7%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は8.8%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が92.5%（うち「はい」が54.8%）と高い割合を占めている。年齢が高くなるほど低くなる傾向にあり、「70歳以上」では『はい』が78.6%となっている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が87.5%となっており、「男性」よりも6.2ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えているが、「新川地域」は他の地域よりも若干低い。

(4) - 2 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が84.9%を占めている。

(4) - 3 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が87.9%と、他よりも高い。

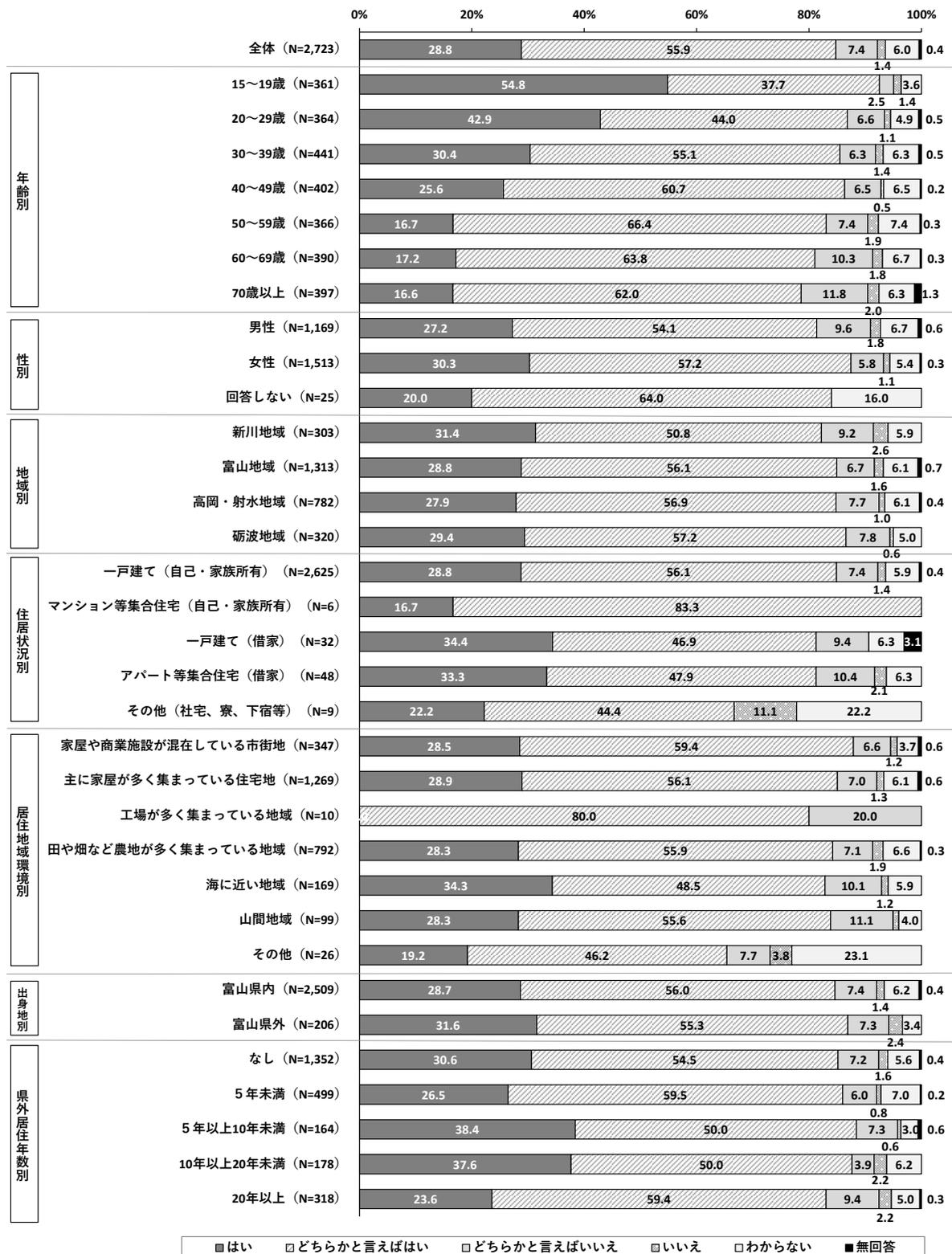
(4) - 4 出身地別

「富山県外」では『はい』が86.9%を占め、「富山県内」よりも2.2ポイント高い。

(4) - 5 県外での居住年数別

すべての居住年数で『はい』が8割を超えている。

図表 6-20-1 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。



(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 85.7%を占めており、「はい」は「結婚している」よりも 18.8 ポイント高い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が「いる」よりも 18.1 ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットと「暮らしている」では『はい』が 86.9%と、「暮らしていない」よりも 2.9 ポイント高い。

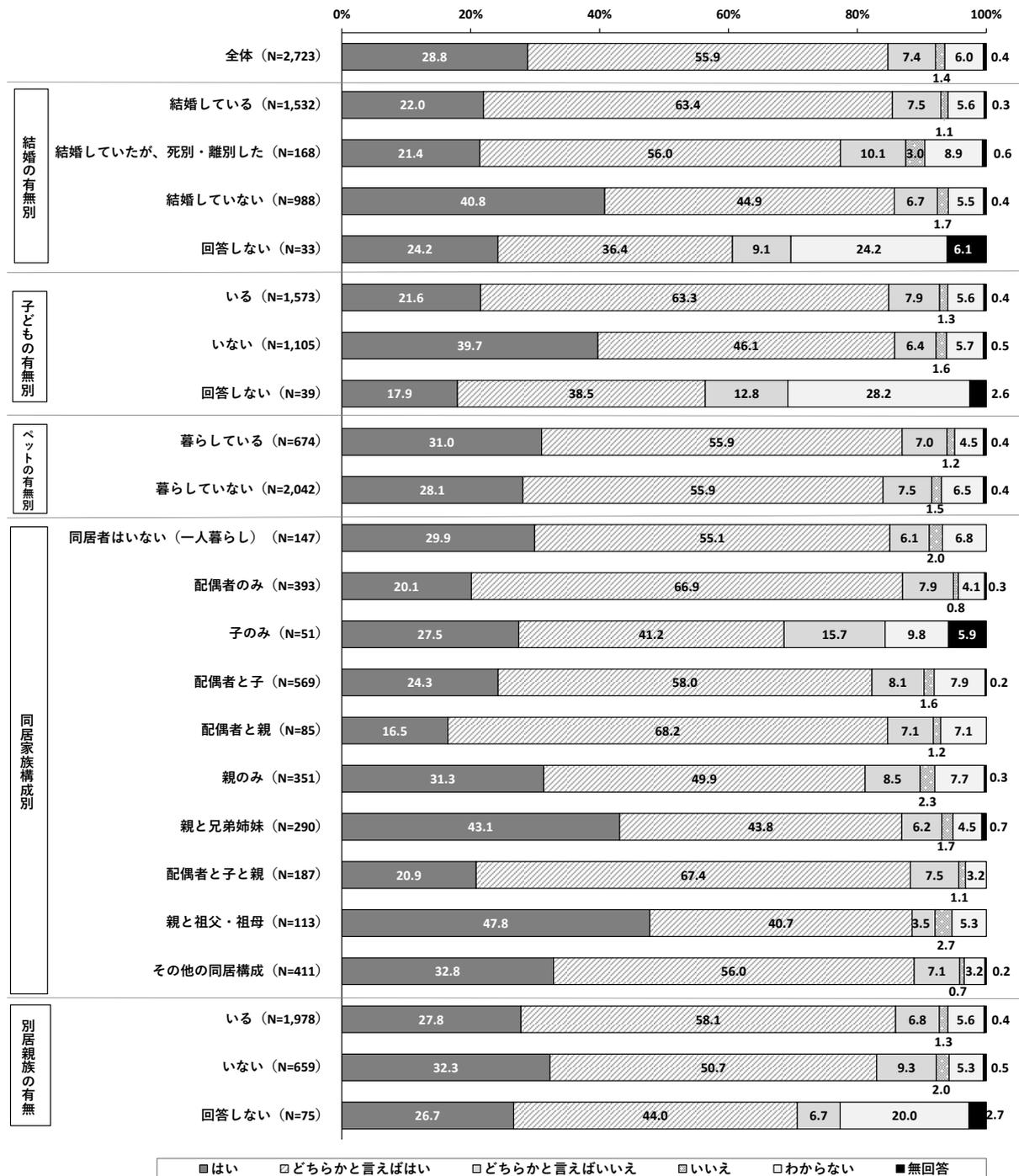
(5) - 4 同居家族の構成別

「子のみ」を除くすべてで『はい』が 8 割以上を占めている。「子のみ」で『はい』が 68.7%と、他と比べて低い。

(5) - 5 別居の親族の住居への移動時間別

「はい」では別居親族が「いない」の方が「いる」よりも 4.5 ポイント高い。

図表 6-20-2 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。
(家族状況別)



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が94.3%（うち「はい」が57.2%）と高い割合を占めている。一方、「無職」では『はい』が75.5%と、他の職業と比べて若干低い。

(6) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が9割台となっている。

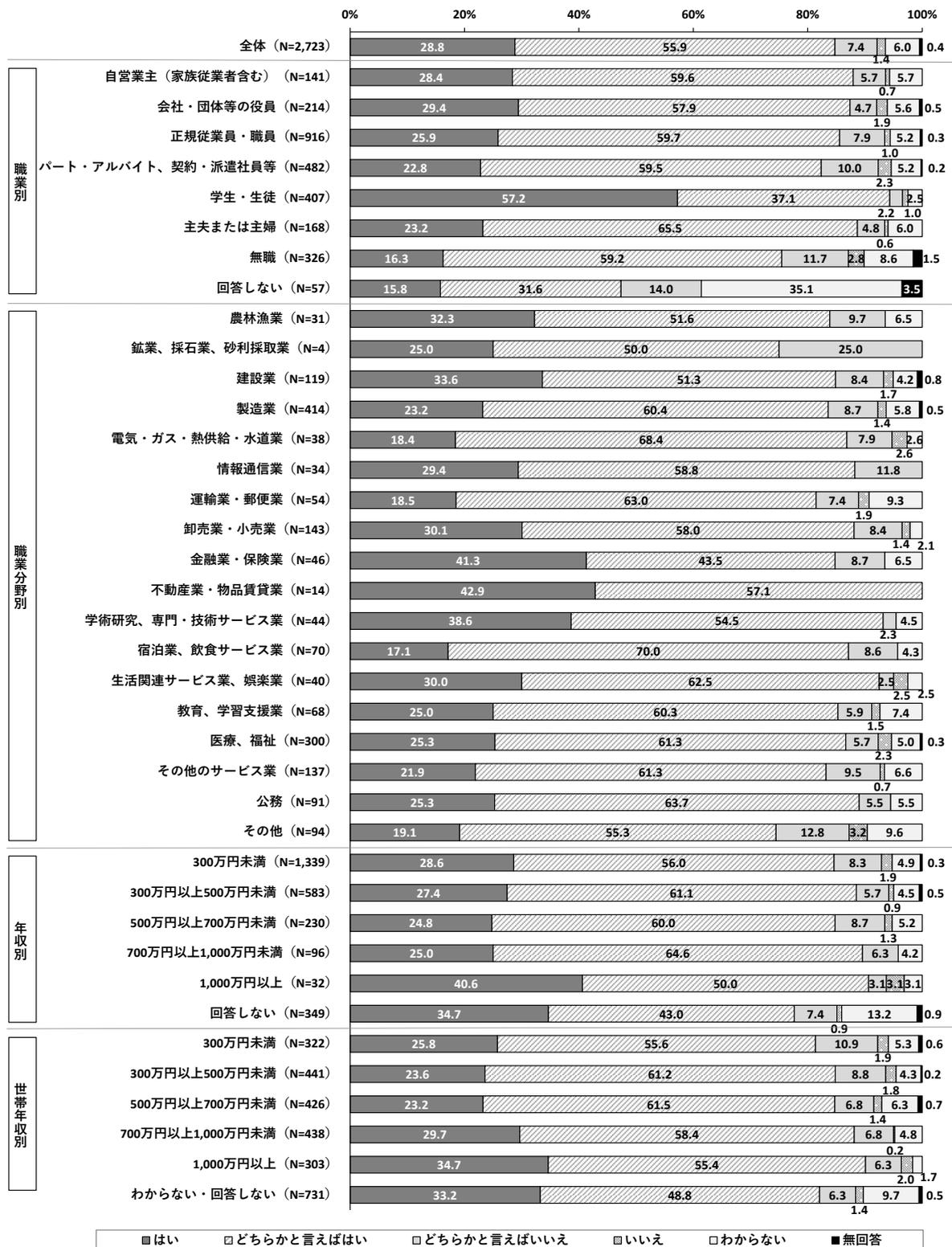
(6) - 3 年収別

すべてで『はい』が8割以上を占めており、「1,000万円以上」では『はい』が90.6%と、他よりも高くなっている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では『はい』が90.1%を占めている。

図表 6-20-3 他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。
(職業・年収別)



問7. 家族との関係について、お気持ちをお聞きします。

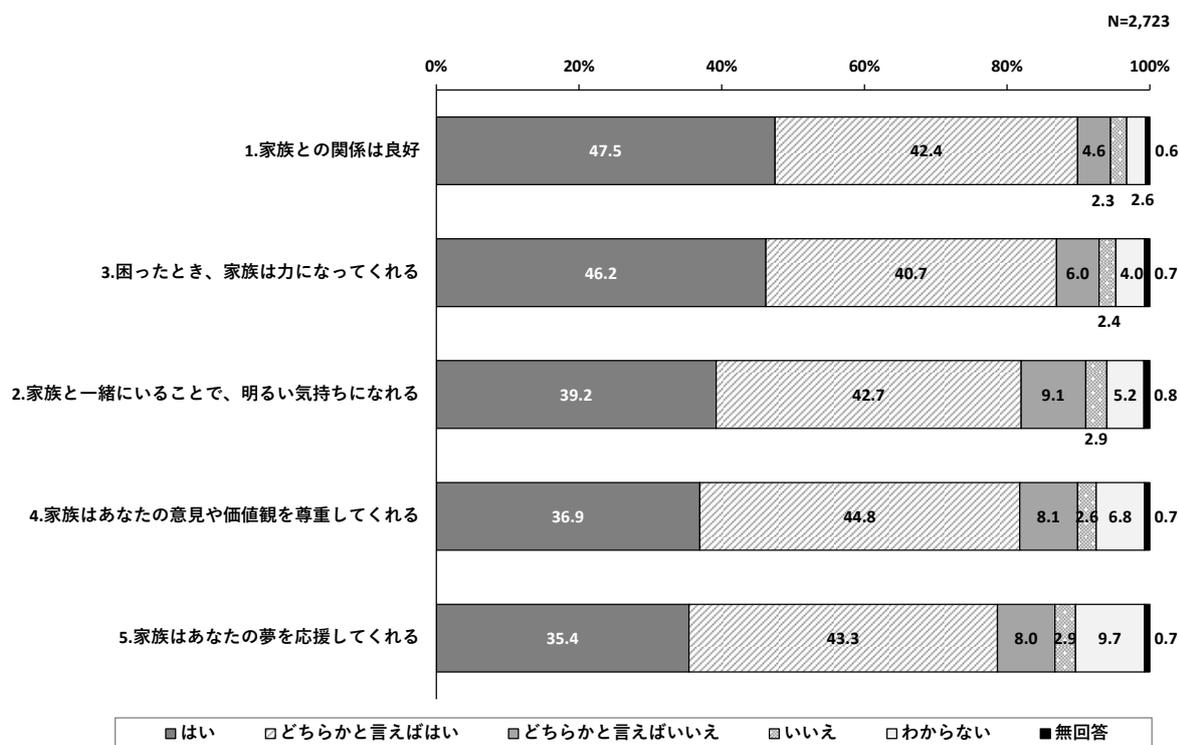
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

家族との関係について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.家族との関係は良好」が89.9%と最も高く、次いで「3.困ったとき、家族は力になってくれる」が86.9%、「2.家族と一緒にいることで、明るい気持ちになれる」が81.9%であった。「1.家族との関係は良好」「3.困ったとき、家族は力になってくれる」では「はい」が4割を超えている。

一方、『はい』が低かったのは、「5.家族はあなたの夢を応援してくれる」が78.7%と最も低く、次いで「4.家族はあなたの意見や価値観を尊重してくれる」が81.7%であった。

全体的に見て、『はい』が7割を超えており、全般的に家族との関係は良好であると考えられる。

図表7 家族との関係について



問7-1 家族との関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が89.9%（うち「はい」が47.5%）を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は6.9%であった。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が8割を超えている。「15～19歳」では『はい』が95.0%（うち「はい」が70.6%）と高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

地域間で大きな差は見られない。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が91.9%と、他と比較して若干高い。「結婚していない」では「はい」が53.6%と高い割合を占めている。

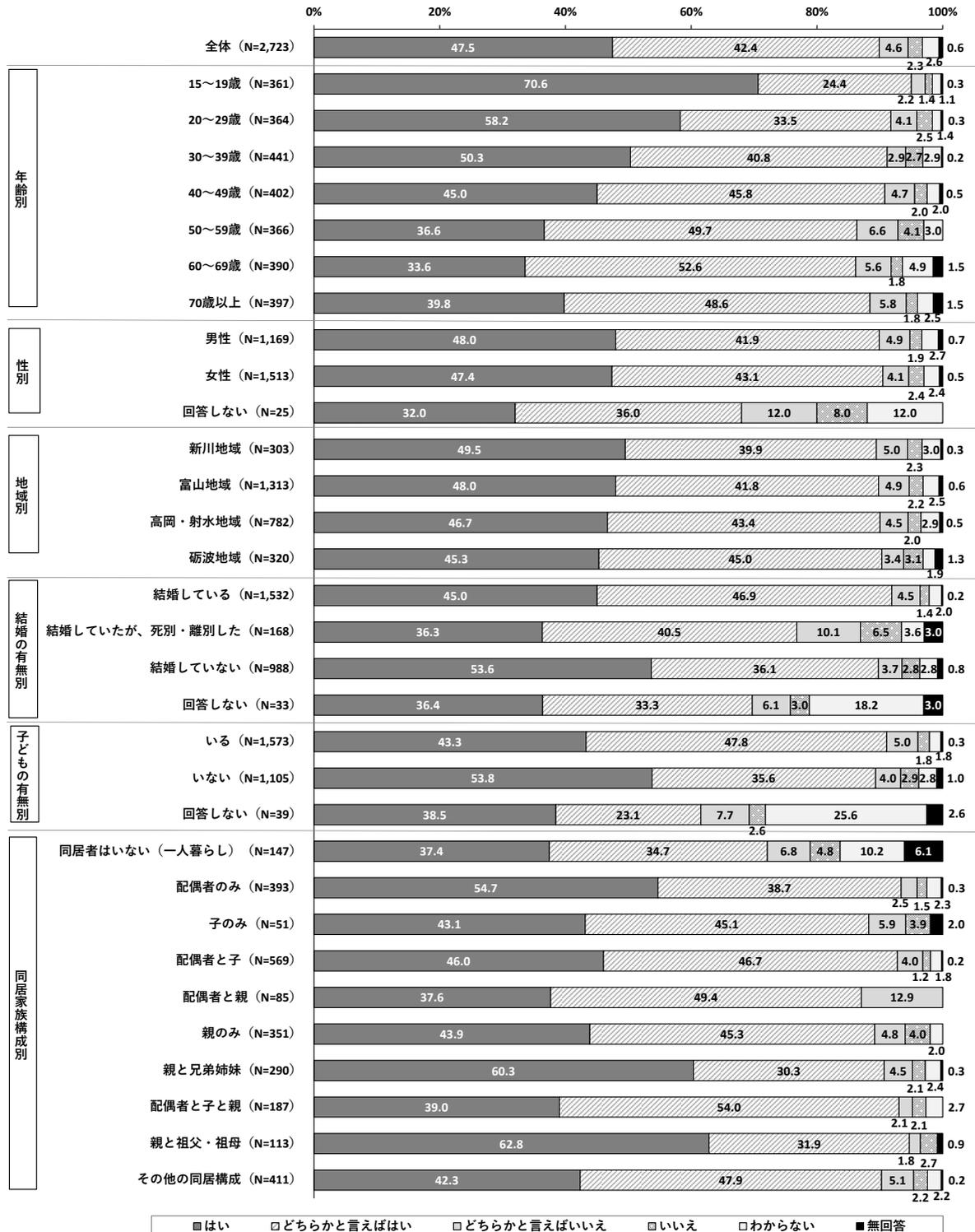
(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られないものの、「はい」では子どもが「いる」よりも「いない」の方が10.5ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない（一人暮らし）」を除くすべての家族構成で『はい』が8割を超えている。「同居者はいない（一人暮らし）」では72.1%と、他と比べて低い。

図表 7-1 家族との関係は良好である。



問7-2 家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が81.9%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は12.0%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が88.6%（うち「はい」が59.0%）と高い割合を占めている。年齢が高くなるほど「はい」が低くなる傾向があり、「60～69歳」では26.2%となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

「富山地域」では『はい』が81.0%と、他の地域よりも若干低い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が86.3%と、他と比較して高い割合を占めている。

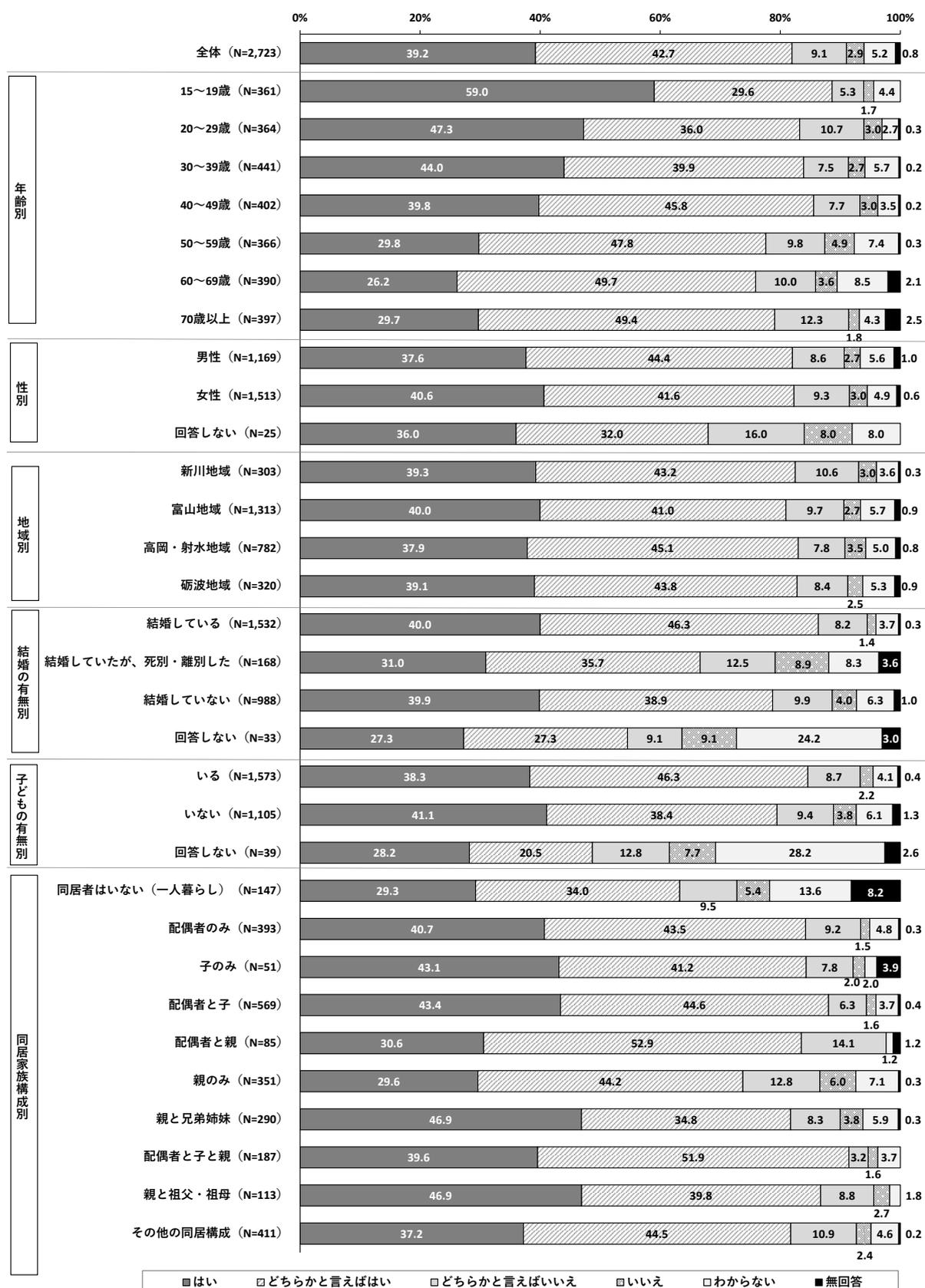
(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が84.6%と、「いない」よりも5.1ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と子と親」では『はい』が91.5%と、高い割合を占めている。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では『はい』が63.3%と、他と比べて低い。

図表 7-2 家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。



問7-3 困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が86.9%（うち「はい」が46.2%）を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は8.4%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が94.4%（うち「はい」が64.5%）と、高い割合を占めている。一方、「60～69歳」では『はい』が82.1%と、他と比べて低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が8割台となっている。「富山地域」では『はい』が87.5%と、他の地域よりも若干高い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が75.6%と、他と比べて低い。

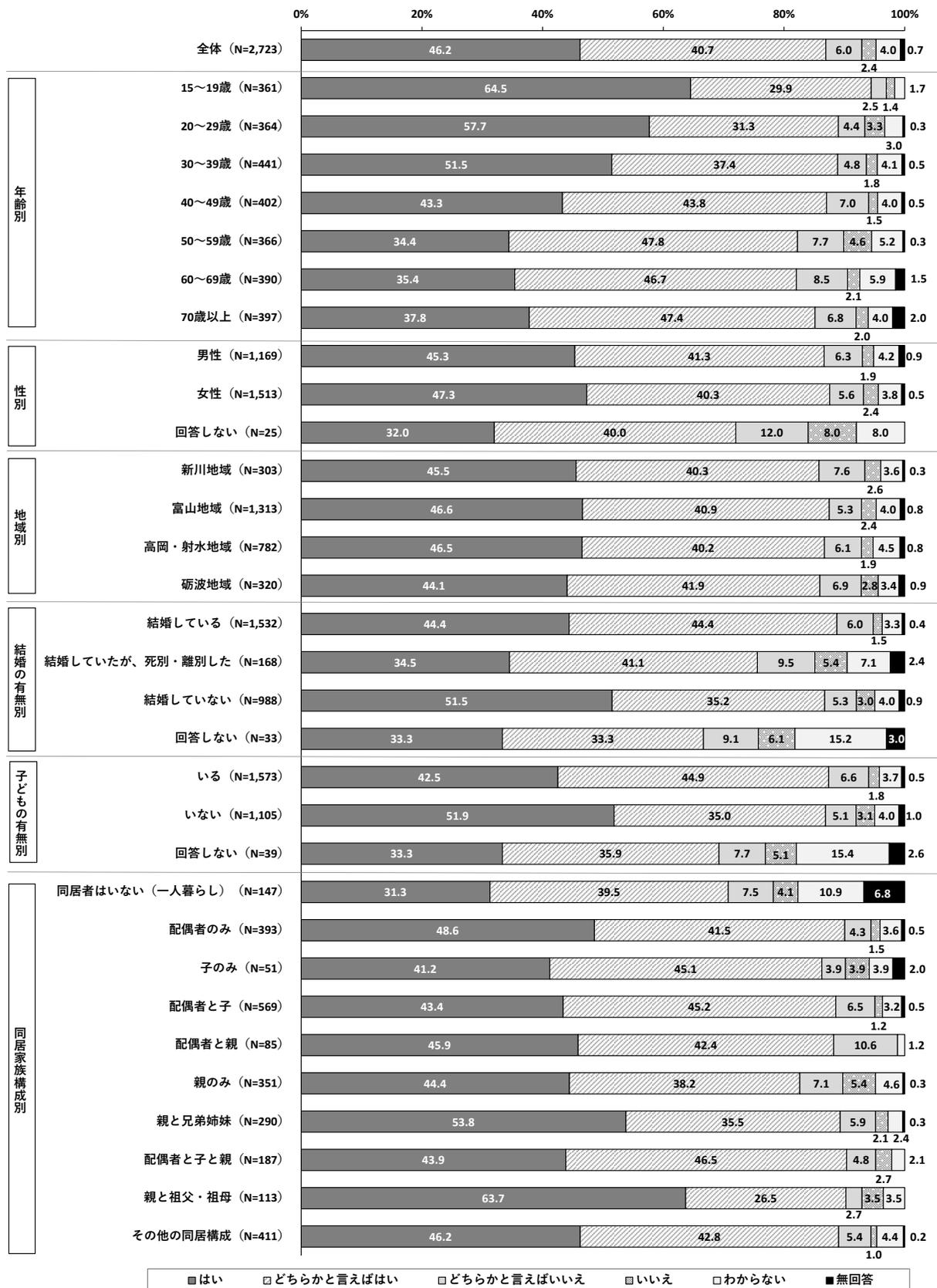
(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られないものの、「はい」では子どもが「いる」よりも「いない」の方が9.4ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「配偶者と子と親」「親と祖父・祖母」では『はい』が9割台と高い割合を占め、他よりも若干高くなっている。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では70.6%と、他と比べて低い。

図表 7-3 困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。



問7-4 家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が81.7%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.7%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が90.1%（うち「はい」が57.1%）と高い割合を占めている。一方、50歳以上では『はい』が7割台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が5.3ポイント高い。

(4) 地域別

「砺波地域」では『はい』が79.7%と、他の地域よりも若干低い。

(5) - 1 結婚の有無別

結婚の有無で大きな差は見られないものの、「はい」は「結婚していない」で43.1%と、他よりも高い。

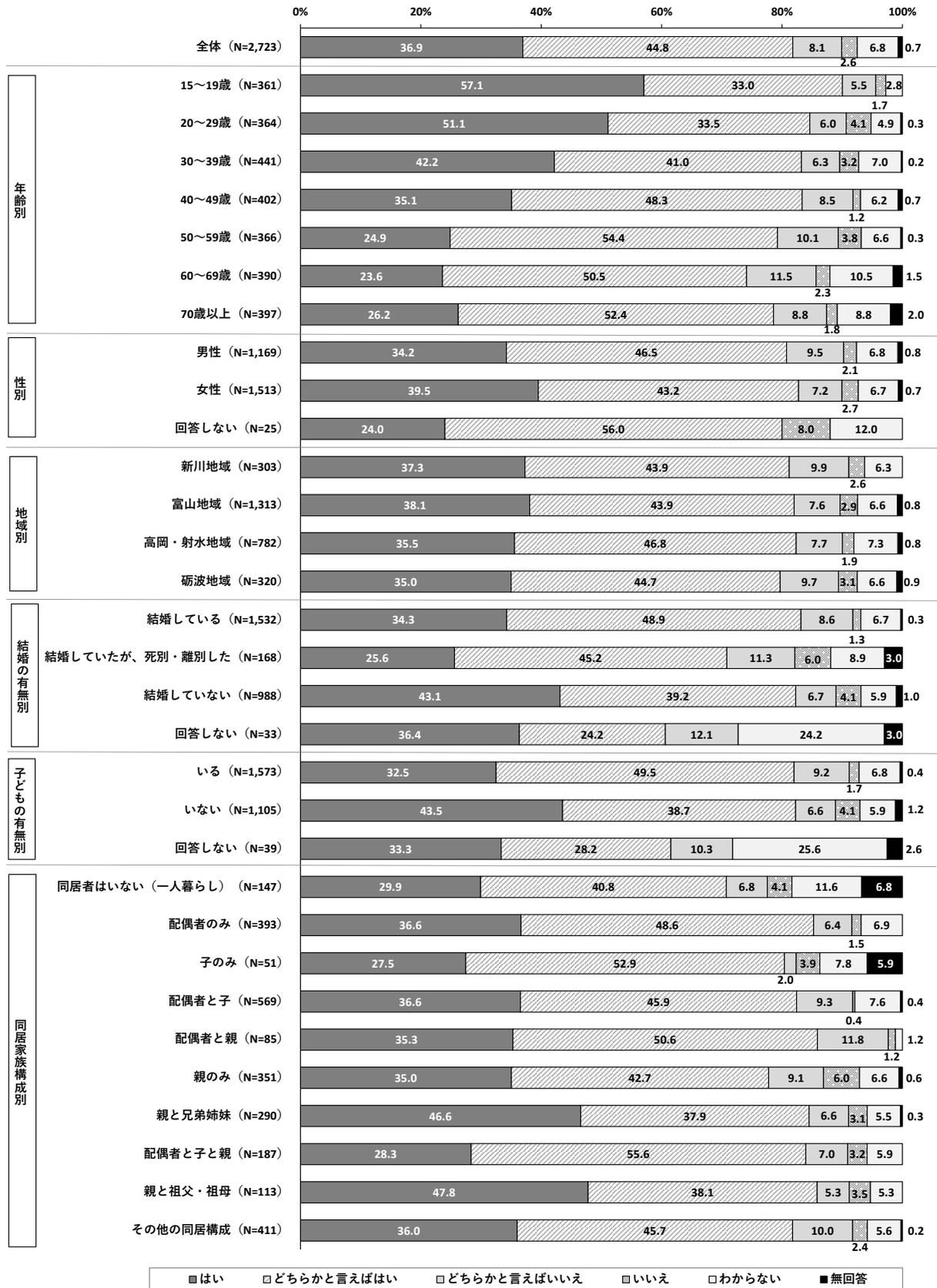
(5) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られないものの、「はい」は子どもが「いる」よりも「いない」の方が11.0ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と親」「親と祖父・祖母」では『はい』が85.9%と、他と比べて若干高い。一方、「同居者はいない（一人暮らし）」では70.7%と、他と比べて低い。

図表 7-4 家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。



問7-5 家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。(または、応援・協力してくれると感じている。)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が78.7%を占め、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は10.9%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が94.5%(うち「はい」が67.6%)と高い割合を占めている。一方、「60～69歳」では『はい』が69.3%と他と比べて低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」は「女性」の方が5.6ポイント高い。

(4) 地域別

「富山地域」では『はい』が79.2%と、他と比べて若干高い。

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が64.9%と、他と比べて低い。「結婚していない」では「はい」が45.6%と、他よりも高い。

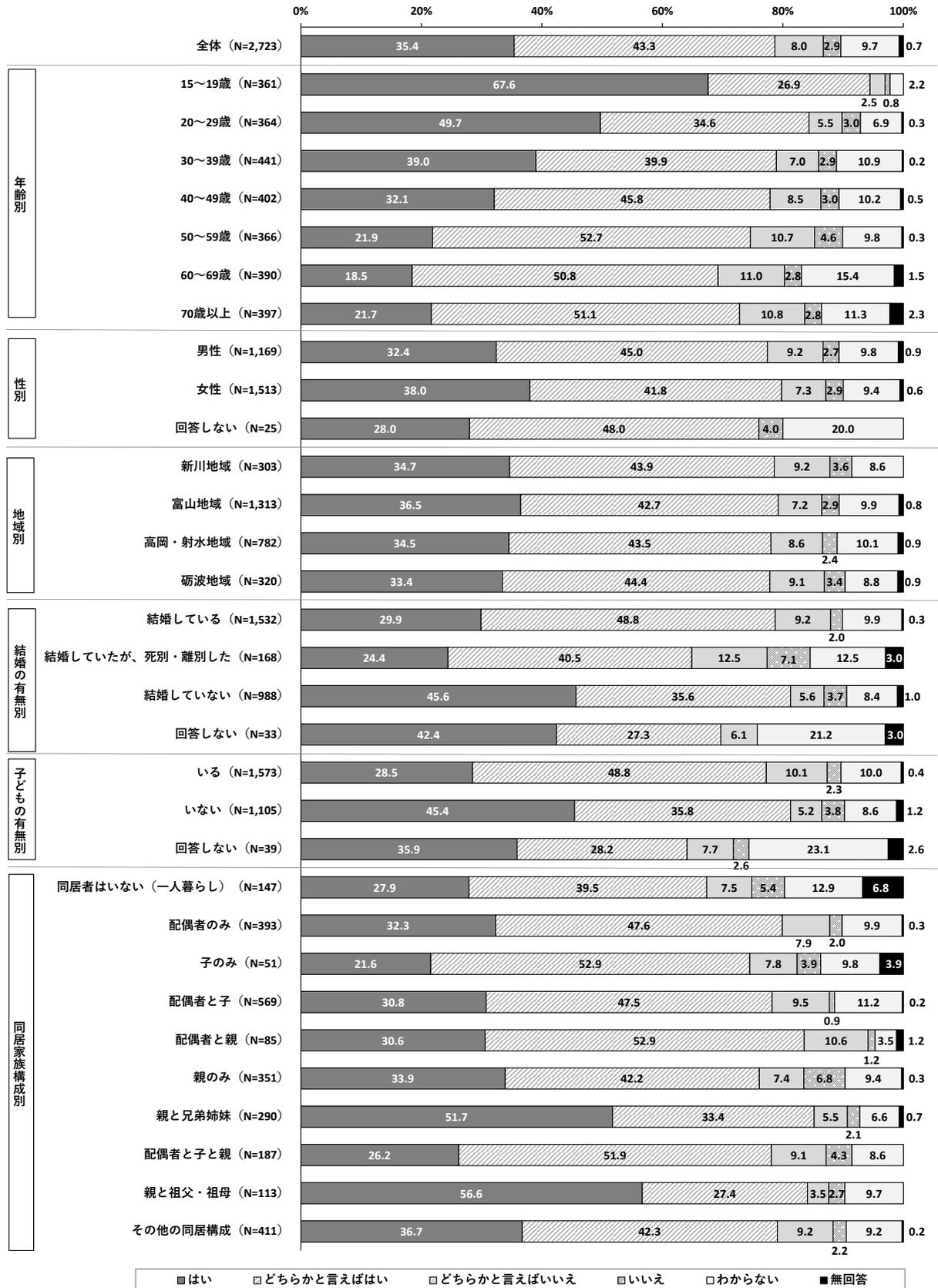
(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が81.2%と、「いる」よりも3.9ポイント高い。

(5) - 3 同居家族の構成別

「配偶者と親」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では『はい』が8割台となっている。「同居者はいない(一人暮らし)」では『はい』が67.4%と、他と比べて低い。

図表 7-5 家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。



問8. 友人との関係について、お気持ちをお聞きします。

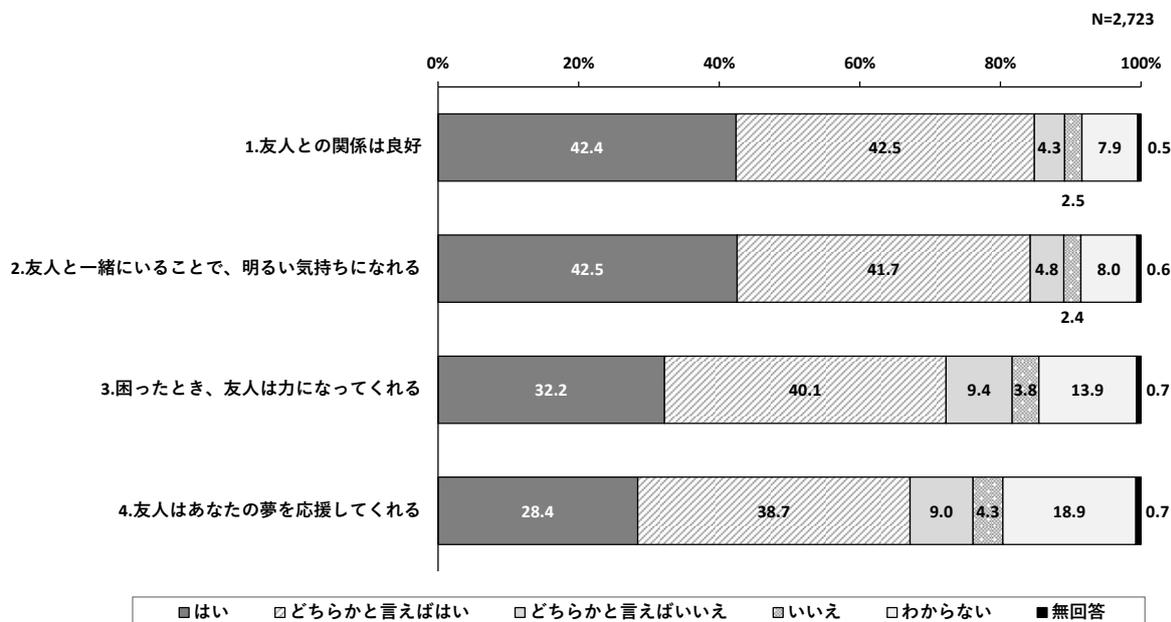
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

友人との関係について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.友人との関係は良好」が84.9%と最も高く、次いで「2.友人と一緒にいることで、明るい気持ちになれる」が84.2%であった。

一方、『はい』が最も低かったのは、「4.友人はあなたの夢を応援してくれる」が67.1%であった。

全体的に見て、『はい』が6割を超えており、家族との関係と同様に友人との関係も全般的に良好であると考えられる。

図表8 友人との関係について



問8-1 友人との関係は良好である。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が84.9%を占めている。一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は6.8%であった。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が95.6% (うち「はい」が72.6%)と高い割合を占めている。

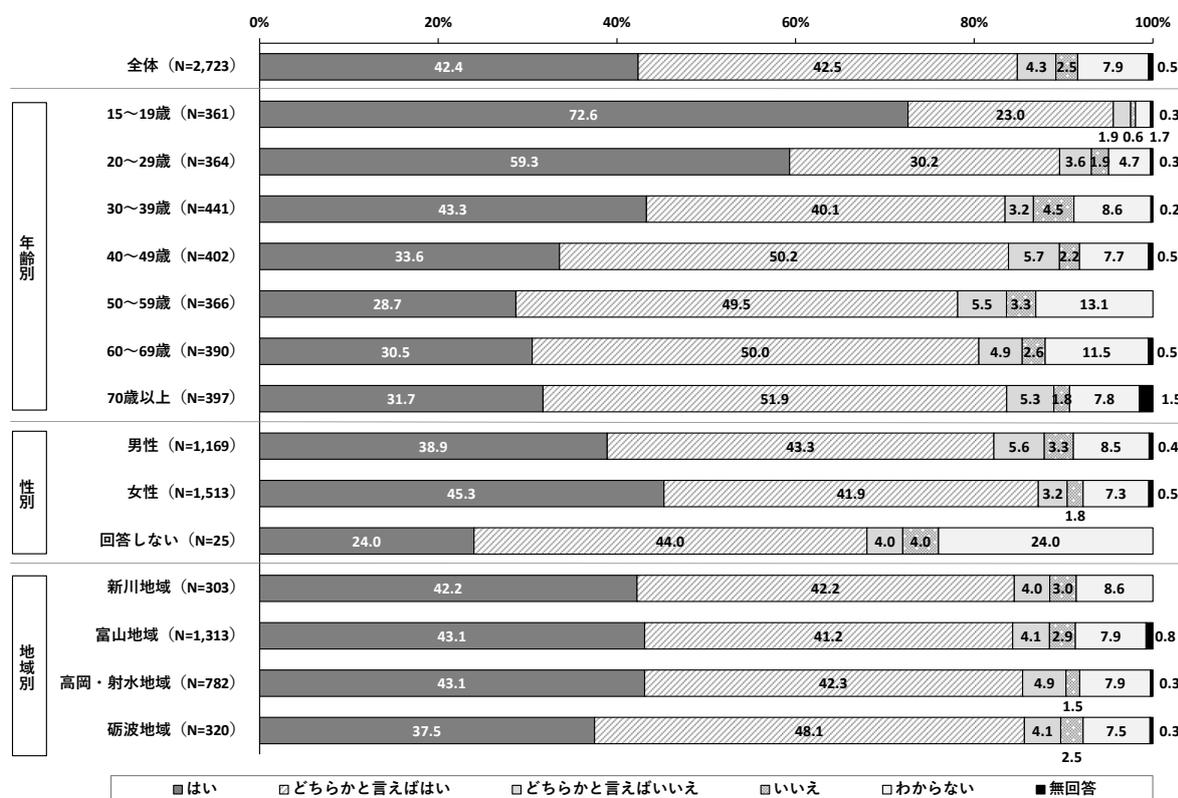
(3) 性別

男女ともに『はい』が8割を超えている。「はい」は「女性」の方が6.4ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が8割を超えている。「砺波地域」では「はい」が37.5%と、他の地域よりも若干低い。

図表8-1 友人との関係は良好である。



問8-2 友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が84.2%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は7.2%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が9割を超えている。特に「15～19歳」では97.0%（うち「はい」が72.9%）と高い割合を占めている。

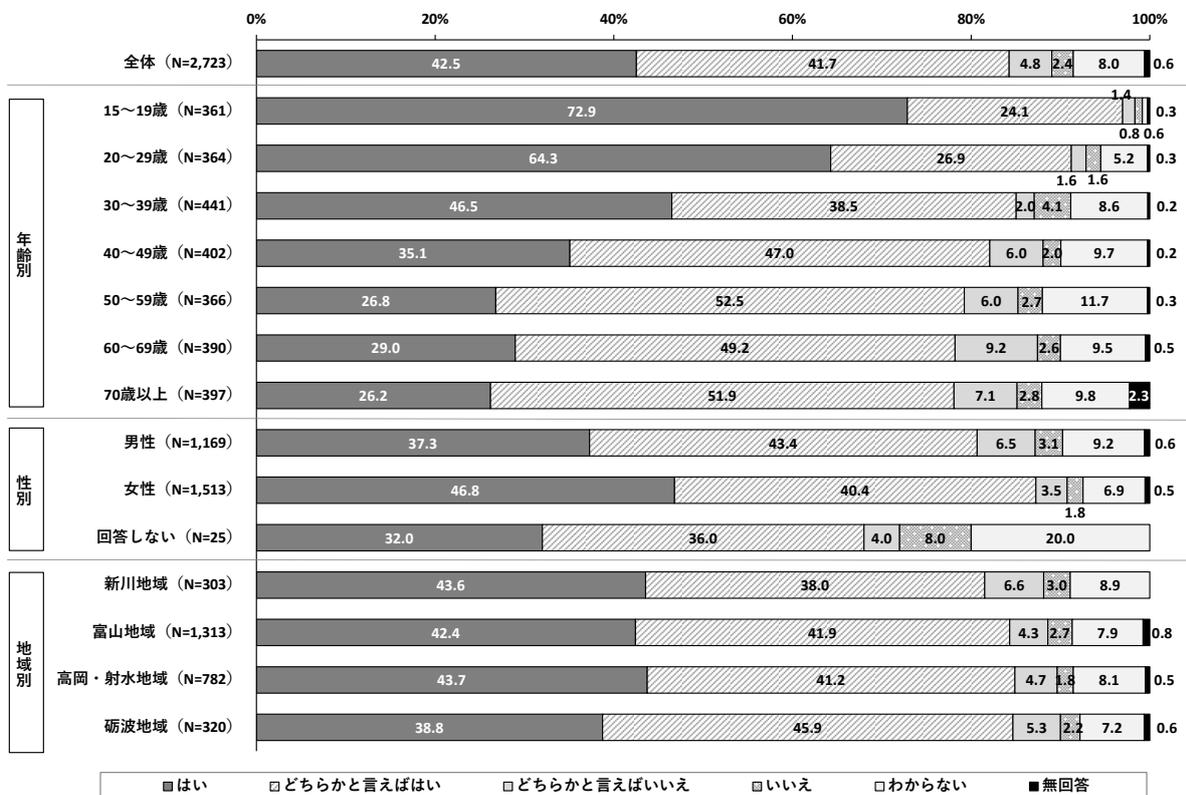
(3) 性別

「はい」は「女性」が46.8%と、「男性」よりも9.5ポイント高い。

(4) 地域別

地域間で大きな差は見られず、すべての地域で『はい』が8割を超えている。

図表 8-2 友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。



問8-3 困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が72.3%を占めており、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は13.2%であった。

(2) 年齢別

年代が低くなるほど概ね『はい』が高くなる傾向にあり、20歳代以下では8割を超えている。特に、「15～19歳」では『はい』が90.5%（うち「はい」が64.5%）と高い割合を占めている。

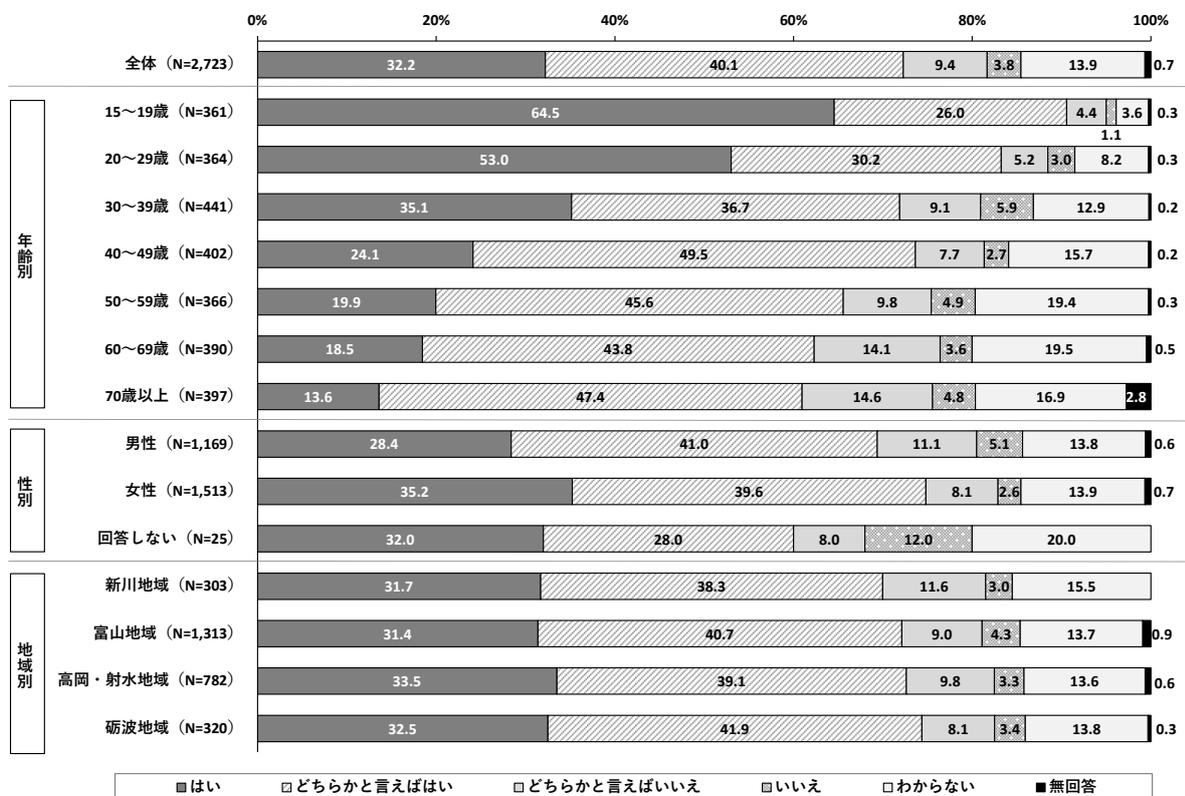
(3) 性別

「女性」では『はい』が74.8%と、「男性」よりも3.4ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が7割を超えている。

図表8-3 困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。



問8-4 友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。(または、応援・協力してくれると感じている。)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が67.1%を占めており、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は13.3%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が8割を超えているものの、「40～49歳」では6割台、50歳以上では5割台と、年齢が高くなるほど概ね低くなる傾向にある。

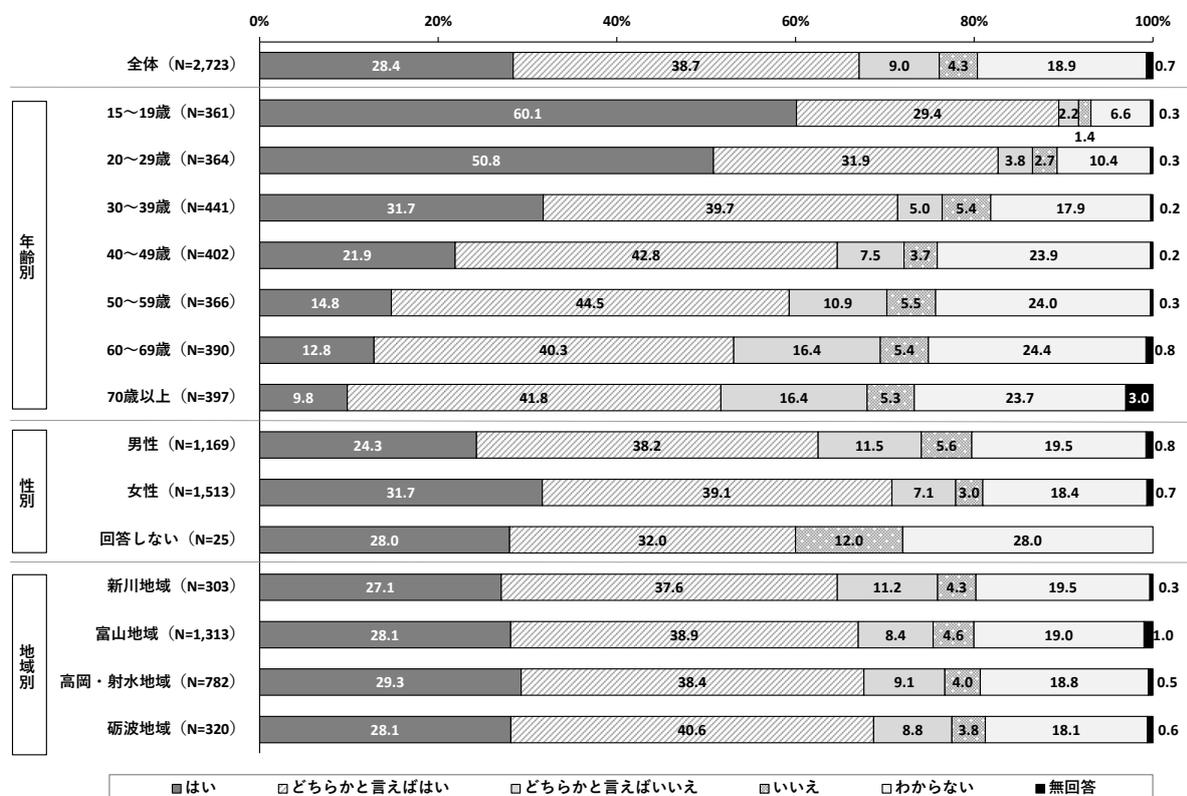
(3) 性別

「女性」では『はい』が70.8%と、「男性」よりも8.3ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が6割を超えている。

図表8-4 友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。



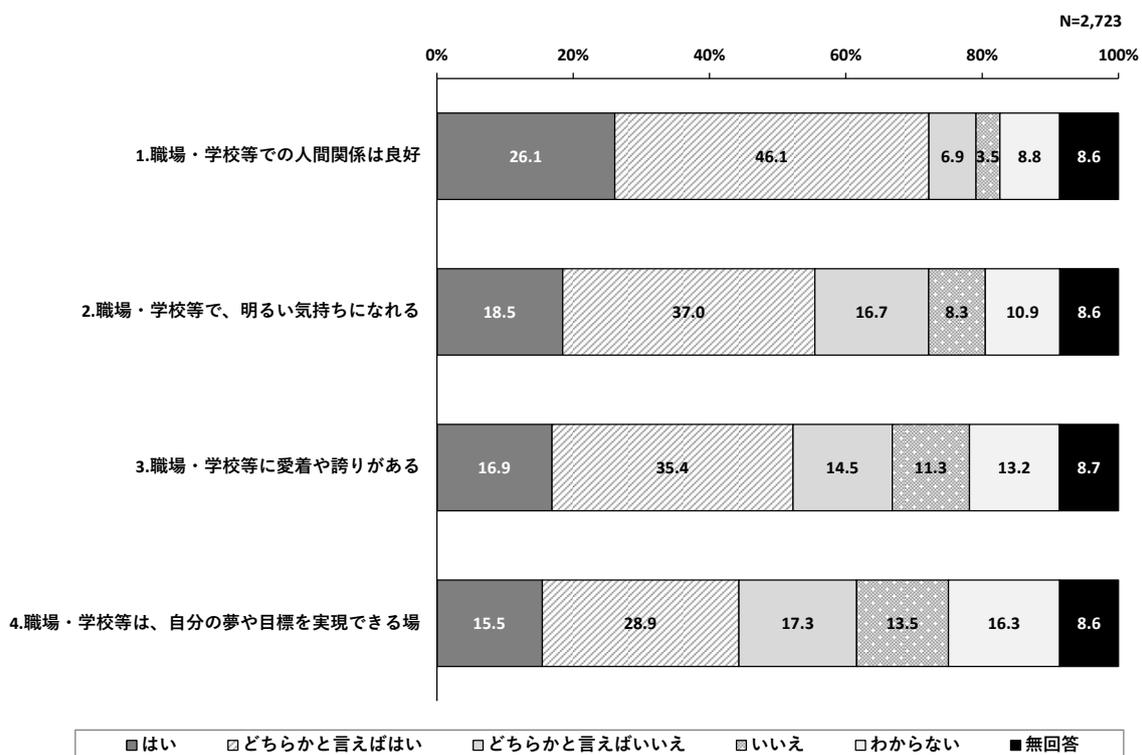
問9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等（「職場・学校等」）について、お気持ちをお聞きします。
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

職場・学校等について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.職場・学校等での人間関係は良好」が72.2%と最も高く、次いで「2.職場・学校等で、明るい気持ちになれる」が55.5%、「3. 職場・学校等に愛着や誇りがある」が52.3%であった。

一方、『はい』が最も低かったのは、「4.職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場」が44.4%であった。

全体的に見て、職場・学校等での関係性は良好であるものの、自己実現の場と捉えている人は比較的少ないことがうかがえる。

図表9 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等について



問9-1 職場・学校等での人間関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が72.2%を占めている。一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は10.4%であった。

(2) 年齢別

20歳代以下では『はい』が8割を超えており、特に「15～19歳」では90.9%（うち「はい」は56.8%）と、他の年代よりも高い割合を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないものの、「はい」では「女性」の方が1.9ポイント高い。

(4) 地域別

地域間で大きな差は見られない。

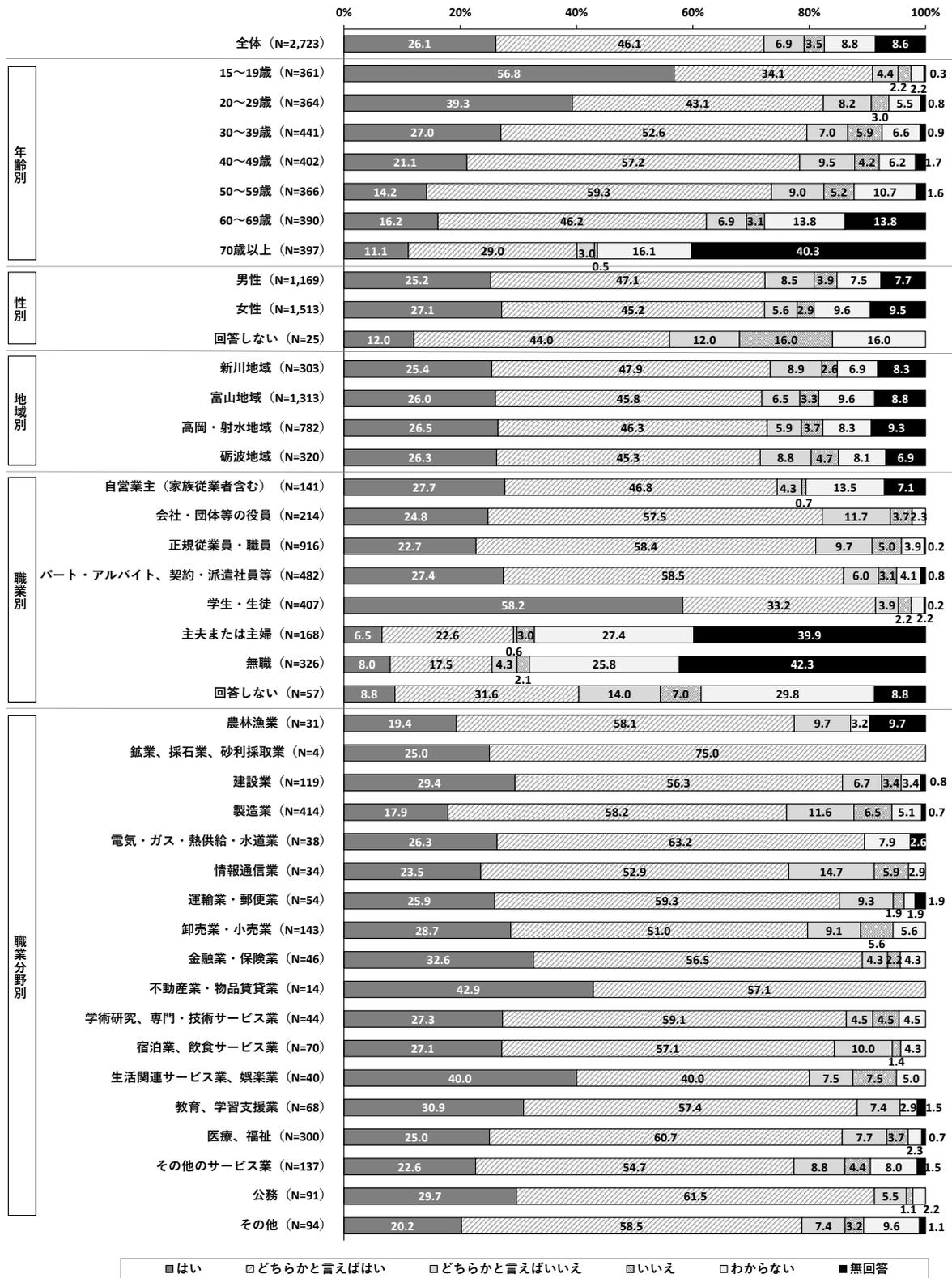
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「学生・生徒」では『はい』が8割を超えている。特に「学生・生徒」では『はい』が91.4%（うち「はい」が58.2%）と高い割合を占めている。

(5) - 2 職業分野別

「公務」では『はい』が9割を超え、他の職業分野と比較して高い割合を占めている。

図表 9-1 職場・学校等での人間関係は良好である。



問9-2 職場・学校等で楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が55.5%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は25.0%となっている。

（2）年齢別

『はい』は「15～19歳」で85.6%となっているものの、年齢が高くなるほど下がる傾向にある。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が5.8ポイント高い。

（4）地域別

すべての地域で『はい』が5割を超えており、「高岡・射水地域」では56.5%と、他の地域よりも若干高い。

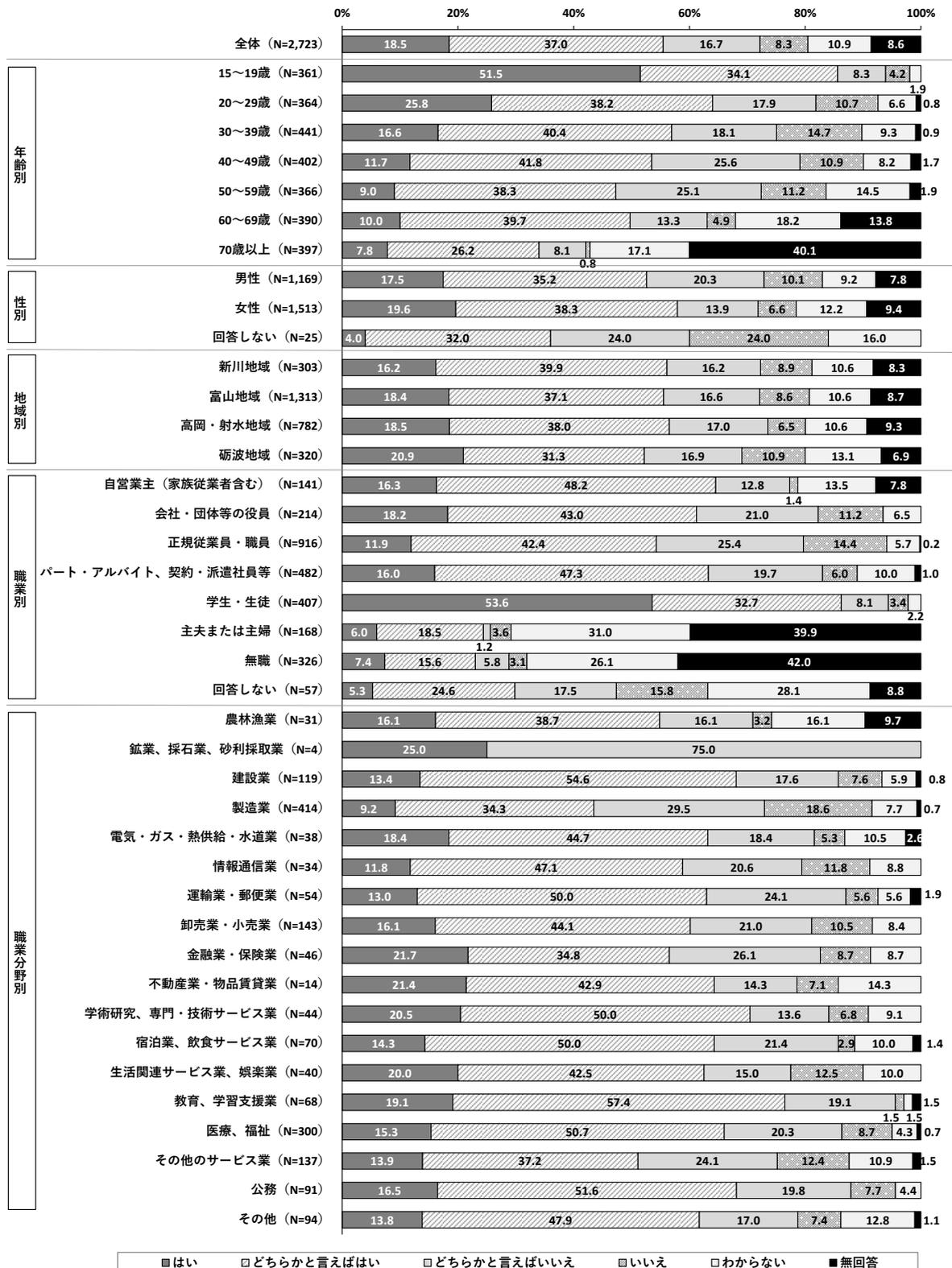
（5）-1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が86.3%と、他の職業よりも高くなっている。「正規従業員・職員」では『はい』が54.3%となっているものの、『いいえ』も39.8%と比較的高い割合を占めている。

（5）-2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が76.5%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「製造業」では『いいえ』が48.1%と比較的高い割合を占めている。

図表 9-2 職場・学校等で楽しい、嬉しいなど前向き（ポジティブ）な気持ちになることが多い
ある。



問9-3 職場・学校等に愛着や誇りがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が52.3%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は25.8%となっている。

(2) 年齢別

『はい』は、「15～19歳」で72.3%と比較的高く、20～59歳では5割を超えている。一方、『いいえ』は20～59歳で3割を超えている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が1.5ポイント高い。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が5割を超えている。「新川地域」では53.8%と、他の地域よりも若干高い。

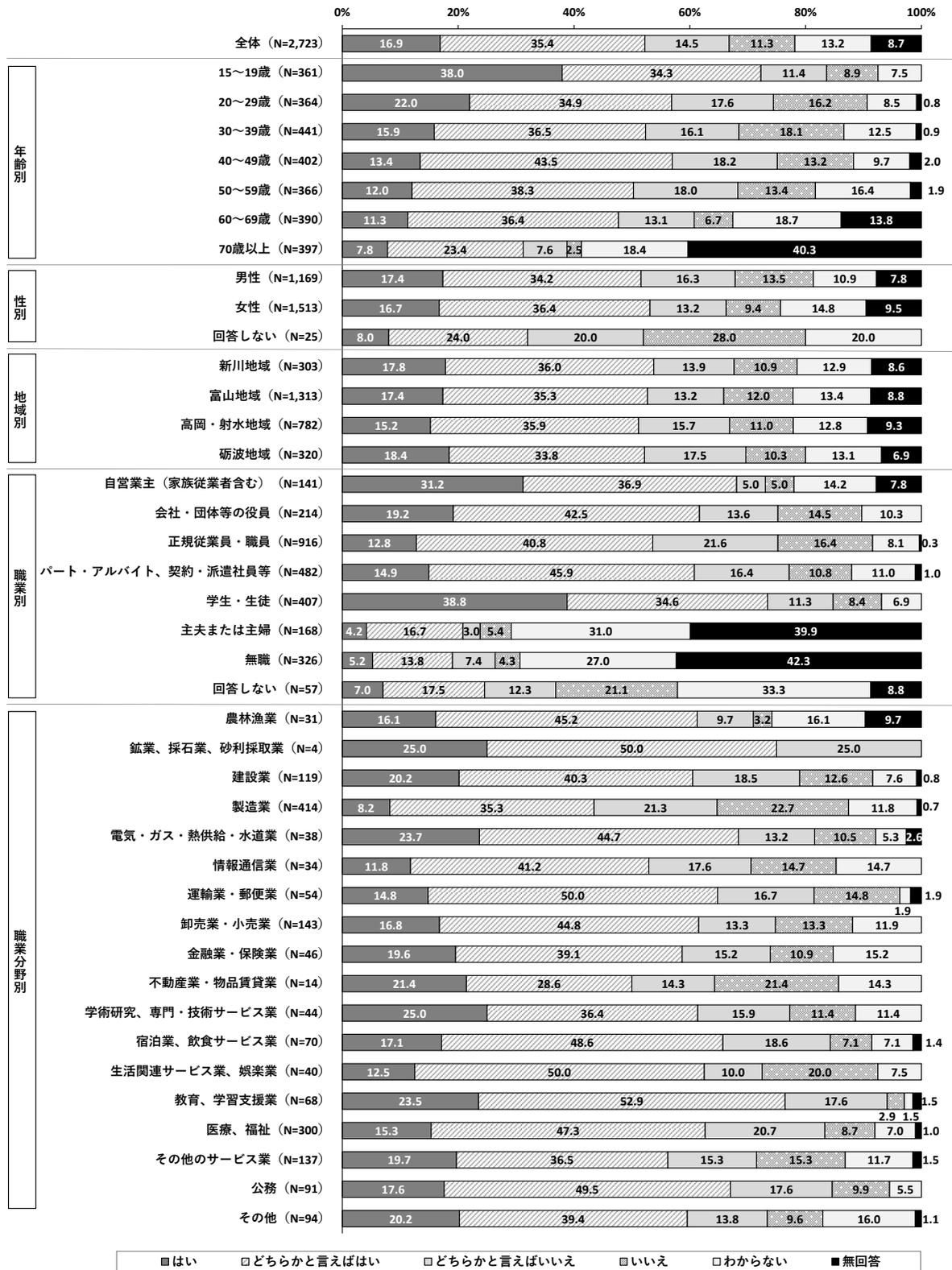
(5) - 1 職業別

『はい』は、「学生・生徒」が73.4%と他の職業よりも高い割合を占めている。また、「自営業主（家族従業者を含む）」「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」でも5割を超えている。一方、『いいえ』は、「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」で30%前後となっている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が76.4%と、他の職業分野よりも高い。一方、「製造業」では『いいえ』が44.0%となっている。

図表 9-3 職場・学校等に愛着や誇りがある。



問9-4 職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が44.4%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が30.8%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が84.2%を占めている。一方、「70歳以上」では25.5%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) 地域別

すべての地域で『はい』が4割台となっている。「新川地域」では『はい』が42.9%と、他の地域よりも若干低い。

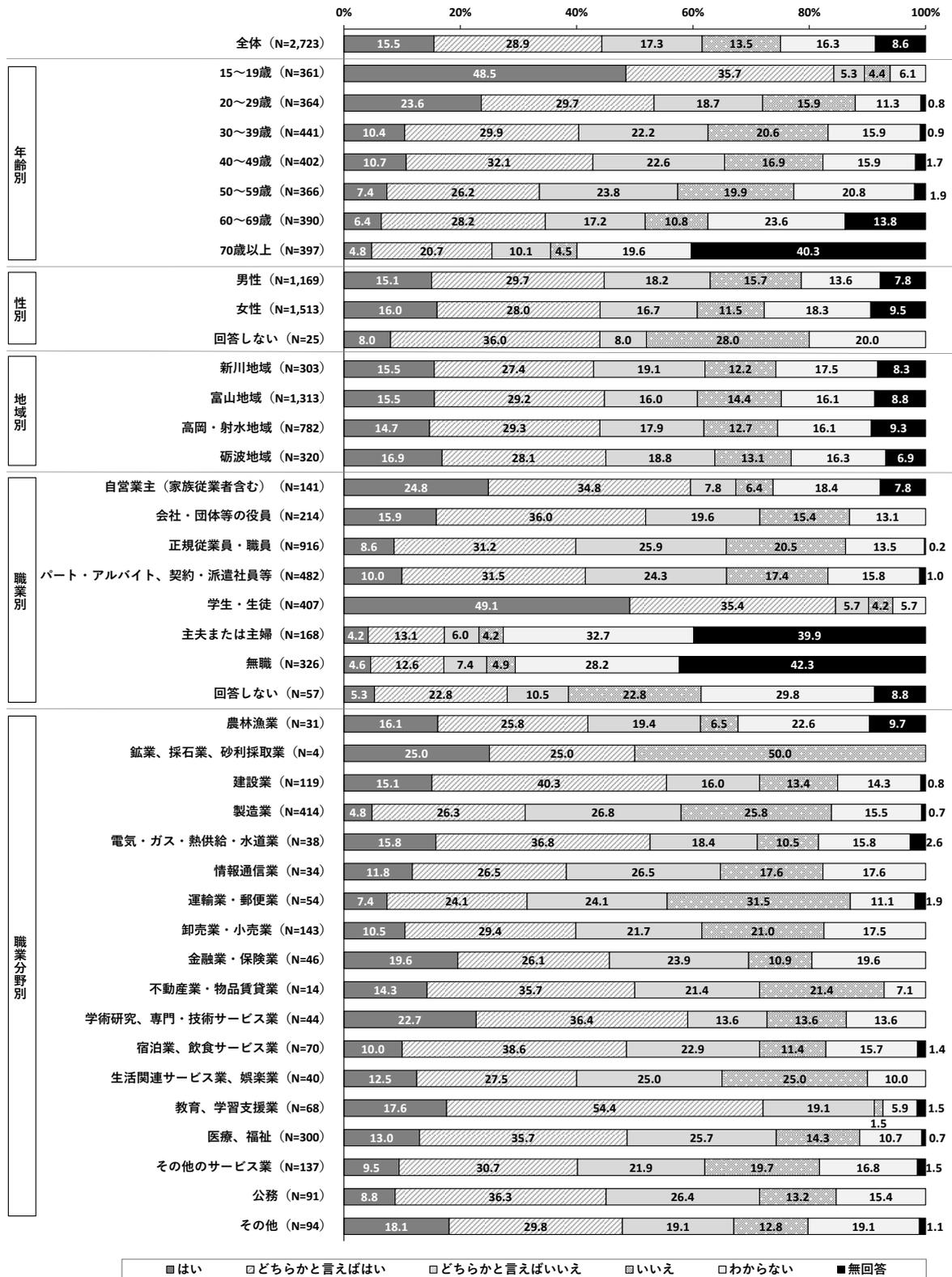
(5) - 1 職業別

『はい』では、「学生」が84.5%と高い割合を占めている。また、「自営業主（家族従業者を含む）」でも59.6%となっている。一方、『いいえ』は「正規従業員・職員」「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」で4割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が72.0%を占め、他の職業分野と比べて高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が31.1%、『いいえ』が52.6%となっており、『いいえ』の方が21.5ポイントと、大きく上回っている。

図表 9-4 職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。



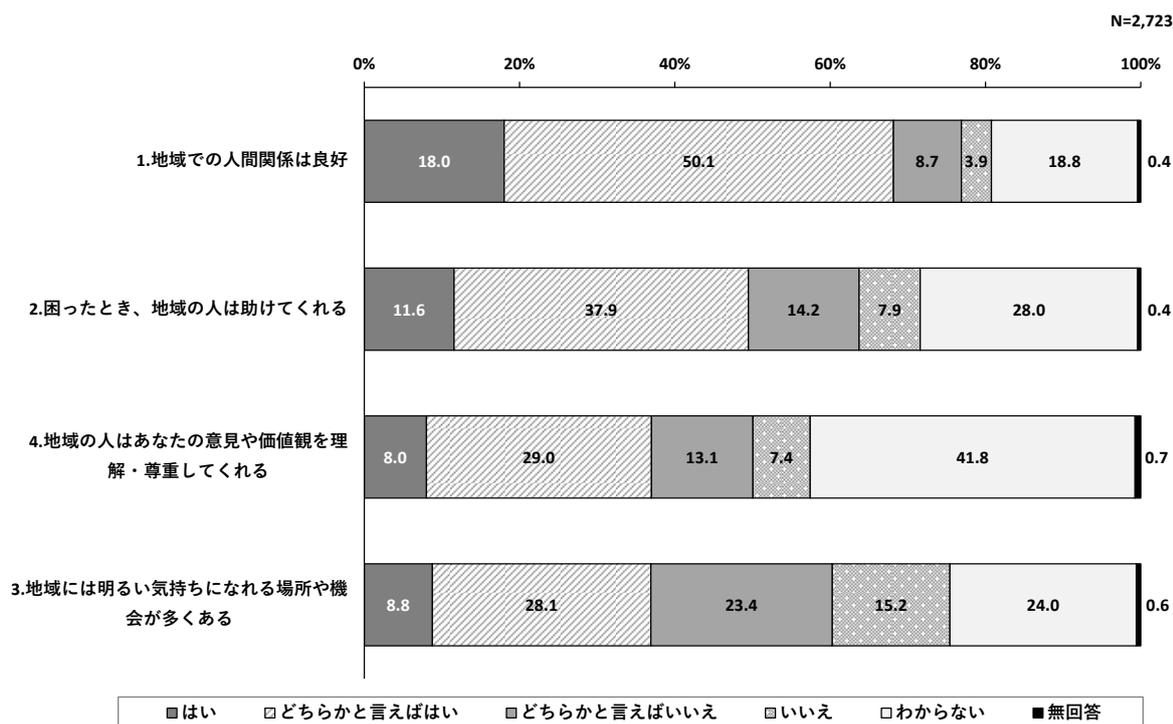
問 10. お住まいの場所の近所や町内（「地域」）について、お気持ちをお聞きします。
 それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

地域について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.地域での人間関係は良好」が68.1%と最も高く、次いで「2. 困ったとき、地域の人は助けてくれる」が49.5%であった。

一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「3.地域には明るい気持ちになれる場所や機会が多くある」が38.6%と最も高く、次いで「2.困ったとき、地域の人は助けてくれる」が22.1%であった。

全体的に見て、地域については、人間関係は良好なものの、未来に対する希望が少ない環境と捉えられていることがうかがえる。なお、「4.地域の人はあなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる」では、「わからない」が41.8%を占めている。

図表 10 お住まいの場所の近所や町内について



問 10－1 地域での人間関係は良好である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 68.1%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 12.6%であった。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では「はい」が 35.5%を占め、他の年代よりも高くなっている。「20～29 歳」では『はい』が 59.9%と、他の年代よりも低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

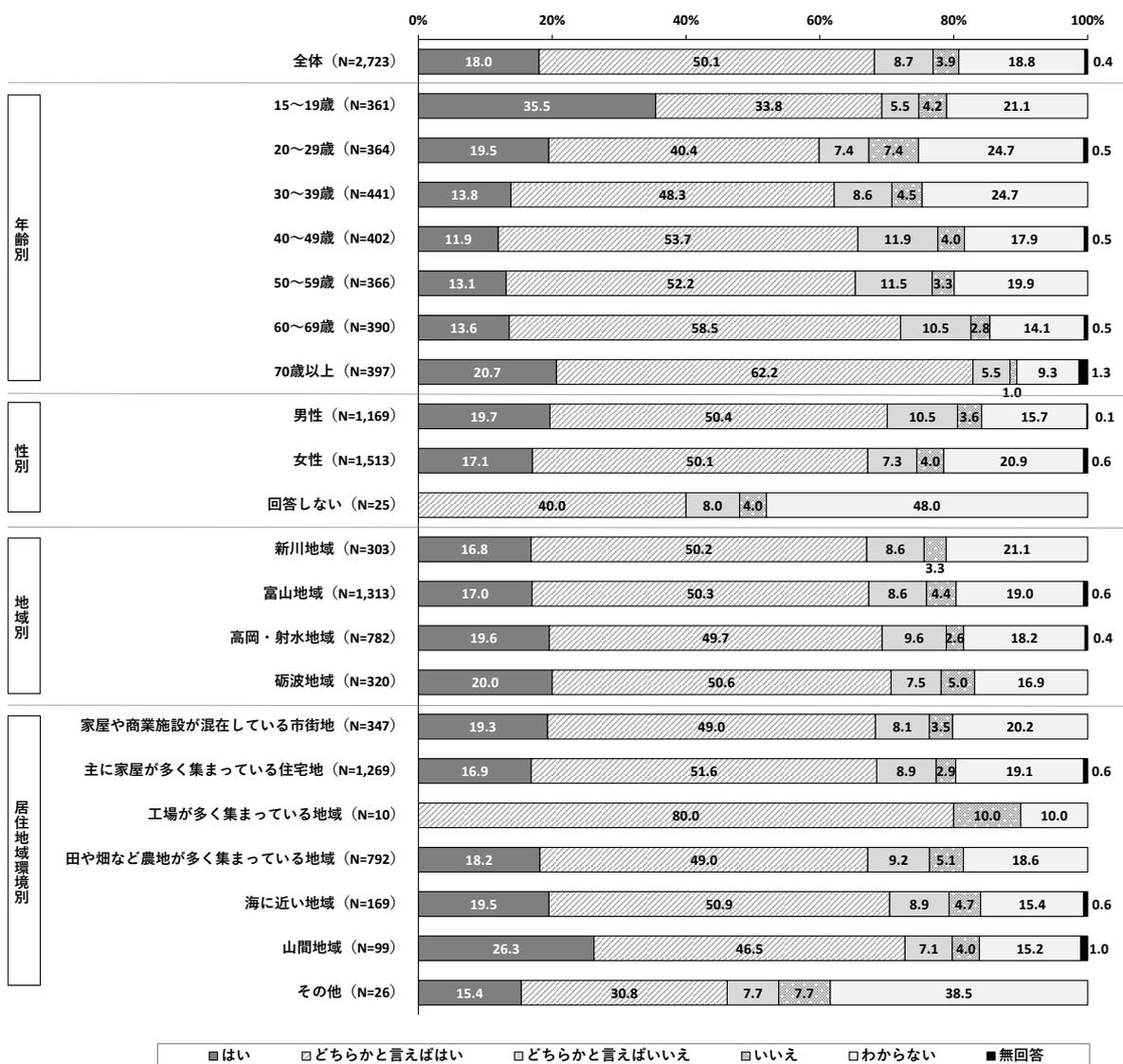
(4) － 1 地域別

すべての地域で『はい』が 70%前後となっており、大きな差は見られない。

(4) － 2 現在の居住地域環境別

「海に近い地域」「山間地域」では『はい』が 7割を超えており、他の居住地域環境よりも若干高くなっている。

図表 10-1 地域での人間関係は良好である。



問10-2 困った時や苦しい時に、地域の人は助けてくれると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が49.5%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が21.1%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」「70歳以上」では『はい』が約6割を占め、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『いいえ』は「男性」の方が4.1ポイント高い。

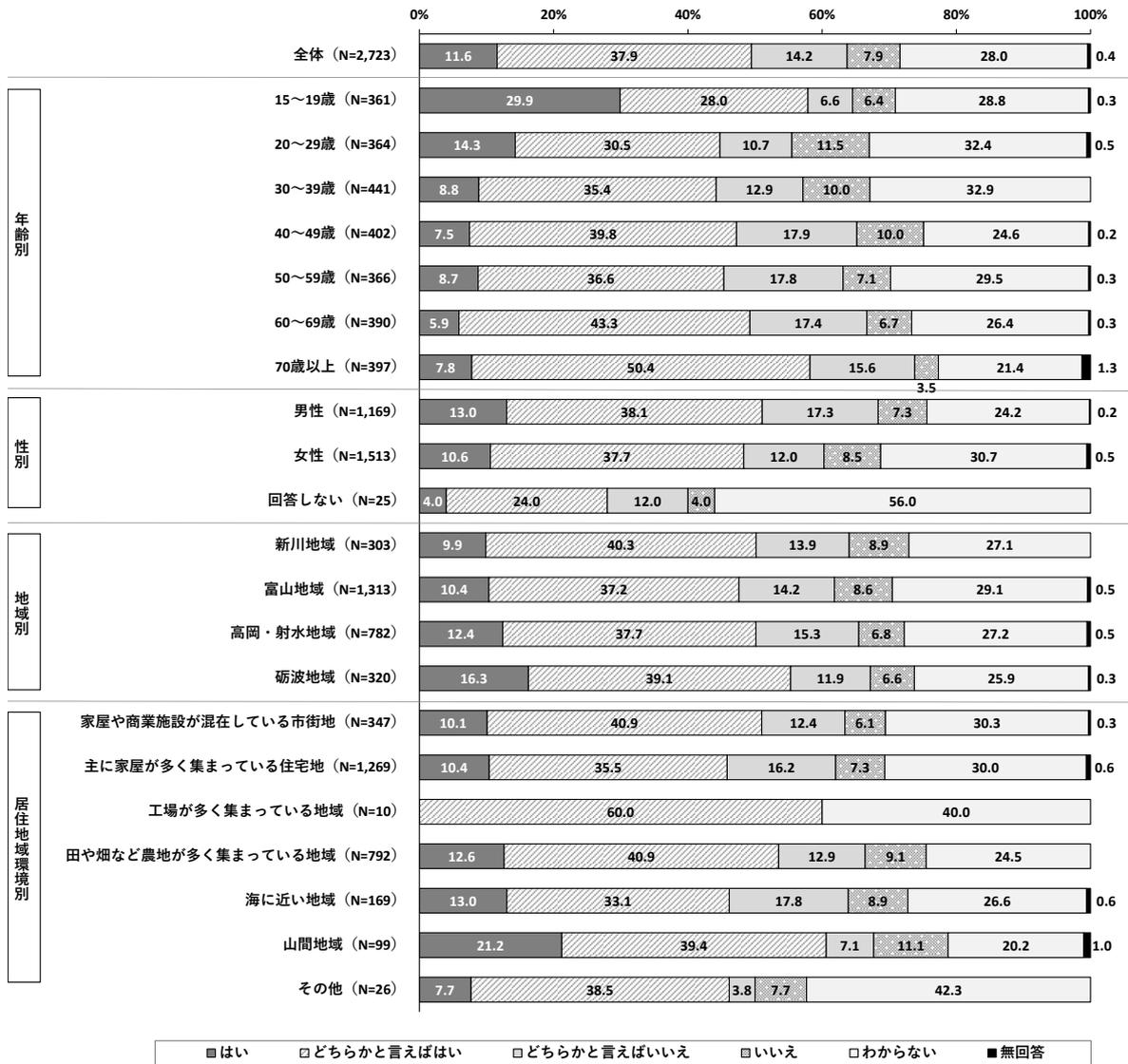
(4) - 1 地域別

「砺波地域」では『はい』が55.4%と、他の地域よりも高い。

(4) - 2 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が60.6%と、他の居住地環境よりも高くなっている。一方、「主に家屋が集まっている住宅地」「海に近い地域」では『はい』が4割台と他と比べて低くなっている。

図表 10-2 困った時や苦しい時に、地域の人は助けてくれると感じている。



はい
 どちらかと言えばはい
 どちらかと言えはいいえ
 いいえ
 わからない
 無回答

問 10-3 地域には、楽しい、嬉しい、感動するなど（ポジティブな）明るい気持ちになることができる場所や機会が多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 36.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 38.6%と、『いいえ』の方が 1.7 ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 51.8%となっている。他の年代では、「70 歳以上」を除き 3 割台以下となっており、特に、「50～59 歳」では『はい』が 26.2%、『いいえ』が 45.9%と、『いいえ』の方が 19.7 ポイント高い。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 6.8 ポイント高い。

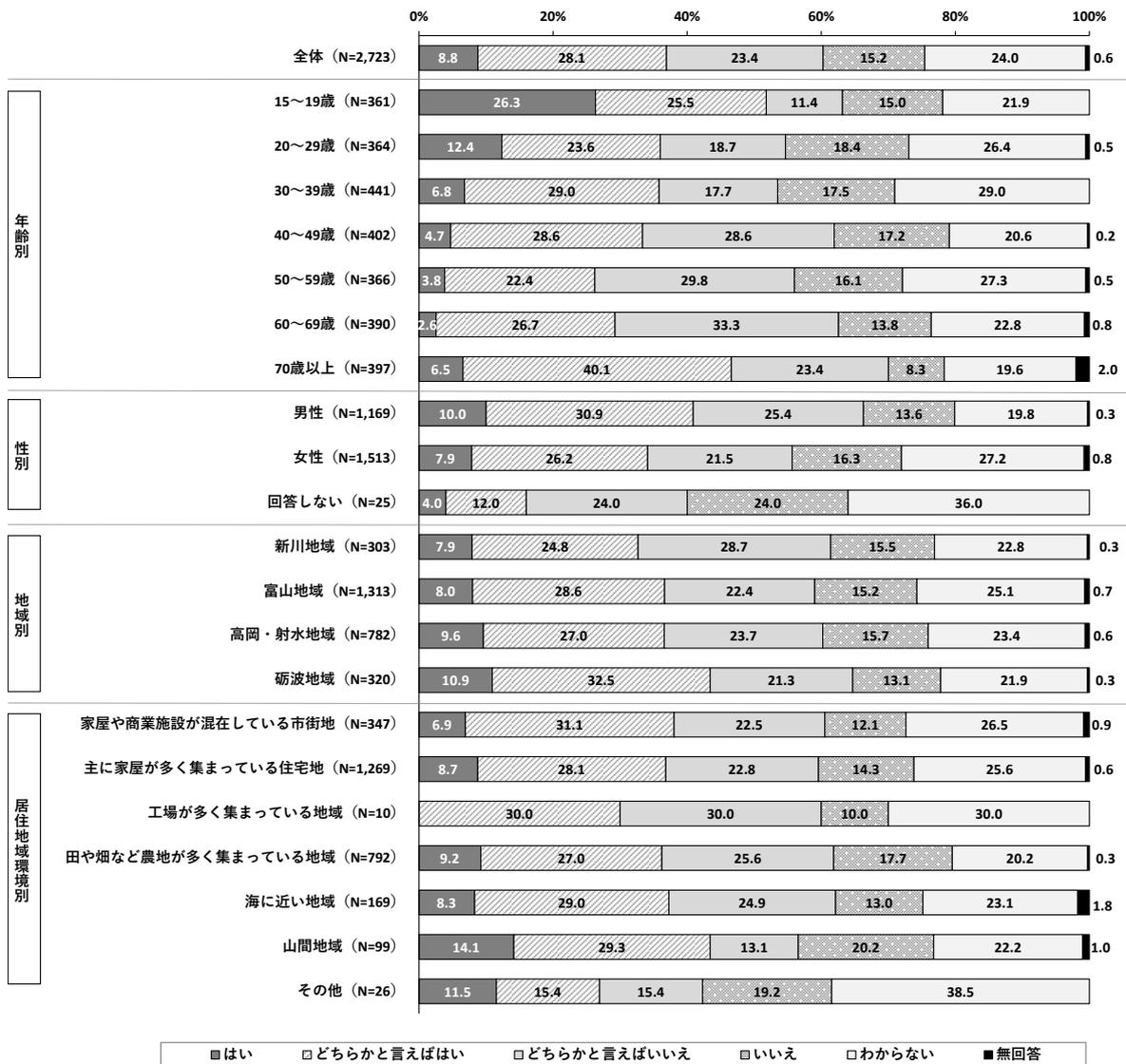
(4) - 1 地域別

「砺波地域」では『はい』が 43.4%と、他の地域よりも高い。

(4) - 2 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が 43.4%と、他の居住地環境よりも高くなっている。

図表 10-3 地域には、楽しい、嬉しい、感動するなど（ポジティブな）明るい気持ちになることができる場所や機会が多くある。



問 10－4 地域の方は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 37.0%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 20.5%となっている。なお、「わからない」が 41.8%を占めている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 47.7%を占めており、他の年代よりも高くなっている。一方、「50～59 歳」では 2割台と、他の年代よりも若干低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 11.4 ポイント高い。

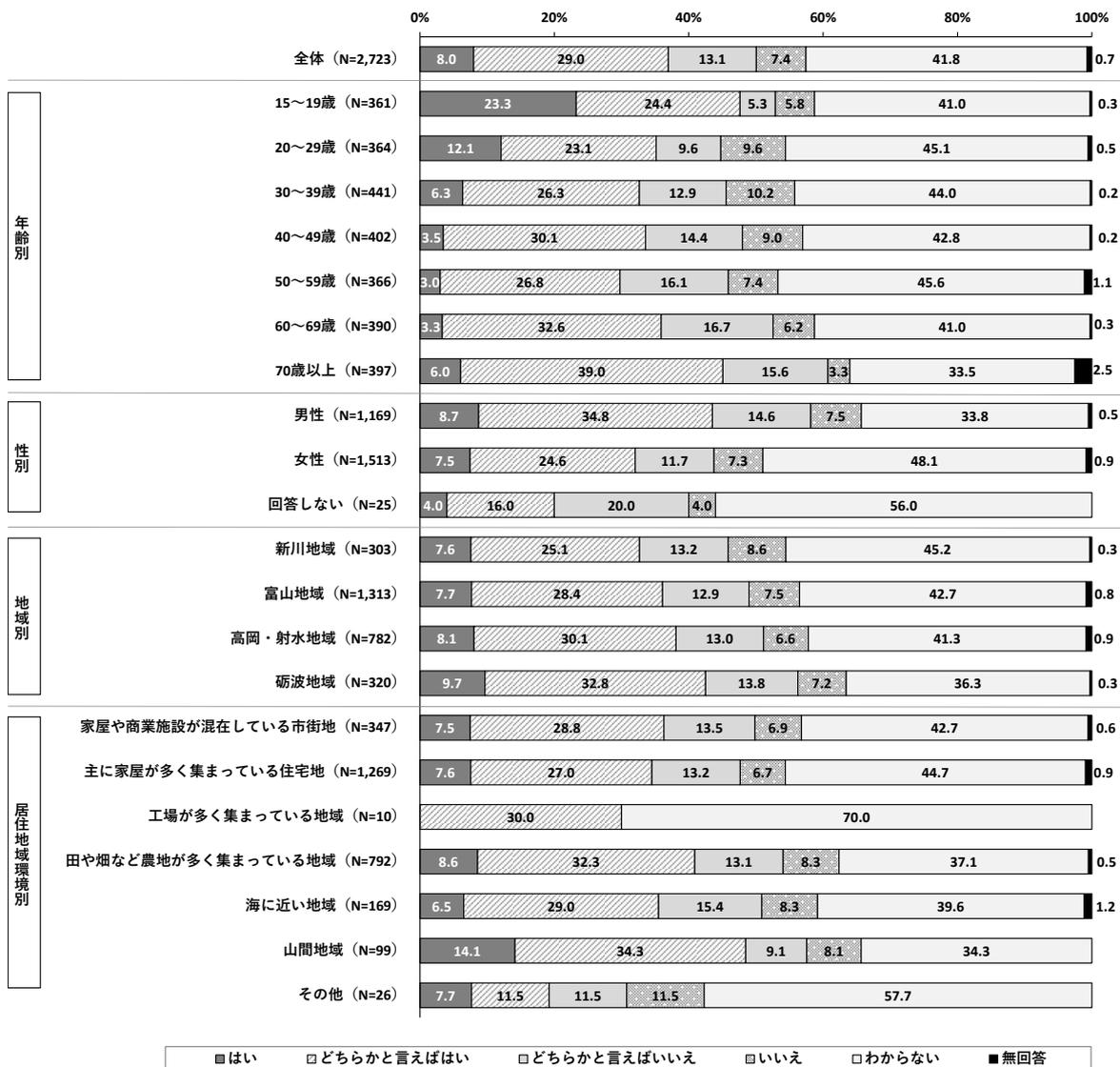
(4) － 1 地域別

「砺波地域」で『はい』が 42.5%と、他の地域よりも高くなっている。

(4) － 2 現在の居住地環境別

「山間地域」では『はい』が 48.4%と、他の居住地環境よりも高い。

図表 10-4 地域の方は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。



問 11. 富山県での暮らしに対するあなたの実感について、お気持ちをお聞きます。
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

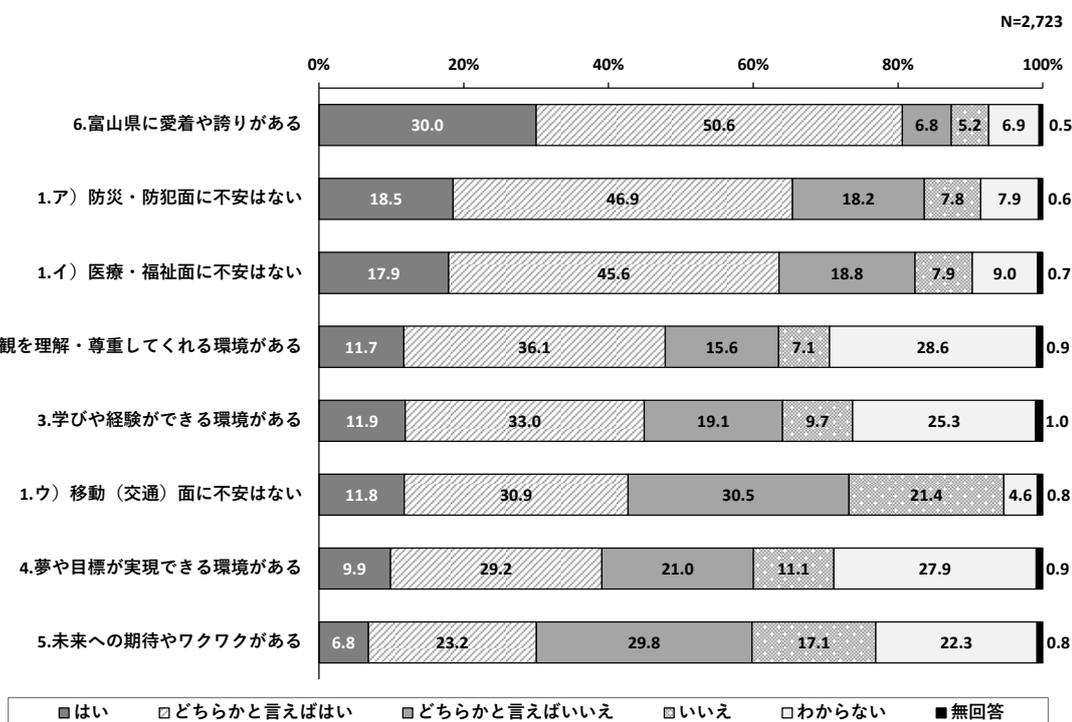
富山県での暮らしについて、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が「6.富山県に愛着や誇りがある」で80.6%と最も高く、次いで「1.ア）防災・防犯面に不安はない」（65.4%）、
「1.イ）医療・福祉面に不安はない」（63.5%）であった。

一方、「5.未来への期待やワクワクがある」では『はい』が30.0%と最も低く、次いで「4.夢や目標が実現できる環境がある」（39.1%）、「1.ウ）移動（交通）面に不安はない」（42.7%）であった。

また、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）では、「1.ウ）移動（交通）面に不安はない」が51.9%と最も高く、次いで「5.未来への期待やワクワクがある」（46.9%）、「4.夢や目標が実現できる環境がある」（32.1%）であった。

全体的に見て、富山県の暮らしは、自然環境・食や防災・防犯面について優れており、愛着や誇りを持つ人が多い一方で、未来に対する期待が持ちにくい環境になっていることがうかがえる。さらに、移動（交通面）で不安に感じている人が多いこともうかがえる。

図表 11 富山県での暮らしに対するあなたの実感について



問 11-1-ア 富山県での暮らしに不安はない。【防災・防犯面】

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 65.4%を占め、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 26.0%であった。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 78.9%と他の年代よりも高い。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 5.7 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

「砺波地域」では 69.4%と、他の地域よりも若干高くなっている。

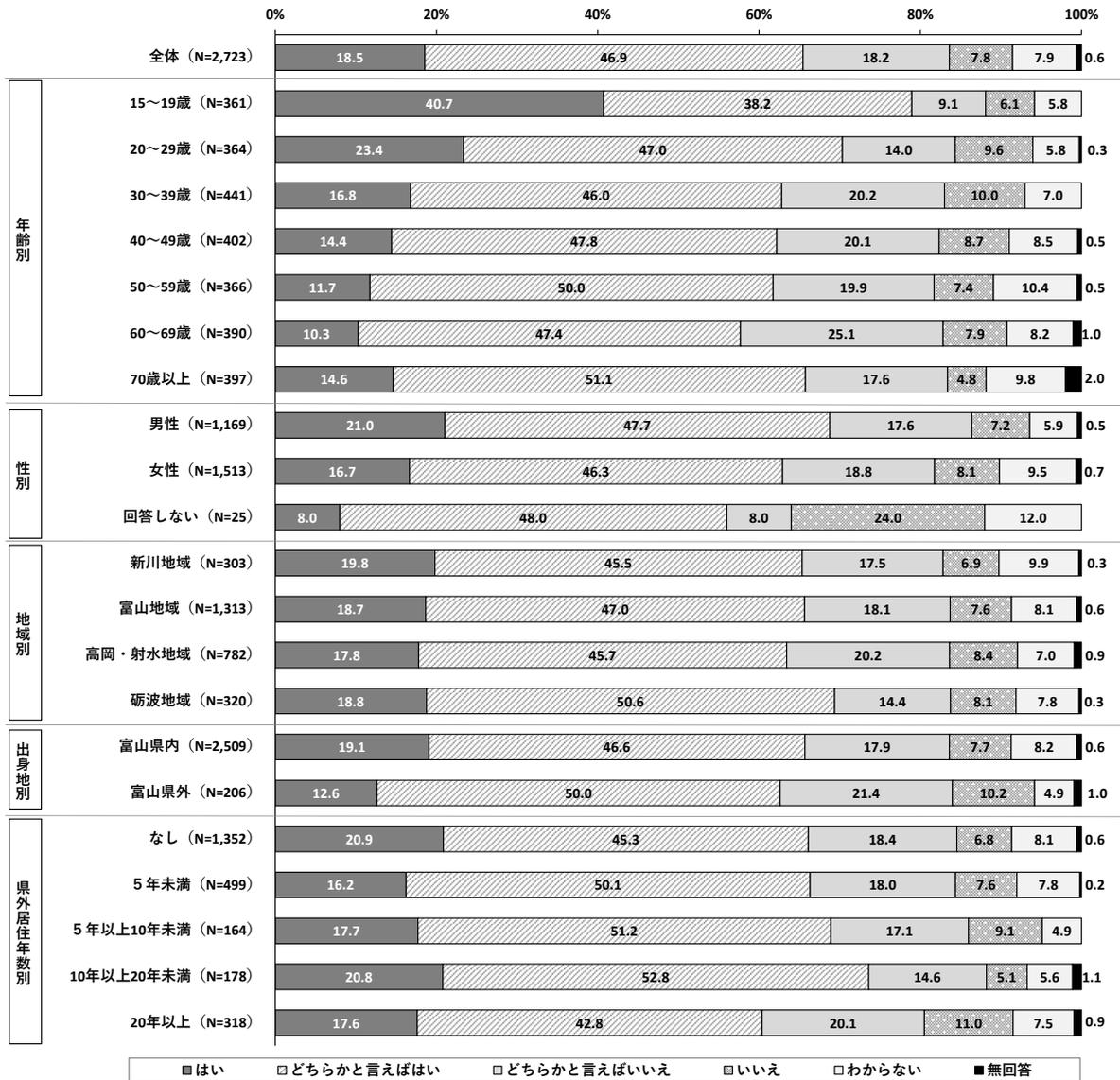
(4) - 2 出身地別

『いいえ』は「富山県外」の方が 6.0 ポイント高くなっている。

(4) - 3 県外での居住年数別

「20 年以上」では『はい』が 60.4%と、他の居住年数よりも低くなっている。

図表 11-1 - ア 富山県での暮らしに不安はない。【防災・防犯面】



問 11-1-1 イ 富山県での暮らしに不安はない。【医療・福祉面】

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 63.5%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 26.7%となっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 80.0%と他の年代よりも高くなっている。一方、30 歳代から 60 歳代では 5 割台となっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が 6.4 ポイント高い。

(4) - 1 地域別

地域による大きな差は見られず、すべての地域で『はい』が 6 割を超えている。

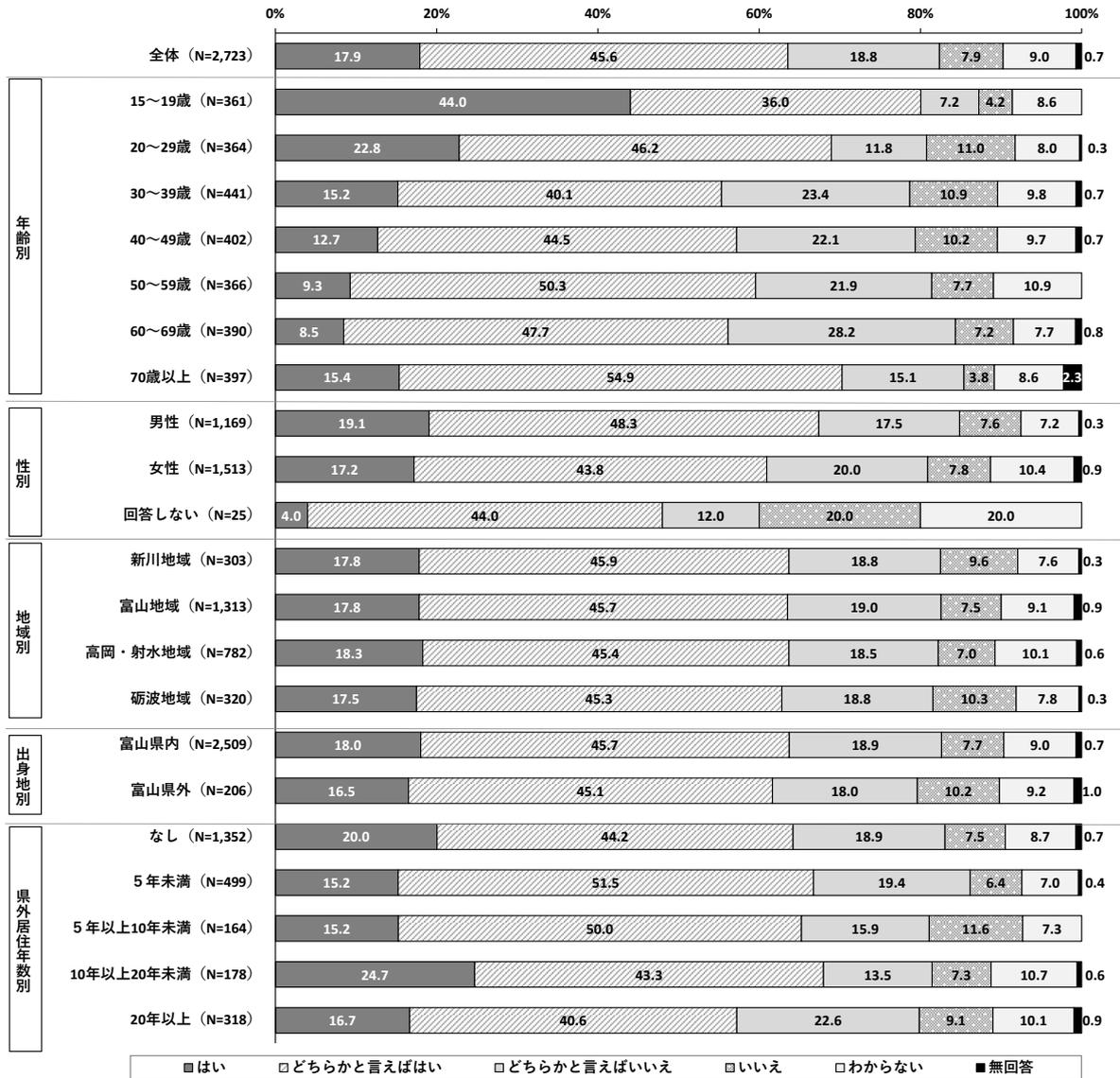
(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4) - 3 県外での居住年数別

「20 年以上」を除くすべての居住年数で『はい』が 6 割を超えている。

図表 11-1-イ 富山県での暮らしに不安はない。【医療・福祉面】



問 11-1-U 富山県での暮らしに不安はない。【移動（交通）面】

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が42.7%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が51.9%となっており、『いいえ』の方が9.2ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19歳」「70歳以上」では『はい』が5割台と他の年代よりも高くなっている。一方、他の年代では『いいえ』の方が上回っている。

(3) 性別

『はい』は「男性」の方が7.4ポイント高い。

(4) - 1 地域別

すべての地域で『はい』より『いいえ』の方が上回っており、「砺波地域」では『いいえ』が55.9%と、他の地域よりも若干高い。

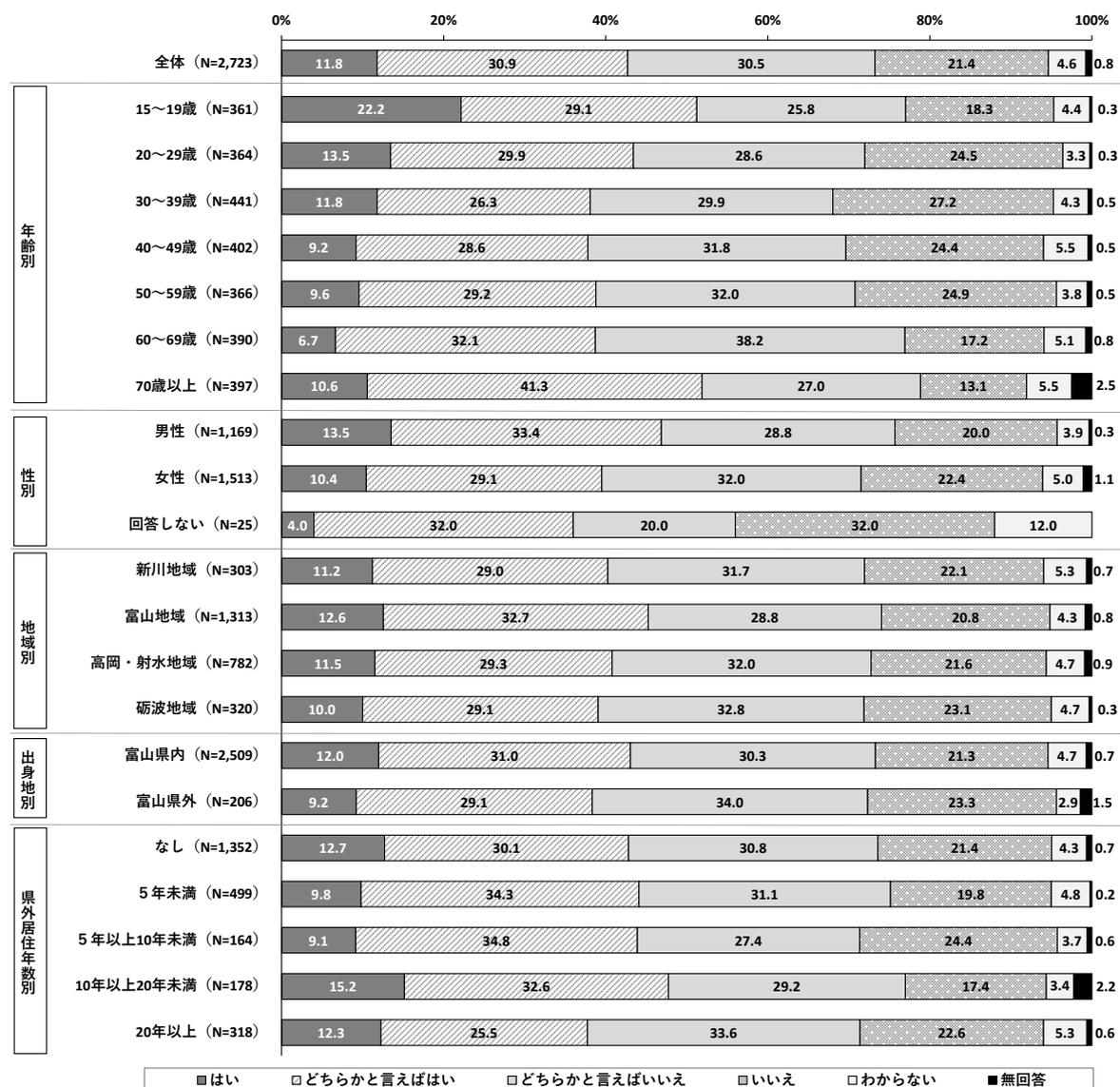
(4) - 2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」ともに『いいえ』の方が上回っている。

(4) - 3 県外での居住年数別

「10年以上20年未満」を除くすべての居住年数で『いいえ』の方が上回っている。

図表 11-1-ウ 富山県での暮らしに不安はない。【移動（交通）面】



問 11－2 全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 47.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 22.7%となっている。なお、「わからない」が 28.6%を占めている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 74.2%と、他の年代よりも高い。50～69 歳では『はい』が 3 割台と低くなっている。

(3) 性別

『はい』は男女間で大きな差は見られないものの、『いいえ』は「男性」の方が 7.5 ポイント高い。

(4)－1 地域別

「砺波地域」では『はい』が 52.8%と、他の地域よりも高くなっている。

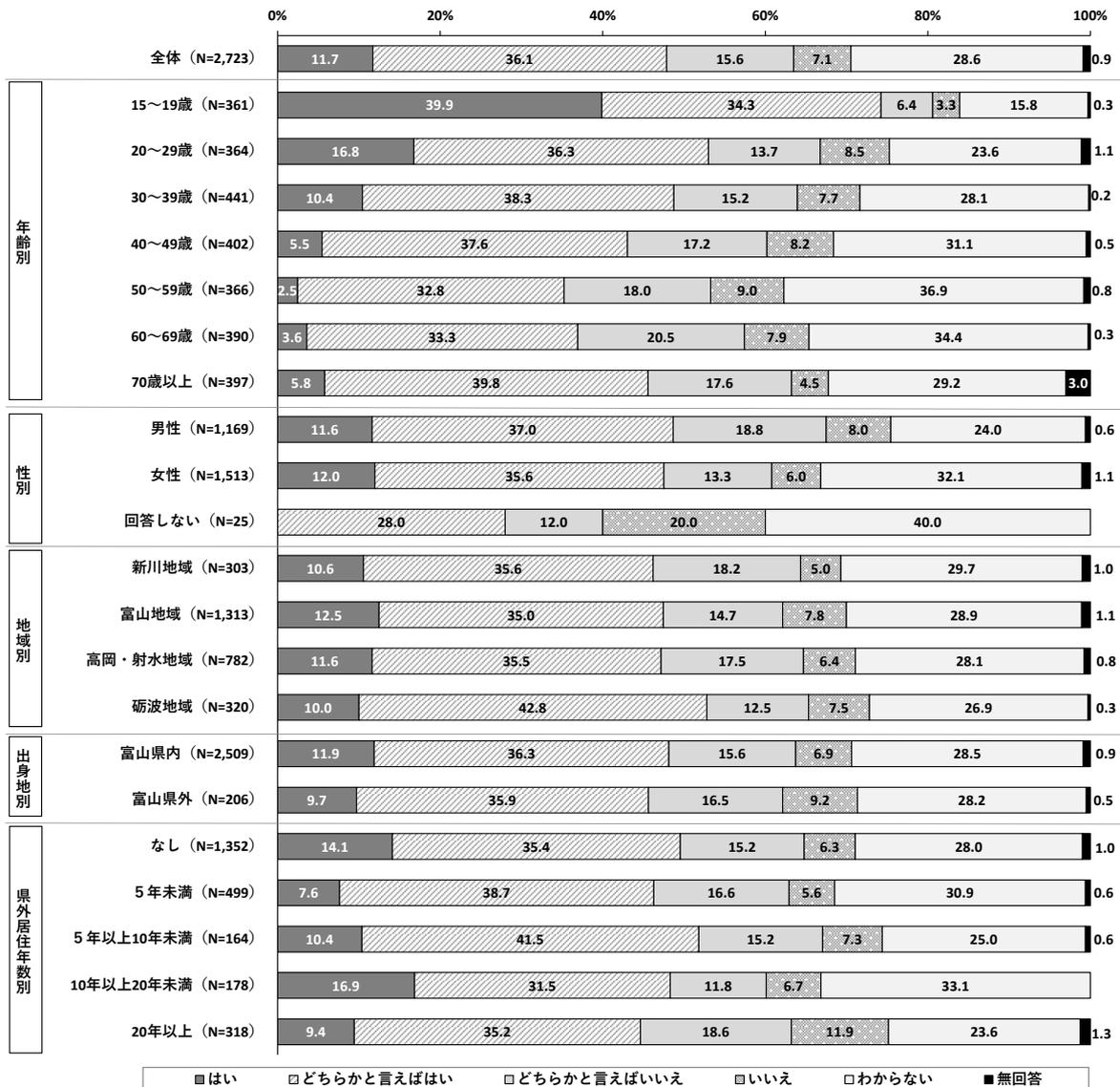
(4)－2 出身地別

出身地による大きな差は見られない。

(4)－3 県外での居住年数別

「5 年以上 10 年未満」では『はい』が 51.9%と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 11-2 全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。



問 11－3 全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 44.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 28.8%となっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 73.1%と、他の年代よりも高い。50～69 歳では『はい』が 3 割台前半と低くなっている。

(3) 性別

『はい』は男女間で大きな差は見られないものの、『いいえ』は「男性」の方が 7.4 ポイント高い。

(4)－1 地域別

地域間の大きな差は見られず、どの地域も『はい』が 45%前後となっている。

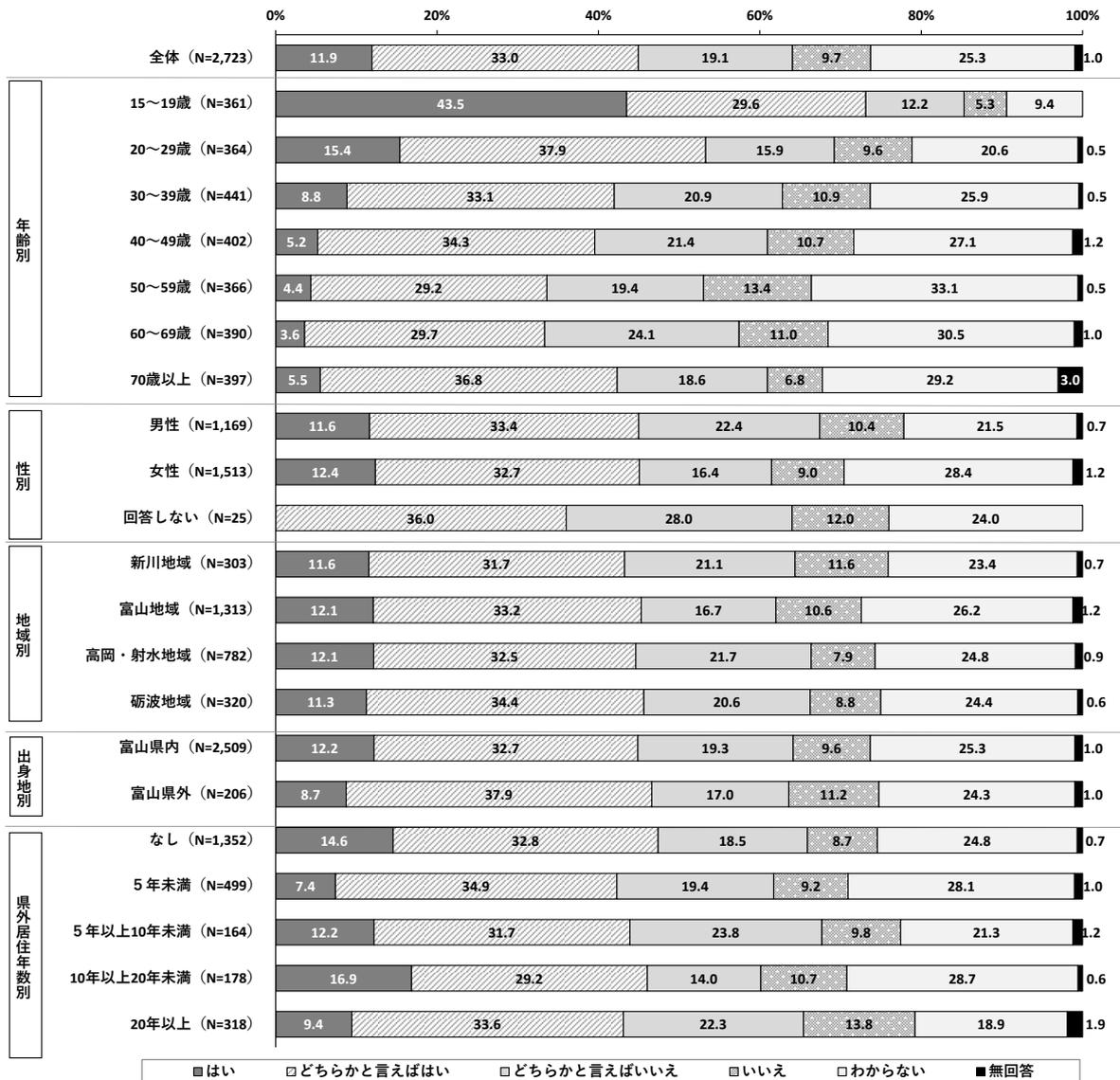
(4)－2 出身地別

出身地で大きな差は見られない。

(4)－3 県外での居住年数別

「なし」では『はい』が 47.4%と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 11-3 全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。



問 11-4 全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 39.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 32.1%となっている。なお、「わからない」も 27.9%を占めている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が 66.8%と、他の年代よりも高い。50～69歳では『はい』が 2割台と低くなっている。

(3) 性別

『はい』は男女間で大きな差は見られないものの、『いいえ』は「男性」の方が 6.5ポイント高い。

(4) - 1 地域別

地域間の大きな差は見られないが、「富山地域」では『はい』が 40.1%と、他の地域よりも若干高い。

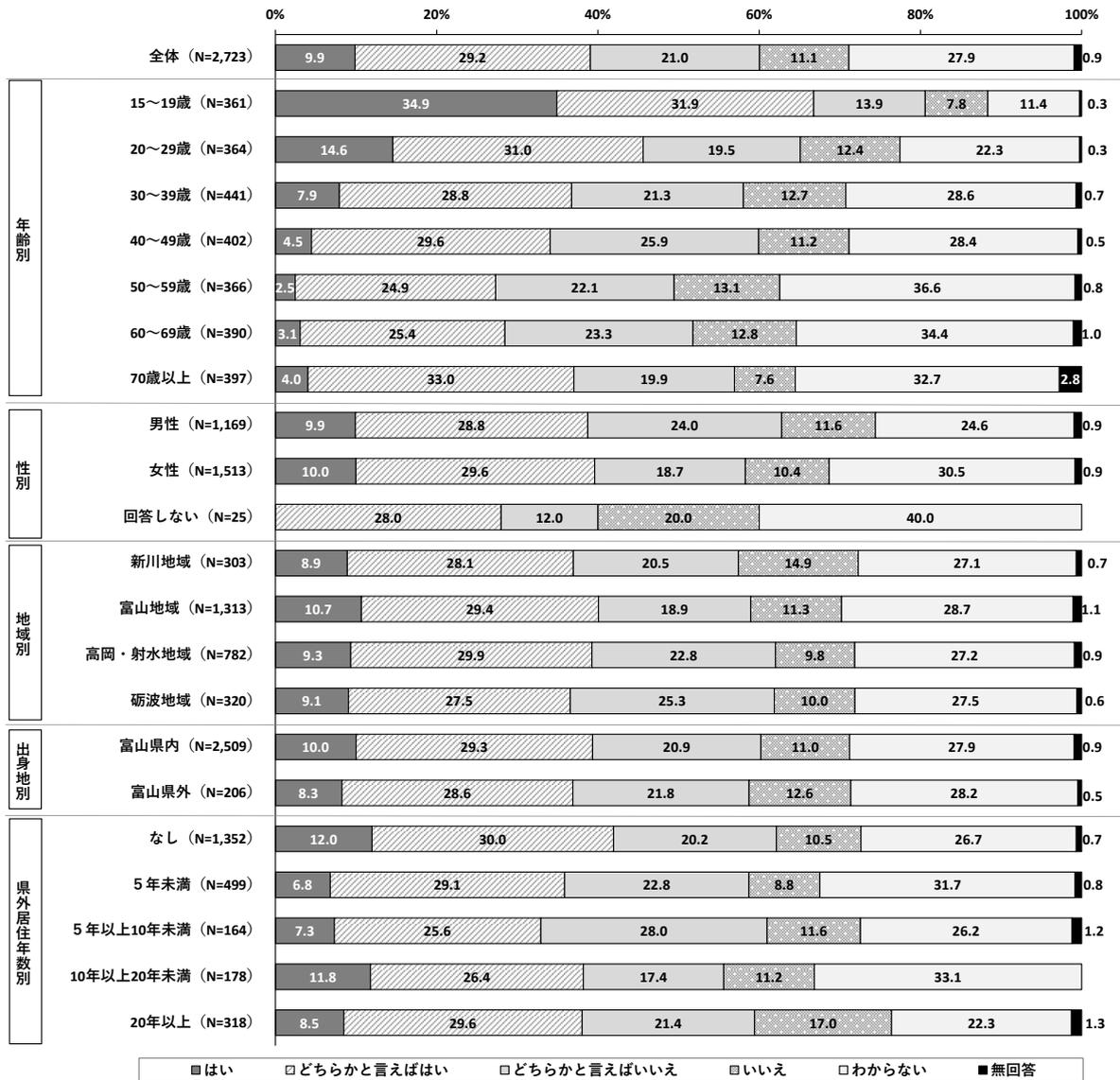
(4) - 2 出身地別

出身地で大きな差は見られない。

(4) - 3 県外での居住年数別

「なし」では『はい』が 42.0%と、他の居住年数よりも若干高い。

図表 11-4 全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。



問 11－5 富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が30.0%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が46.9%と、『いいえ』の方が16.9ポイント上回っている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では『はい』が49.1%と、他の年代よりも高い。一方、20歳代以上では『いいえ』の方が上回っている。

(3) 性別

『いいえ』は「男性」の方が8.4ポイント高い。

(4)－1 地域別

すべての地域で『いいえ』が4割を超え、『はい』より『いいえ』の方が上回っている。

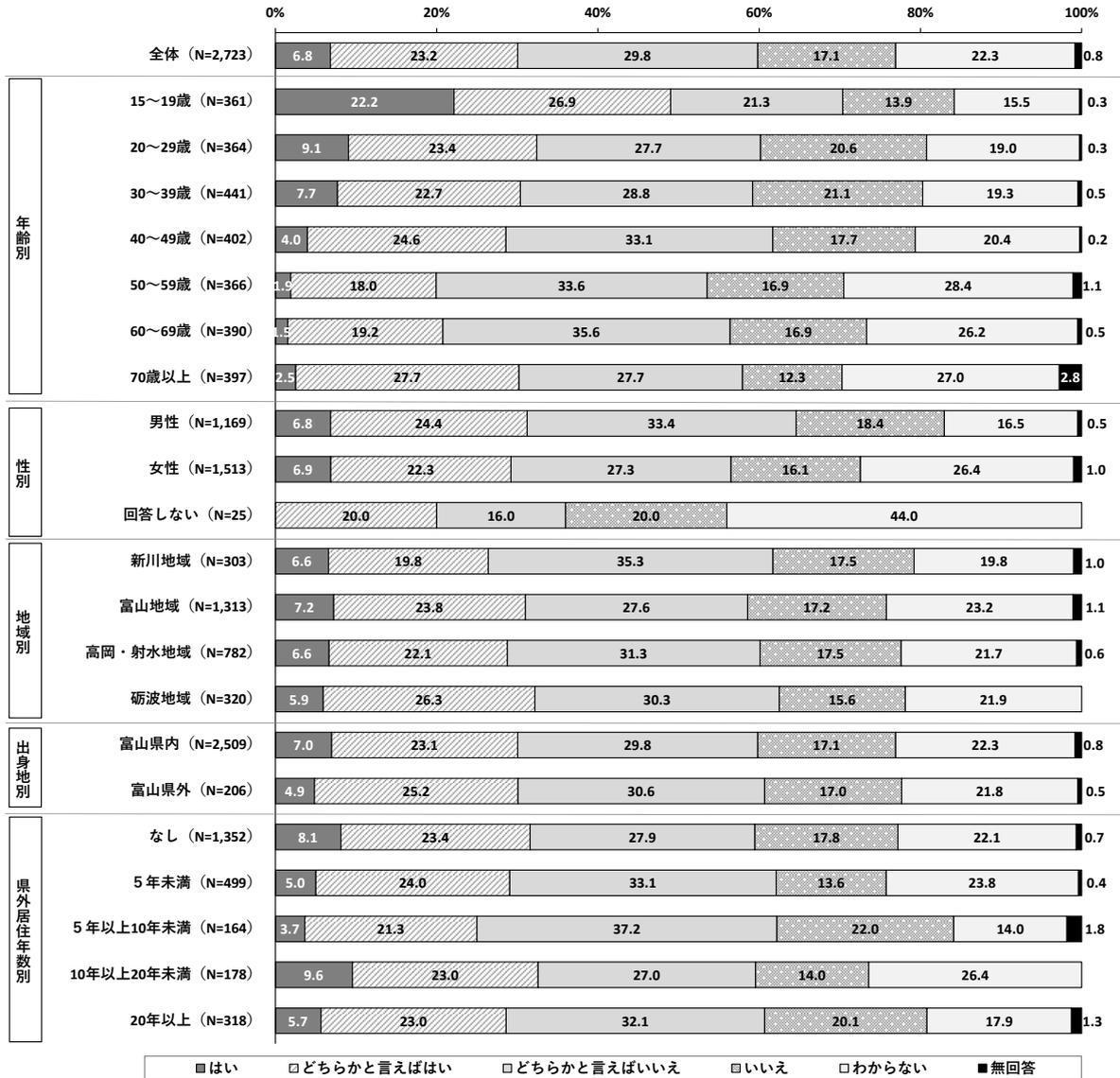
(4)－2 出身地別

出身地による大きな差は見られず、「富山県内」「富山県外」とともに『いいえ』が4割台となっている。

(4)－3 県外での居住年数別

全ての居住年数で『はい』より『いいえ』の方が上回っている。「5年以上10年未満」では『いいえ』が59.2%と、他の居住年数よりも若干高い。

図表 11-5 富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。



問 11－6 富山県ならではの自然や食、文化等に愛着や誇りがある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 80.6% を占め、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 12.0% となっている。

(2) 年齢別

「40～49 歳」では『はい』が 85.0%（うち「はい」が 30.3%）と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『いいえ』は「男性」の方が 4.2 ポイント高い。

(4)－1 地域別

地域間の大きな差は見られない。

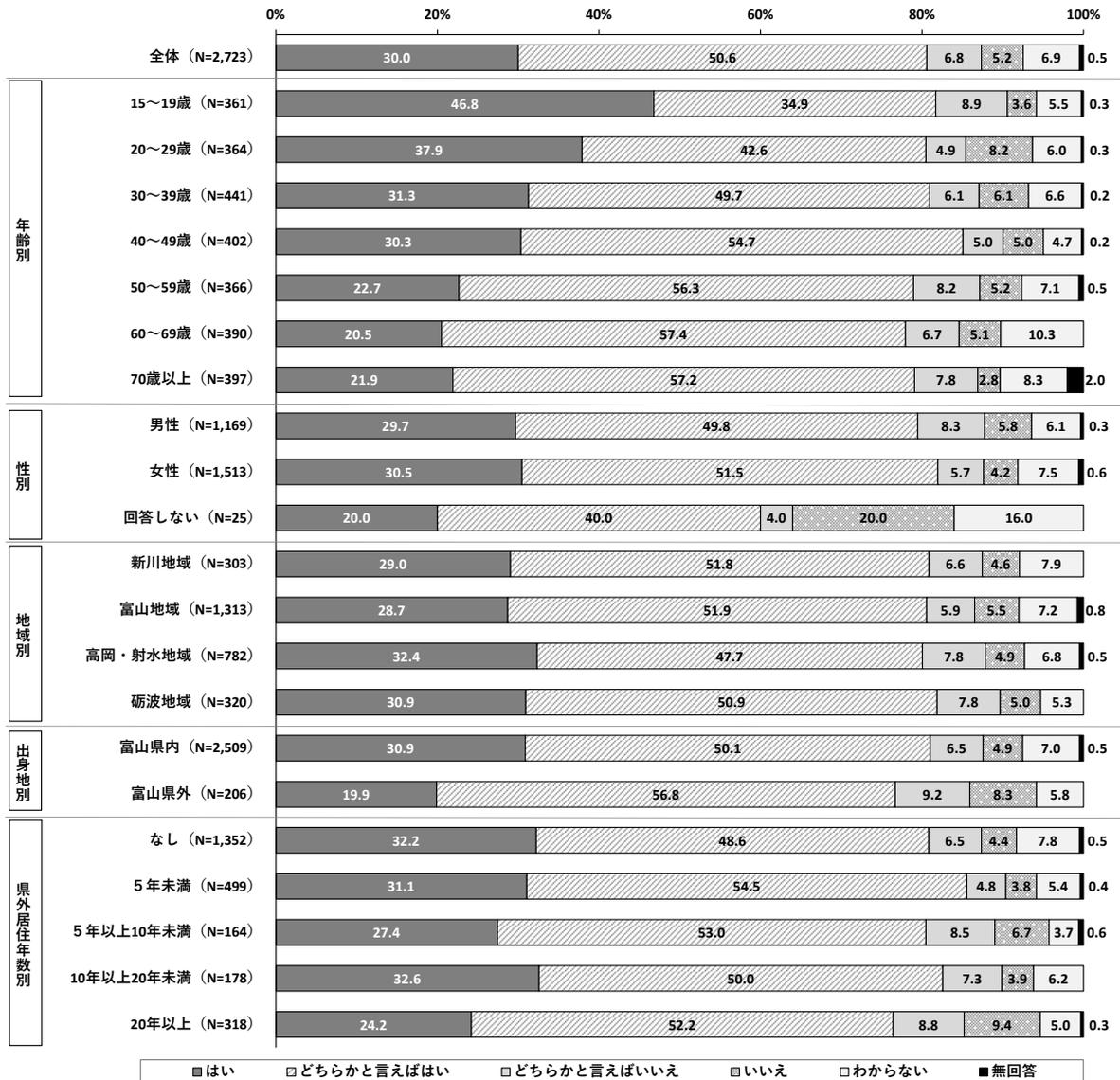
(4)－2 出身地別

『いいえ』は「富山県外」の方が 6.1 ポイント高い。

(4)－3 県外での居住年数別

「5 年未満」では『はい』が 85.6% と、他の居住年数よりも高くなっている。

図表 11-6 富山県ならではの自然や食、文化等に愛着や誇りがある。



問 12. あなたの生活全体に対する実感について、お気持ちをお聞きます。

総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。

（１）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 67.0%を占め、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 24.6%となっている。

（２）年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 78.4%（うち「はい」が 39.9%）と、他の年代よりも高くなっている。

（３）性別

男女間で大きな差は見られない。

（４）－１ 地域別

地域間で大きな差は見られないが、「新川地域」では『はい』が 64.7%と他の地域よりも低くなっている。

（４）－２ 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が 67.1%を占めている。

（４）－３ 現在の居住地環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が 74.7%と、他の居住地環境よりも若干高い。一方、「山間地域」では『はい』が 56.5%と、他の居住地環境よりも低い。

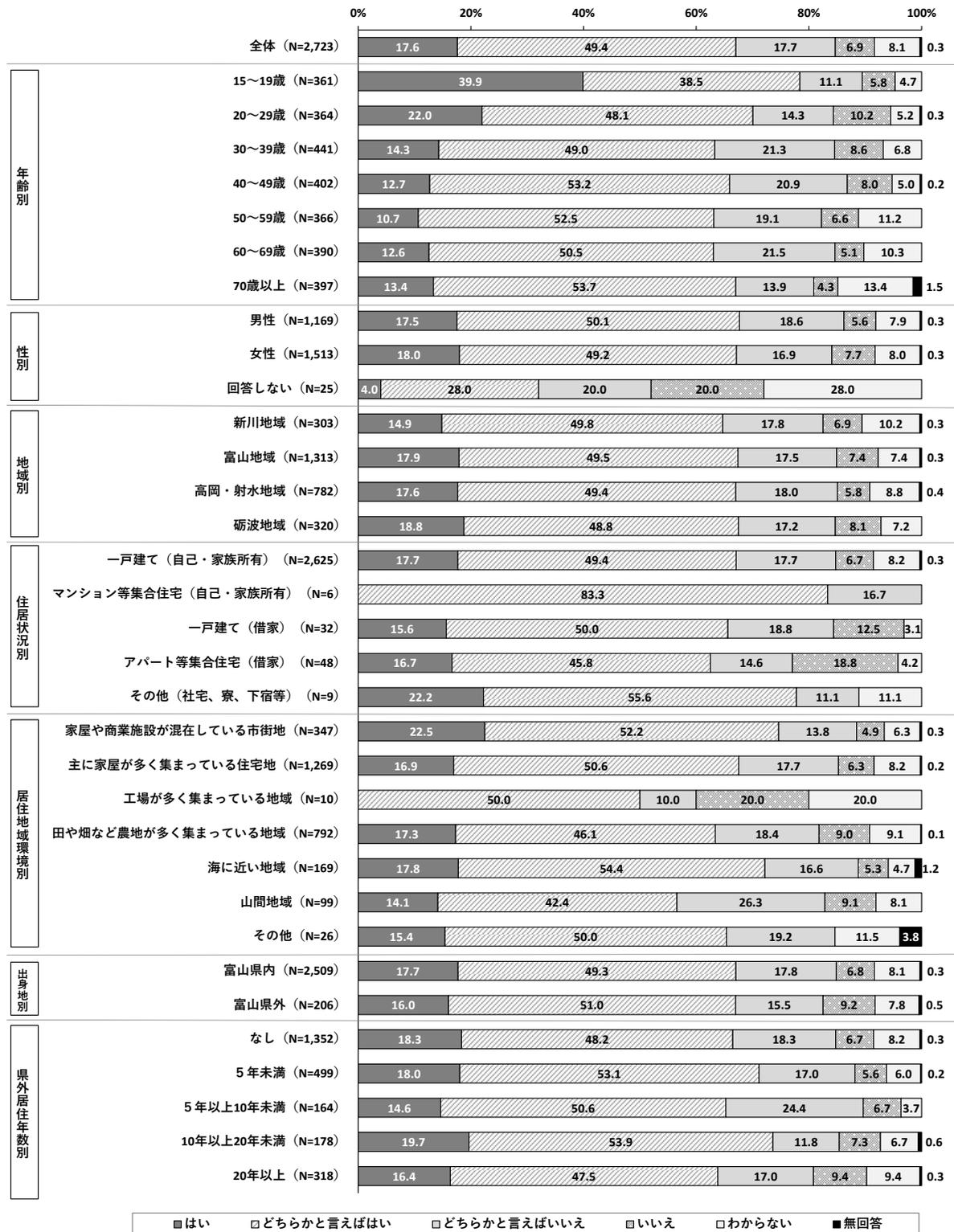
（４）－４ 出身地別

出身地で大きな差は見られない。

（４）－５ 県外での居住年数別

「5 年未満」と「10 年以上 20 年未満」では『はい』が 7 割台と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 12-1 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が61.9%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が24.3%と「いる」よりも11.1ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られない。

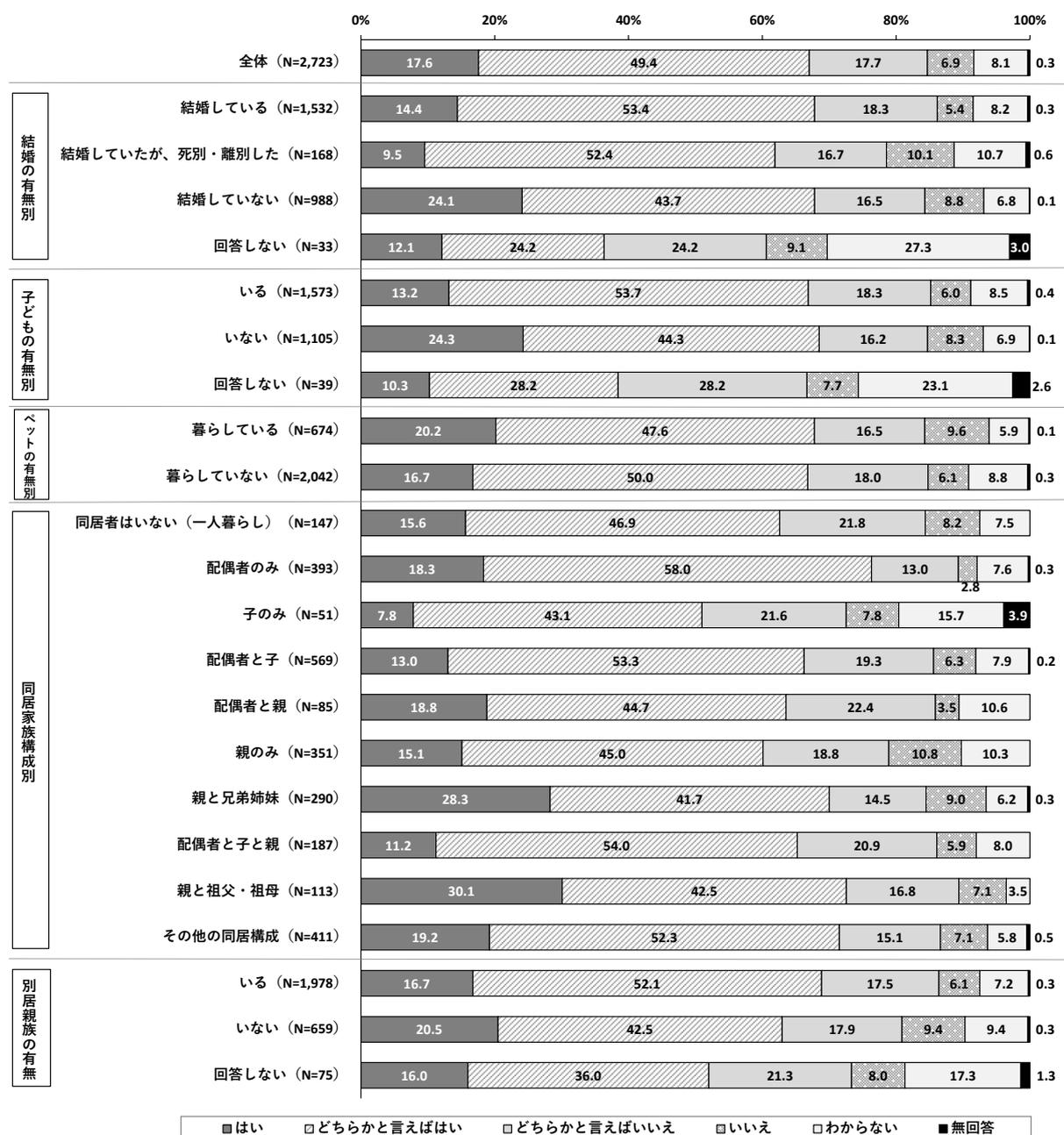
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「親と祖父・祖母」「その他の同居構成」では『はい』が7割台となっており、他よりも若干高い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の「いる」「いない」ともに『はい』が6割台となっており、「いる」の方が5.8ポイント高い。

図表 12-2 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（家族状況別）



(6) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が77.7%（うち「はい」が39.6%）と他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が57.0%、『いいえ』が27.0%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「情報通信業」では『はい』が8割台となっており、他の職業分野よりも若干高い。

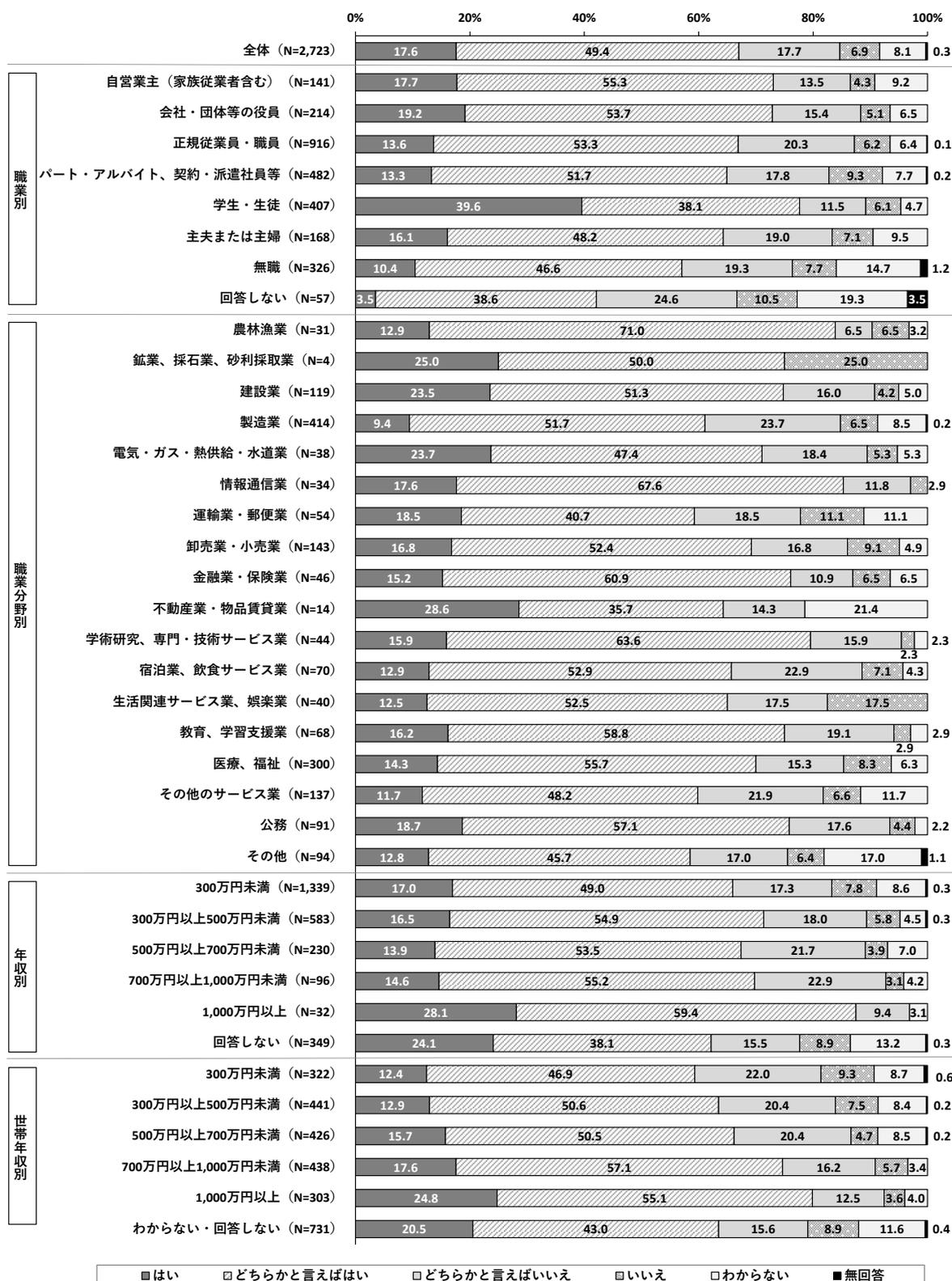
(6) - 3 年収別

「1,000万円以上」では『はい』が87.5%と、他と比べて高くなっている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では79.9%を占めている。一方、「300万円未満」では『はい』が59.3%と、他と比較して低い。

図表 12-3 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（職業・年収別）



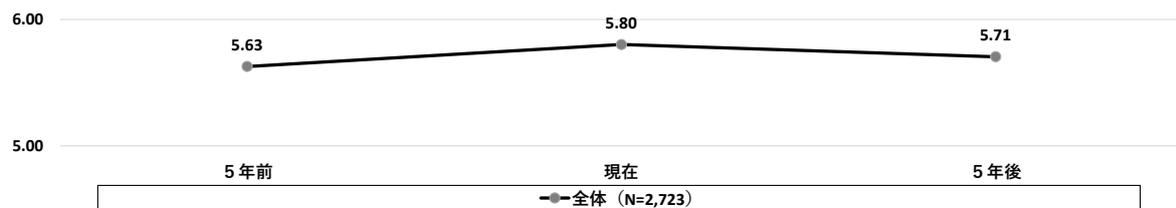
問 13. あなたにとって、最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う状態を「0」として、「10」～「0」の11段階で表現すると、
 ①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。
 また、②5年前は、どの程度の状態であったと思いますか。
 そして、あなたの想像では、③5年後どういう状態になっていると思いますか。
 それぞれの設問につき1つ、あてはまる段階を選んで○をつけてください。

(1) 全体

【平均】

「5年前」の5.63から「現在」は5.80と若干上向きになったが、「5年後」には5.71と下がっている。

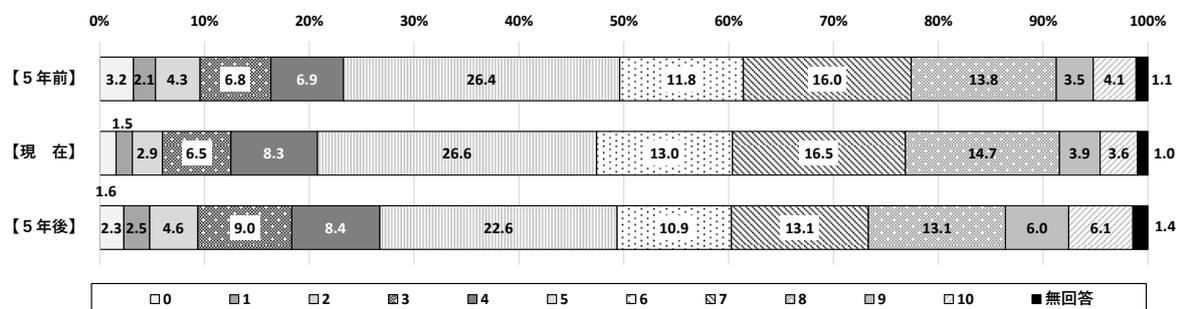
図表 13-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(全体)



【割合】

「5年前」「現在」「5年後」のいずれも中央値の「5」が最も高い。「6以上」の割合は、「5年前」から「現在」にかけて若干上向くが、「5年後」には下がり49.2%となっている。一方、「4以下」の割合は、「5年後」には26.8%と「現在」よりも6.0ポイント増加している。

図表 13-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(全体)

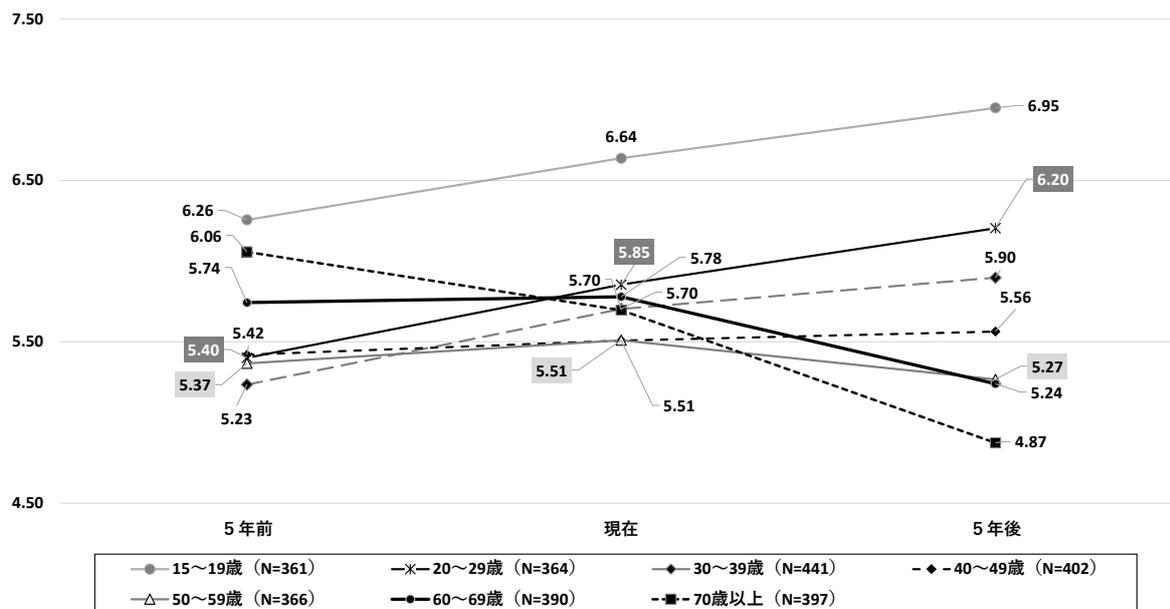


(2) 年齢別

【平均】

「15～19歳」は「5年前」の6.26から上向き傾向にあり、「5年後」には6.95と、どの年代よりも高い。一方、「70歳以上」は「5年前」の6.06から下向き傾向にあり、「5年後」には4.87と、どの年代よりも低い。

図表 13-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（年齢別）



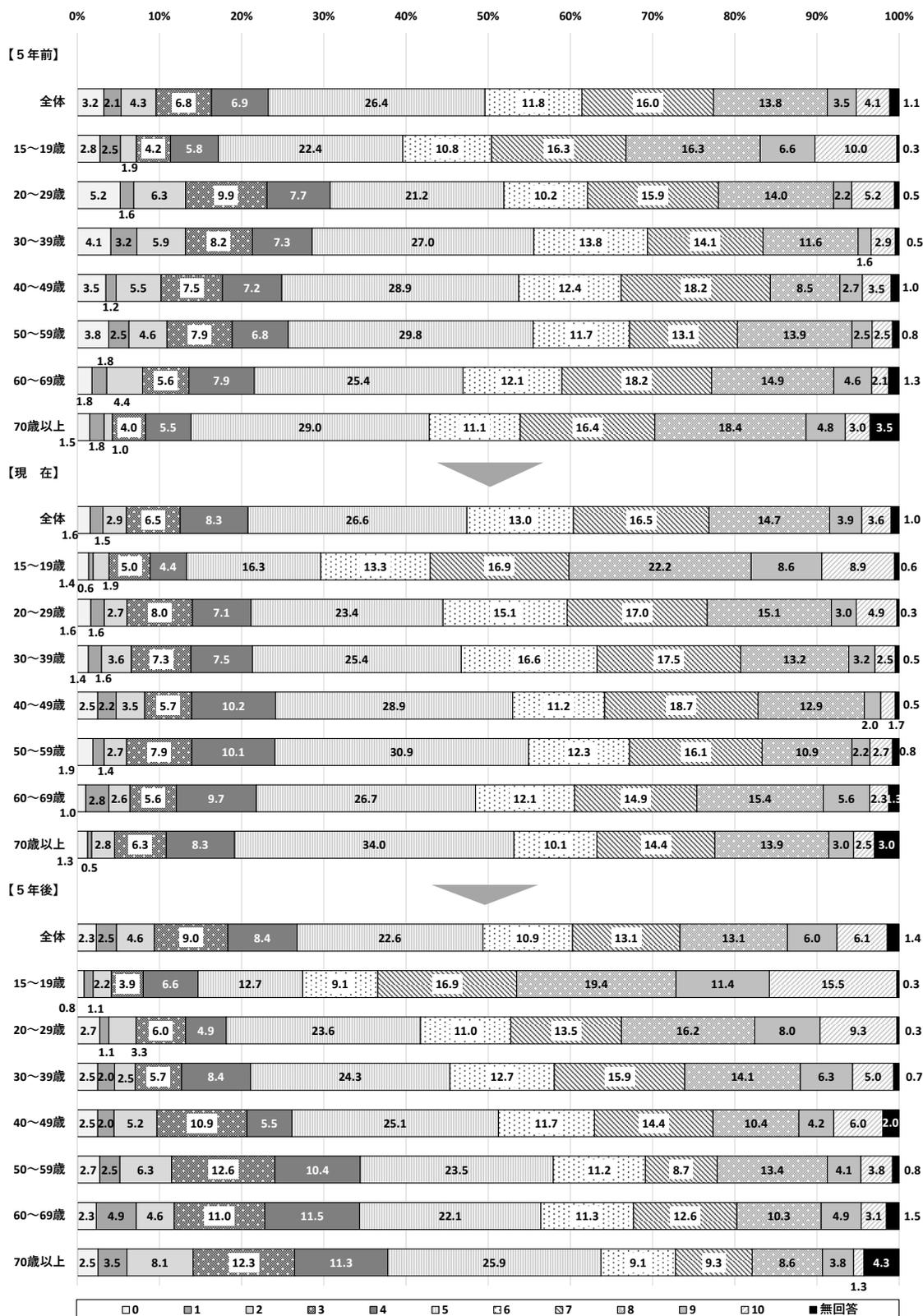
【割合】

「15～19歳」では、「5年後」において「8」が最も高く、その他の年代では中央値の「5」が最も高くなっている。

「5年後」において、「15～19歳」では「6以上」が7割を超えている。

「5年後」を見ると、「6以上」は年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあり、「70歳以上」では32.1%となっている。

図表 13-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年齢別）

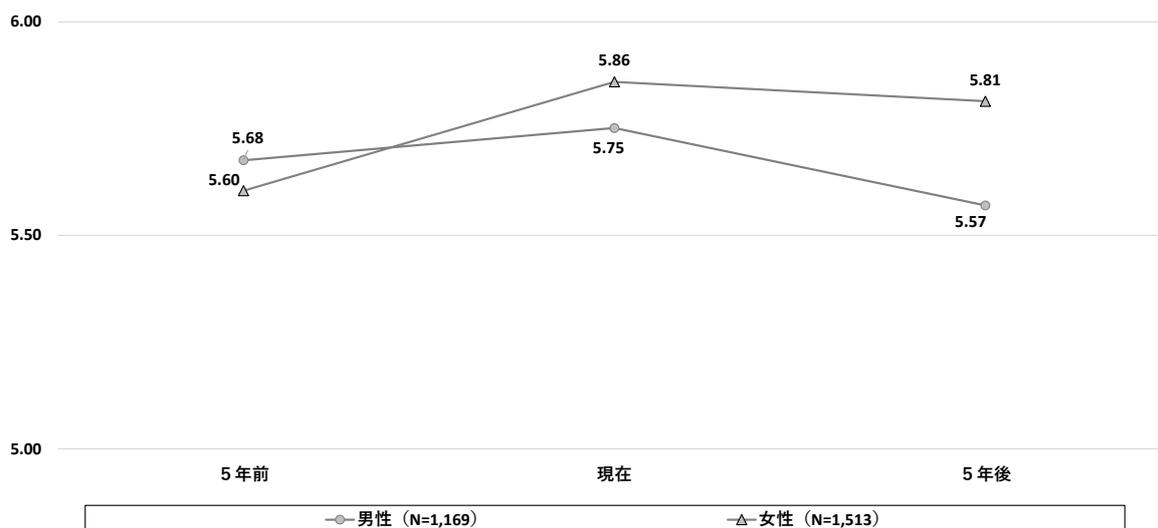


(3) 性別

【平均】

「男性」は「5年前」の5.68から「現在」の5.75と若干上向きになったが「5年後」には「5年前」を下回っている。一方、「女性」は「5年前」の5.60から「現在」の5.86と男性と比べ上がり幅が大きい。

図表 13-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(性別)

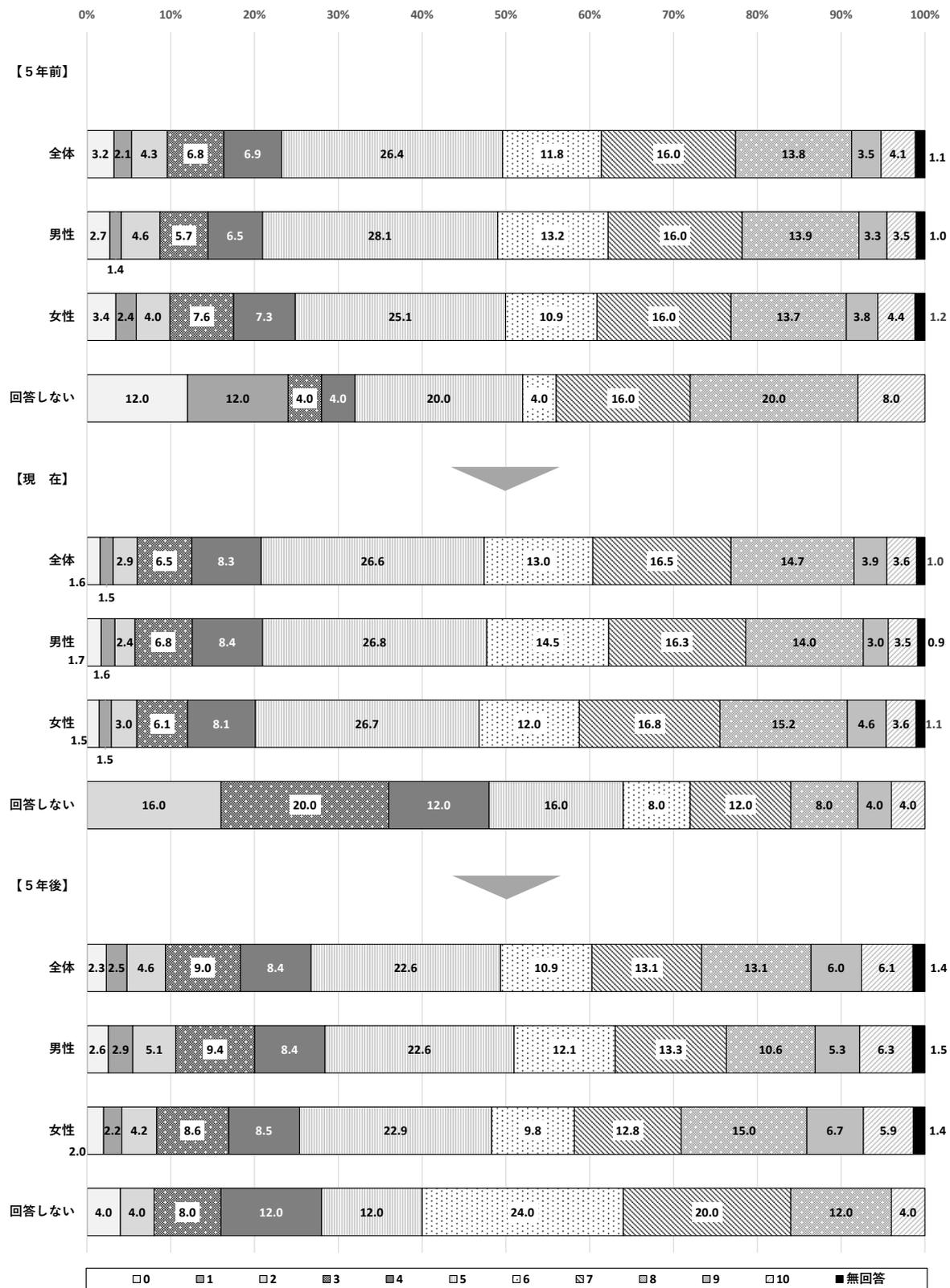


【割合】

男女ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」は、「5年前」は男女による差はないものの、「現在」からは「女性」の方が高くなり、「5年後」には「男性」の47.6%に対して「女性」が50.2%と2.6ポイント高い。

図表 13-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（性別）

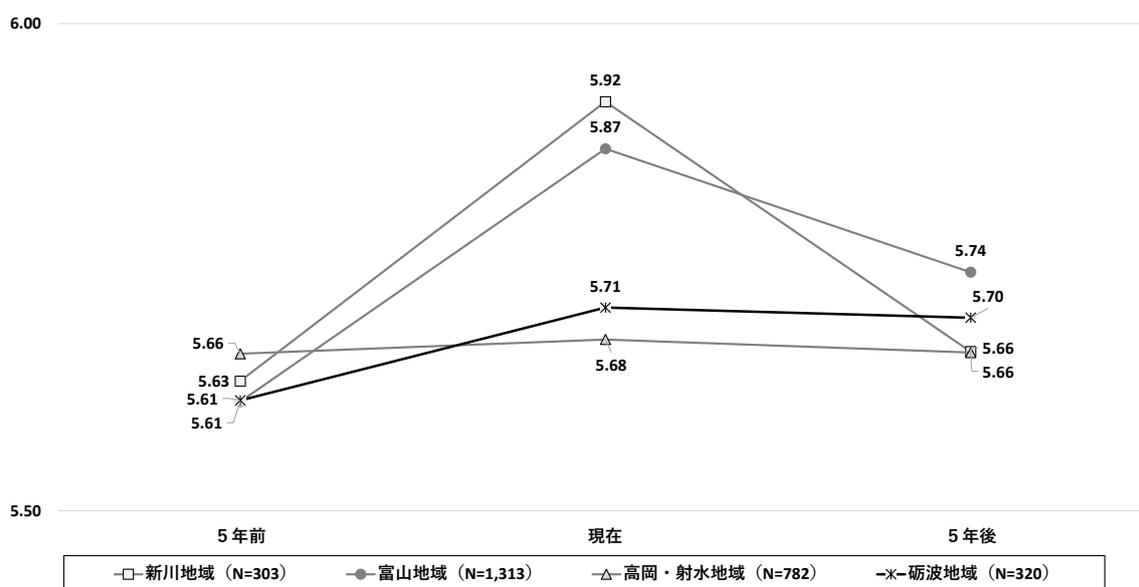


(4) - 1 地域別

【平均】

「高岡・射水地域」はほぼ横ばいで推移している。その他の地域は「現在」に一旦上がり、「5年後」には下がっている。特に、「新川地域」の下がり幅が大きい。

図表 13-4-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(地域別)

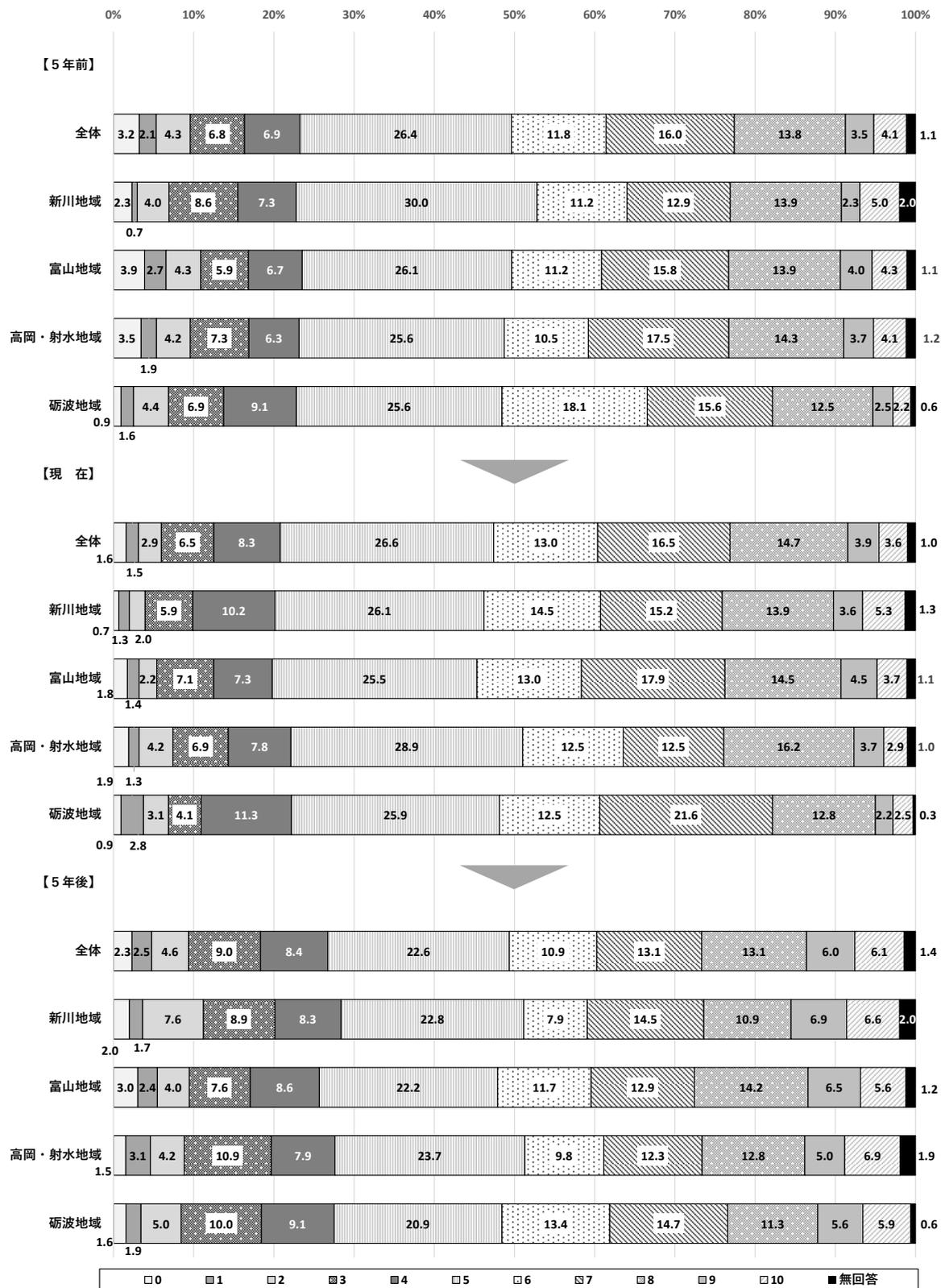


【割合】

すべての地域で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「6以上」を見ると、「高岡・射水地域」で46.8%と、他の地域と比較して低くなっている。

図表 13-4-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（地域別）

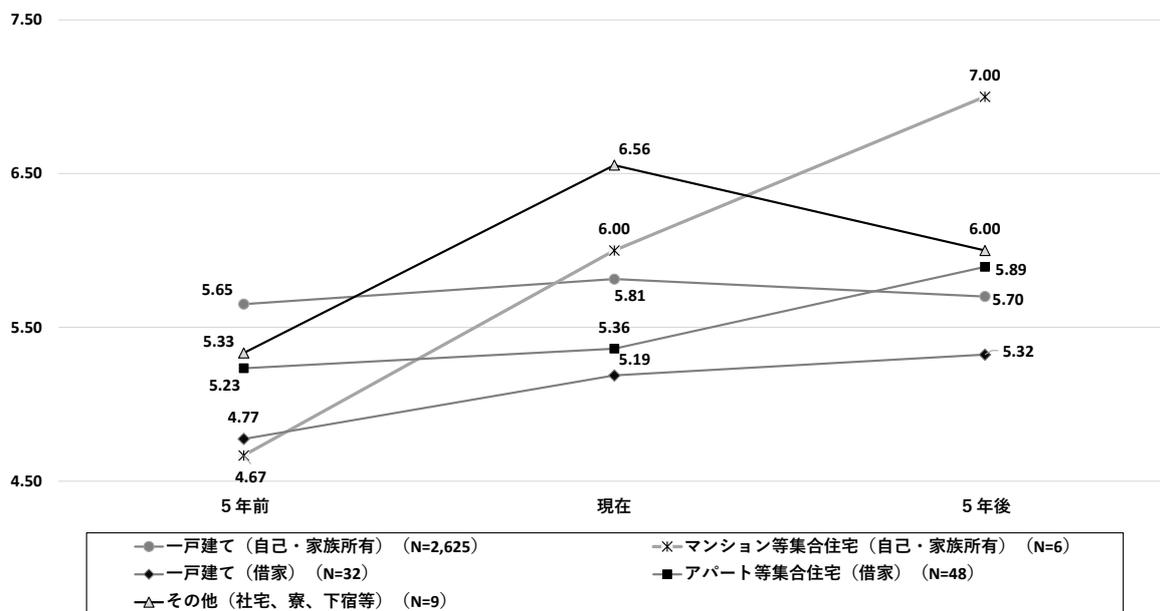


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「現在」に一旦上がり、「5年後」は5.70と若干下がっている。

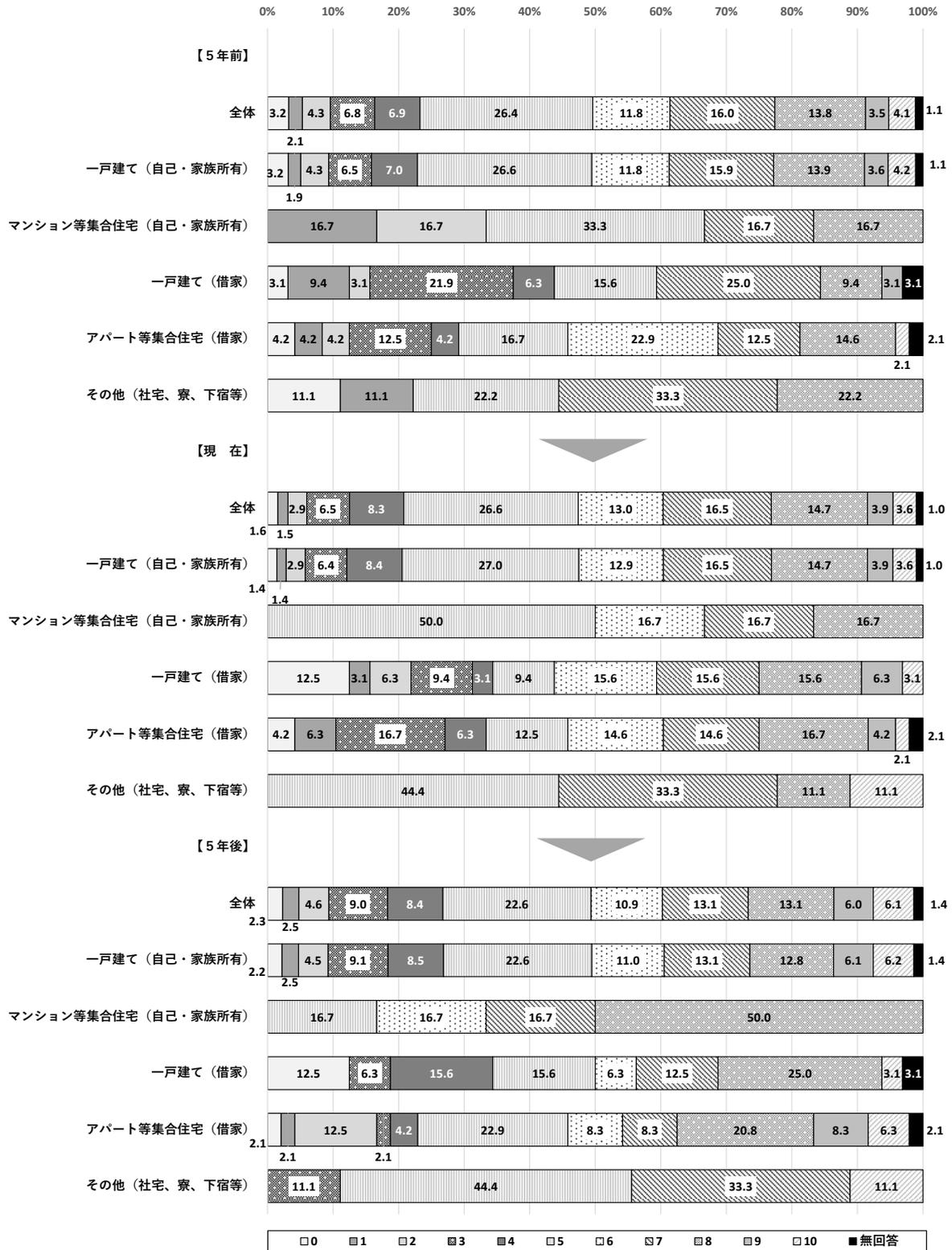
図表 13-4-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（現在の住居状況別）



【割合】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「6以上」を見ると、「現在」は51.6%だが、「5年後」には49.2%と若干下がっている。

図表 13-4-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（現在の住居状況別）

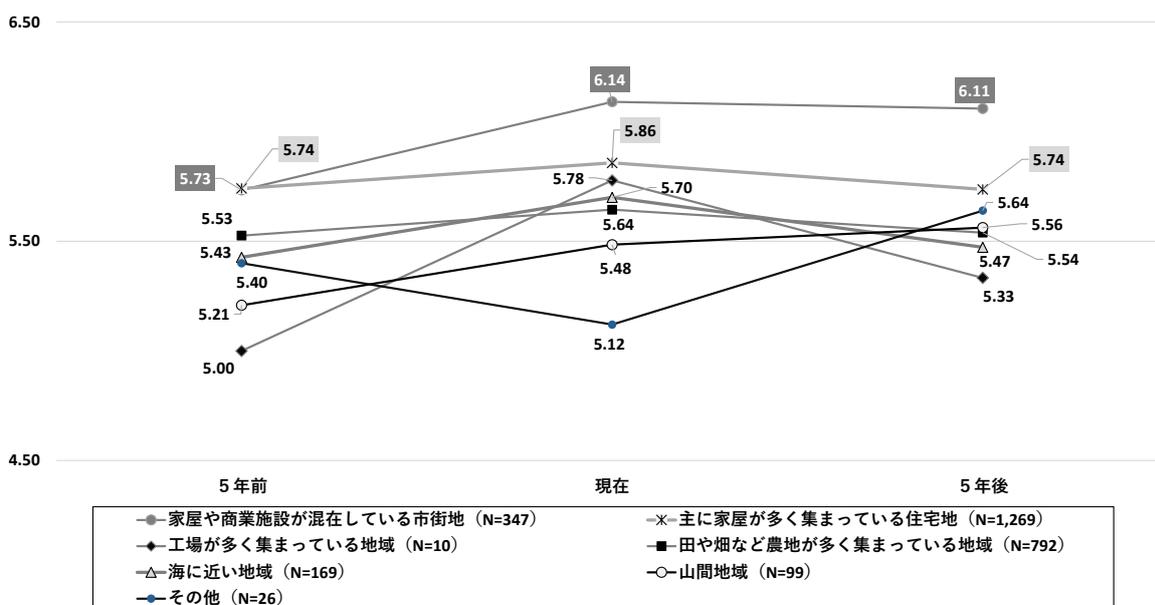


(4) - 3 現在の居住地環境別

【平均】

「家屋や商業施設が混在している市街地」では「現在」が6.14と、他の居住地環境よりも高くなっている。

図表 13-4-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(居住地環境別)

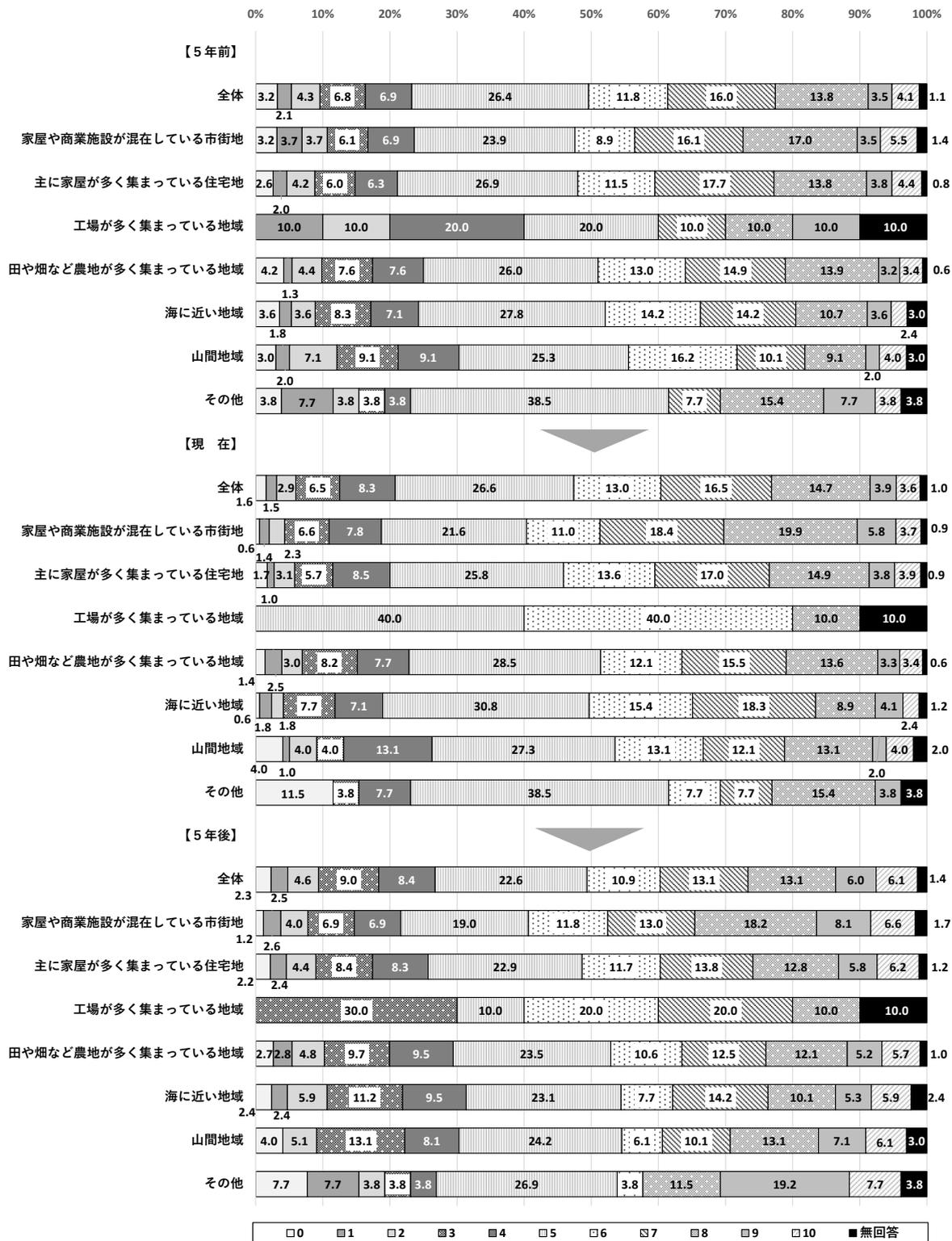


【割合】

すべての居住地環境で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「海に近い地域」では「現在」は49.1%だが、「5年後」には43.2%と、5.9ポイント下がっている。また、「4以下」を見ると、「海に近い地域」では「現在」は19.0%だが、「5年後」には31.4%と、12.4ポイント高くなっている。

図表 13-4-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（居住地域環境別）

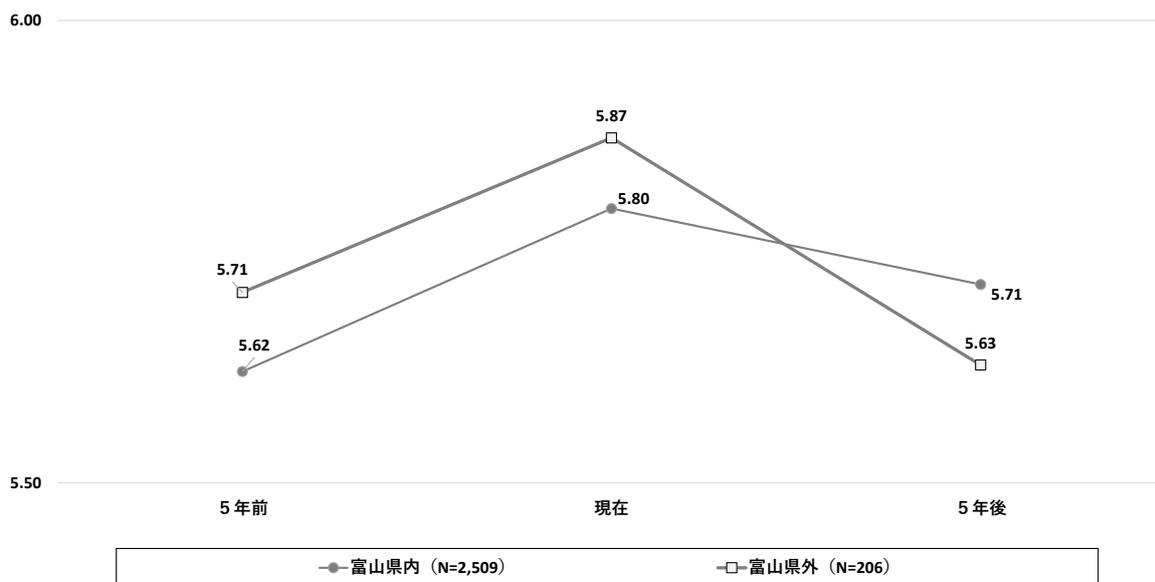


(4) - 4 出身地別

【平均】

「富山県内」「富山県外」とともに、「5年前」から「現在」で一旦上向きになったが、「5年後」には「富山県外」が5.63と「富山県内」(5.71)よりも若干下回っている。

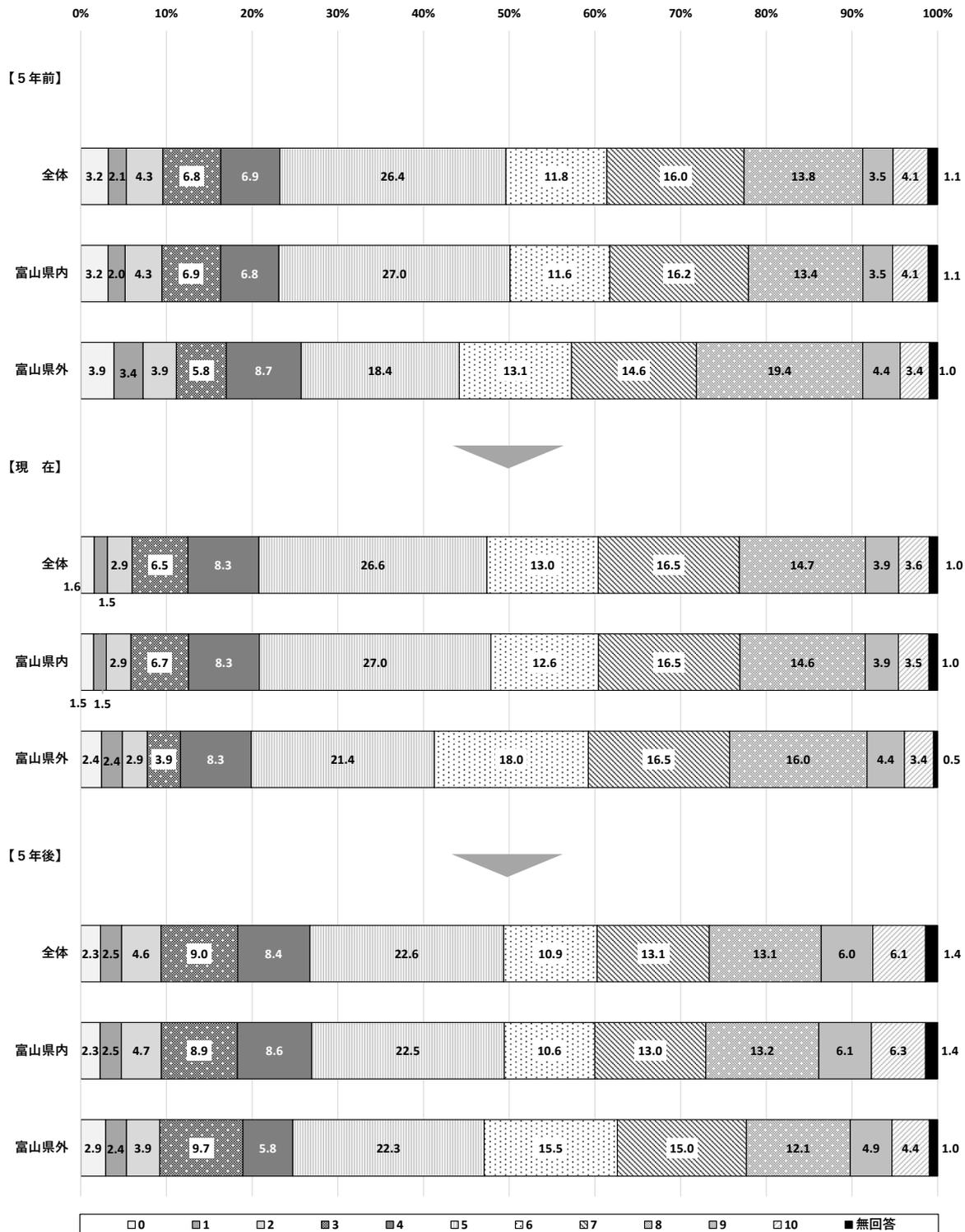
図表 13-4-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(出身地別)



【割合】

「富山県内」「富山県外」とともに、「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。一方、「富山県外」では「5年前」は「8」が最も高かった。「6以上」を見ると、「富山県外」では「現在」は58.3%だが、「5年後」には51.9%と、6.4ポイント下がっている。

図表 13-4-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（出身地別）

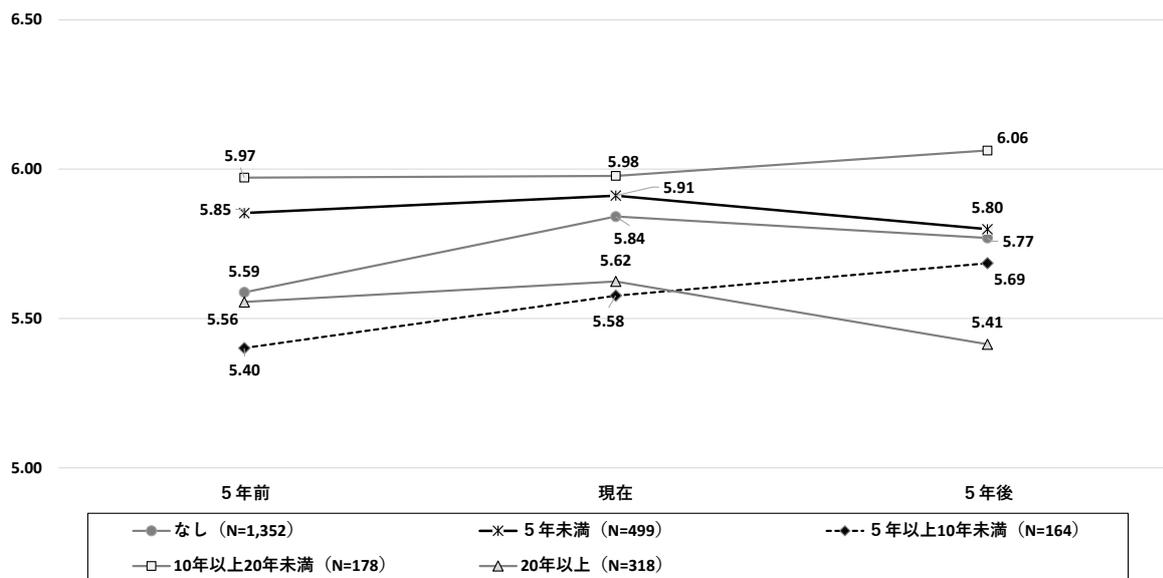


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「5年以上10年未満」と「10年以上20年未満」は横ばい、もしくは若干上向きとなっている。一方、「なし」「5年未満」「20年以上」は、「現在」には若干上向きになったが、「5年後」には低くなっている。

図表 13-4-5 最も理想的な生活に対する評価【平均】（県外居住年数別）



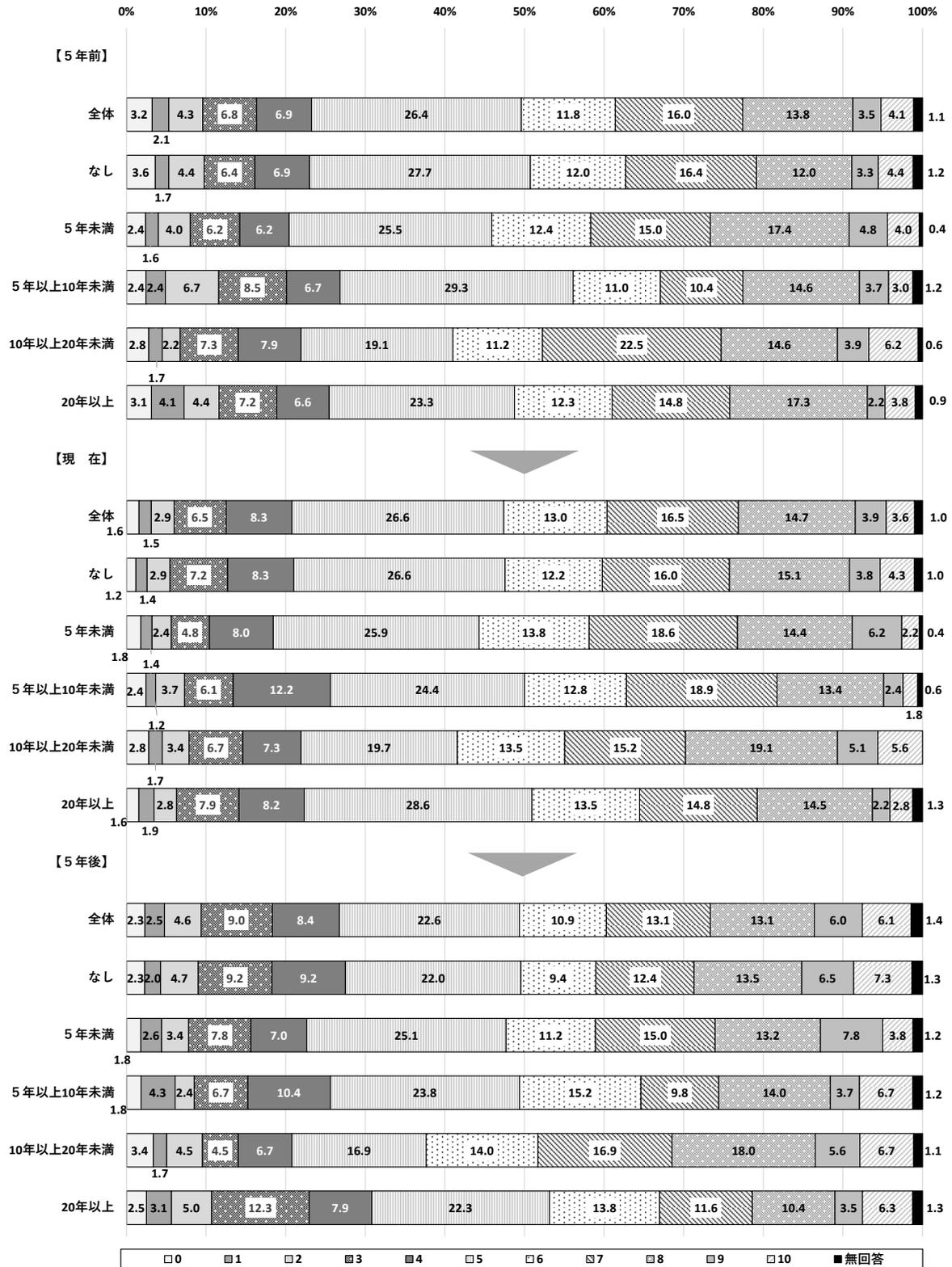
【割合】

すべての居住年数で、「5年前」「現在」のいずれも「5」が最も高い。一方、「10年以上20年未満」では「5年後」に「8」が高くなっている。

「現在」の「6以上」を見ると、「5年以上10年未満」「20年以上」で50%以下と、他の居住年数と比較して低くなっている。

「5年後」では「10年以上20年未満」で61.2%と、他の居住年数よりも高くなっている。

図表 13-4-5 最も理想的な生活に対する評価【割合】（県外居住年数別）

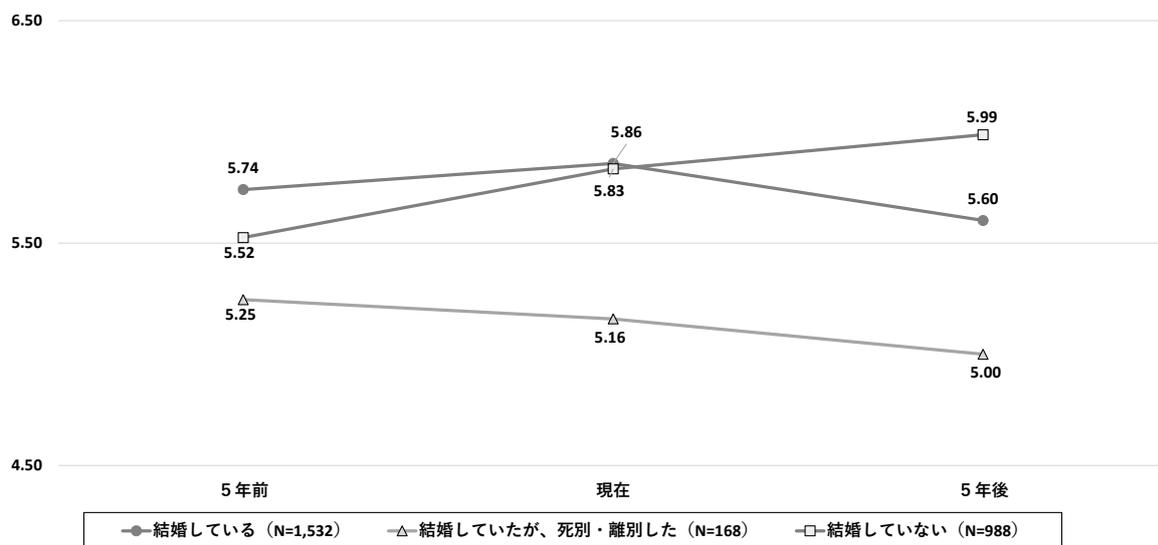


(5) - 1 結婚の有無別

【平均】

「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では、「現在」よりも「5年後」の方が下がっている。「結婚していない」は上向き傾向にあり、「5年後」には5.99となっている。

図表 13-5-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(結婚の有無別)

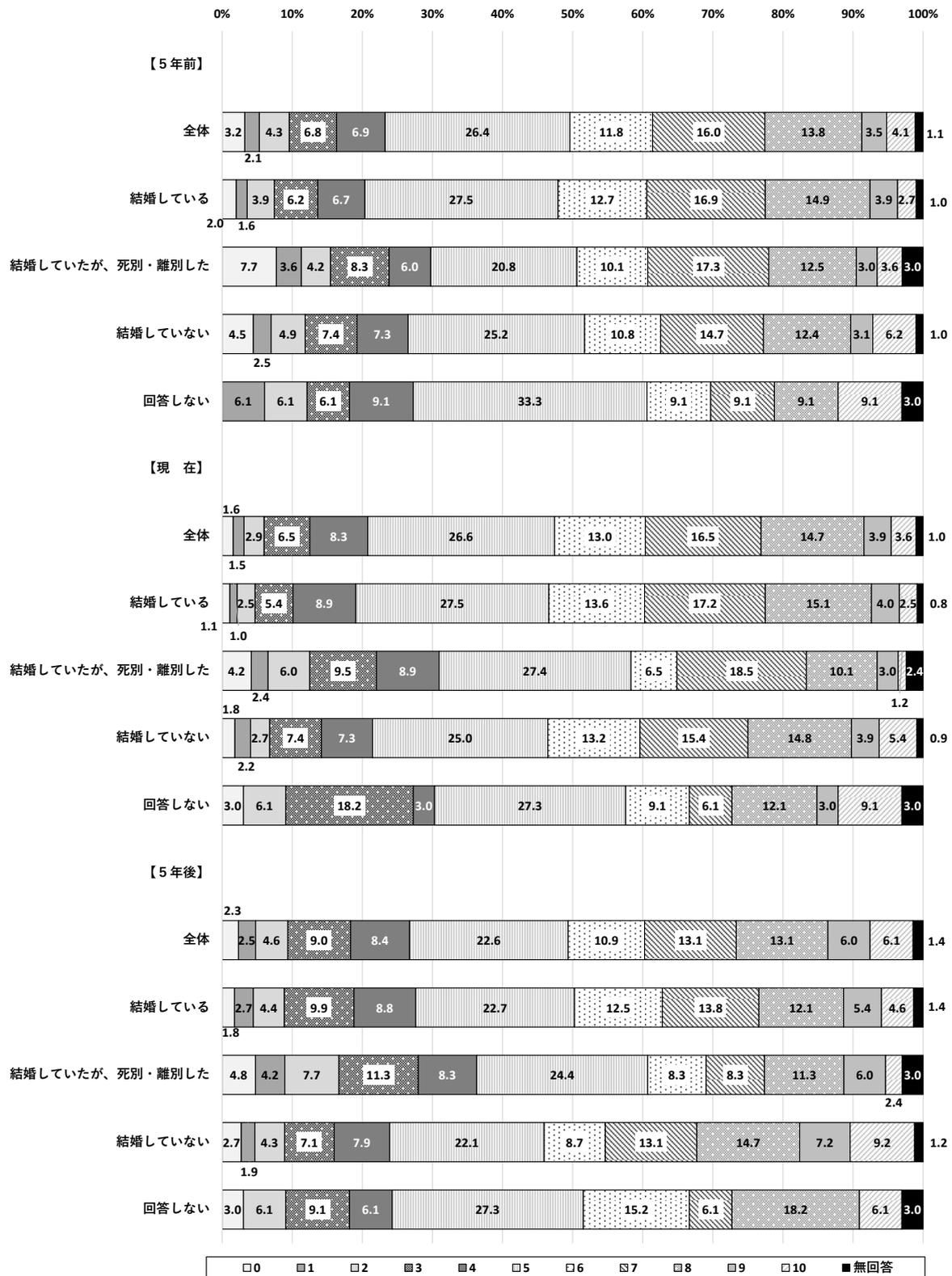


【割合】

すべての属性で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「6以上」を見ると、「結婚していない」では52.9%を占めている。

図表 13-5-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（結婚の有無別）

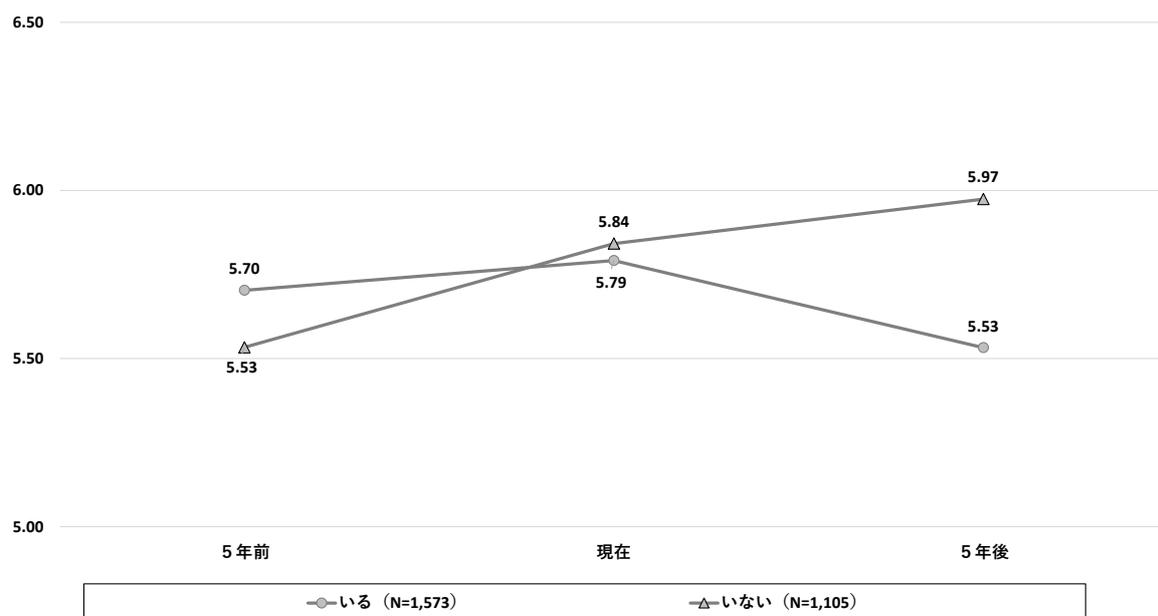


(5) - 2 子どもの有無別

【平均】

子どもが「いる」では下降傾向にあるが、子どもが「いない」では上向き傾向となっており、「5年後」には5.97となっている。

図表 13-5-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(子どもの有無別)

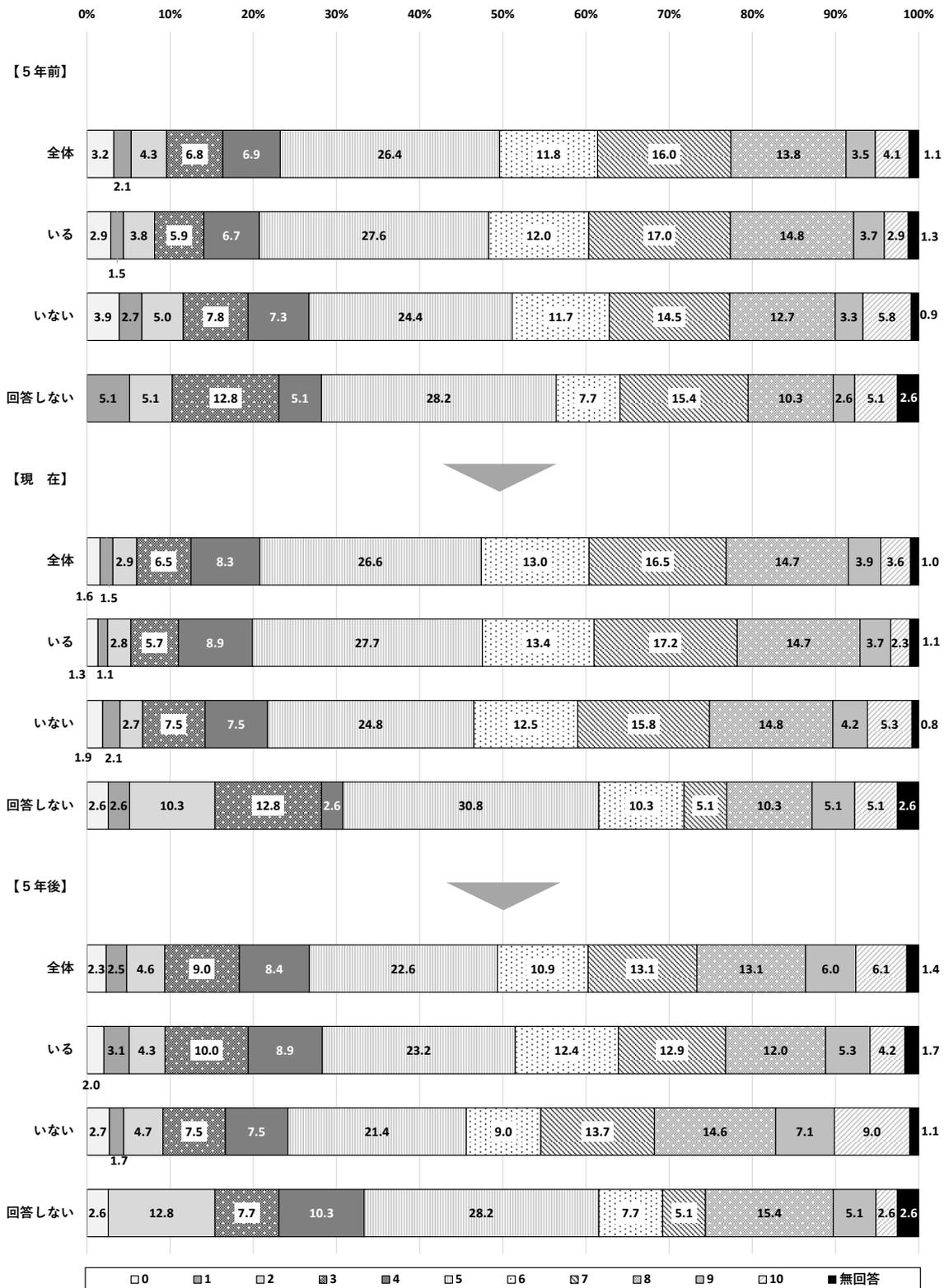


【割合】

子どもの有無に関わらず、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「暮らしている」では子どもが「いる」では「現在」は51.3%だが、「5年後」には46.8%となり若干下向き傾向にある。

図表 13-5-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（子どもの有無別）

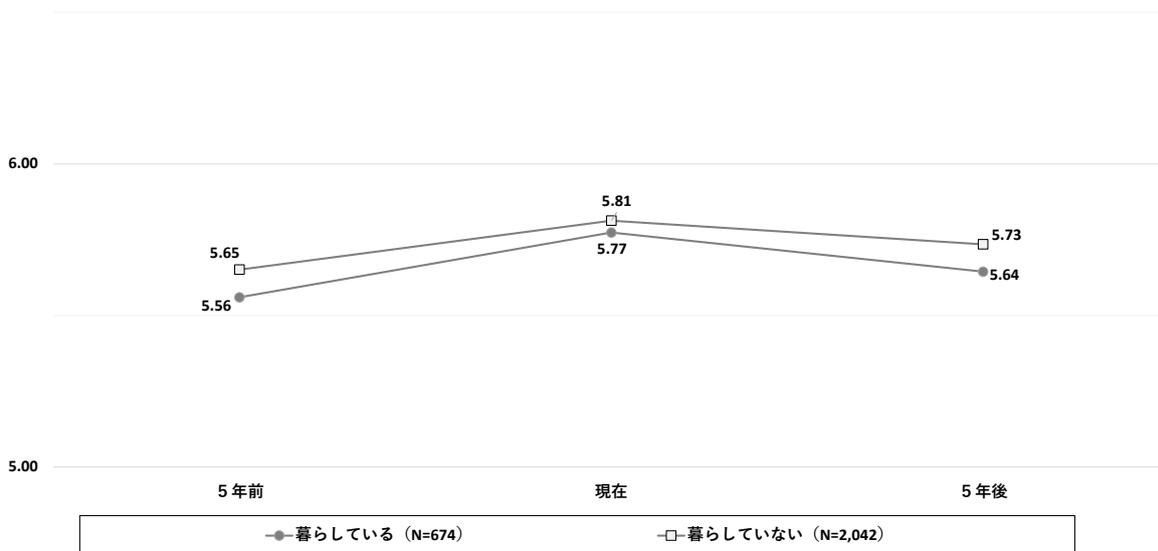


(5) - 3 ペットの有無別

【平均】

「5年後」には、ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに「現在」よりも下がっている。

図表 13-5-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(ペットの有無別)

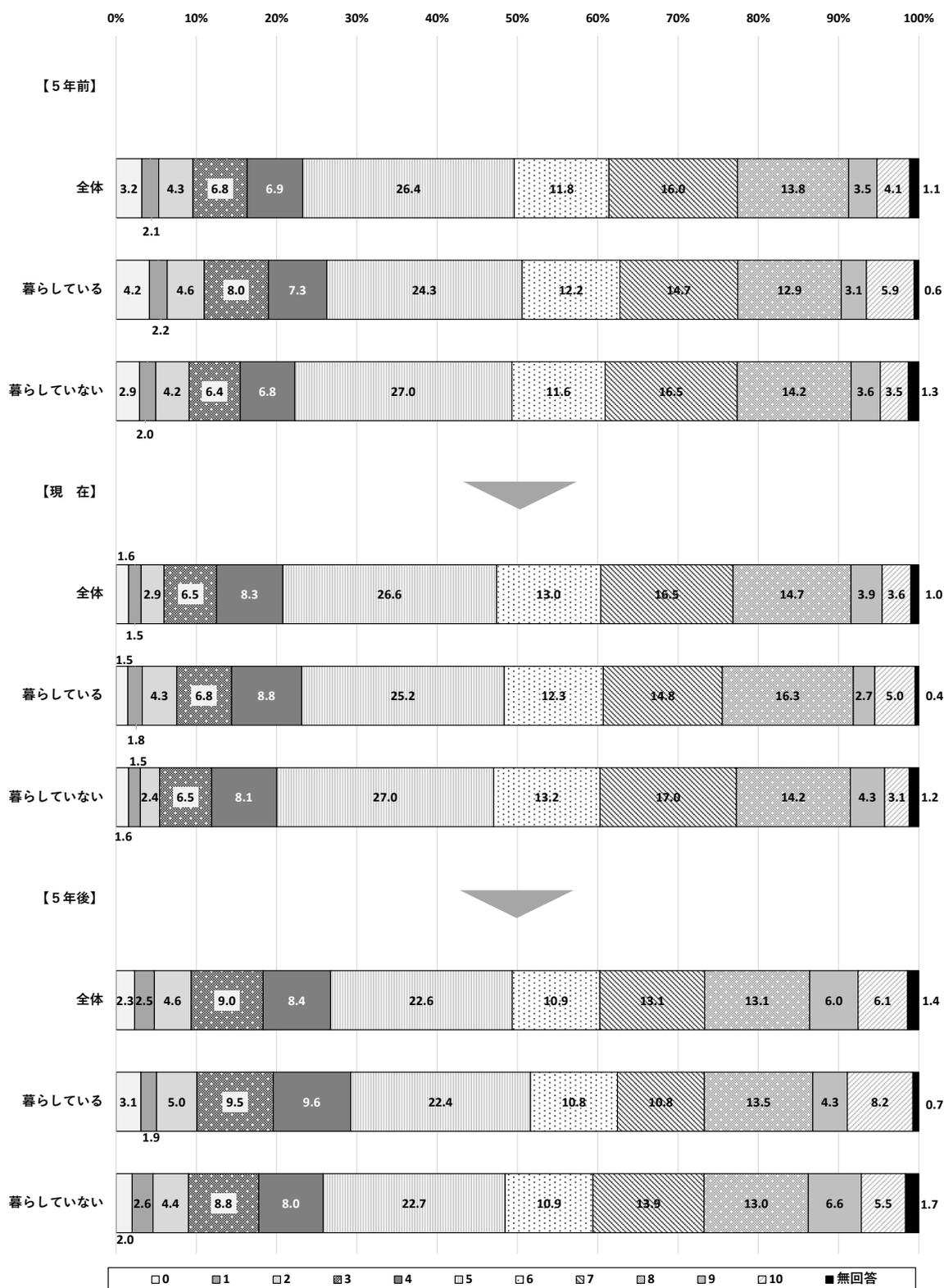


【割合】

「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「暮らしている」では「現在」は50.9%だが、「5年後」は47.6%と、3.3ポイント低くなっている。

図表 13-5-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（ペットの有無別）

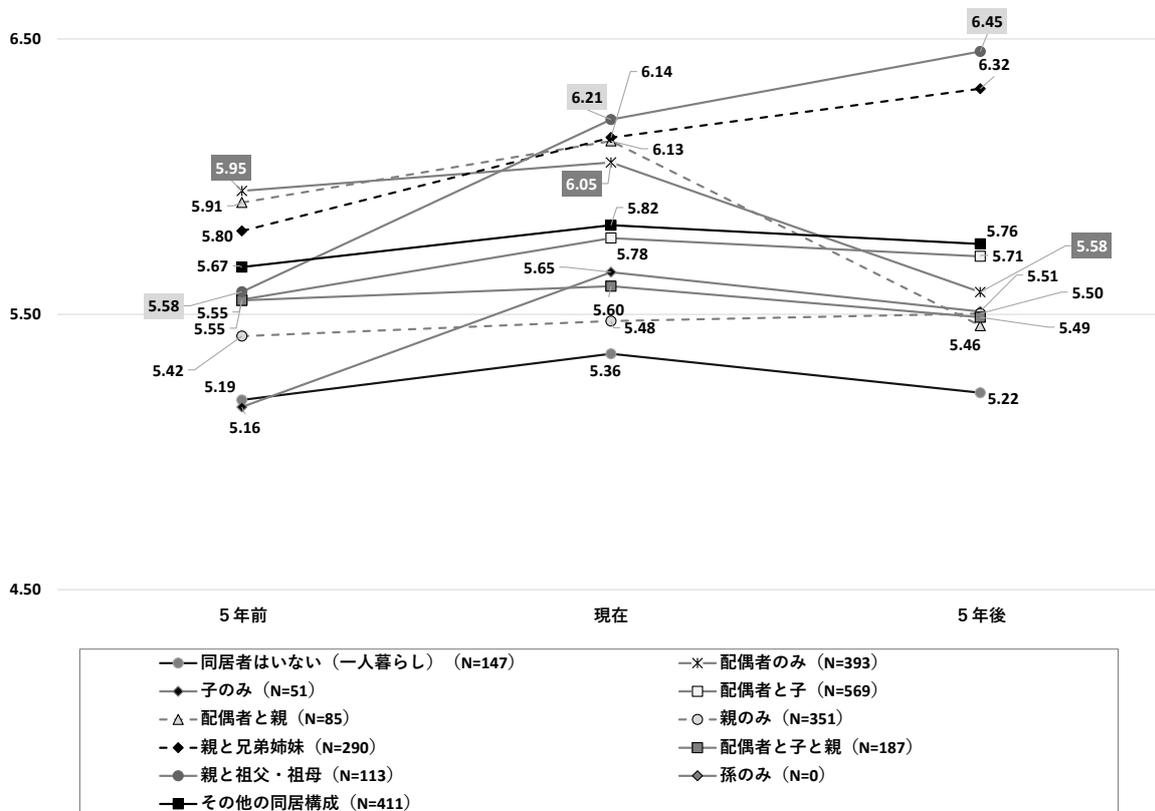


(5) - 4 同居家族の構成別

【平均】

「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では、「5年前」から上昇傾向にあり、「親のみ」では横ばいとなっている。一方、「配偶者と親」では、「5年前」(5.91)から「現在」(6.13)と一旦上向くが、「5年後」に5.46と他と比べて下がり幅が大きい。

図表 13-5-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(同居家族構成別)

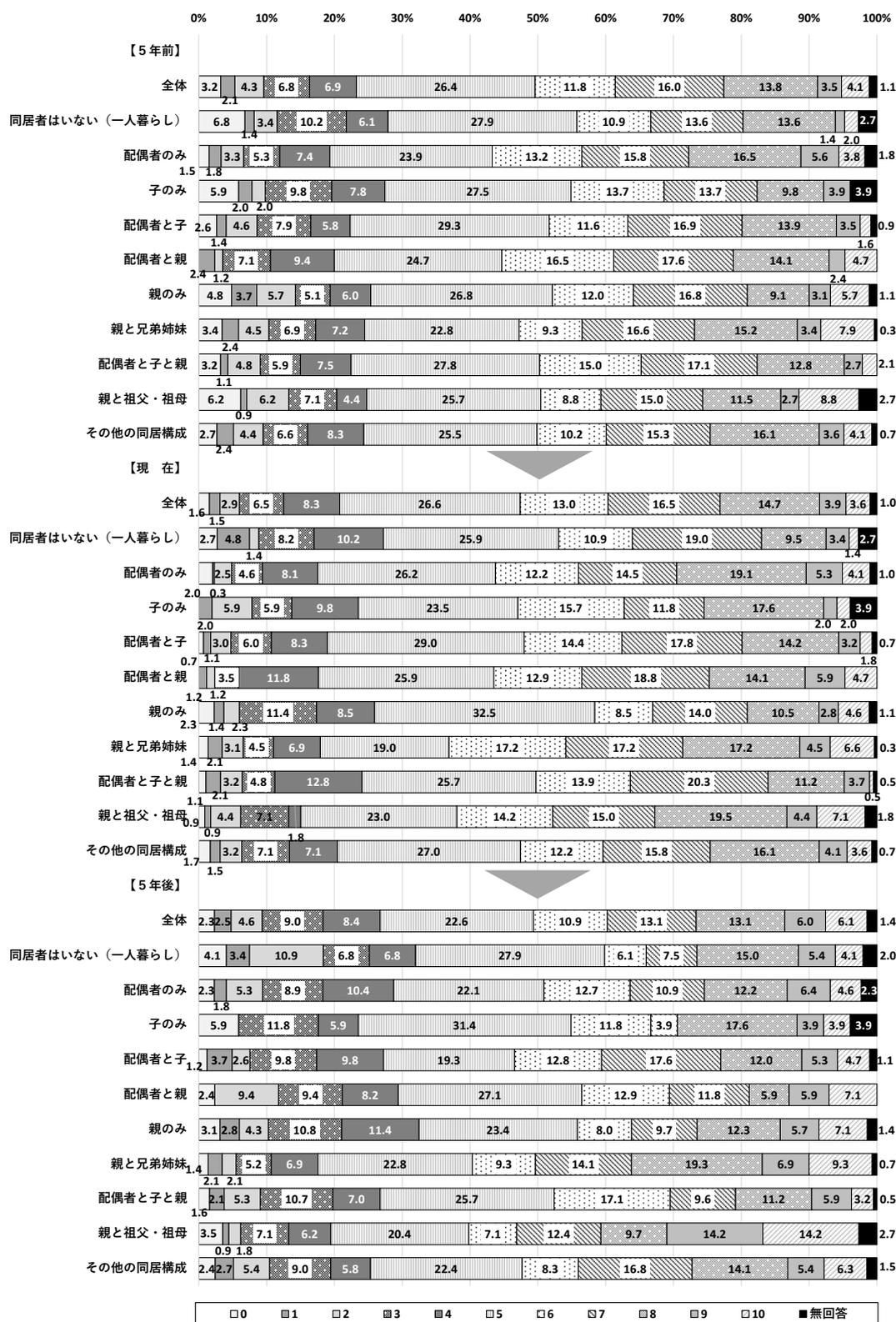


【割合】

すべての家族構成で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」では「配偶者のみ」「配偶者と親」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」で、「5年後」では「配偶者と子」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」「その他の同居構成」で5割を超えている。

図表 13-5-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（同居家族構成別）

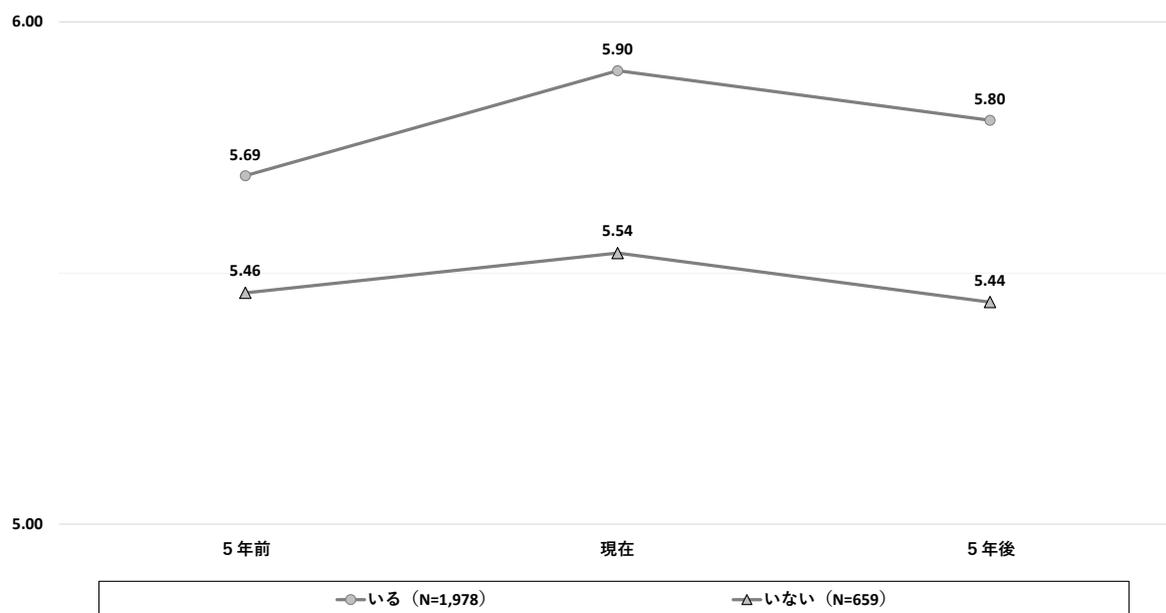


(5) - 5 別居親族の有無

【平均】

別居親族が「いる」「いない」ともに、「現在」には上向きとなっているが、「5年後」には下向きになっている。

図表 13-5-5-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(別居親族の有無別)

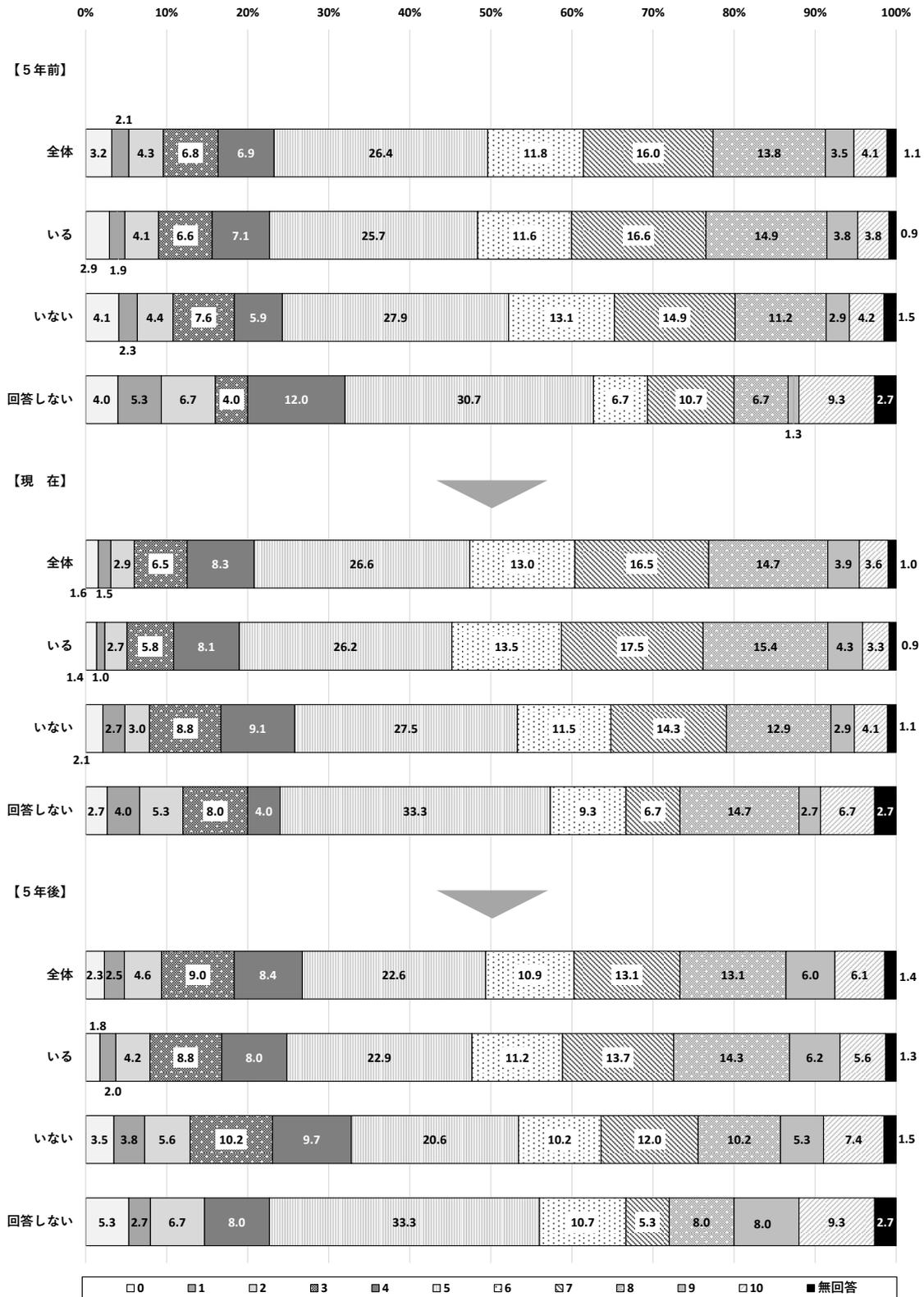


【割合】

別居親族が「いる」「いない」ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「いる」では「現在」は54.0%だが、「5年後」には51.0%となり若干下向き傾向にある。

図表 13-5-5-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（別居親族の有無別）

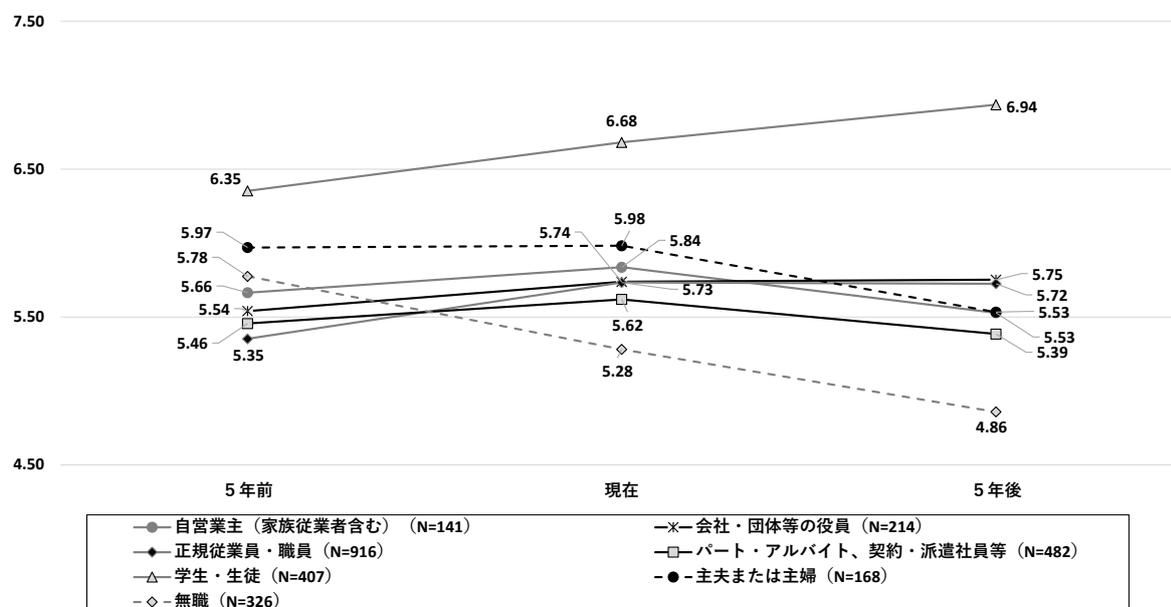


(6) - 1 職業別

【平均】

「学生・生徒」は上向き傾向となっており、「5年後」には6.94となっている。一方、「無職」は、「5年前」から下降傾向にあり、「5年後」には4.86となっている。

図表 13-6-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(職業別)

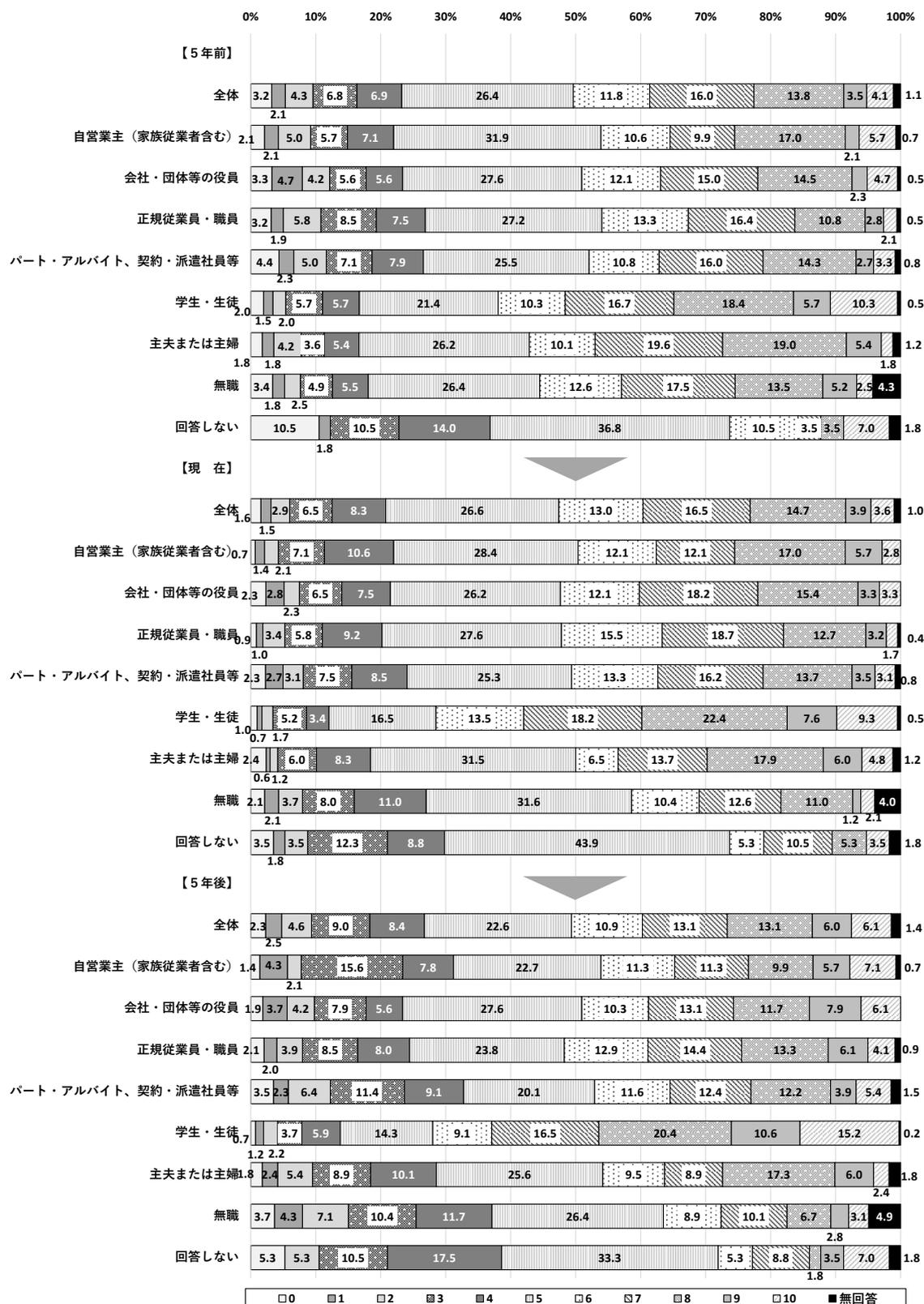


【割合】

「学生・生徒」では「5年後」において「8」が最も高くなっている。その他の職業では、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」は「正規従業員・職員」「学生・生徒」で5割を超えており、特に「学生・生徒」は72.0%と高い割合を占めている。一方、「5年後」の「無職」は「4以下」が37.2%と他と比べて低くなっている。

図表 13-6-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業別）

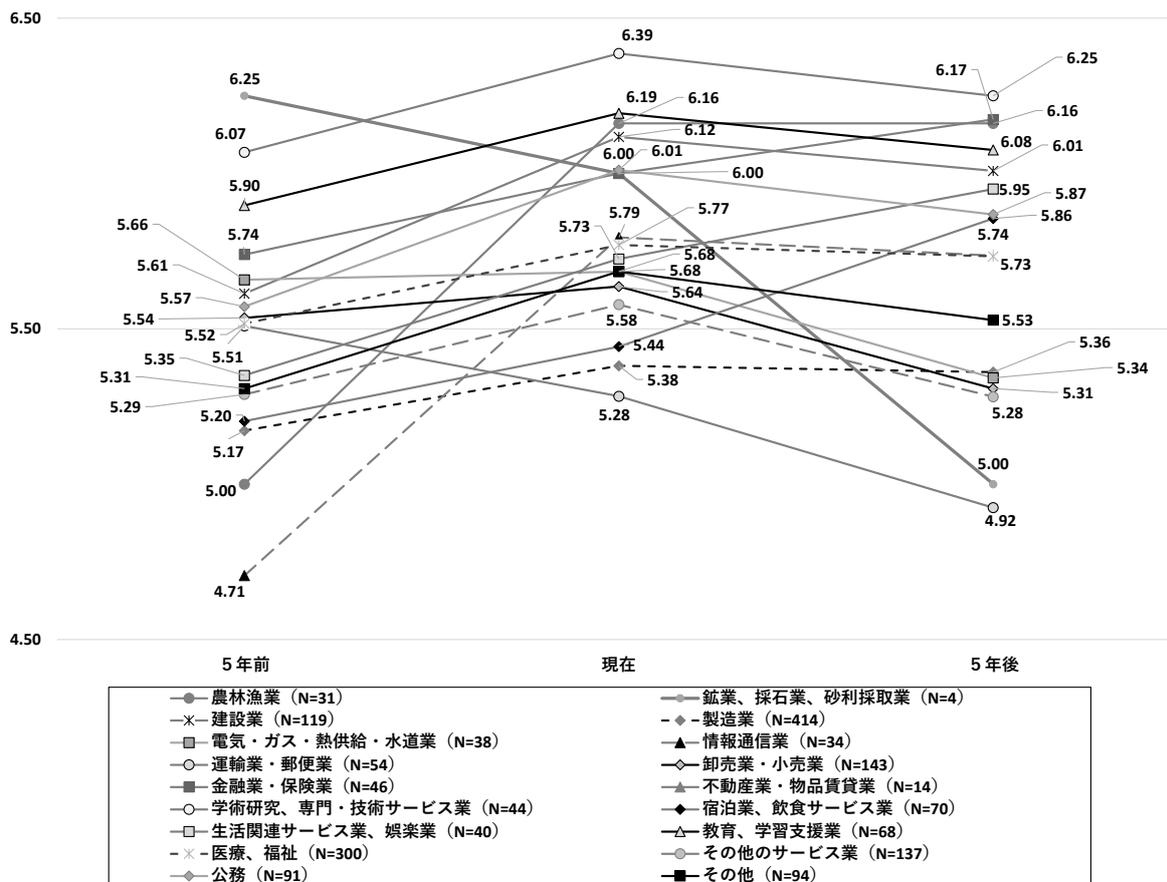


(6) - 2 職業分野別

【平均】

「農林漁業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「医療、福祉」では「5年前」から上向き傾向となっている。一方、「運輸業・郵便業」では「5年前」から下降傾向にあり、「5年後」には4.92になっており、他の職業分野よりも低くなっている。

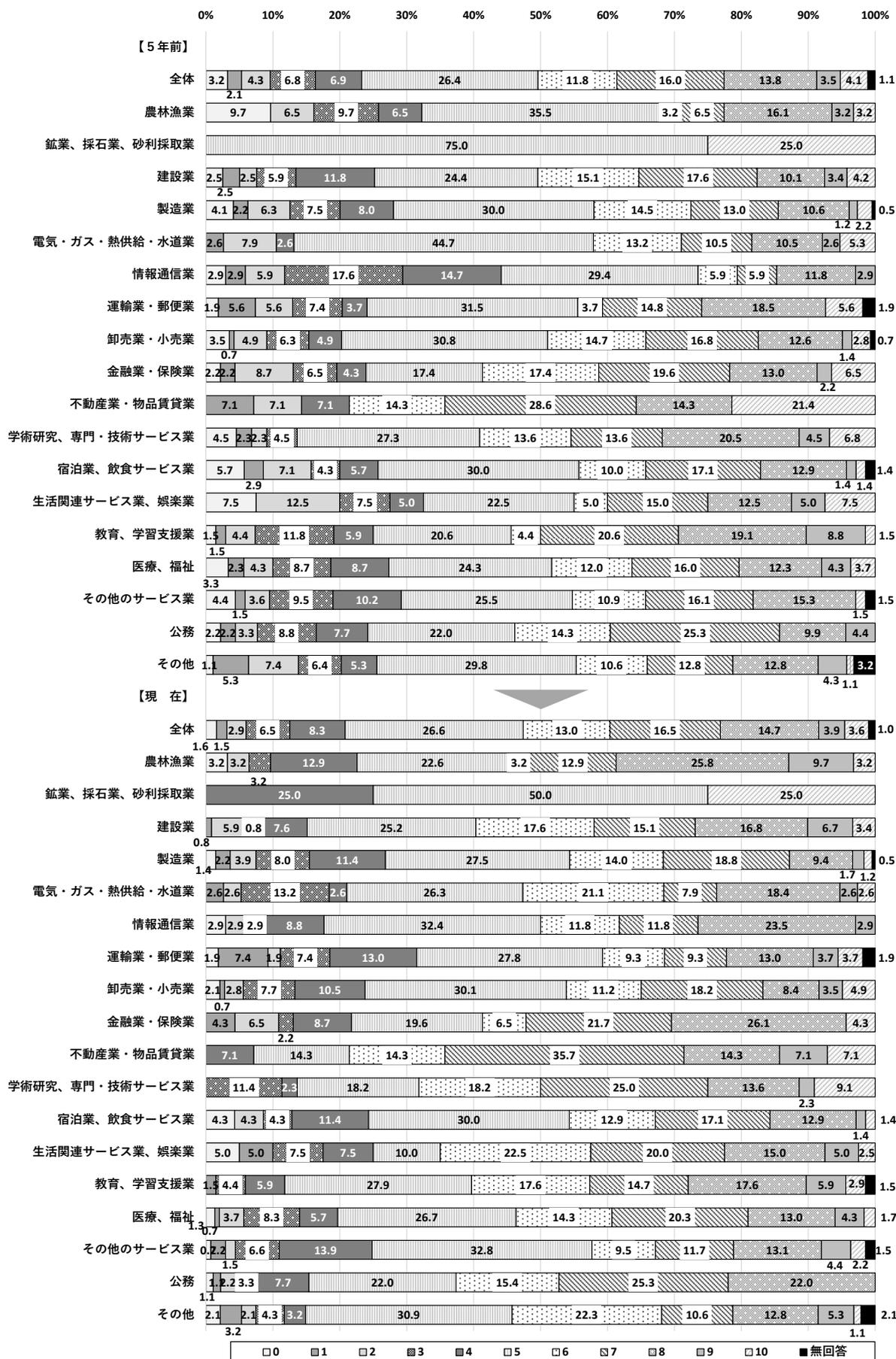
図表 13-6-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（職業分野別）

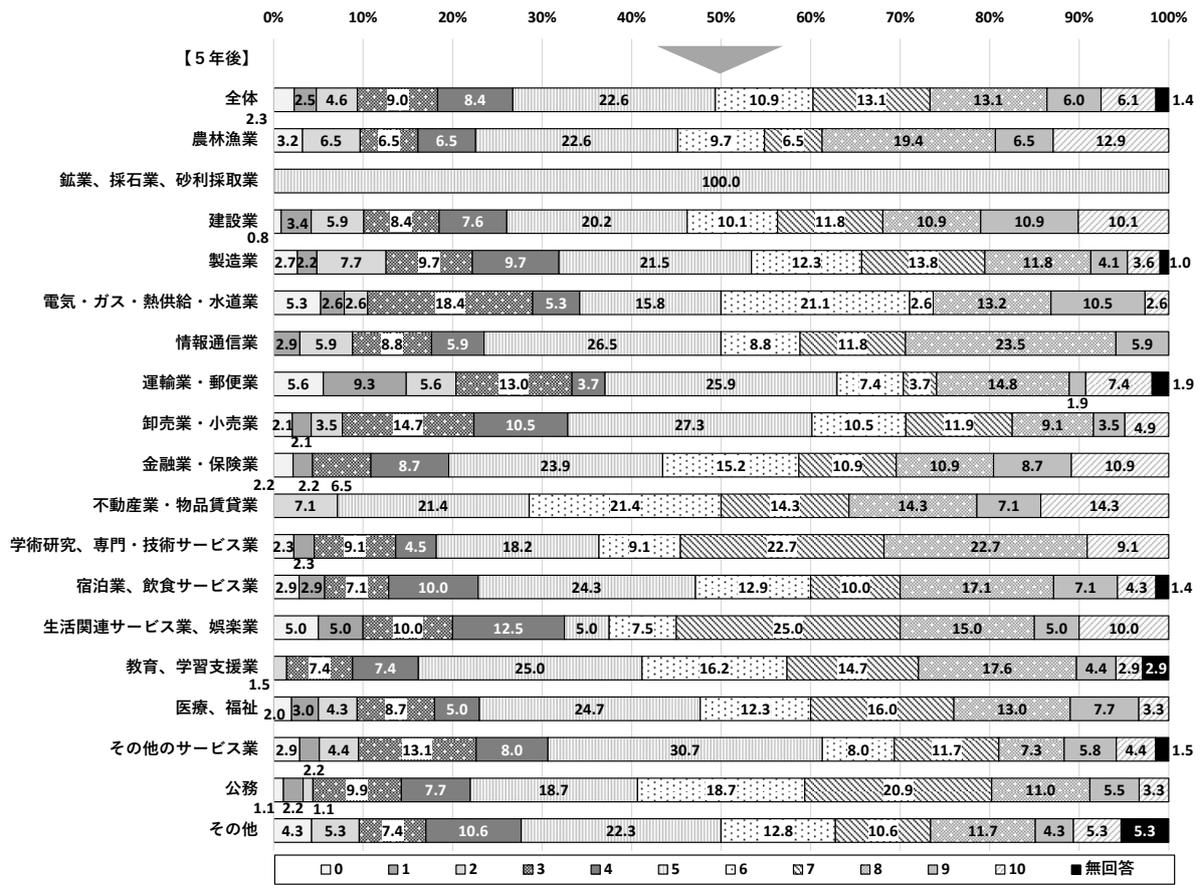


【割合】

「5年後」の「学術研究、専門・技術サービス業」では「7」と「8」がともに22.7%と最も高い。「学術研究、専門・技術サービス業」では「6以上」が63.6%と高い割合を占めている。一方、「5年後」の「製造業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「運輸業・郵便業」「卸売業・小売業」「生活関連サービス業、娯楽業」「その他のサービス業」では「4以下」が3割を超えている。

図表 13-6-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業分野別）



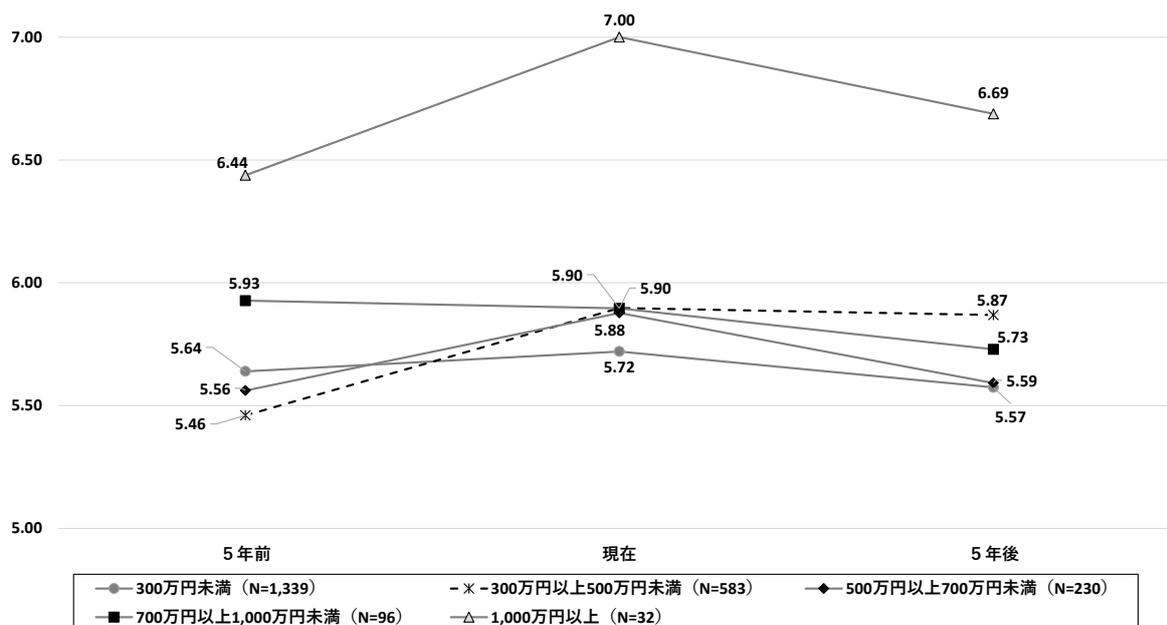


(6) - 3 年収別

【平均】

「300万円以上から500万円未満」を除くすべてで「現在」よりも「5年後」の方が下がっている。「700万円以上1,000万円未満」では、「5年前」から下降傾向にあり、「5年後」は5.73となっている。

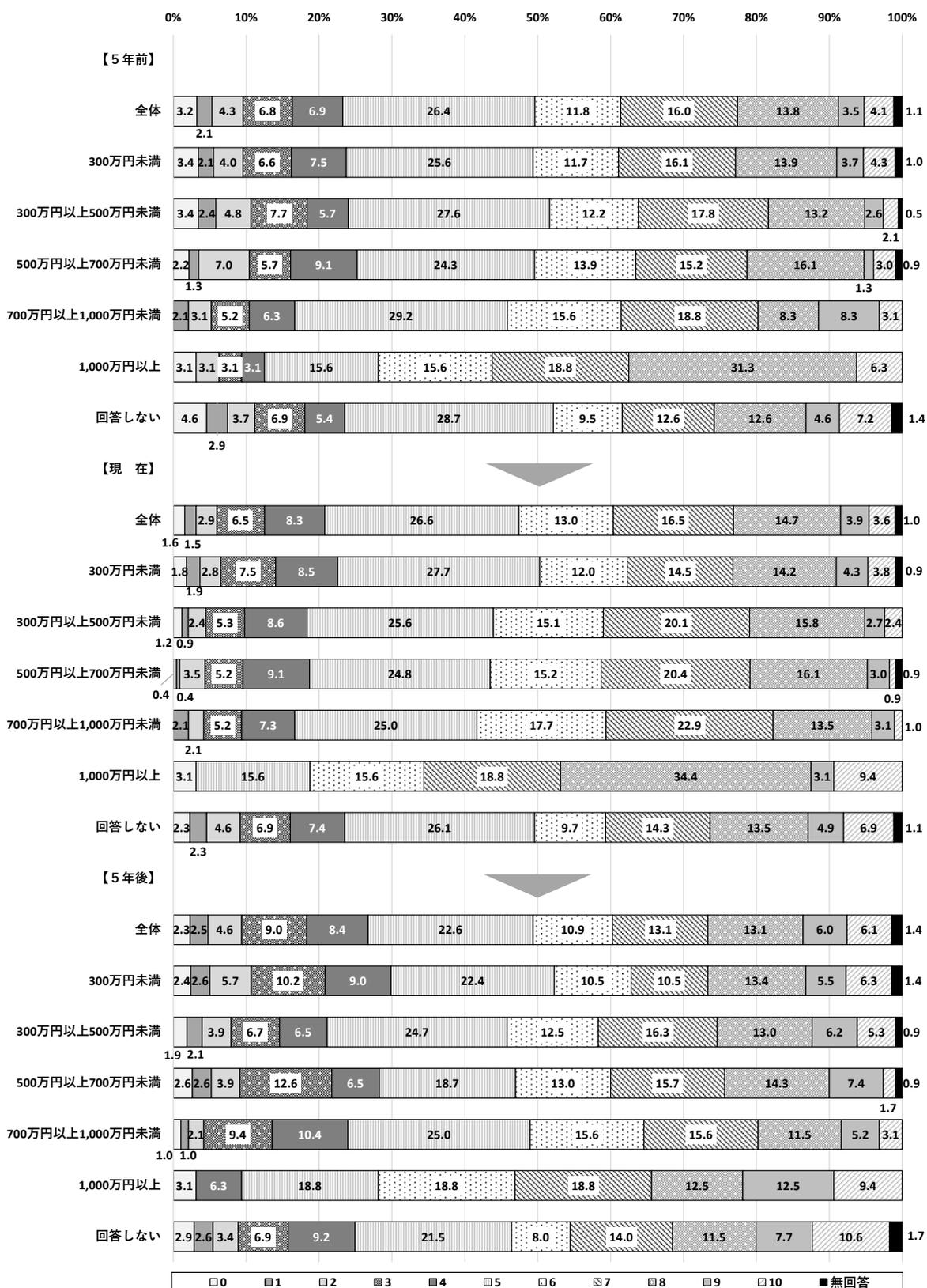
図表 13-6-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(年収別)



【割合】

「6以上」を見ると、「現在」では「300万円未満」を除くすべてで5割を超えている。「5年後」では「1,000万円以上」で「6以上」が72.0%と、「現在」(81.3%)よりも9.3ポイント低くなっている。

図表 13-6-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年収別）

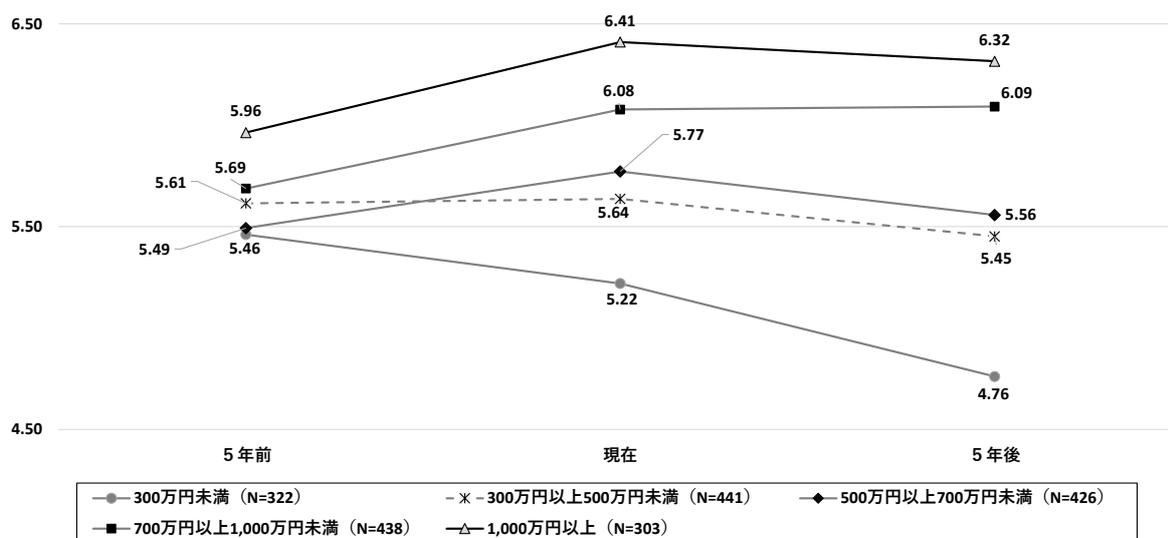


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

「300万円未満」では「5年前」の5.46から下降傾向にあり、「5年後」には4.76となっている。

図表 13-6-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(世帯年収別)

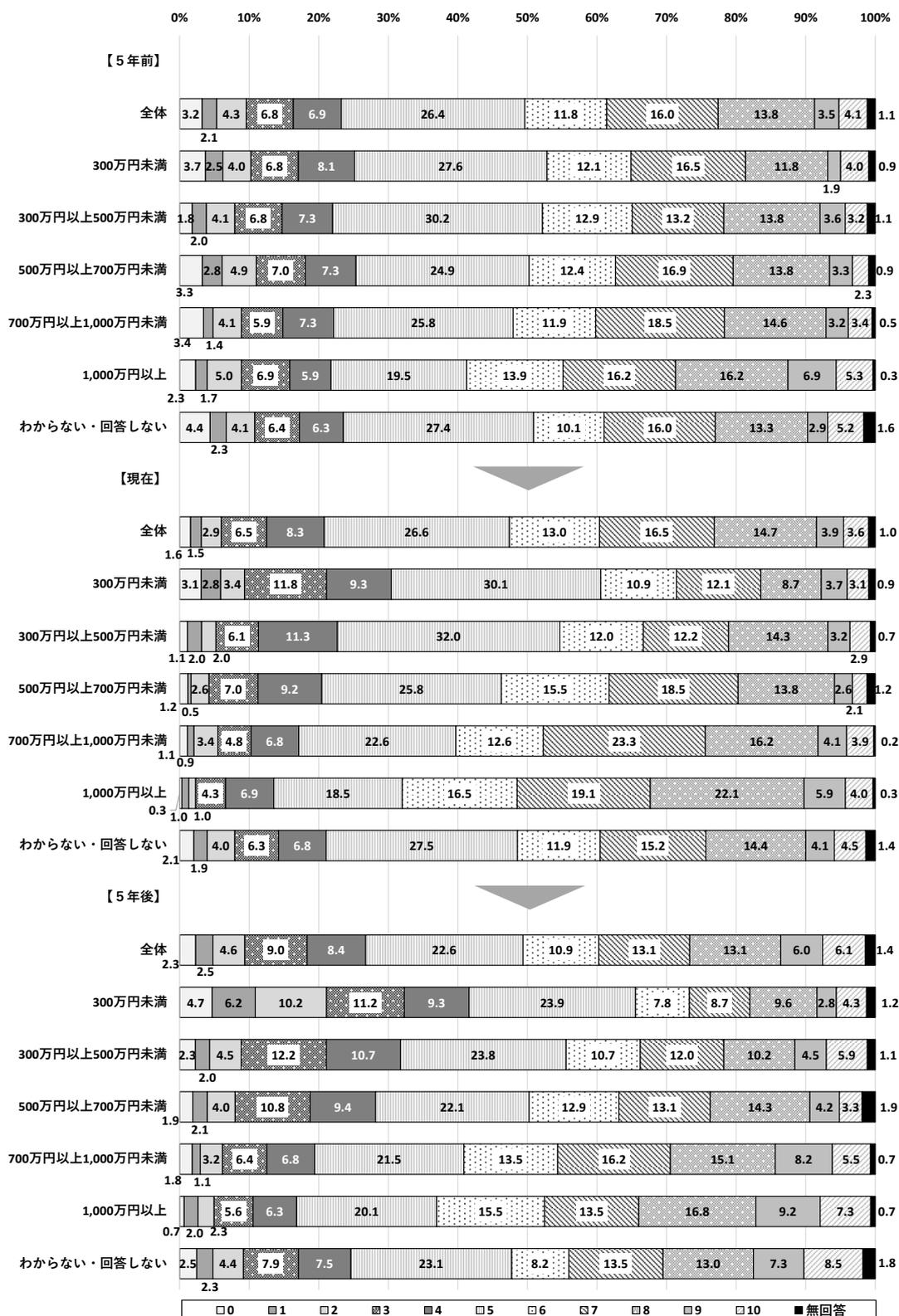


【割合】

すべての世帯年収で、「5年前」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。一方、「現在」の「1,000万円以上」では「8」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」では500万円以上で5割を超えており、「1,000万円以上」では67.6%を占めている。また、「5年後」では700万円以上で5割を超え、「1,000万円以上」では62.3%を占めている。一方、「300万円未満」では「4以下」が41.6%を占め、「6以上」(33.2%)を8.4ポイント上回っている。

図表 13-6-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（世帯年収別）



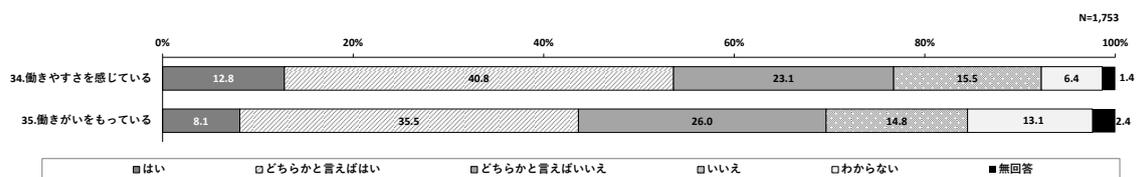
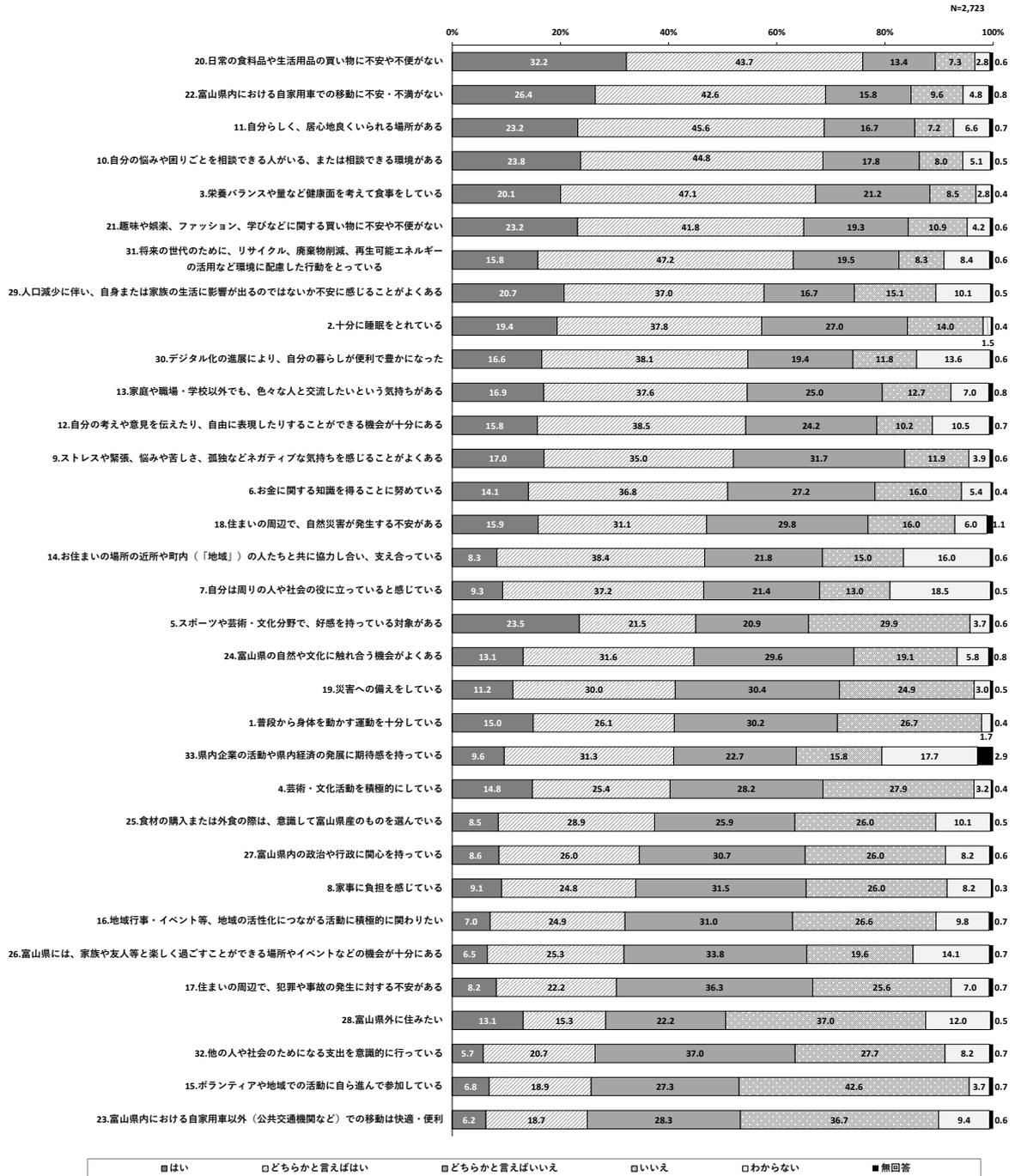
2. その他の事項について

問 14. あなた自身の状況や意識、お考えをお聞きします。

自身の状況や意識について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が「20.日常の食料品や生活用品の買い物に不安や不便がない」で75.9%と最も高く、次いで「22.富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない」（69.0%）、「11.自分らしく居心地良くいられる場所がある」（68.7%）であった。

一方、「23.富山県内における自家用車以外（公共交通機関など）での移動は快適・便利である。」で『はい』が24.9%と最も低く、次いで「15.ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。」（25.7%）、「32.他の人や社会のためになる支出を意識的に行っている。」（26.4%）であった。

図表 14 あなた自身の健康、余暇活動等について



問 14-① 健康や趣味等のため、身体を動かす運動を十分に行っていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 41.1%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 56.9%と、『いいえ』の方が 15.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 63.5%を占めているものの、「30～39 歳」「40～49 歳」では各 32.4%と、他の年代と比較して低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 13.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 47.2%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 47.8%と、「いる」よりも 11.1 ポイント高い。

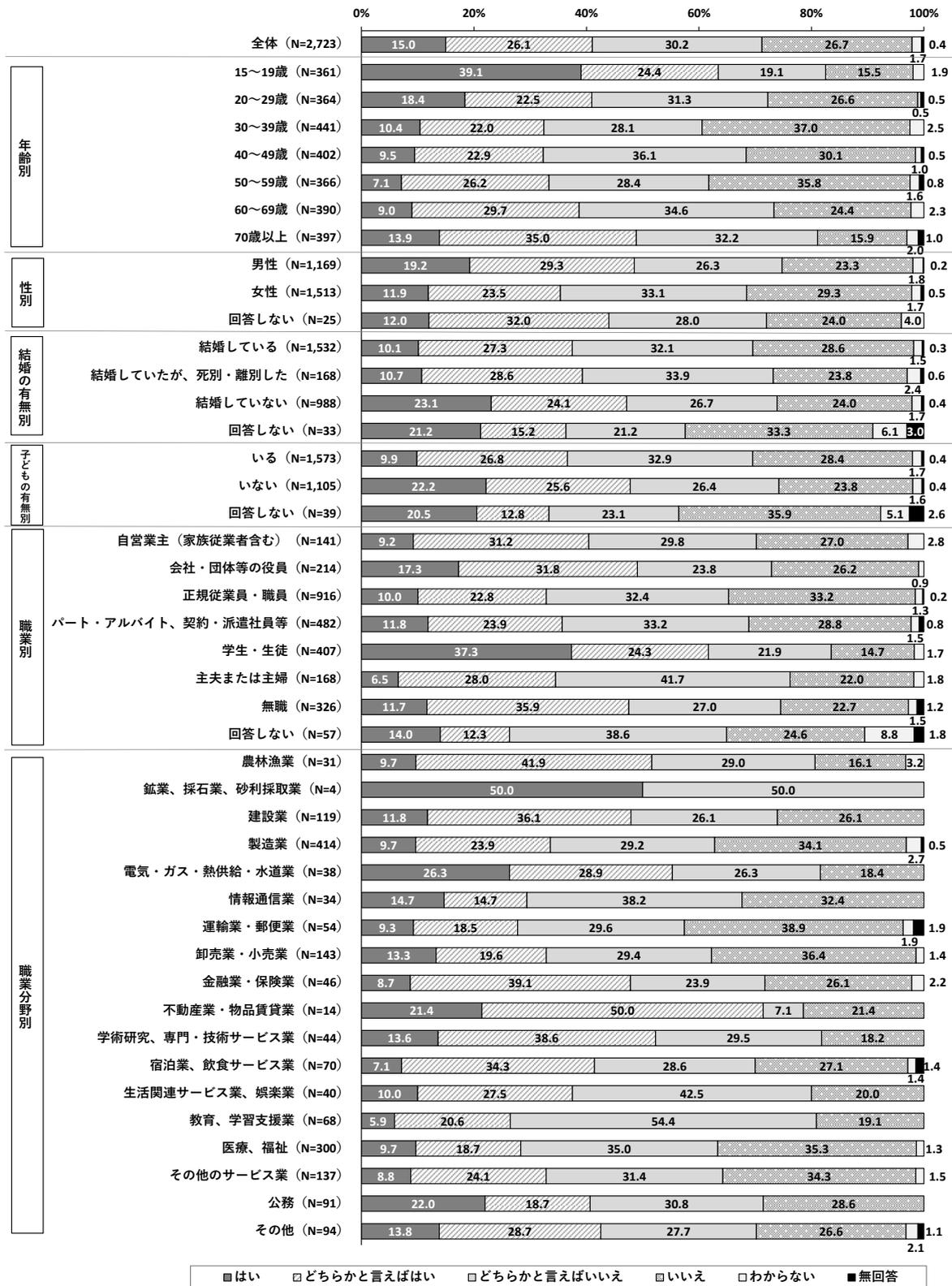
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 61.6%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 55.2%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「教育、学習支援業」では『はい』が 26.5%と、他の職業分野と比較して若干低くなっている。

図表 14-1 健康や趣味等のため、身体を動かす運動を十分に行っていると思う。



問 14-② 十分に睡眠をとれていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 57.2%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 41.0%と、『はい』の方が 16.2 ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 67.3%と、他と比較して高い。一方「40 歳～49 歳」では『はい』が 47.7%と、他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 60.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 59.8%と、「いる」よりも 4.2 ポイント高い。

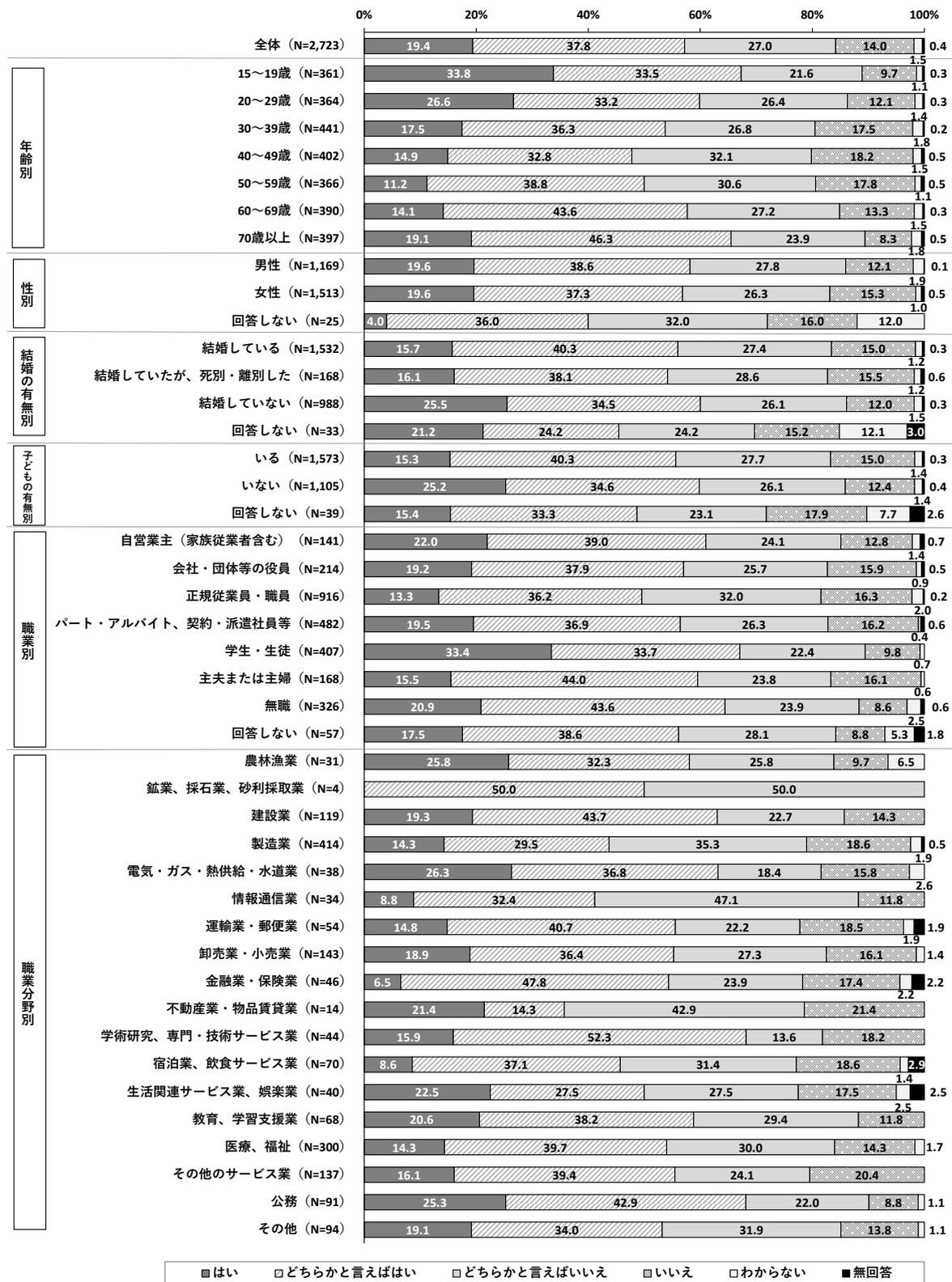
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 67.1%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では 49.5%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「学術研究、専門・技術サービス業」「公務」では『はい』が 6 割を超えており、他の職業分野と比較して高い。一方、「情報通信業」では『はい』が 41.2%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-2 十分に睡眠をとれていると思う。



問 14-③ 栄養バランスや量など健康面を考えて食事をしている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 67.2%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 29.7%と、『はい』の方が 37.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 74.0%と高くなっている。一方、「50～59 歳」では『はい』が 58.4%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 4.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 69.9%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 69.2%と、「いない」よりも 4.2 ポイント高い。

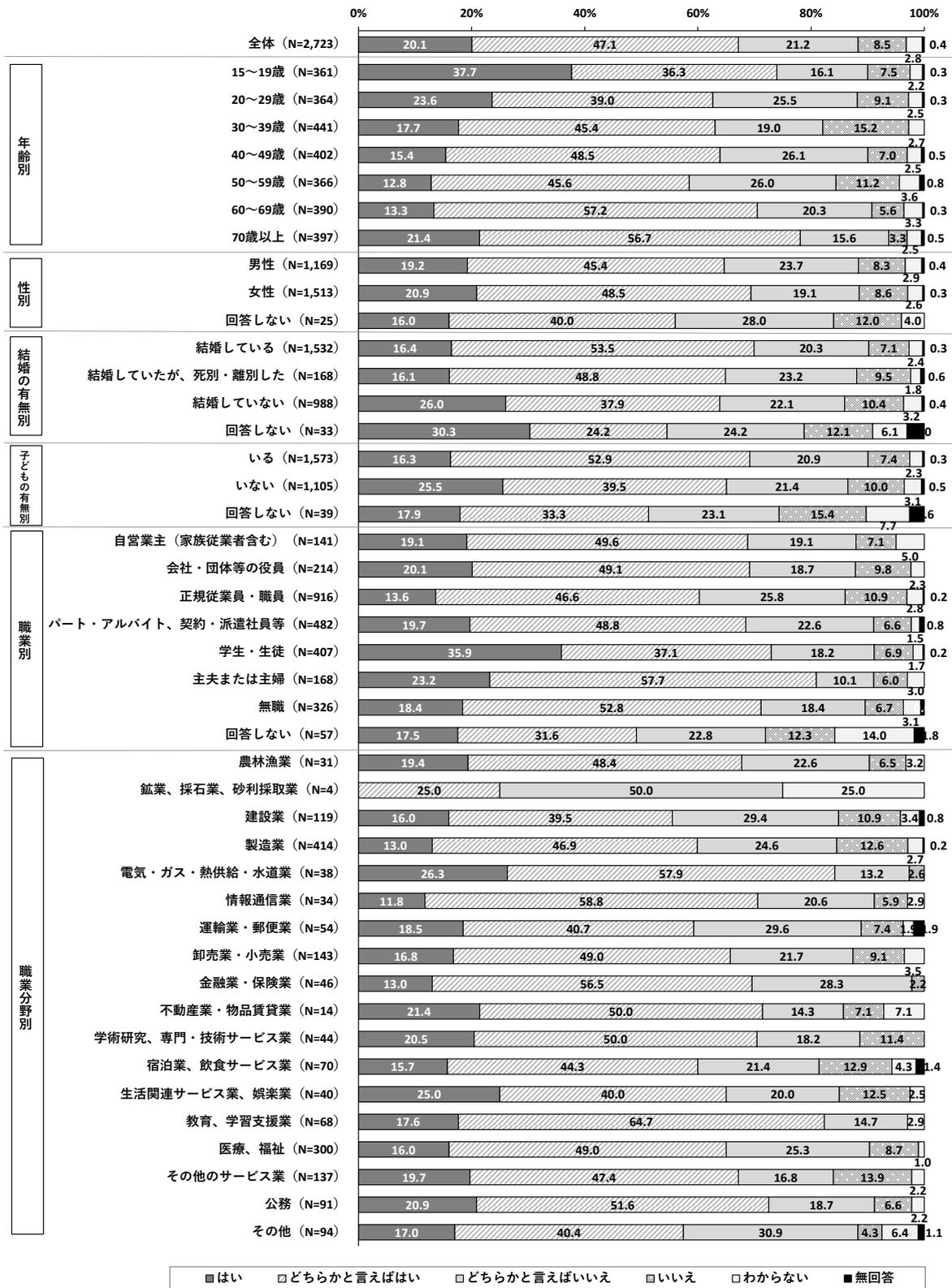
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『はい』が 80.9%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では 60.2%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が 7 割以上となっている。一方、「建設業」「運輸業・郵便業」「その他」では『はい』が 5 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-3 栄養バランスや量など健康面を考えて食事をしている。



問 14-④ 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）に関する活動（自ら取り組む、または鑑賞するなど）を積極的に行っている。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 40.2%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 56.1%と、『いいえ』の方が 15.9 ポイント高い。

（2）年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 64.9%を占めているが、30 歳代以上では 3 割台となっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 11.1 ポイント高い。

（4）－ 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 52.9%と、他と比較して高い。

（4）－ 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 52.4%と、「いる」よりも 20.3 ポイント高い。

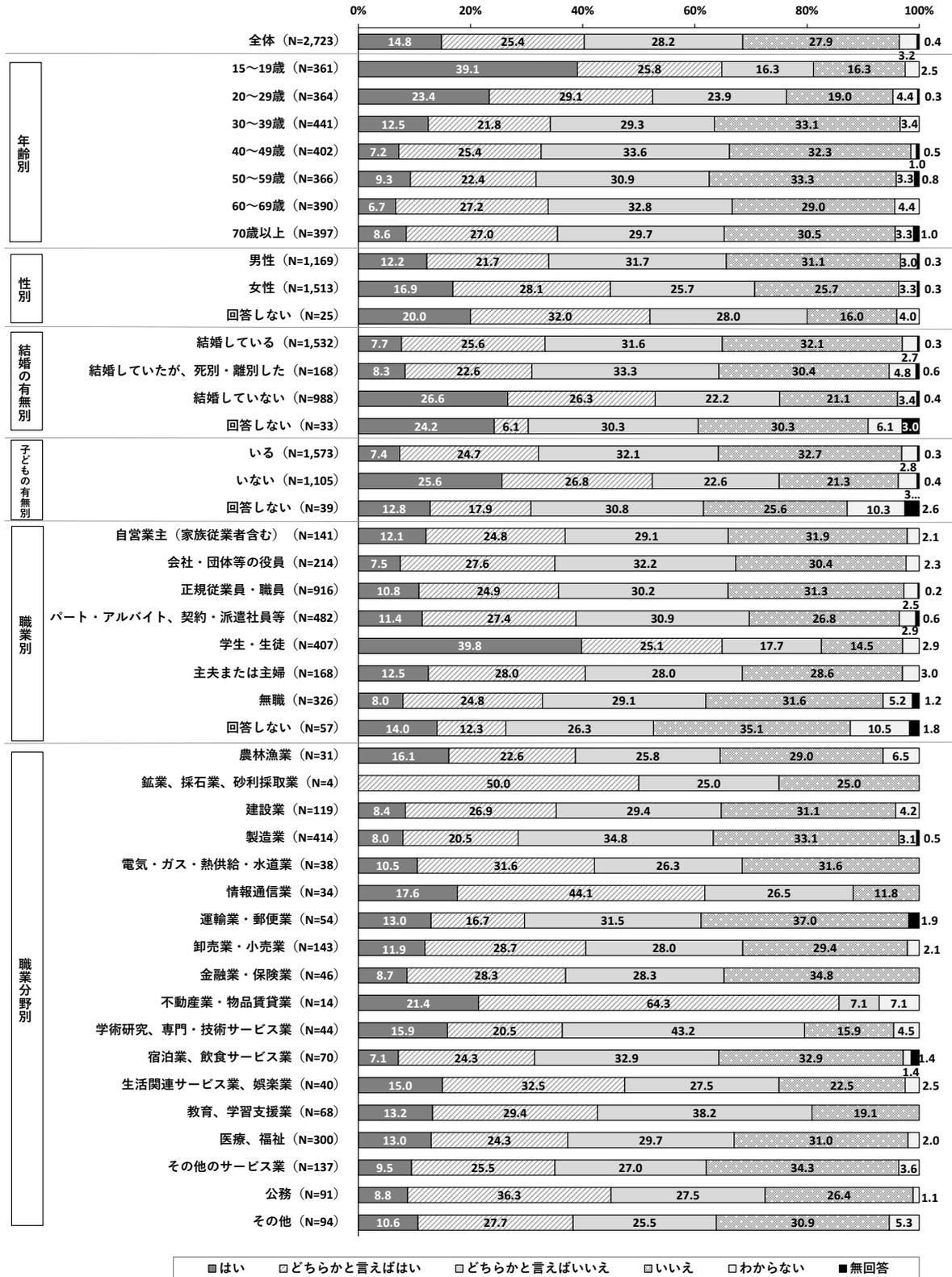
（5）－ 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 64.9%と、他の職業と比べて高い。

（5）－ 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が 61.7%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が 28.5%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-4 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）に関する活動（自ら取り組む、または鑑賞するなど）を積極的に行っている。



問 14-⑤ 特に応援や支持していたり、人に薦めたいほど好感を持っていたりする対象がある。(何かのファンである／いわゆる「推し」がいる)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が45.0%で、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は50.2%と、『いいえ』の方が5.2ポイント高い。

(2) 年齢別

20歳代以下で『はい』が6割を超えており、「15～19歳」では79.2%と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が10.6ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が65.5%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が63.3%と、「いる」よりも30.9ポイント高い。

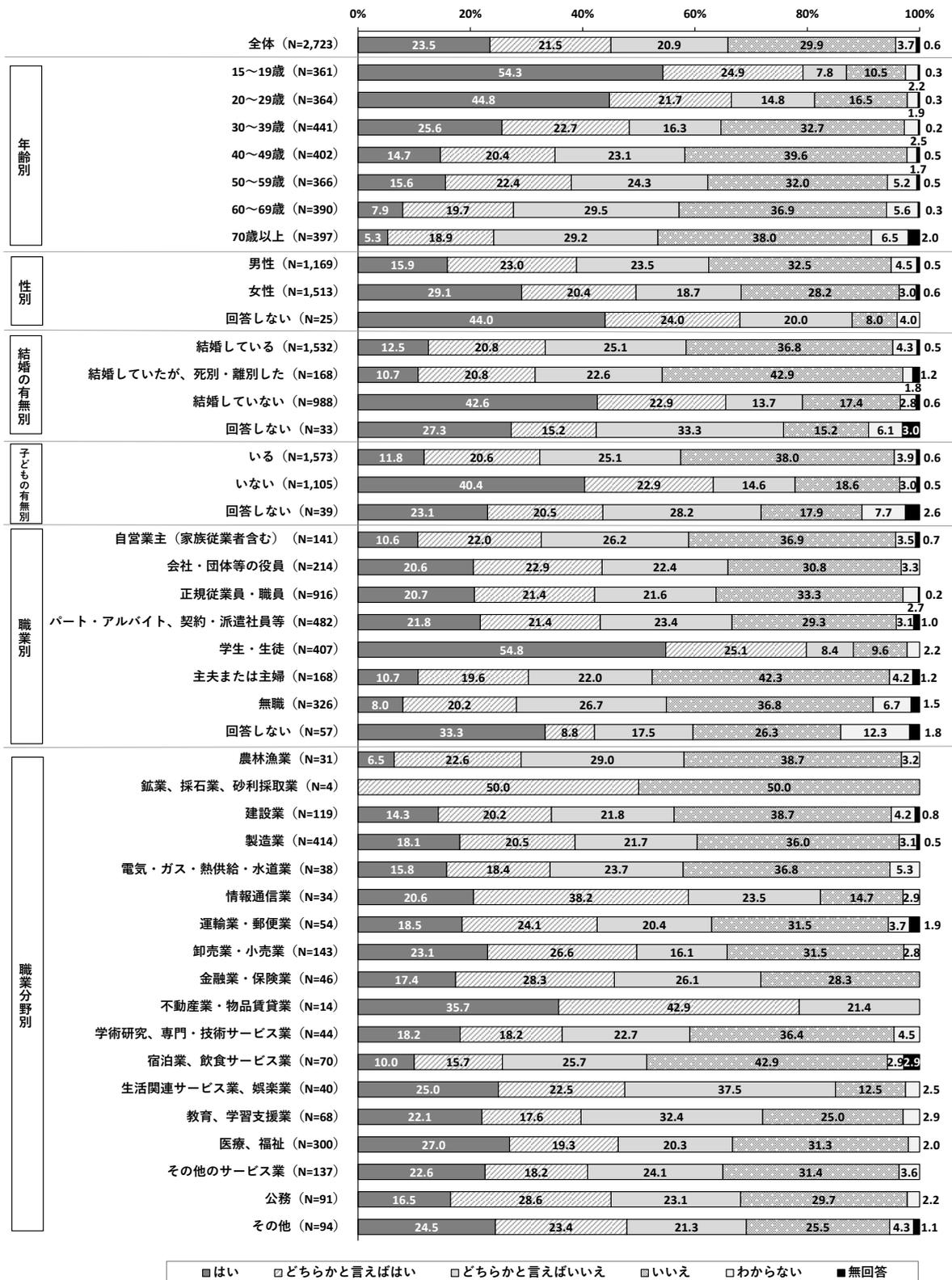
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が79.9%と、他の職業と比べて高く、一方、「無職」では28.2%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が2割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-5 特に応援や支持していたり、人に薦めたいほど好感を持っていたりする対象がある。(何かのファンである／いわゆる「推し」がいる)



問 14-⑥ 自分や家族のため、お金に関する知識（収入・支出の管理、貯蓄、投資等）を得ることに努めている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 50.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 43.2%と、『はい』の方が 7.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」と「50～59 歳」では『はい』が 4 割台と他と比べて低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 54.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 52.8%と、「いない」よりも 4.5 ポイント高い。

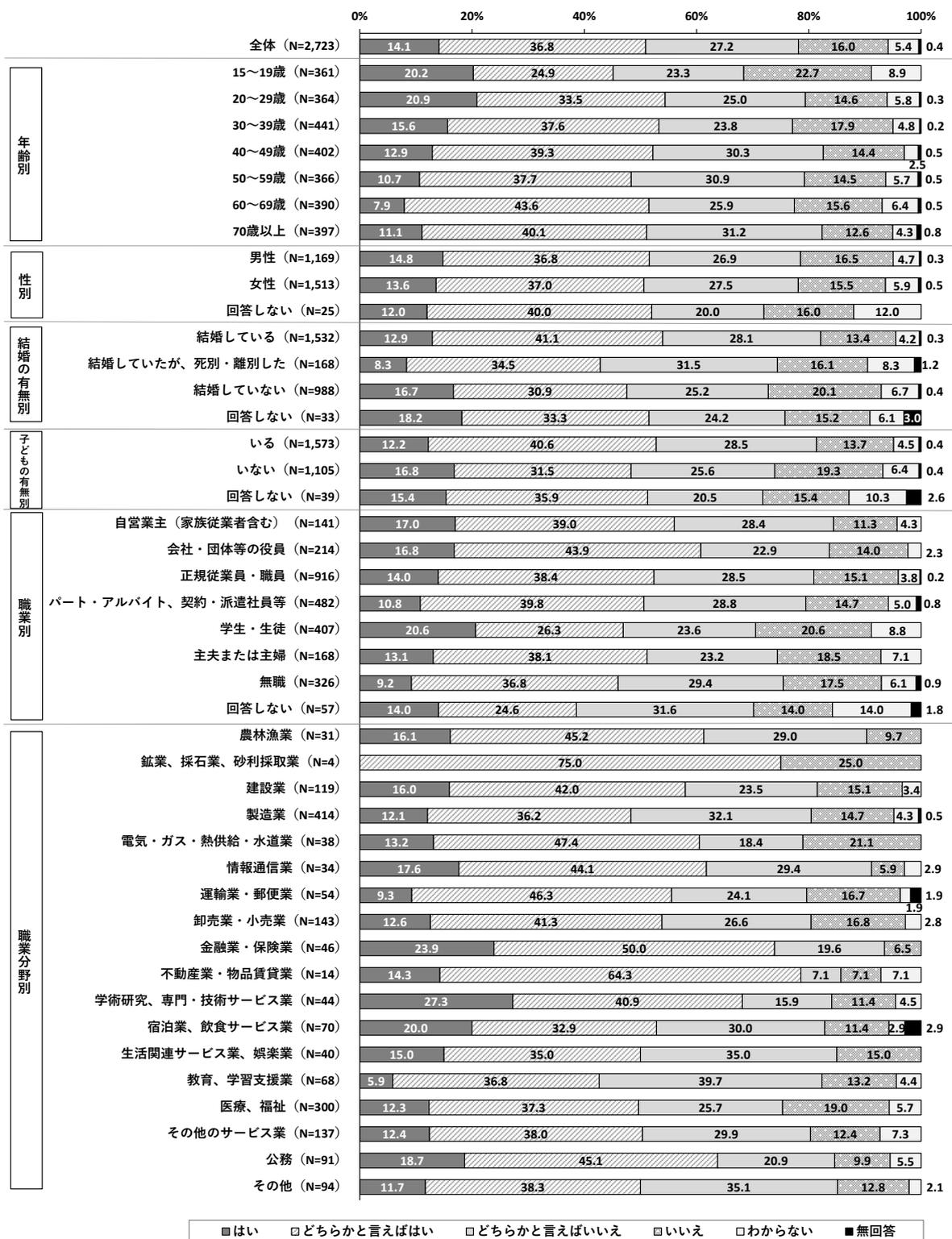
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」では『はい』が 60.7%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 73.9%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「教育、学習支援業」では『はい』が 42.7%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-6 自分や家族のため、お金に関する知識（収入・支出の管理、貯蓄、投資等）を得ることに努めている。



問 14-⑦ 自分は周りの人や社会の役に立っていると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 46.5%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 34.4%と、『はい』の方が 12.1 ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年齢が高くなるにつれ『はい』の割合が低くなる傾向にある。「15～19 歳」では、「はい」が 21.1%と、「70 歳以上」と比べて 15.3 ポイント高い。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 5.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 49.3%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られない。

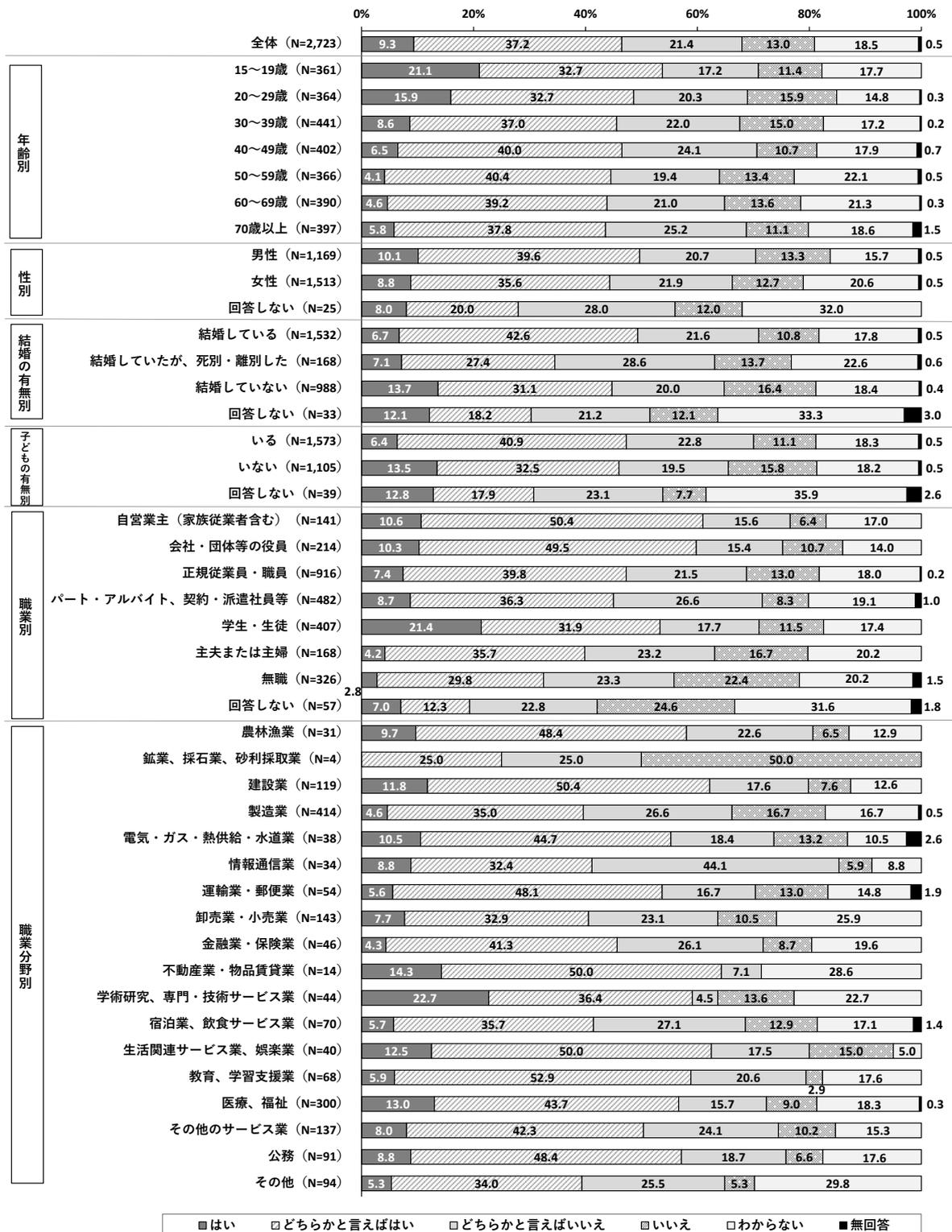
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」「会社・団体等の役員」「学生・生徒」では『はい』が 5 割以上を占めている。一方、「無職」では『はい』が 32.6%と他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「建設業」「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が 6 割台と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」「その他」では『はい』が 3 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-7 自分は周りの人や社会の役に立っていると感じている。



問 14-⑧ 家事（炊事、洗濯、掃除、買い物等）や家族の世話（子育て・介護等）に負担を感じている。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 33.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 57.5%と、『いいえ』の方が 23.6 ポイント高い。

（2）年齢別

「30～39 歳」「40～49 歳」で『はい』が 4 割台と、他の年代と比べて高くなっている。一方、「15～19 歳」「20～29 歳」「70 歳以上」で『はい』が 2 割台と、他よりも低くなっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 10.4 ポイント高い。

（4）－1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 23.7%と、他と比較して低い。

（4）－2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 39.9%と、「いない」よりも 14.4 ポイント高い。

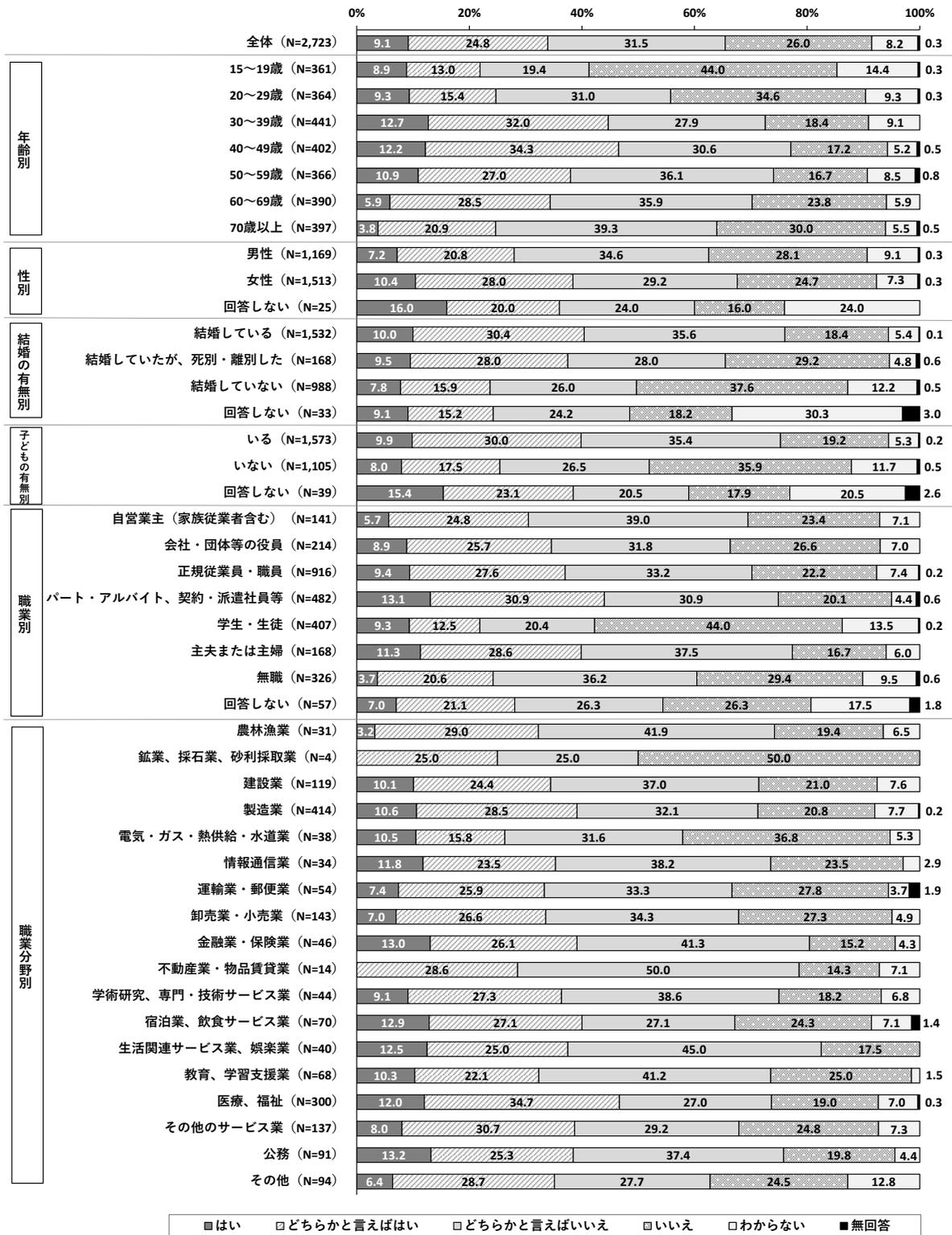
（5）－1 職業別

「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では『はい』が 44.0%と、他の職業と比べて高い。

（5）－2 職業分野別

「医療、福祉」では『はい』が 46.7%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 26.3%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-8 家事（炊事、洗濯、掃除、買い物等）や家族の世話（子育て・介護等）に負担を感じている。



問 14-⑨ ストレスや緊張、悩みや苦しさ、孤独などネガティブな気持ちを感じるこ
とがよくある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 52.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言
えばいいえ」＋「いいえ」）は 43.6%と、『はい』の方が 8.4 ポイント高い。

(2) 年齢別

20 歳代～40 代で『はい』が 6 割程度を占めている。一方、70 歳以上では 39.0%と、他の年代
と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 6.7 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 58.7%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 58.4%と、「いる」よりも 11.0 ポイント高い。

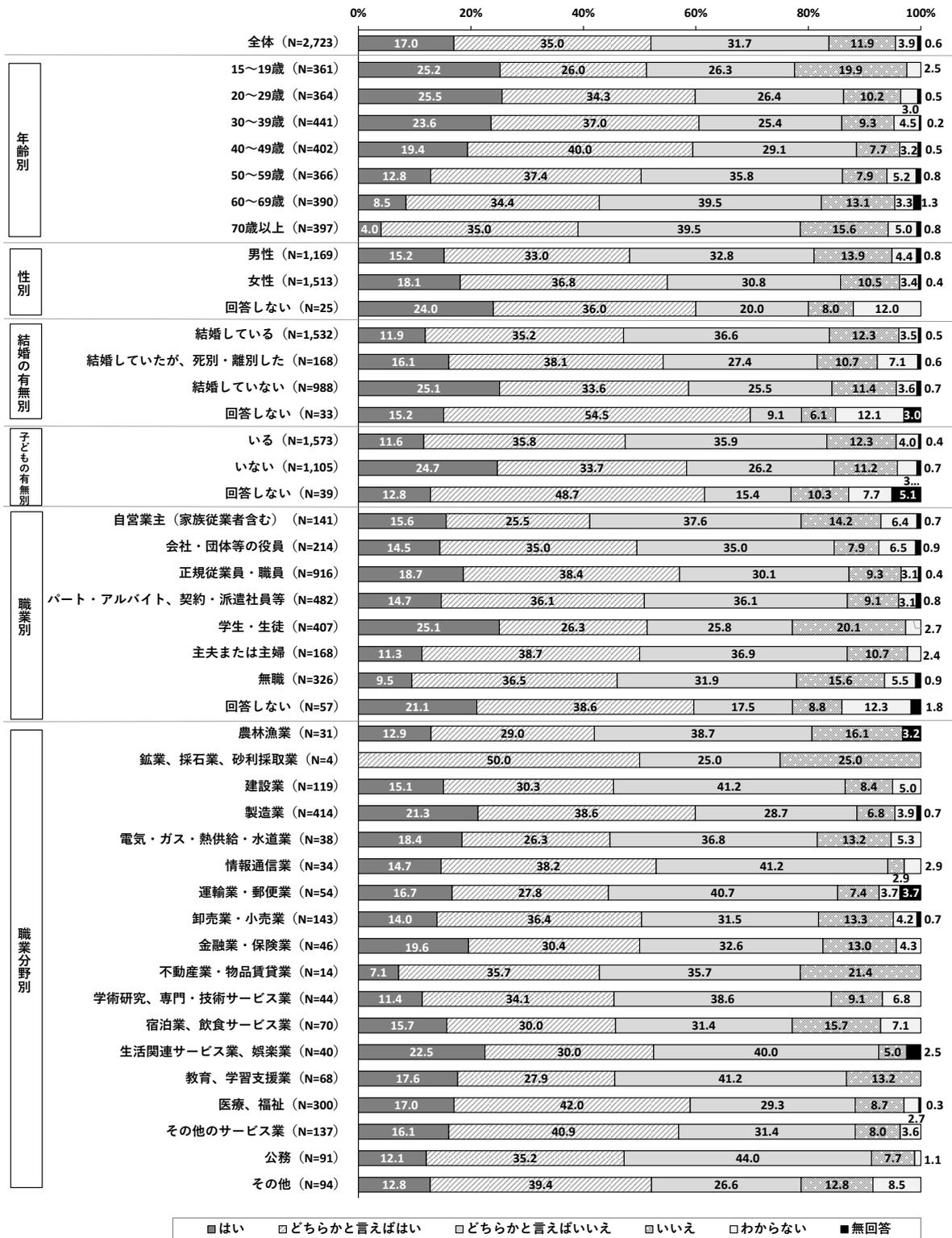
(5) - 1 職業別

「正規従業員・職員」では『はい』が 57.1%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「製造業」では『はい』が 59.9%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「農林漁業」
では『はい』が 41.9%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-9 ストレスや緊張、悩みや苦しさ、孤独などネガティブな気持ちを感じるものがよくある。



問 14-⑩ 自分の悩みや困りごとを相談できる人がいる、または相談できる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 68.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 25.8%と、『はい』の方が 42.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

10代～60代までは概ね年代が上がるにつれて、『はい』が低くなる傾向にあるが、「70歳代以上」では6割台となっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 12.6 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 70.1%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 70.2%と、「いる」よりも 1.9 ポイント高い。

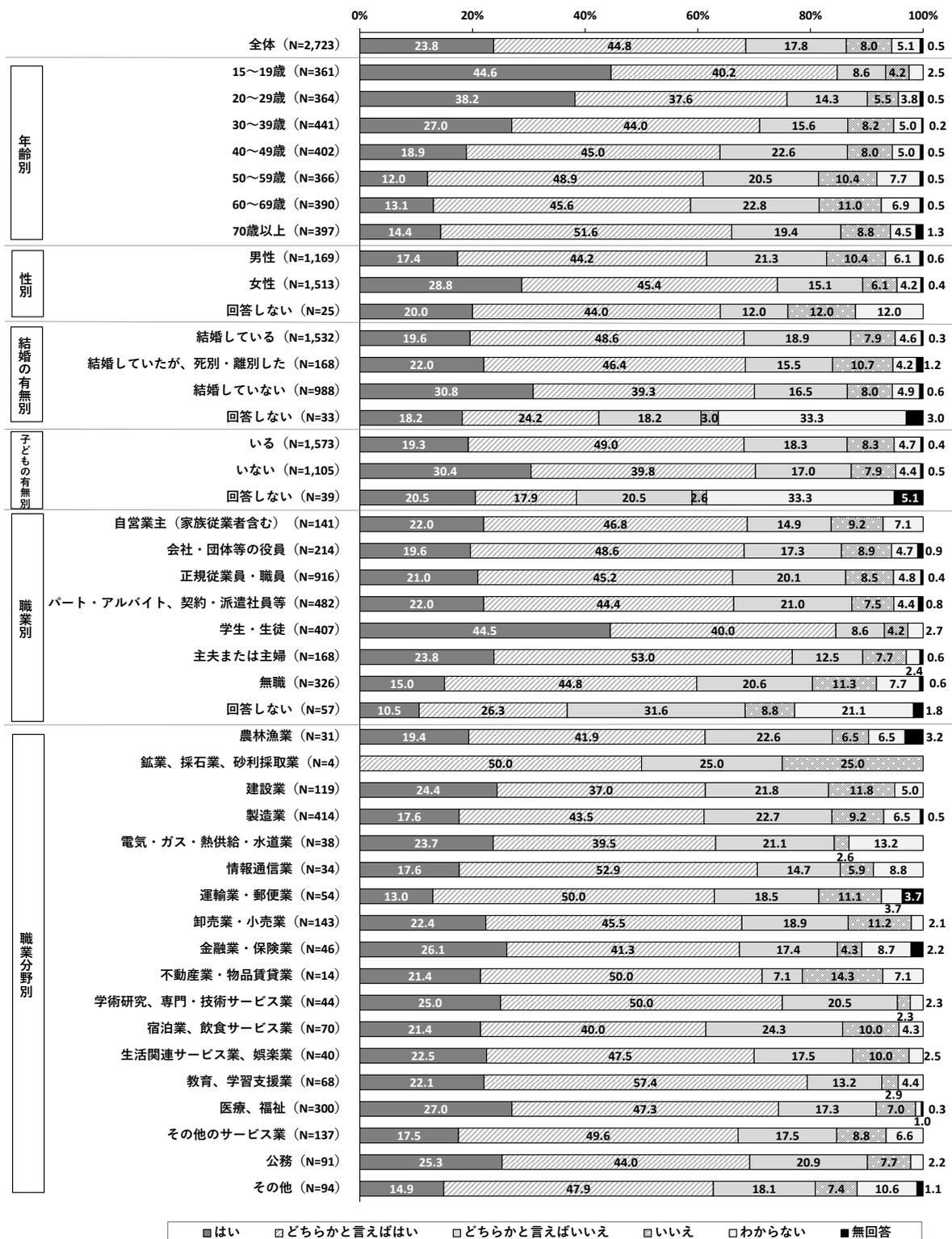
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 84.5%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 79.5%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が 61.1%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-10 自分の悩みや困りごとを相談できる人がいる、または相談できる環境がある。



問 14-⑪ 自分らしく、居心地良くいられる場所（自宅、職場、学校、団体、各種コミュニティ（オンライン上のコミュニティ含む）など）が十分にある。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 68.8%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 23.9%と、『はい』の方が 44.9 ポイント高い。

（2）年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 91.2%と、他の年代よりも高くなっている。一方、「50～59 歳」「60～69 歳」で『はい』が 5 割台と他の年代と比べて低くなっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 7.4 ポイント高い。

（4）－ 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 72.4%と、他と比較して高い。

（4）－ 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 72.2%と、「いる」よりも 5.1 ポイント高い。

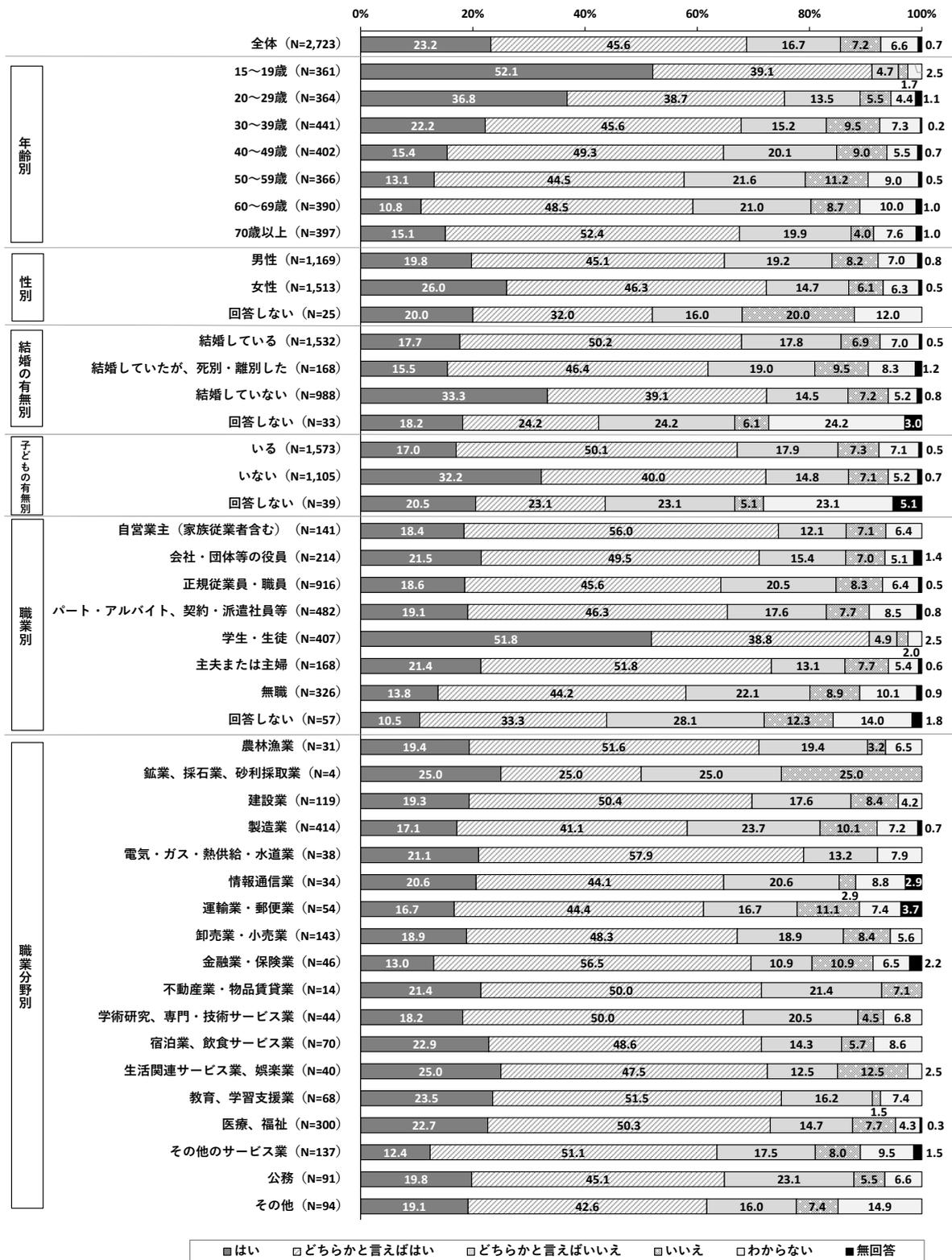
（5）－ 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 90.6%と、他の職業と比べて高い。

（5）－ 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 79.0%と他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が 58.2%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-11 自分らしく、居心地良くいられる場所（自宅、職場、学校、団体、各種コミュニティ（オンライン上のコミュニティ含む）など）が十分にある。



問 14-⑫ 自分の考えや意見を伝えたり、自由に表現したりすることができる機会が十分にある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 54.3%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 34.4%と、『はい』の方が 19.9 ポイント高い。

(2) 年齢別

10代から 60代までは概ね年代が上がるにつれて、『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 4.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 61.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 60.9%と、「いる」よりも 10.7 ポイント高い。

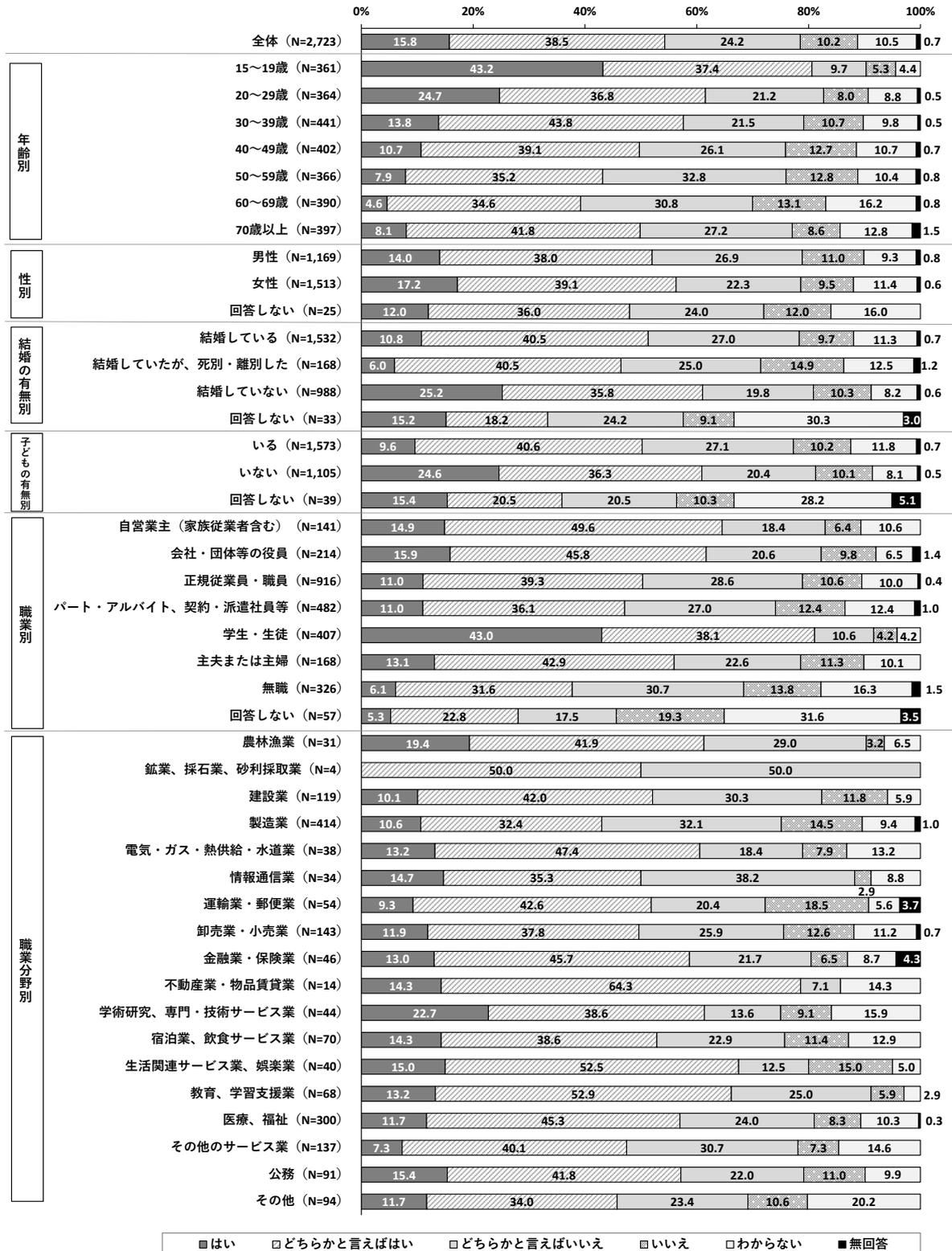
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 81.1%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が 67.5%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が 43.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-12 自分の考えや意見を伝えたり、自由に表現したりすることができる機会が十分にある。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

問 14-⑬ 家庭や職場・学校以外でも、色々な人と交流したいという気持ちがある。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が54.5%で、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は37.7%と、『はい』の方が16.8ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19歳」で『はい』が74.2%を占めているが、30歳代以上では3割台となっている。一方、「50～59歳」では44.0%と他の年代より低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が51.7%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が58.9%と、「いる」よりも6.8ポイント高い。

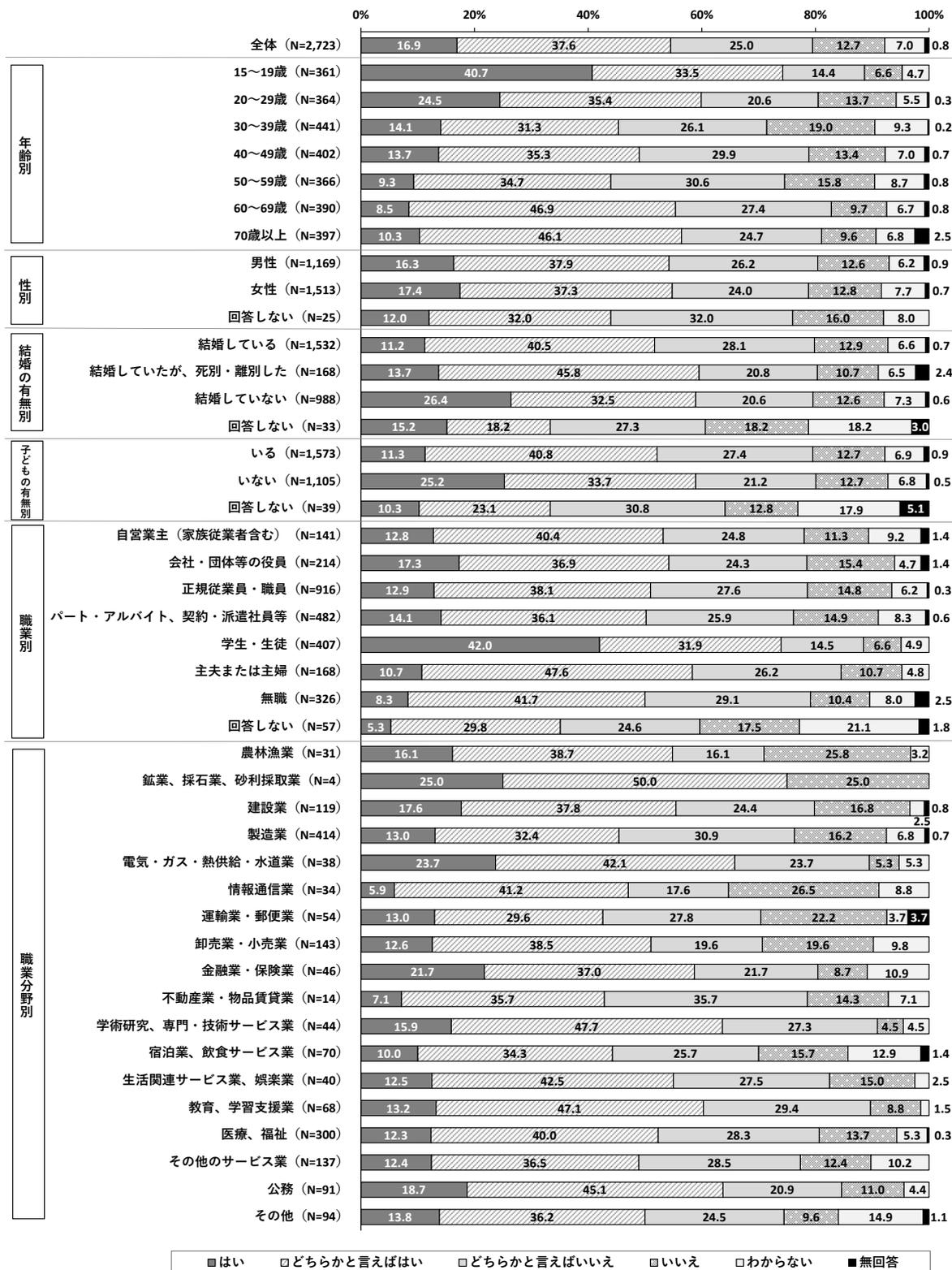
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が73.9%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が65.8%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が45.4%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-13 家庭や職場・学校以外でも、色々な人と交流したいという気持ちがある。



問 14-⑭ お住まいの場所の近所や町内（「地域」）の人たちと共に協力し合い、支え合っている。

（１）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 46.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 36.8%と、『はい』の方が 9.9 ポイント高い。

（２）年齢別

「70 歳以上」で『はい』が 64.8%を占めている。一方、「20～29 歳」「30～39 歳」では 3 割台となっている。

（３）性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 10.0 ポイント高い。

（４）－１ 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 51.7%と、他と比較して高い。

（４）－２ 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 51.7%と、「いない」よりも 11.2 ポイント高い。

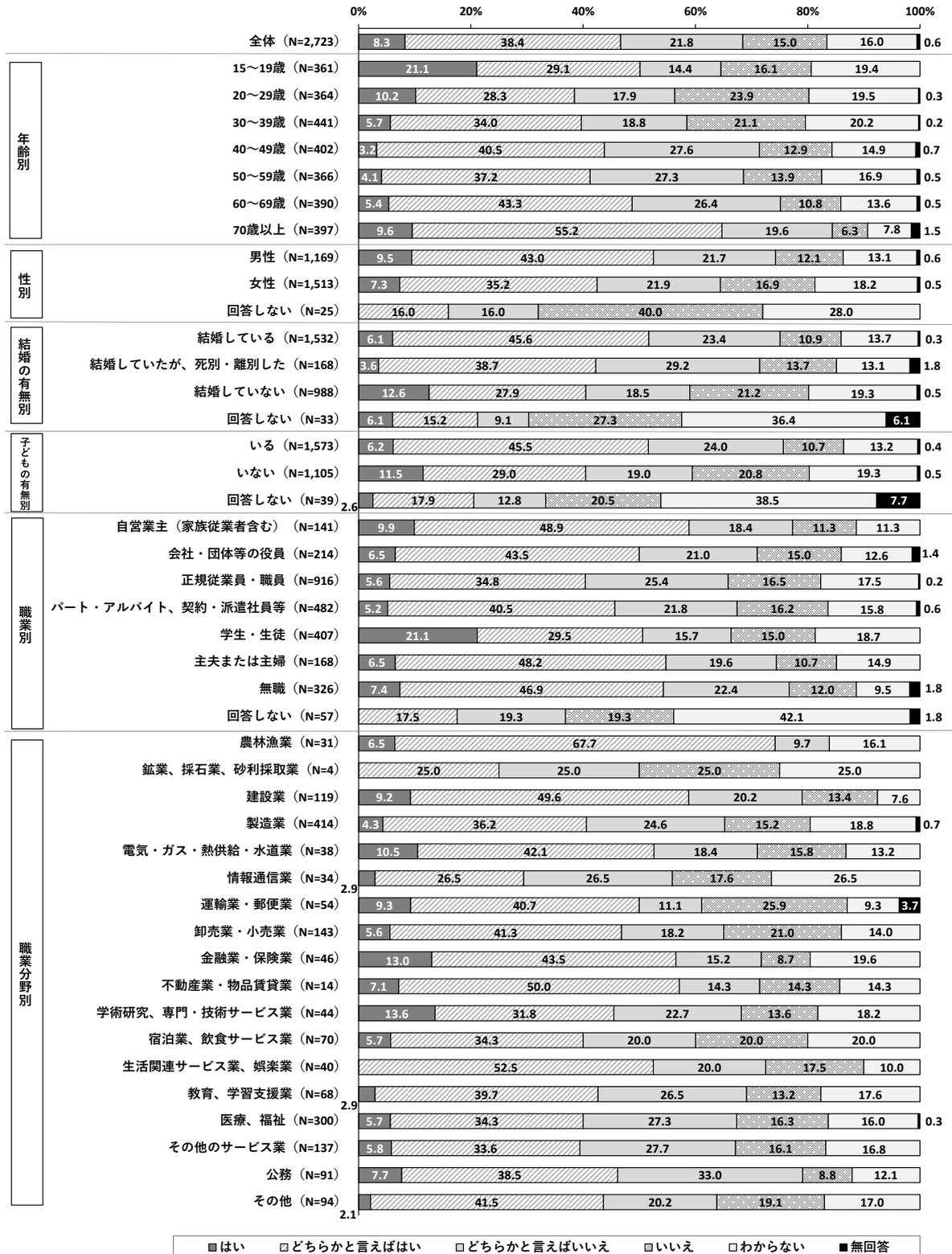
（５）－１ 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 58.8%と、他の職業と比べて高い。

（５）－２ 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 74.2%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「情報通信業」では『はい』が 29.4%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-14 お住まいの場所の近所や町内（「地域」）の人たちと共に協力し合い、支え合っている。



問 14-⑮ ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 25.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 69.9%と、『いいえ』の方が 44.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「70 歳以上」で『はい』が 3 割台を占め、他の年代と比べて高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 10.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 28.3%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 28.6%と、「いない」よりも 6.6 ポイント高い。

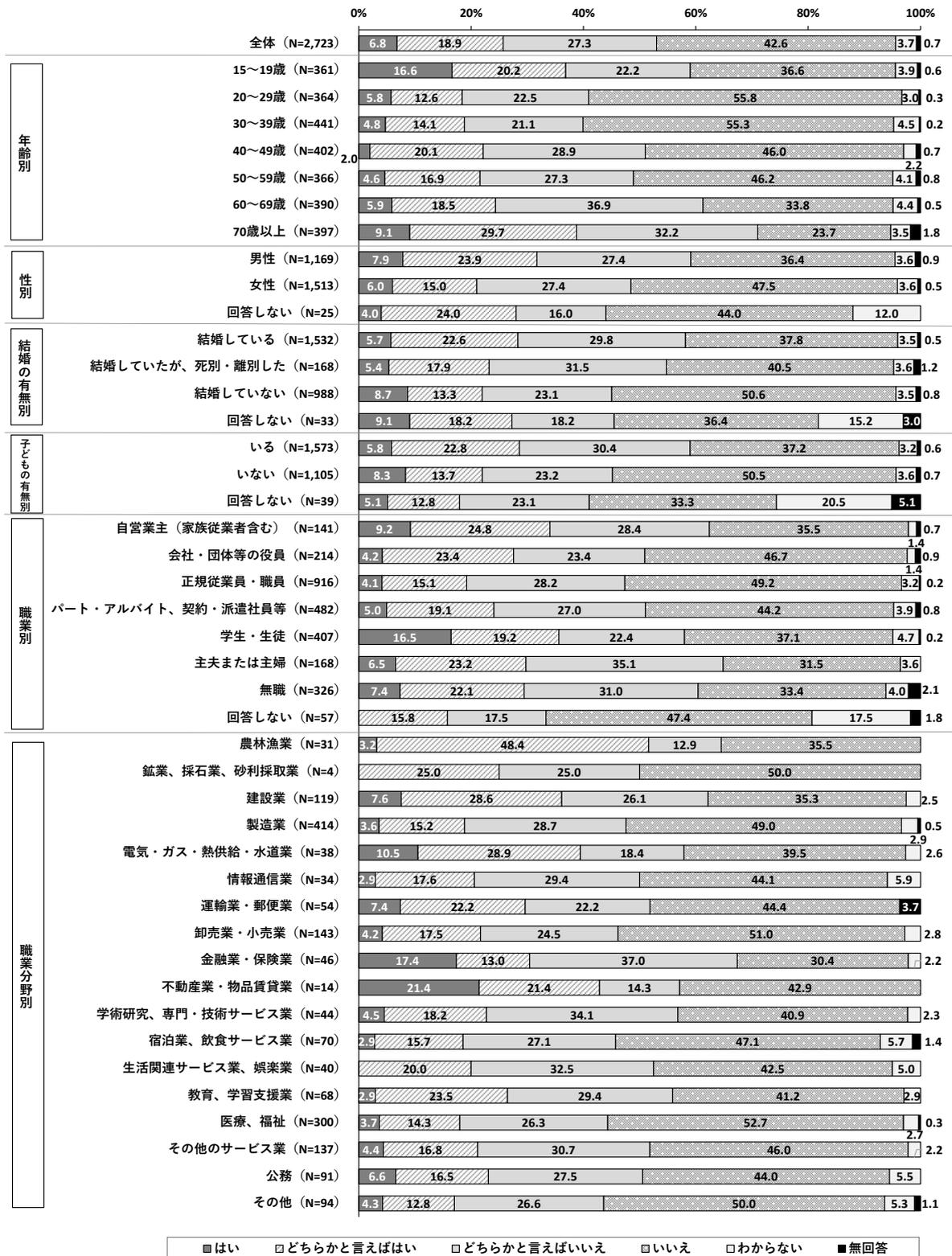
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 35.7%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 51.6%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「その他」では『はい』が 17.1%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-15 ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。



問 14-⑯ 地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に関わりたい。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 31.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 57.6%と、『いいえ』の方が 25.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 47.4%を占めている。一方、30 歳代から 60 歳代では 2 割台となっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 8.5 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 23.8%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」で「はい」が 10.2%と、「いる」よりも 5.4 ポイント高い。

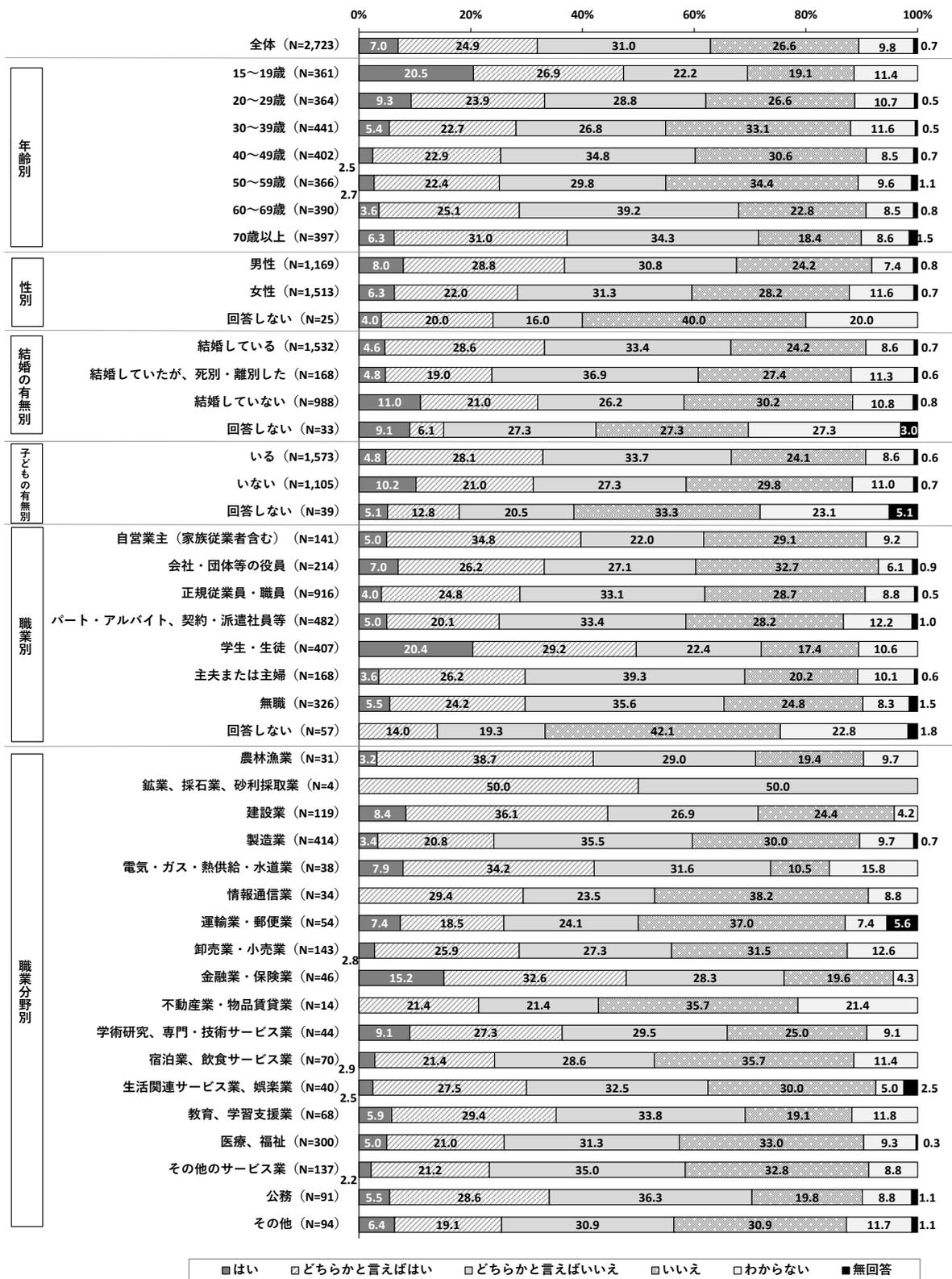
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 49.6%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 47.8%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「その他のサービス業」では『はい』が 23.4%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-16 地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に関わりたい。



問 14-⑰ 住まいの周辺で、犯罪や事故の発生に対する不安がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 30.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 61.9%と、『いいえ』の方が 31.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

「30～39 歳」「40～49 歳」で『はい』が 3 割台を占め、他の年代と比べて高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 1.7 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 32.7%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 31.6%と、「いない」よりも 2.8 ポイント高い。

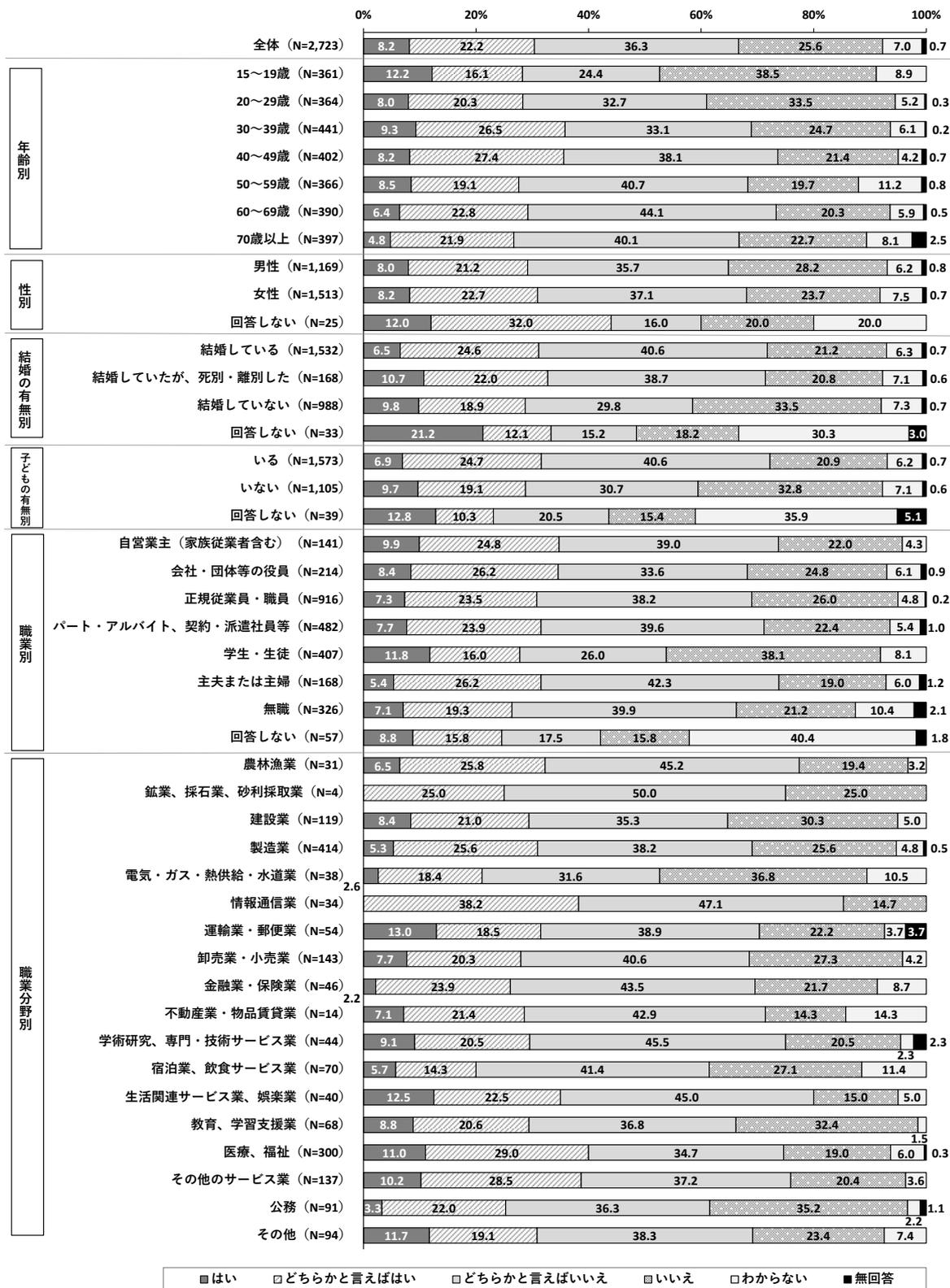
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」「無職」を除くすべての職業で『はい』が 3 割台となっている。一方、「学生・生徒」では「はい」が 11.8%と他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「医療、福祉」では『はい』が 40.0%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 20.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-17 住まいの周辺で、犯罪や事故の発生に対する不安がある。



問 14-⑩ 住まいの周辺で、自然災害が発生する不安がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 47.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 45.8%と、『はい』の方が 1.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

「30～39 歳」では『はい』が 55.6%を占めている。一方、「70 歳代以上」では 37.0%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 2.0 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 50.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 50.0%と、「いる」よりも 4.7 ポイント高い。

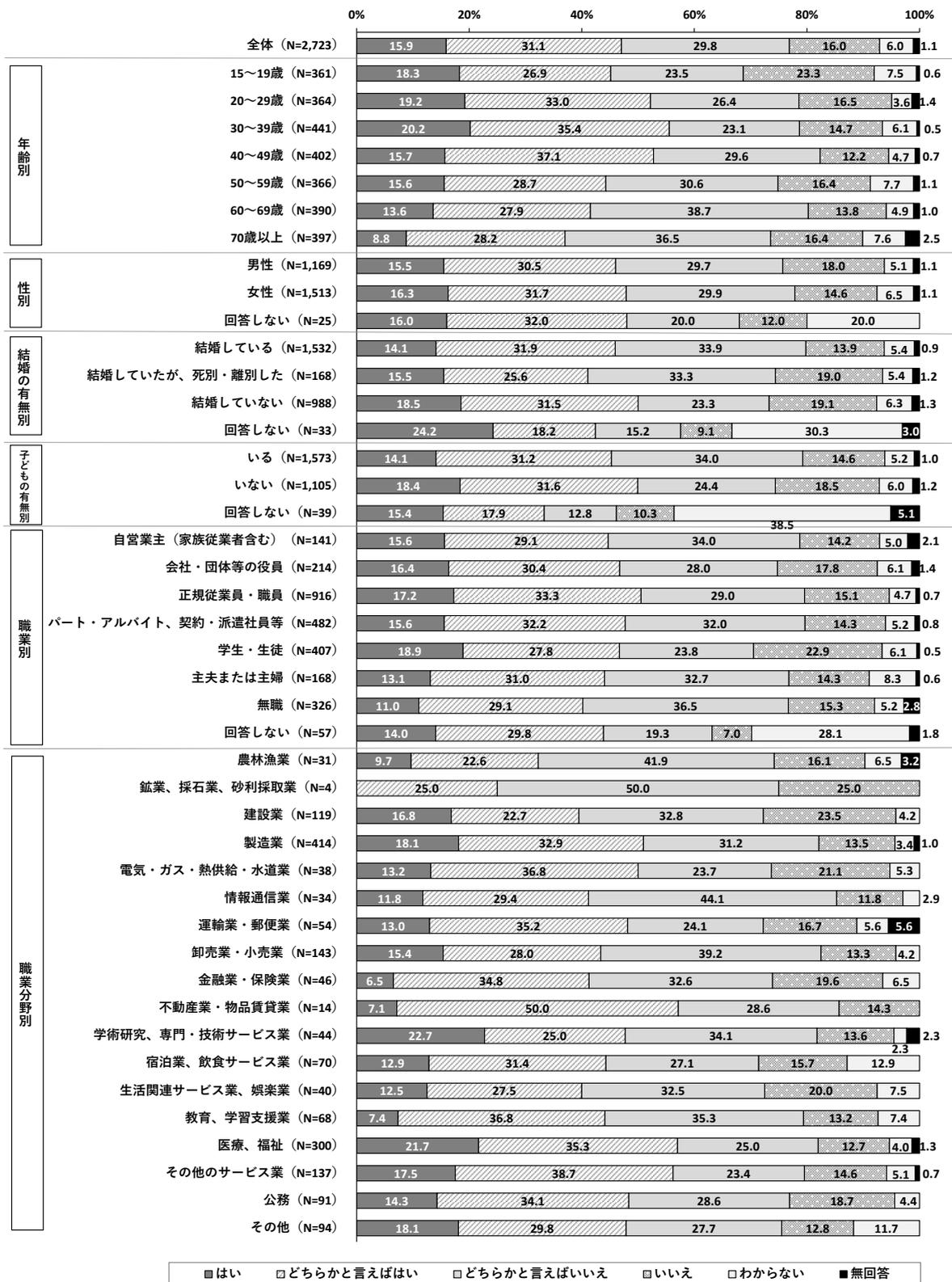
(5) - 1 職業別

「正規従業員・職員」では『はい』が 50.5%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「医療、福祉」では『はい』が 57.0%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「農林漁業」では『はい』が 32.3%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-18 住まいの周辺で、自然災害が発生する不安がある。



問 14-⑱ 自身の家庭において災害への備え（ハザードマップの確認、食品備蓄、非常用持出品の常備等）をしている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 41.2%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 55.3%と、『いいえ』の方が 14.1 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 50.7%を占めている。一方、「60～69 歳」では 35.1%と、他と比べて低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 33.9%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 43.0%と、「いる」よりも 2.8 ポイント高い。

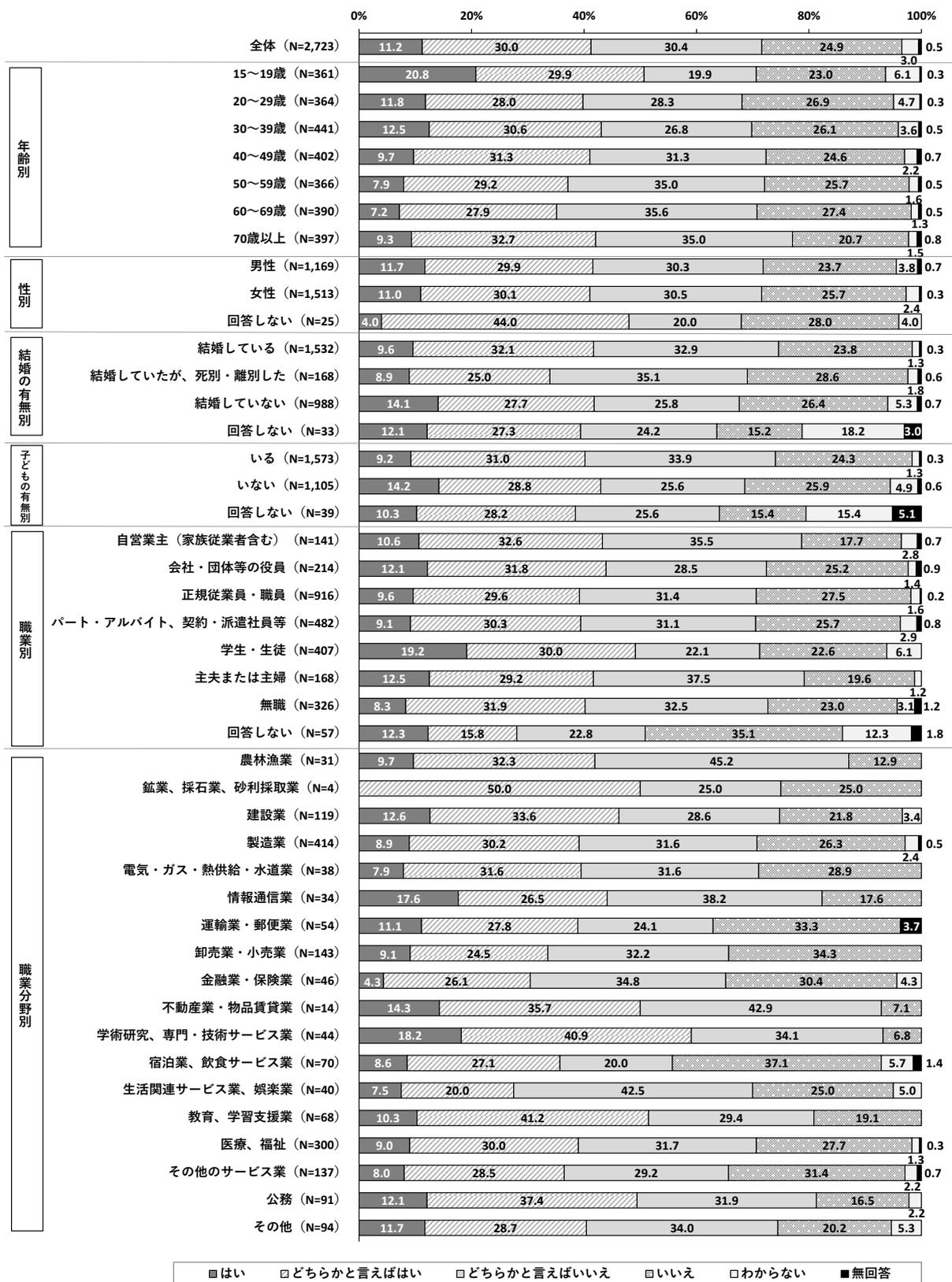
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 49.2%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 59.1%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が 27.5%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-19 自身の家庭において災害への備え（ハザードマップの確認、食品備蓄、非常用持出品の常備等）をしている。



問 14-⑳ 日常の食料品や生活用品の買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 75.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 20.7%と、『はい』の方が 55.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 7 割以上を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 78.1%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 77.6%と、「いない」よりも 3.3 ポイント高い。

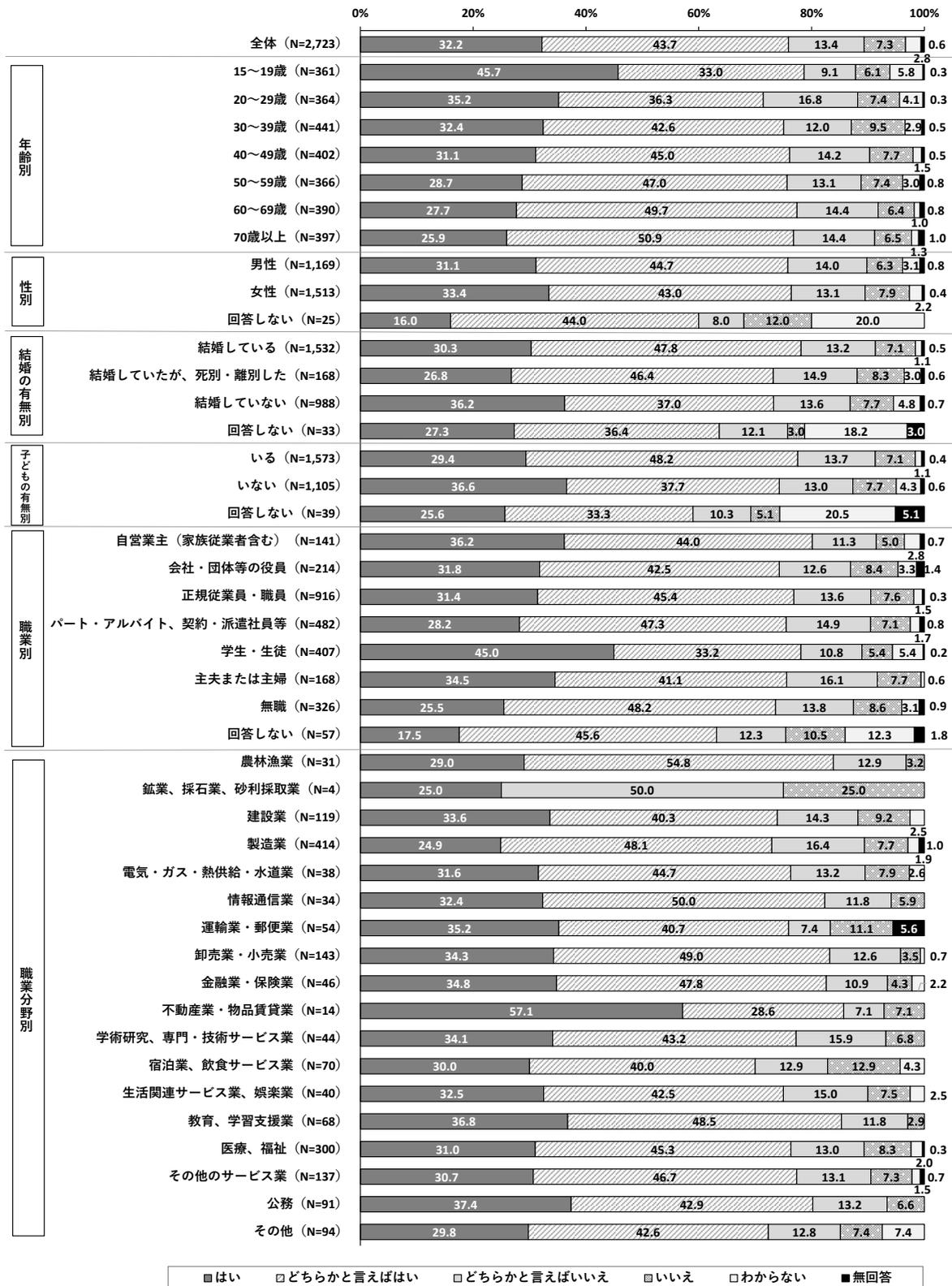
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 78.2%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 85.3%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 70.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-20 日常の食料品や生活用品の買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。



問 14-② 趣味や娯楽、ファッション、学びなどに関する買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 65.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 30.2%と、『はい』の方が 34.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

20代以上で年齢が上がるにつれて、『はい』が高くなる傾向がある。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 1.2 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 67.8%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 67.7%と、「いない」よりも 5.9 ポイント高い。

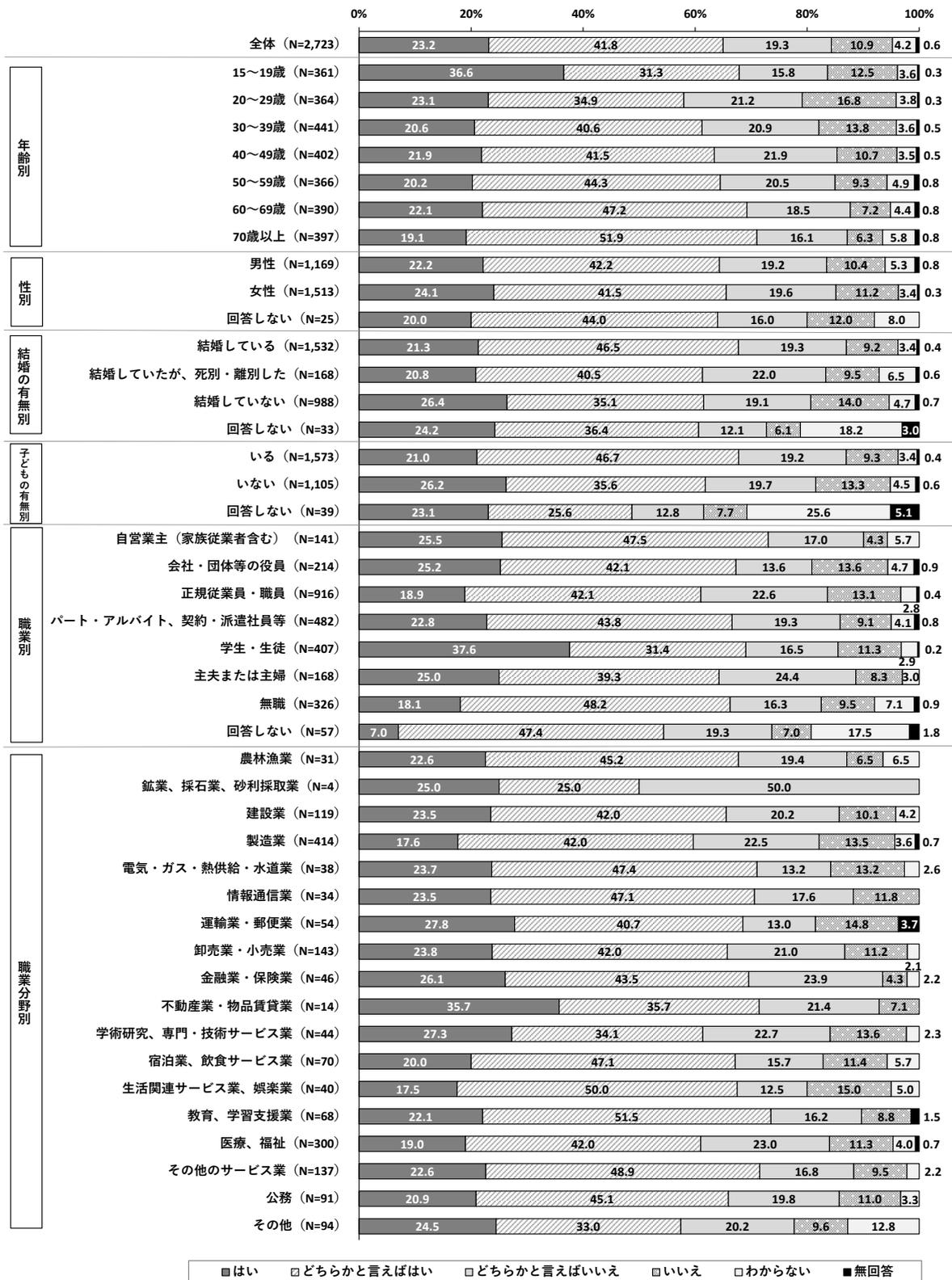
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 69.0%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 73.6%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「その他」では『はい』が 57.5%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-21 趣味や娯楽、ファッション、学びなどに関する買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。



問 14-② 富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 69.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 25.4%と、『はい』の方が 43.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

50 歳代以上で、『はい』が 7 割台を占めている。一方、「20～29 歳」では 62.9%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 2.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 72.2%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 72.3%と、「いない」よりも 6.7 ポイント高い。

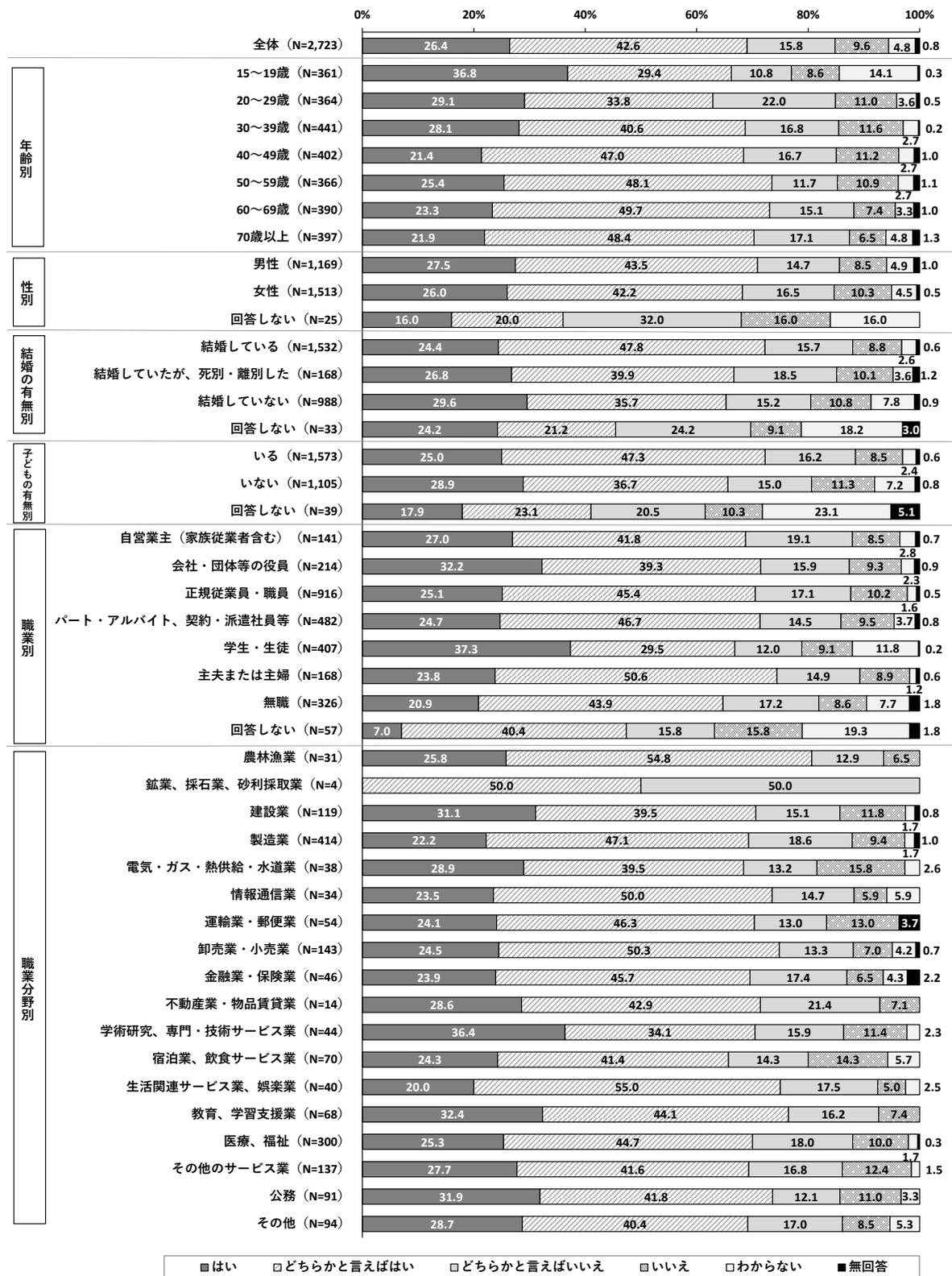
(5) - 1 職業別

「無職」では『はい』が 64.8%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 80.6%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 65.7%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-22 富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない。



問 14-②③ 富山県内における自家用車以外（公共交通機関など）での移動は快適・便利である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 24.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 65.0%と、『いいえ』の方が 40.1 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 39.4%を占めている。一方、「50～59 歳」では『はい』が 18.9%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 1.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 28.7%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 28.1%と、「いる」よりも 5.2 ポイント高い。

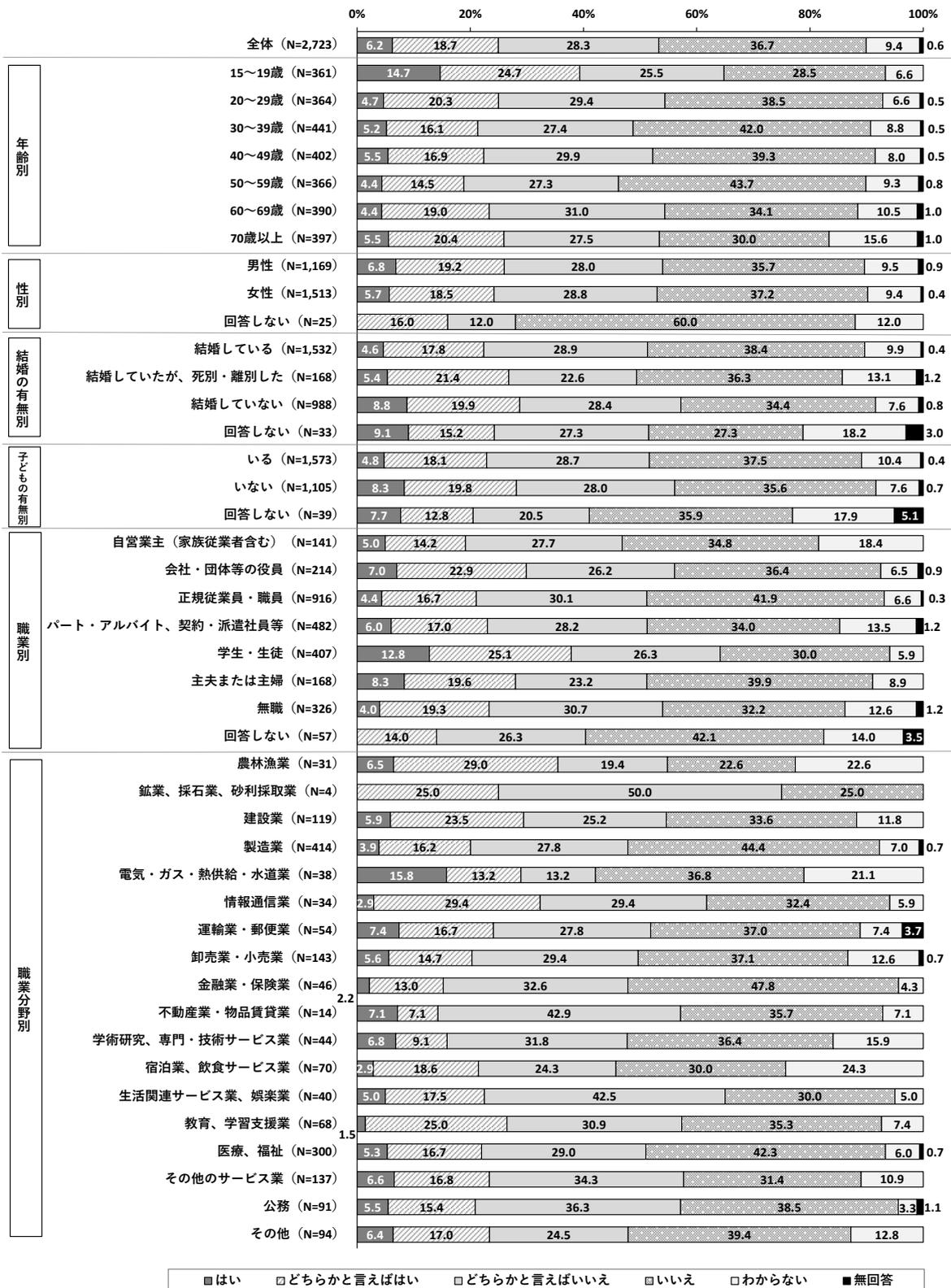
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 37.9%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 35.5%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「金融業・保険業」では『はい』が 15.2%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-23 富山県内における自家用車以外（公共交通機関など）での移動は快適・便利である。



問 14-⑳ 富山県の自然や文化に触れ合う機会がよくある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が44.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は48.7%と、『いいえ』の方が4.0ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年代が上がるにつれて『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が4.9ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が48.6%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が49.1%と、「いる」よりも6.9ポイント高い。

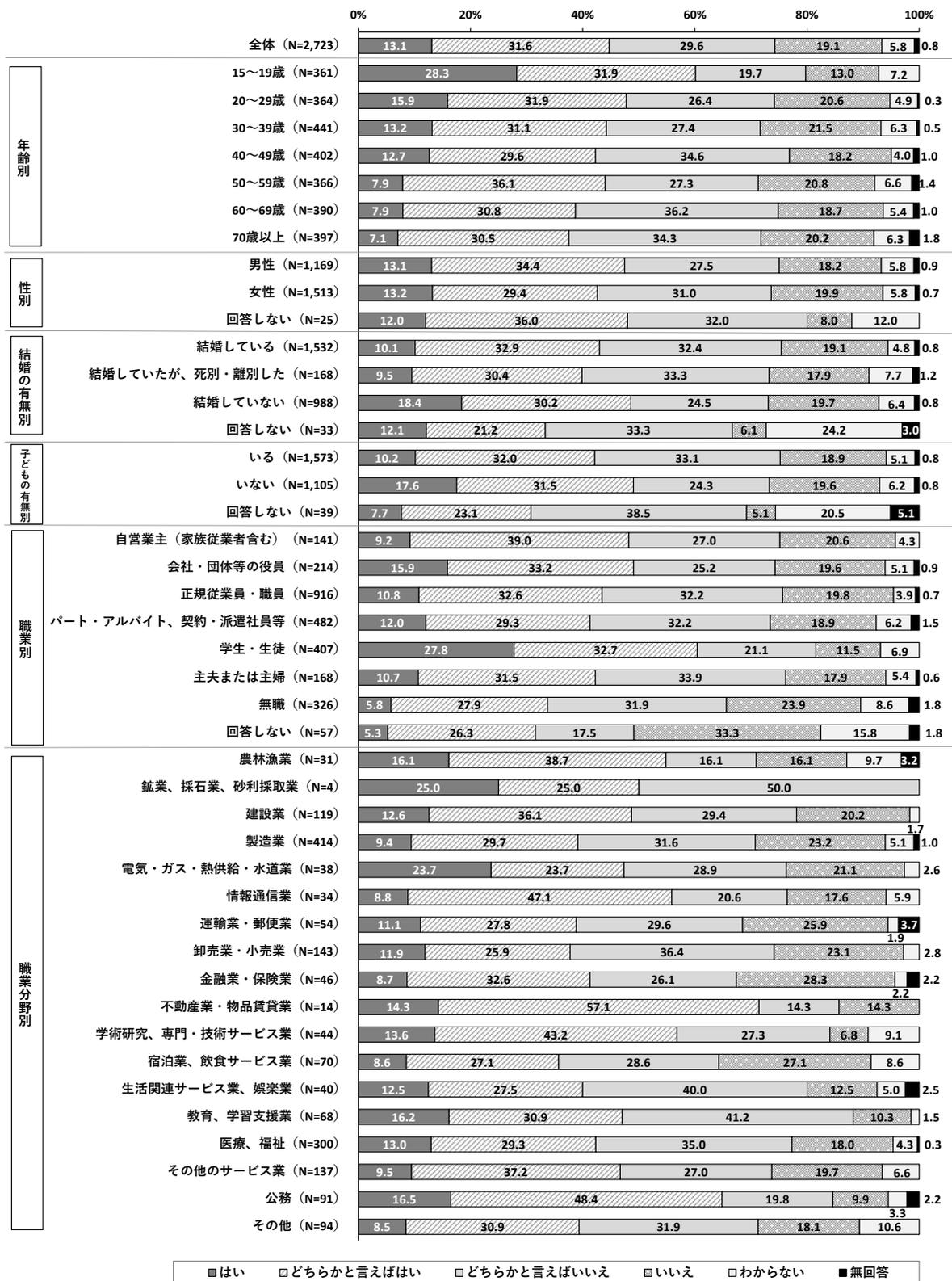
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が60.5%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「公務」では『はい』が64.9%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が35.7%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-24 富山県の自然や文化に触れ合う機会がよくある。



問 14-② 食材の購入または外食の際は、意識して富山県産のものを選んでいる。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 37.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 51.9%と、『いいえ』の方が 14.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

70 歳以上で『はい』が 55.2%を占めている。一方、「20～29 歳」では 25.5%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 4.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 41.6%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 41.9%と、「いない」よりも 10.5 ポイント高い。

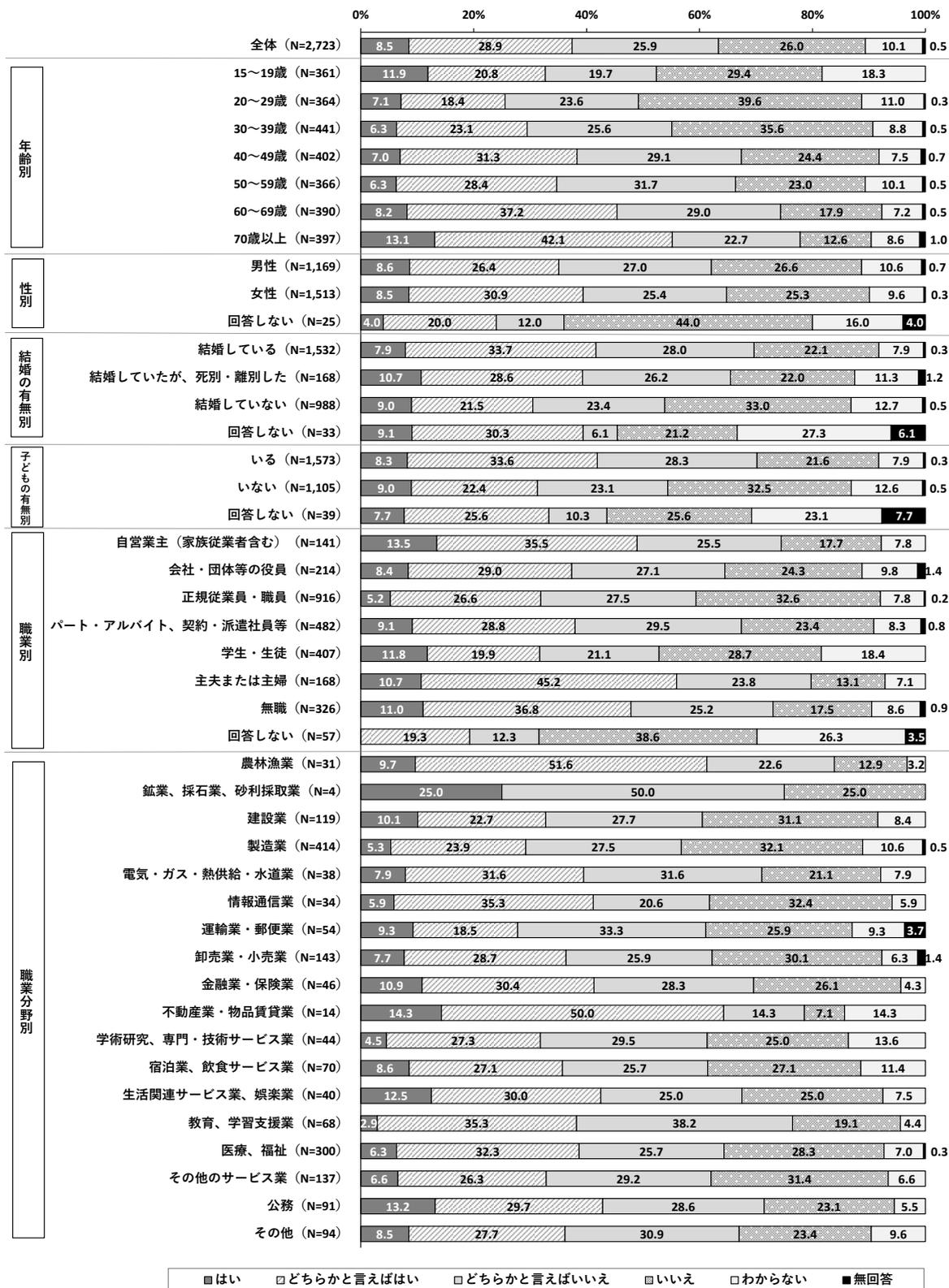
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『はい』が 55.9%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 61.3%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「運輸業・郵便業」では『はい』が 27.8%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-25 食材の購入または外食の際は、意識して富山県産のものを選んでいる。



問 14-⑳ 富山県には、家族や友人等と楽しく過ごすことができる場所やイベントなどの機会が十分にある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 31.8%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 53.4%と、『いいえ』の方が 21.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 49.6%と、他の年代よりも高くなっている。一方、20 歳代以上では『はい』が 4 割を下回っている。

(3) 性別

男女間であまり差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 33.5%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 33.1%と、「いる」よりも 1.8 ポイント高い。

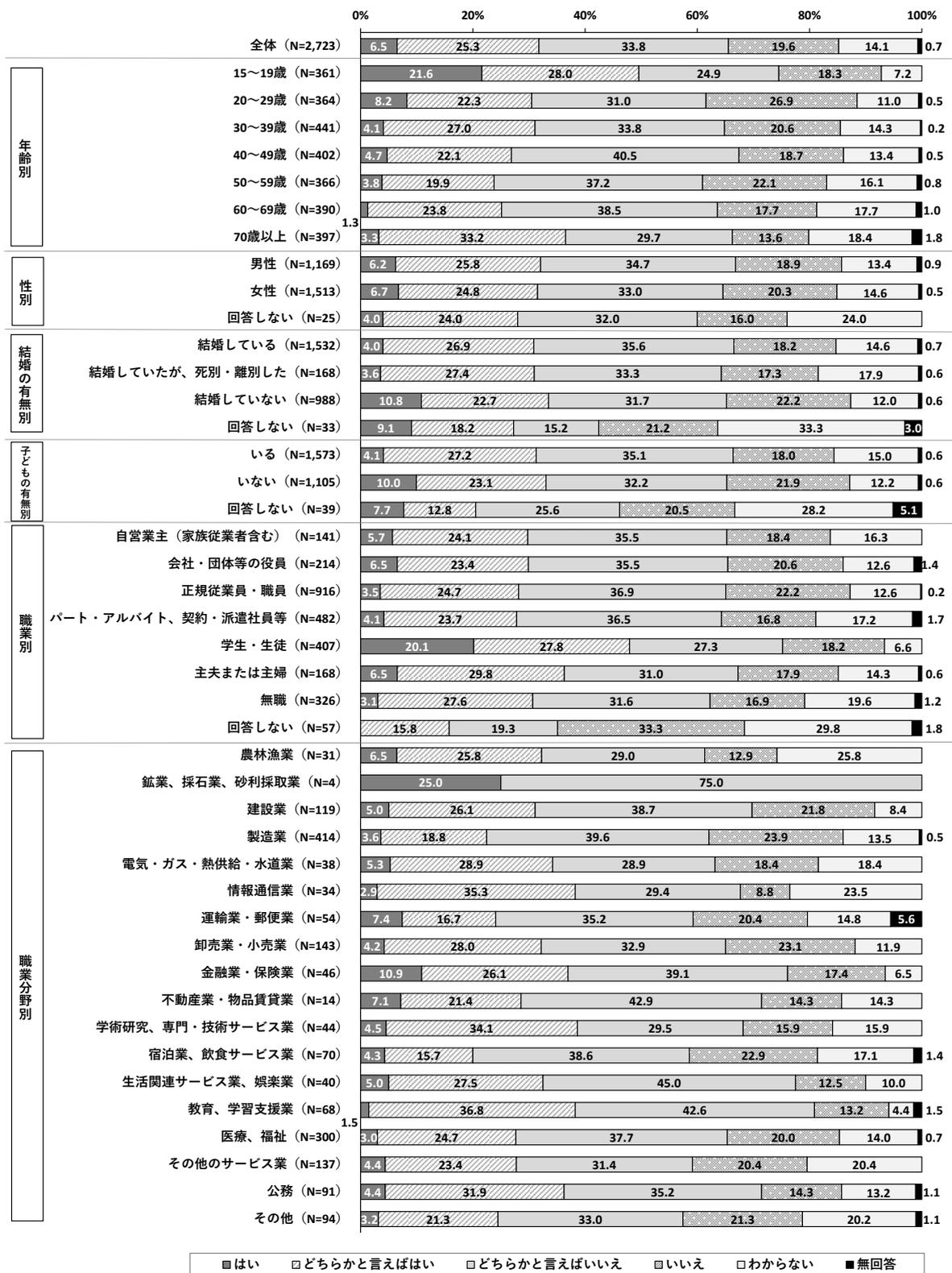
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 47.9%と、他の職業と比べて高い。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では 27.8%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 38.6%と、他の職業分野と比べて高く、「金融業・保険業」では「はい」が 10.9%と他よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 20.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-26 富山県には、家族や友人等と楽しく過ごすことができる場所やイベントなどの機会が十分にある。



問 14-㉗ 富山県内の政治や行政に関心を持っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 34.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 56.7%と、『いいえ』の方が 22.1 ポイント高い。

(2) 年齢別

「70 歳以上」で『はい』が 5 割を超えている。一方、「20～29 歳」では 20.4%と、他の年代よりも低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 14.6 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 40.8%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 39.4%と、「いない」よりも 11.4 ポイント高い。

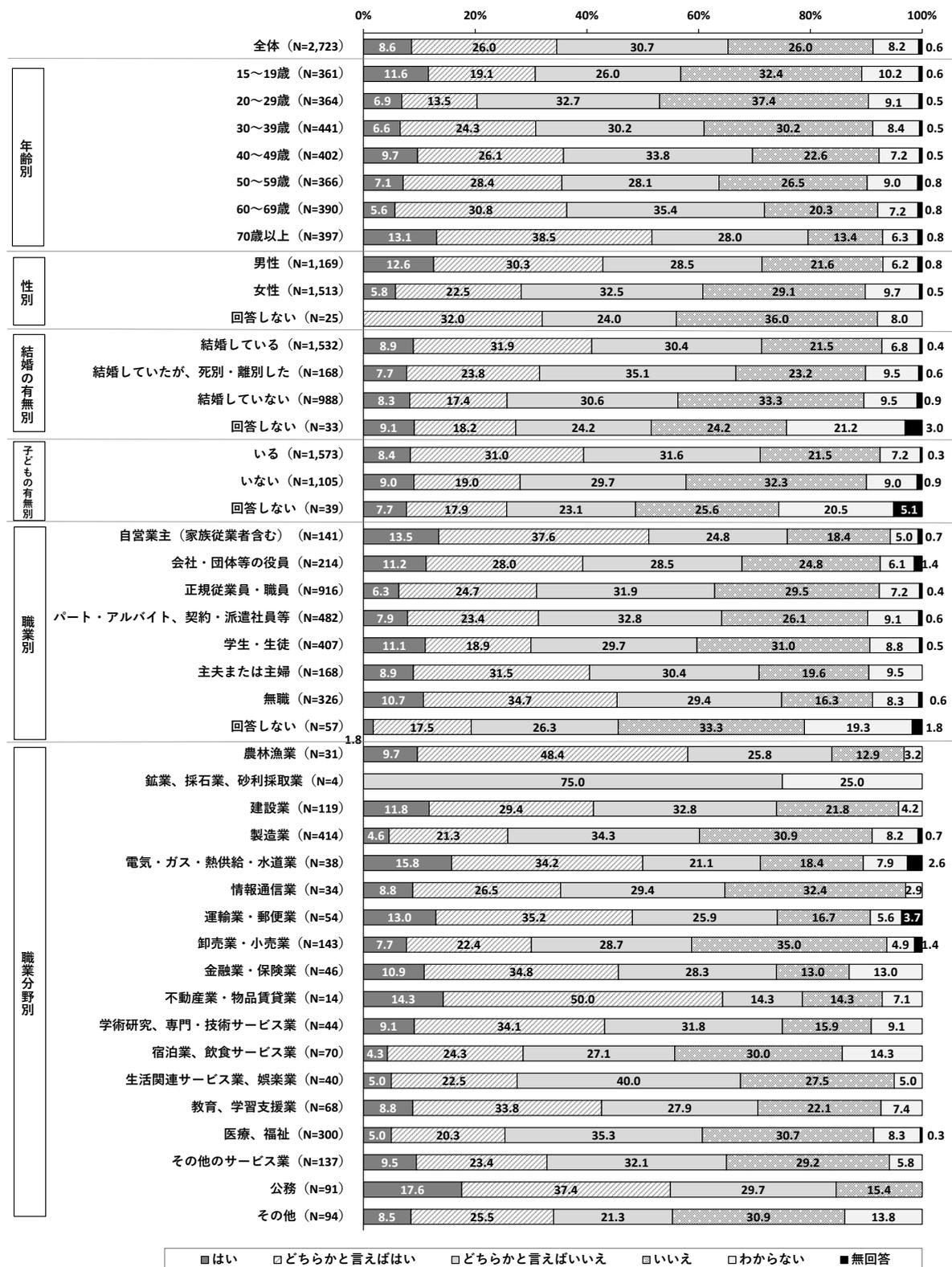
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 51.1%と、他の職業と比べて高い。一方、「学生・生徒」では 30.0%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」「公務」では『はい』が 5 割を超えている。一方、「製造業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「医療、福祉」では『はい』が 2 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-27 富山県内の政治や行政に関心を持っている。



問 14-㉔ 富山県外に住みたいと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 28.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 59.2%と、『いいえ』の方が 30.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年代が上がるにつれて『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

男女間であまり差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 43.5%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 42.5%と、「いる」よりも 24.2 ポイント高い。

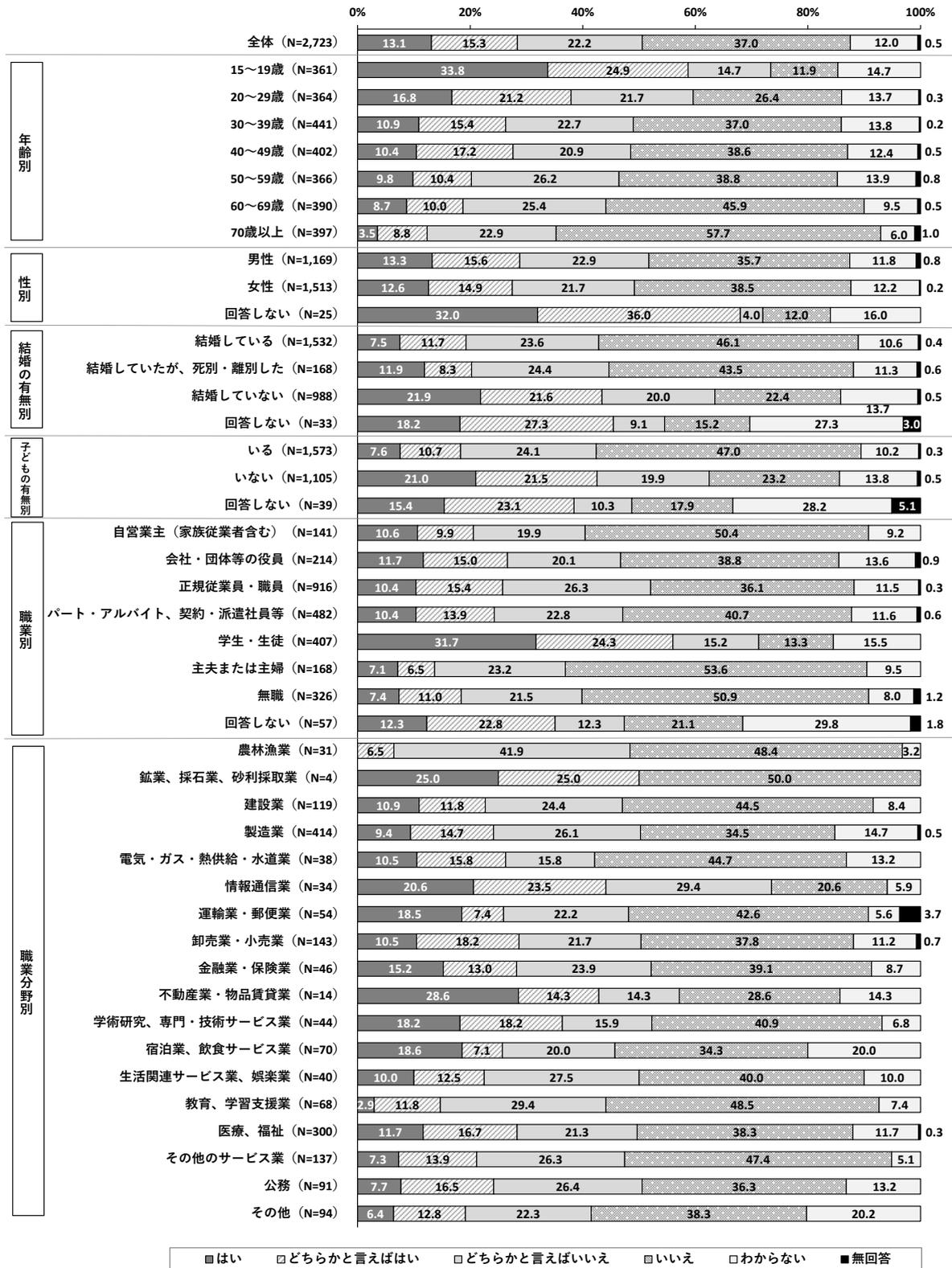
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 56.0%と、他の職業と比べて高い。一方、「主夫または主婦」では 13.6%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が 4 割を超えている。一方、「農林漁業」では『いいえ』が 90.3%と、他の職業分野と比較して高くなっている。

図表 14-28 富山県外に住みたいと感じている。



問 14-⑳ 人口減少に伴い、自身または家族の生活に影響が出るのではないかと不安に感じることがよくある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 57.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 31.8%と、『はい』の方が 25.9 ポイント高い。

(2) 年齢別

30 歳以上で『はい』が 6 割を超えている。一方、「15～19 歳」では 39.3%と、他の年代よりも低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 4.7 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 66.5%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 65.7%と、「いない」よりも 18.7 ポイント高い。

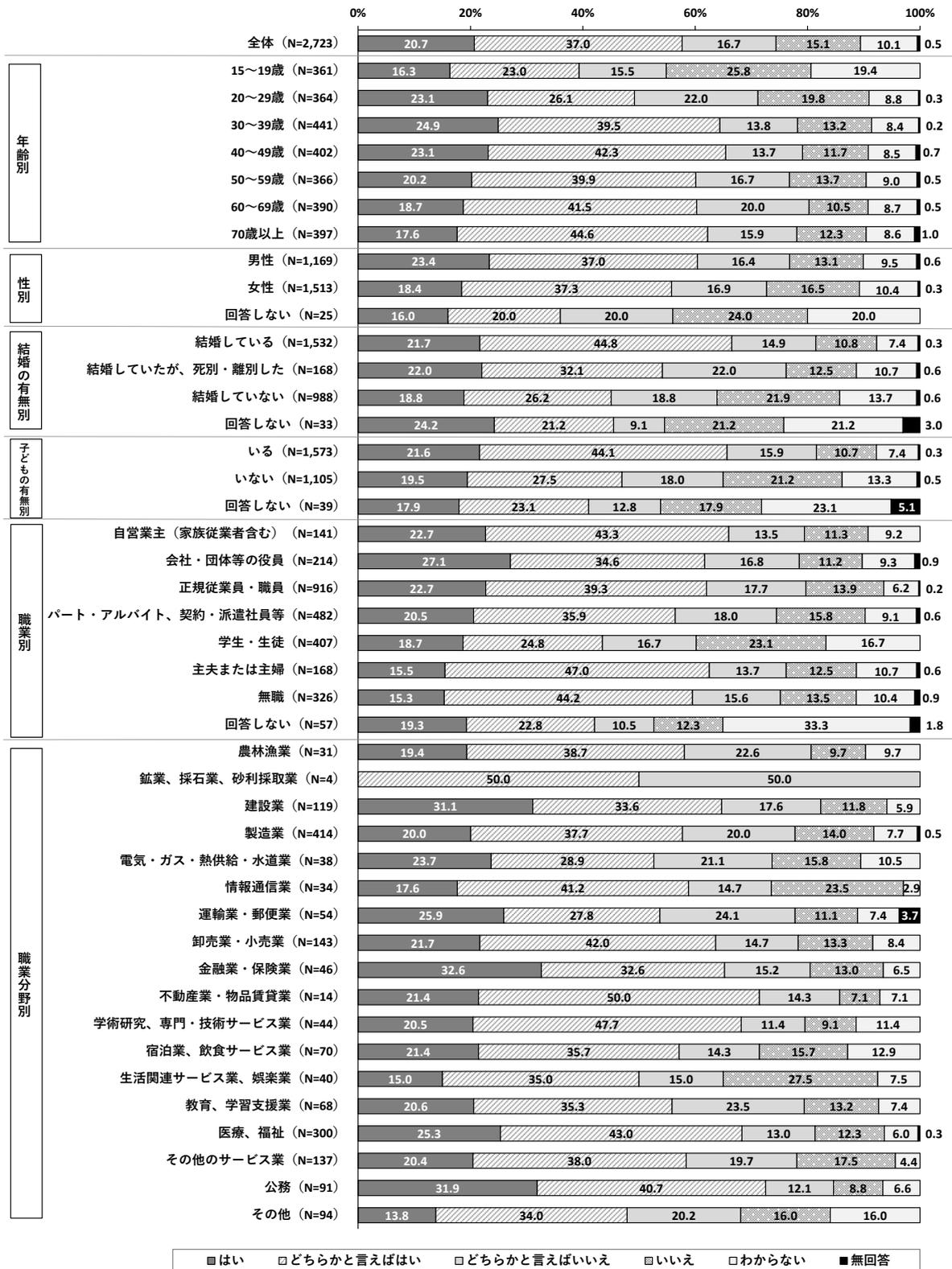
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 66.0%と、他の職業と比べて高い。一方、「学生・生徒」では 43.5%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が 4 割を超えている。特に「公務」では『はい』が 72.6%と、他の職業分野と比較して高くなっている。

図表 14-29 人口減少に伴い、自身または家族の生活に影響が出るのではないかと不安に感じることがよくある。



問 14-③ デジタル化の進展により、自分の暮らしが便利で豊かになったと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 54.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 31.2%と、『はい』の方が 23.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年代が上がるにつれて、『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が、3.1 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 65.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 64.6%と、「いる」よりも 16.6 ポイント高い。

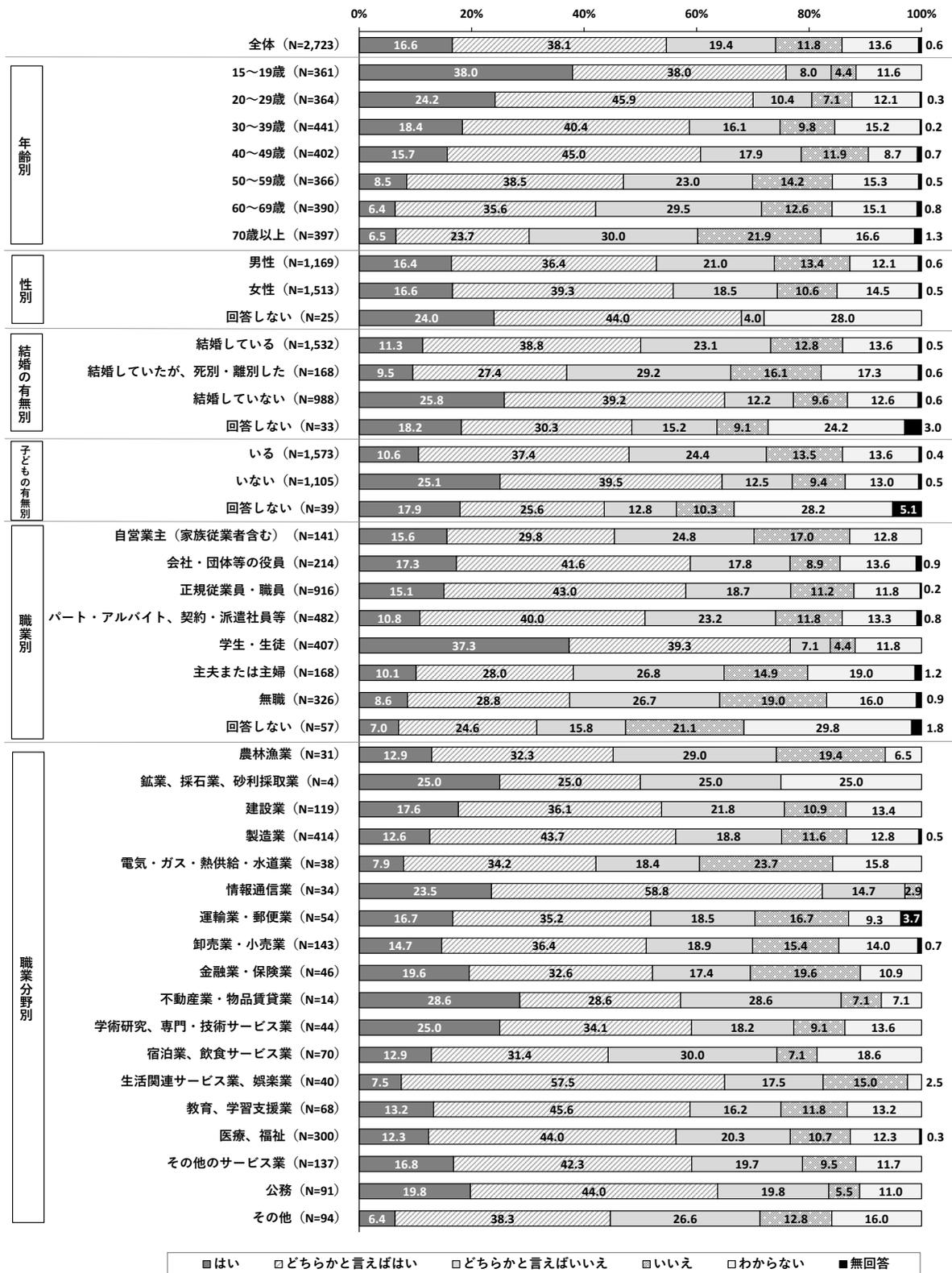
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 76.6%と、他の職業と比べて高い。一方、「無職」では 37.4%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が 82.3%と、他の職業分野と比較して高くなっている。一方、「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 42.1%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-30 デジタル化の進展により、自分の暮らしが便利で豊かになったと感じている。



問 14-③ 将来の世代のために、リサイクル、廃棄物削減、再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した行動をとっている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 63.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 27.8%と、『はい』の方が 35.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

「70 歳以上」で『はい』が 70.6%を占めている。一方、「30～39 歳」では 52.8%と、他の年代よりも低くなっている。

(3) 性別

『はい』は、「男性」よりも「女性」の方が 4.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 66.6%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 65.8%と、「いない」よりも 6.0 ポイント高い。

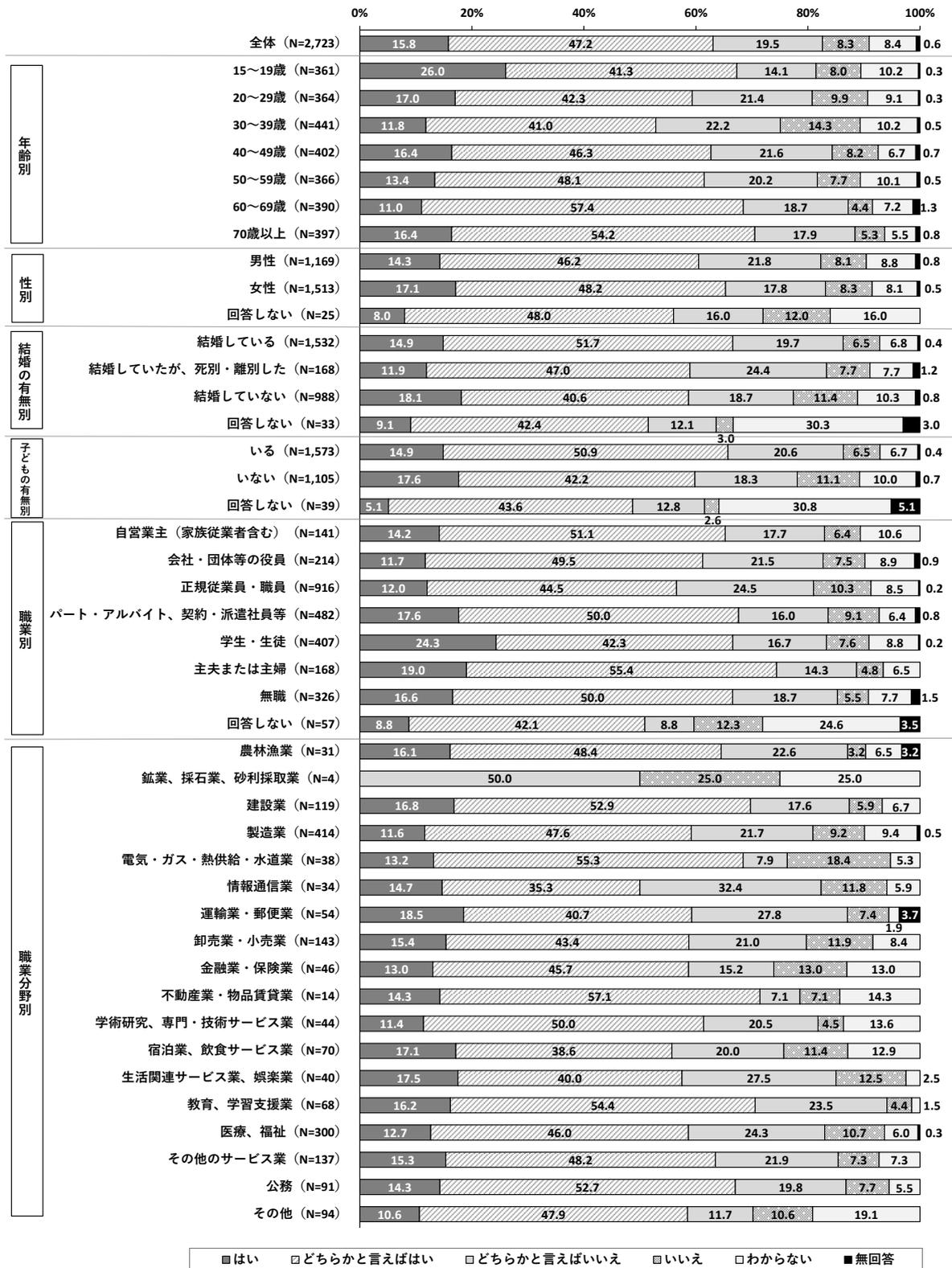
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『はい』が 74.4%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では 56.5%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」を除くすべての職業分野で『はい』が 5 割を超えている。一方、「情報通信業」では『はい』が 50.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-31 将来の世代のために、リサイクル、廃棄物削減、再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した行動をとっている。



問 14-③ 他の人や社会のためになる支出（環境保全や社会貢献につながる消費や投資、寄附・募金等）を意識的に行っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 26.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 64.7%と、『いいえ』の方が 38.3 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「70 歳以上」では『はい』が 3 割台と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 1.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 22.7%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 27.8%と、「いる」よりも 2.1 ポイント高い。

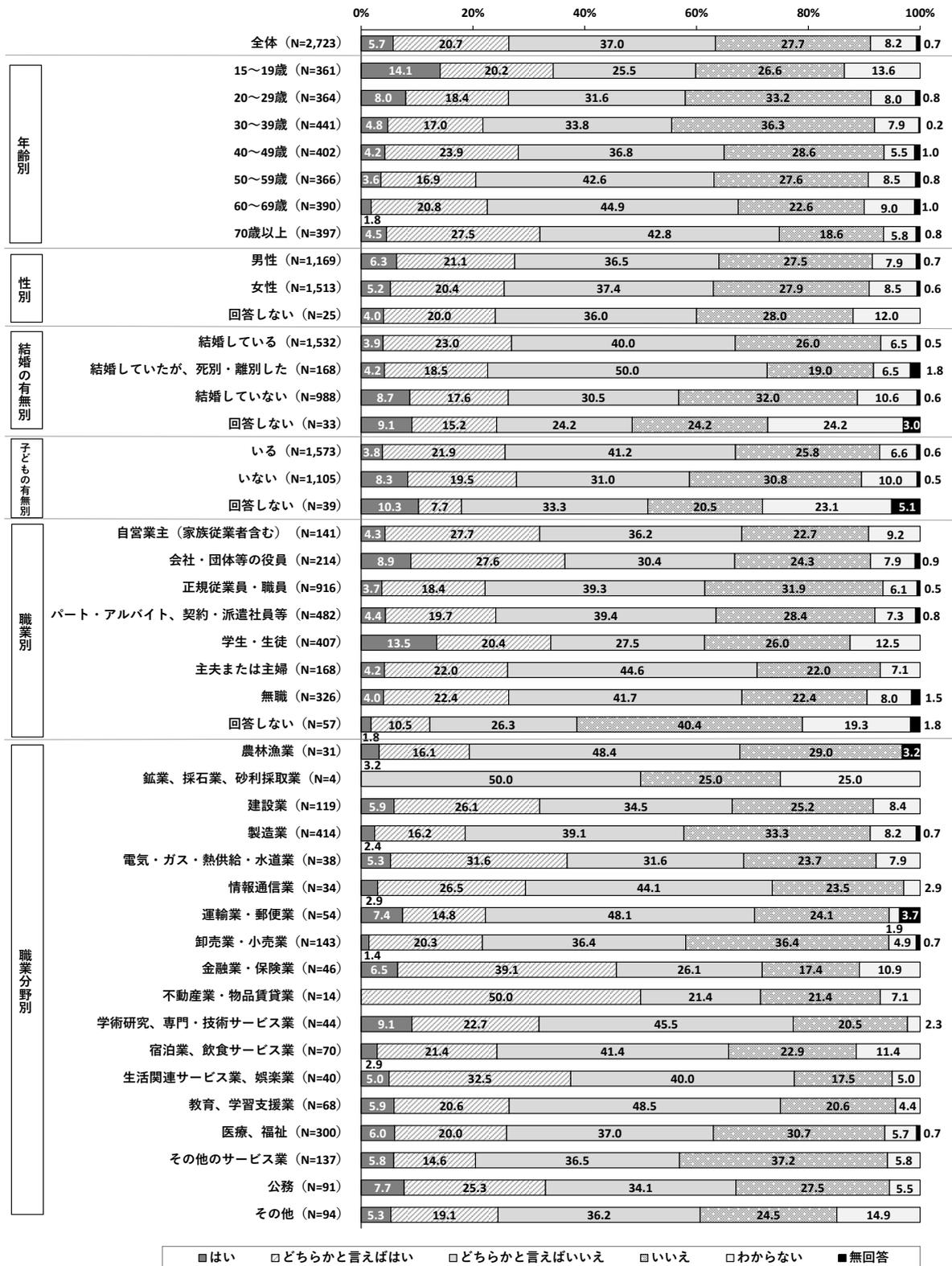
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」では『はい』が 36.5%と、他の職業と比べて高く、一方、「正規従業員・職員」では 22.1%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「金融・保険業」では『はい』が 45.6%と、他の職業分野と比較して高くなっている。一方、「農林漁業」「製造業」では『はい』が 1 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-32 他の人や社会のためになる支出（環境保全や社会貢献につながる消費や投資、寄付・募金等）を意識的に行っている。



問 14-③ 県内企業の活動や県内経済の発展に期待感を持っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 40.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 38.5%と、『はい』の方が 2.4 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「60～69 歳」「70 歳以上」で『はい』が 4 割を超えており、「70 歳以上」では 54.1%と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 4.5 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 46.4%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 43.7%と、「いない」よりも 6.1 ポイント高い。

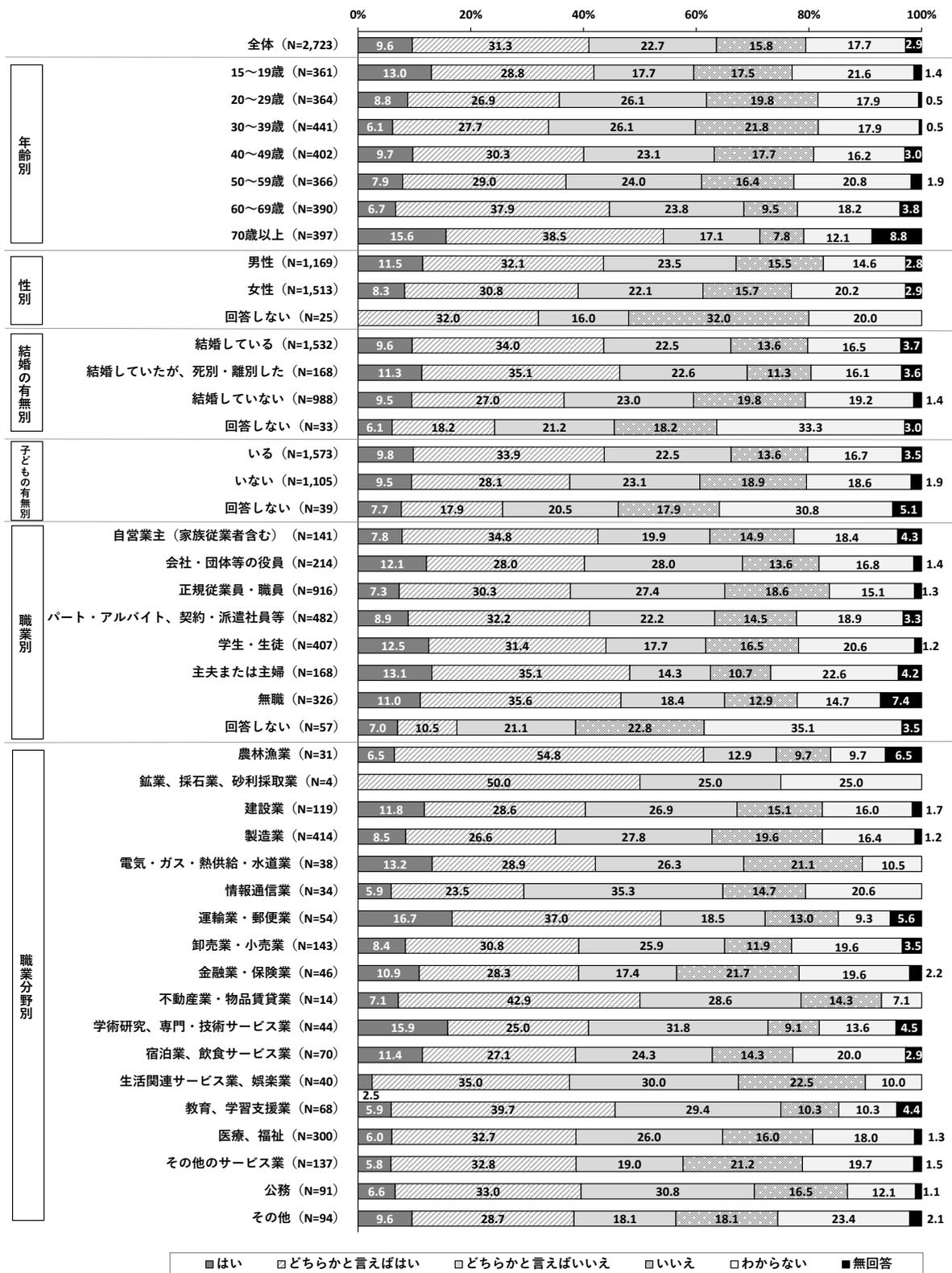
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『はい』が 48.2%と、他の職業と比べて高く、一方、「正規従業員・職員」では 37.6%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 6 割を超えている。一方、「情報通信業」では『はい』が 2 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-33 県内企業の活動や県内経済の発展に期待感を持っている。



問 14-⑳ **※現在、仕事をされている方にお聞きします。**

仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 53.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 38.6%と、『はい』の方が 15.0 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 4 割を超えており、「60～69 歳」では 63.9%と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 1.7 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 55.6%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 55.6%と、「いない」よりも 4.9 ポイント高い。

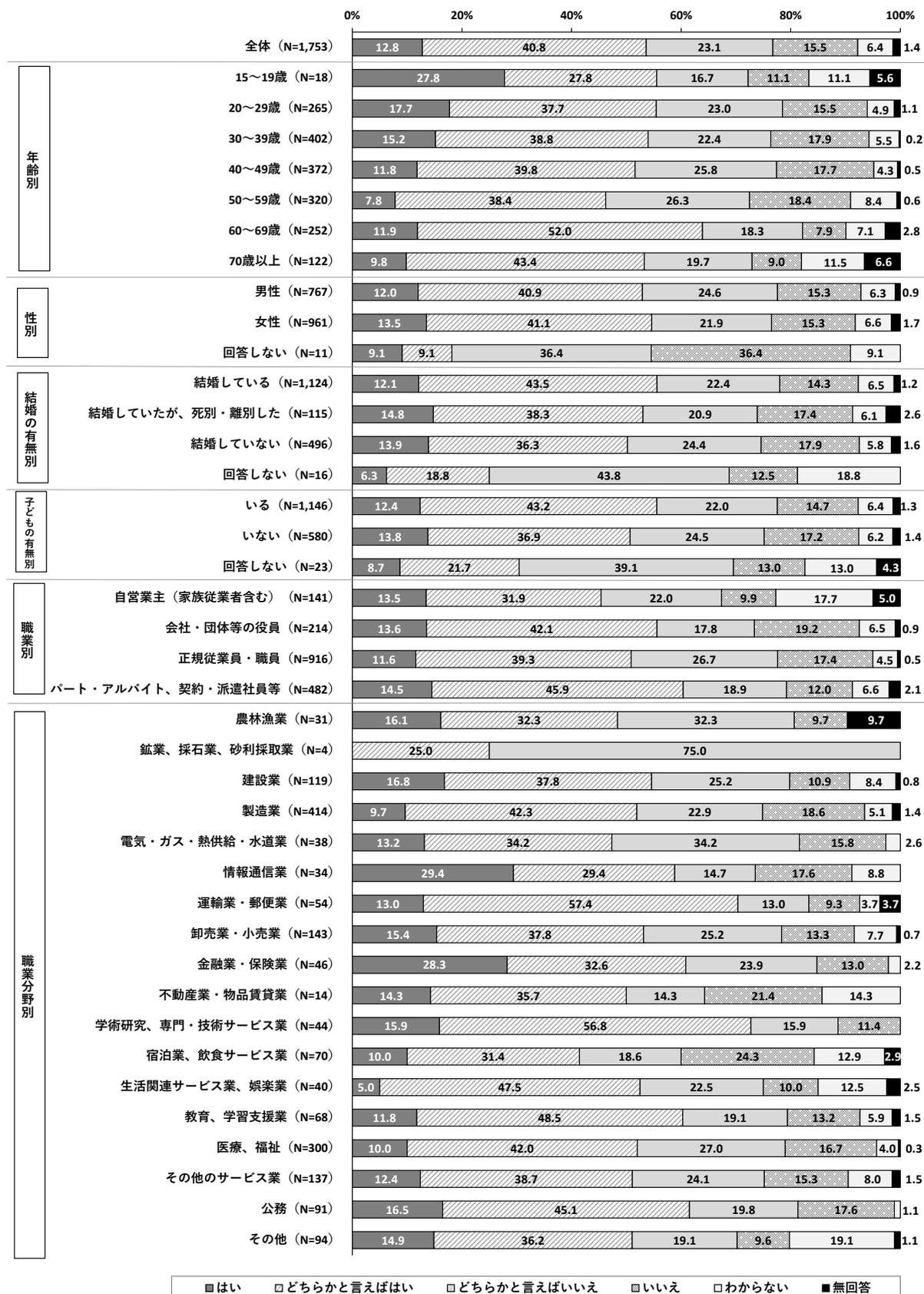
(5) - 1 職業別

「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では『はい』が 60.4%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 7 割台となっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 41.4%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-34 仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じている。



問 14-⑳ **※現在、仕事をされている方にお聞きします。**

あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が43.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は40.8%と、『はい』の方が2.8ポイント高い。

(2) 年齢別

「40～49歳」と「50～59歳」を除くすべての年代で、『はい』が4割を超えている。特に、60歳代以上で5割台と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が6.3ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が45.7%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が46.1%と、「いない」よりも6.7ポイント高い。

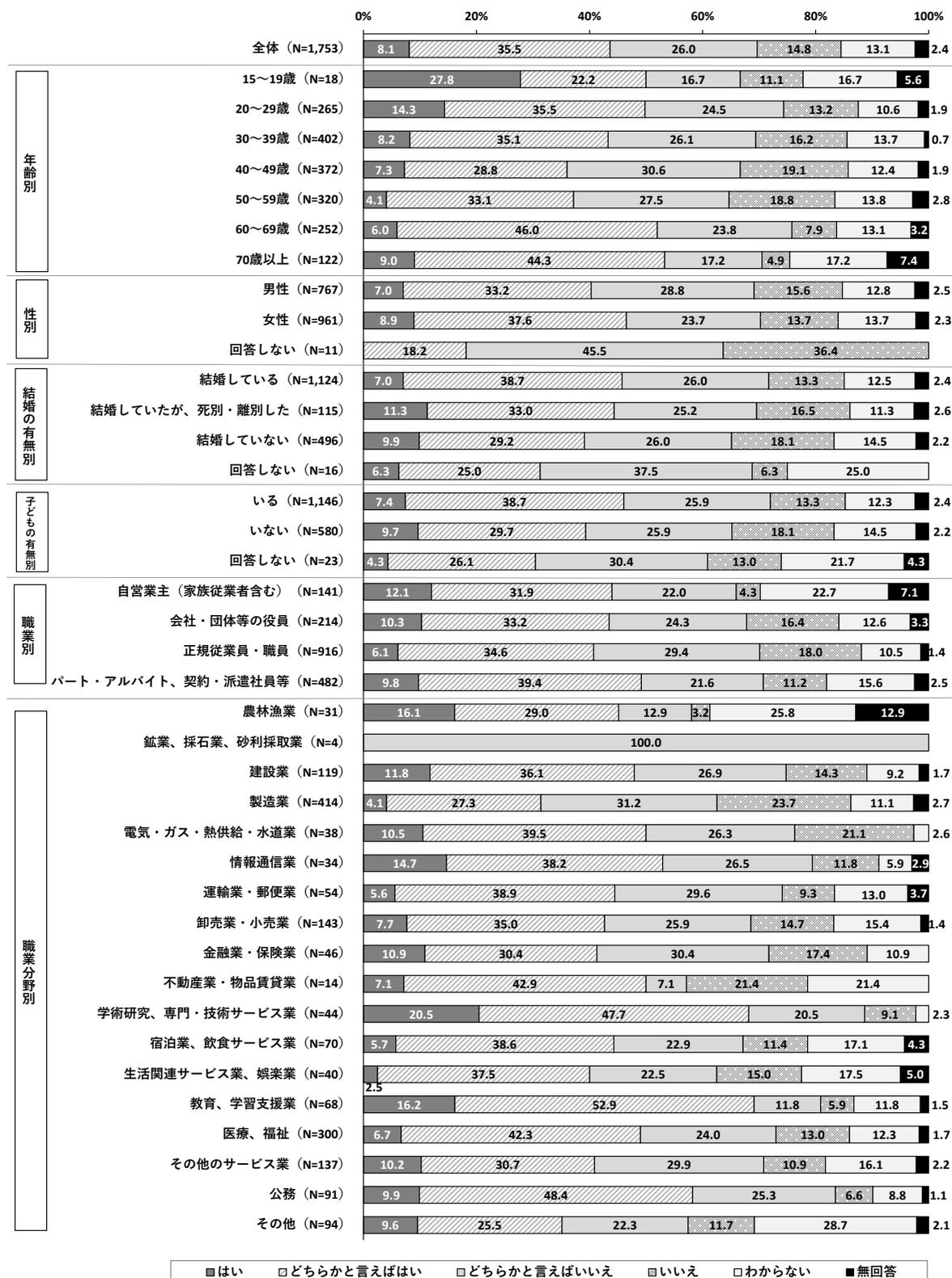
(5) - 1 職業別

「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では『はい』が49.2%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では40.7%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が5割を超えている。一方、「製造業」「その他」では『はい』が3割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-35 あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じている。



問 15 次のことについて、家族や親しい友人等にどの程度、おすすめしたいと思いますか。

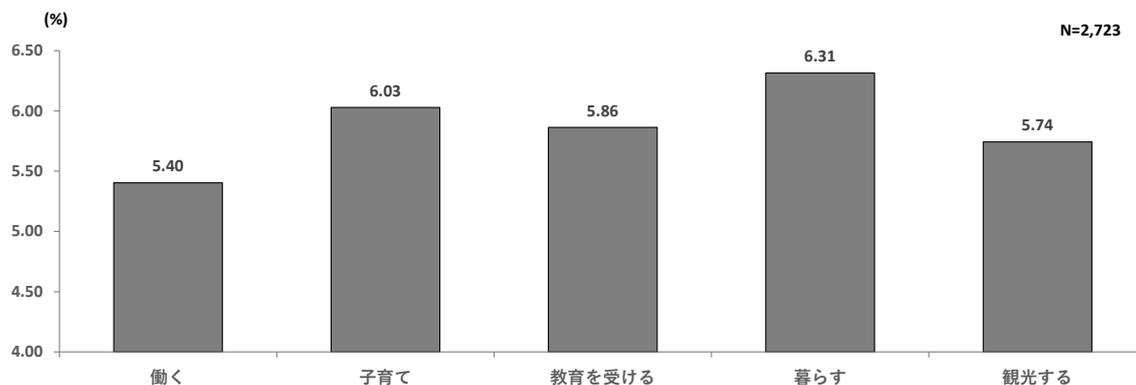
- ① 富山県で働くこと
- ② 富山県で子育てすること
- ③ 富山県で教育を受けること
- ④ 富山県で暮らすこと
- ⑤ 富山県で観光すること

(1) 全体

【平均】

「暮らす」が6.31と最も高く、次いで「子育て」(6.03)、「教育を受ける」(5.86)、「観光する」(5.74)、「働く」(5.40)の順となっている。

図表 15-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(全体)

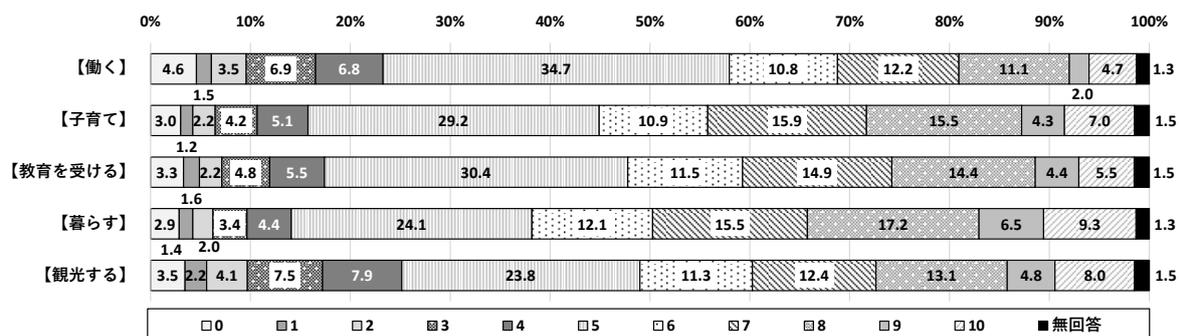


【割合】

「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも中央値の「5」が最も高い。

「6以上」の割合は、「暮らす」が61.9%で他よりも高い。一方、「観光する」が51.1%と他よりも低い。

図表 15-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(全体)

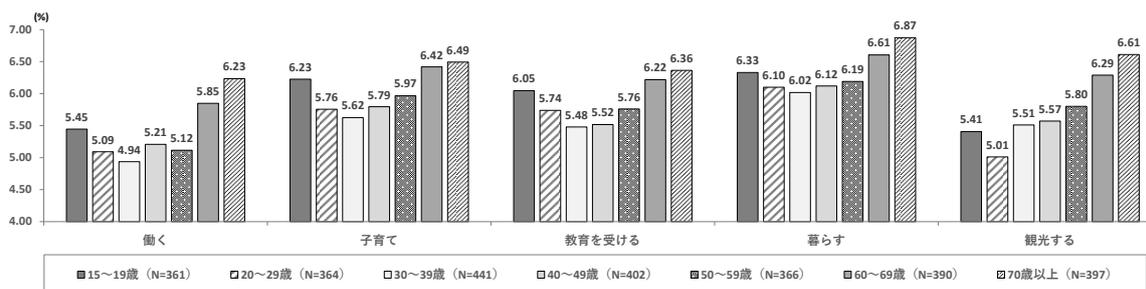


(2) 年齢別

【平均】

すべての設問項目で「70歳以上」が最も高く、次いで「60～69歳」となっている。「暮らす」では、すべての年代で平均が6を超えており、「70歳以上」が6.87と高い値を示している。一方、「働く」では「30～39歳」が4.94と他の年代よりも低い値となっている。

図表 15-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（年齢別）



【割合】

すべての年代で「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

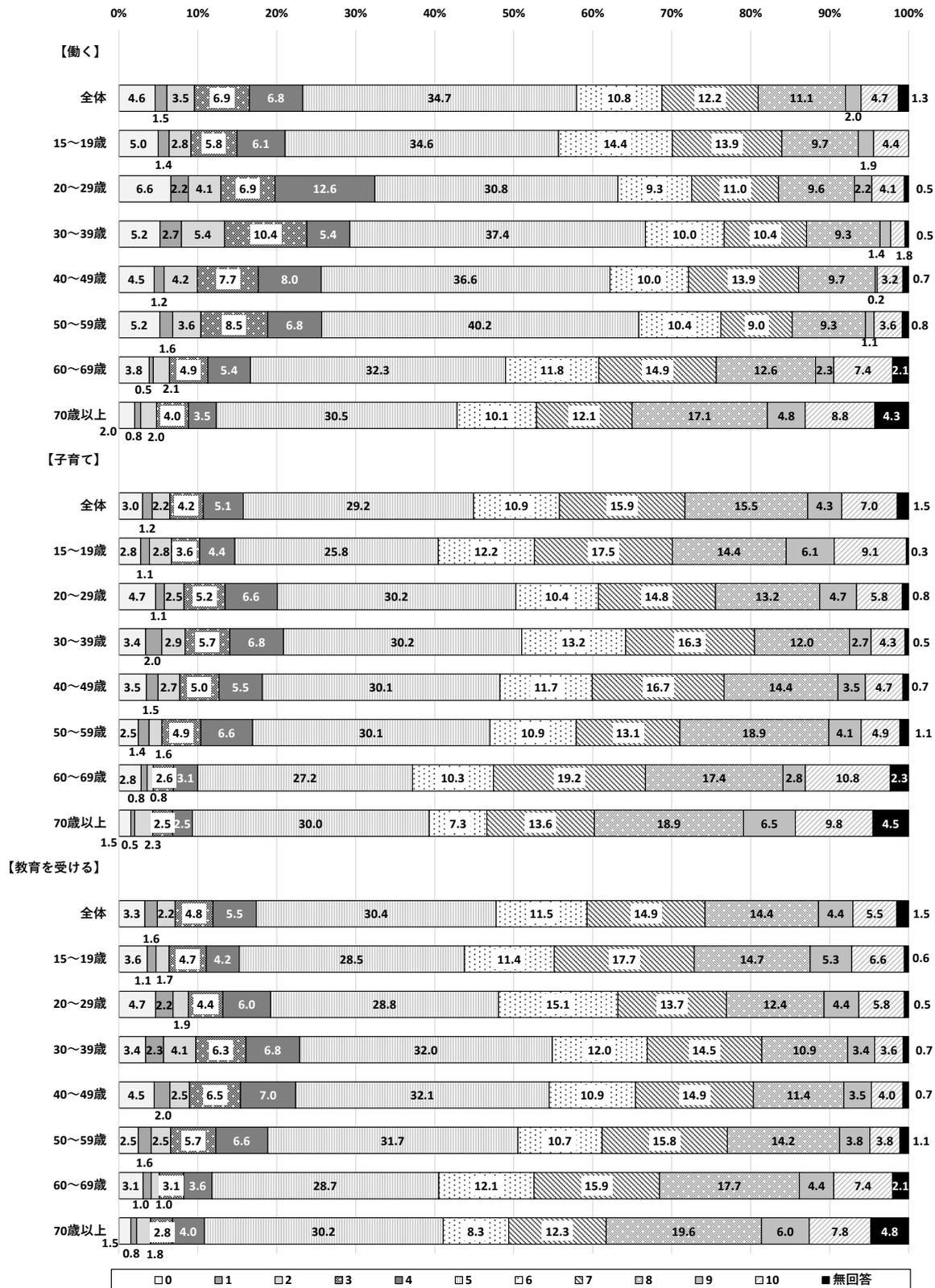
「働く」において、「70歳以上」では「6以上」が52.9%と、他の年代よりも若干高い。

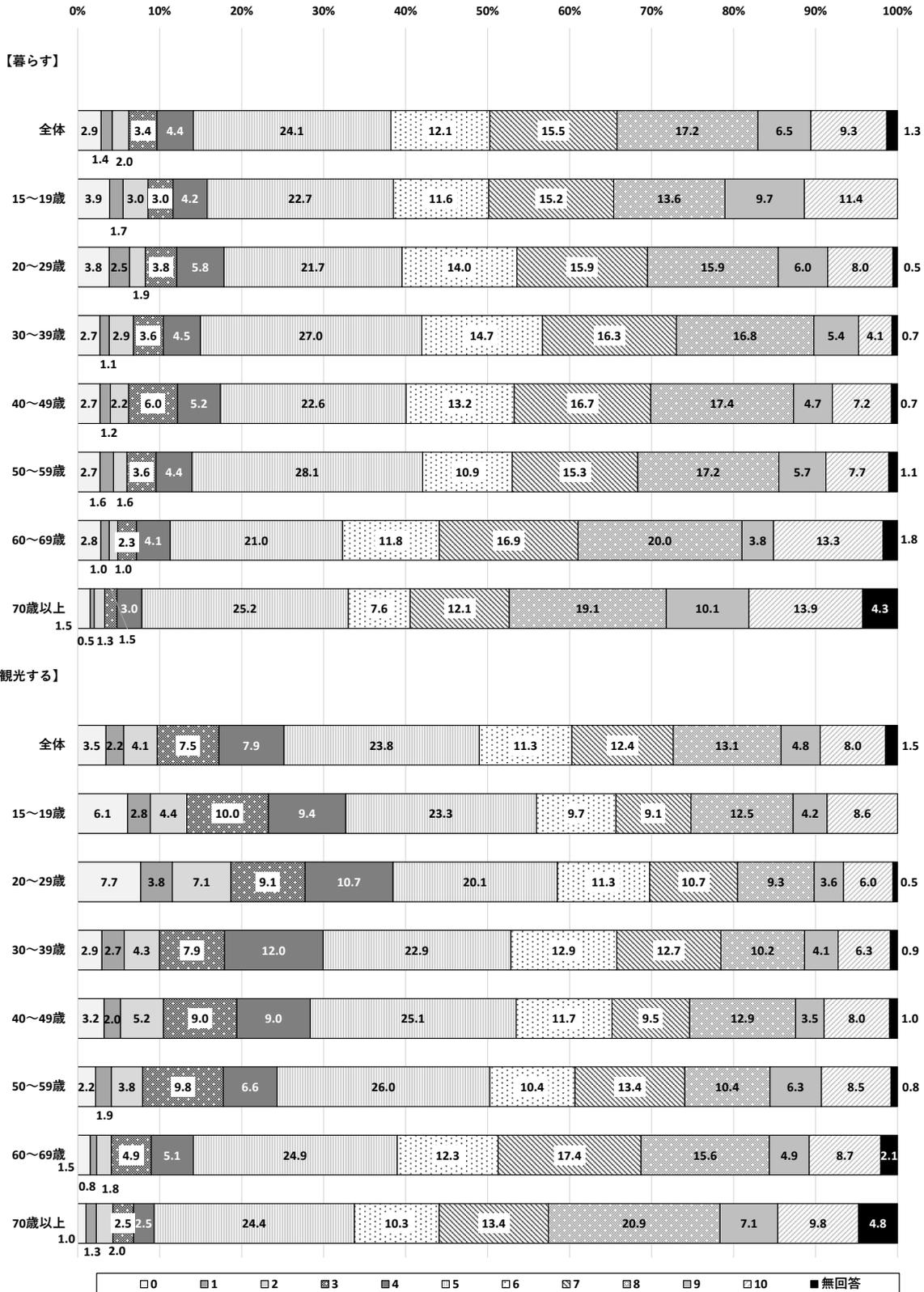
「子育て」において、「15～19歳」では「6以上」が他の年代よりも高い。

「教育を受ける」「暮らす」において、「60～69歳」では「6以上」が他の年代よりも高い。

「観光する」において、「70歳以上」では「6以上」が他の年代よりも高い。

図表 15-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（年齢別）



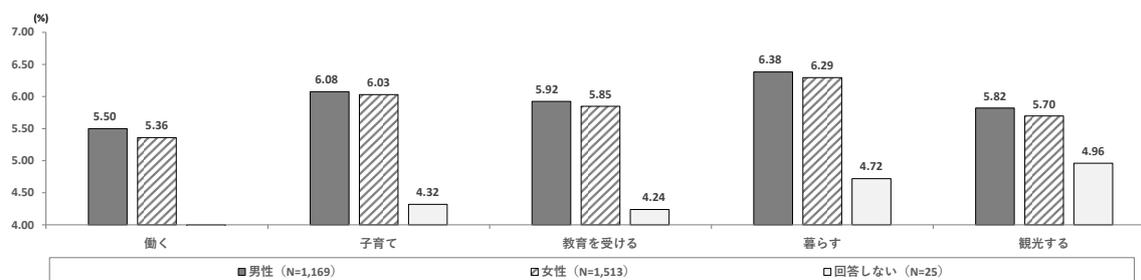


(3) 性別

【平均】

すべての設問項目で、「女性」よりも「男性」の方が高い。「子育て」と「暮らす」では、男女ともに平均が6を超えている。

図表 15-3-1 家族や親しい友人等へのおすすめ度【平均】(性別)

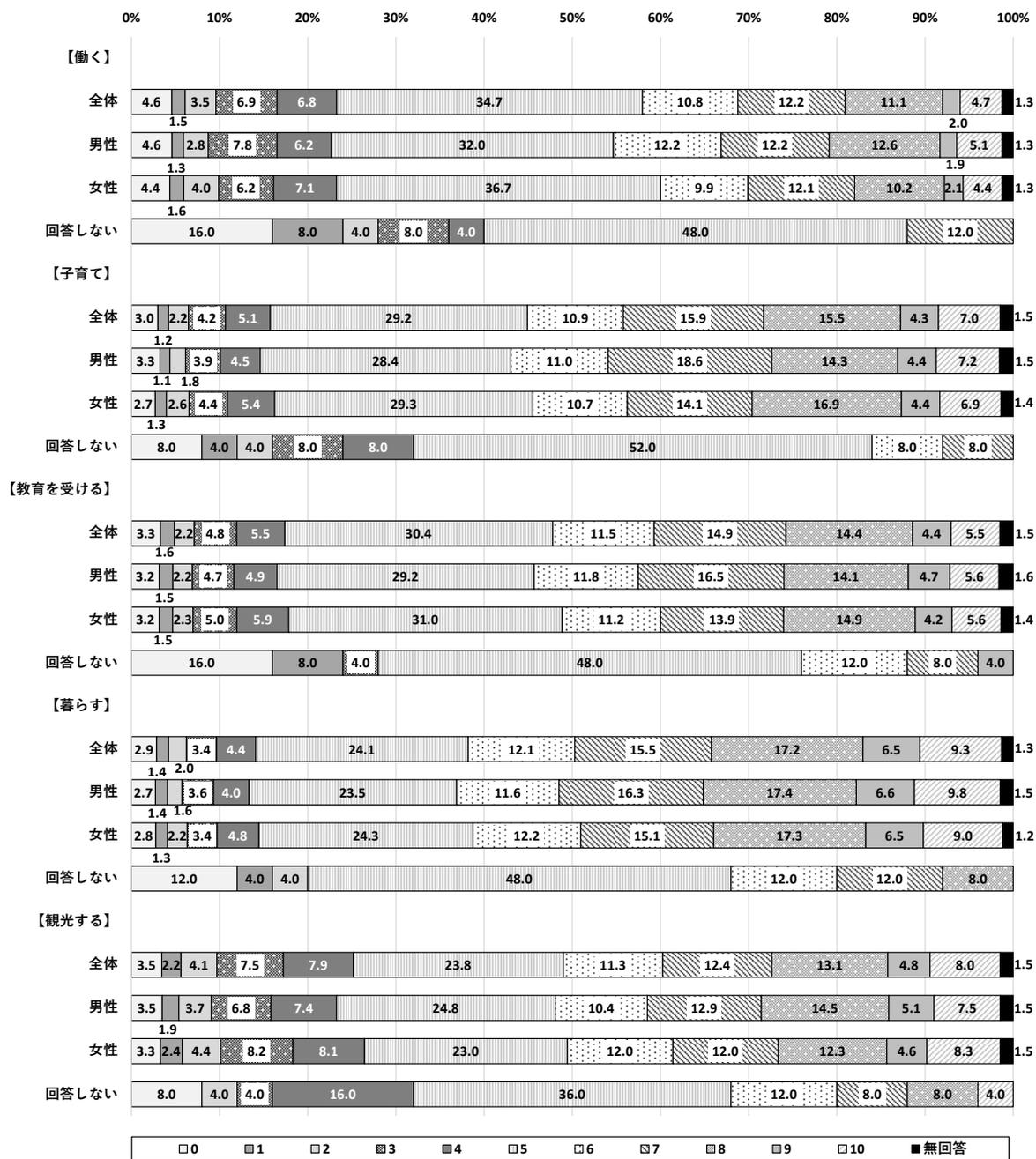


【割合】

男女ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、「女性」よりも「男性」の方が高くなっている。

図表 15-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（性別）

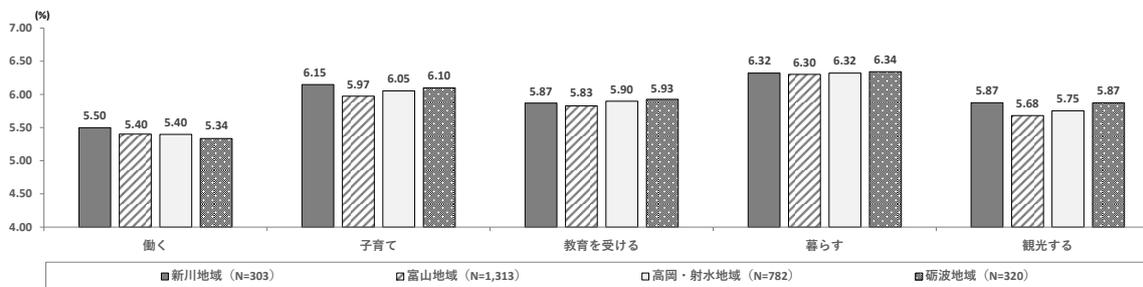


(4) - 1 地域別

【平均】

「暮らす」では、すべての地域で平均が6を超えている。

図表 15-4-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(地域別)

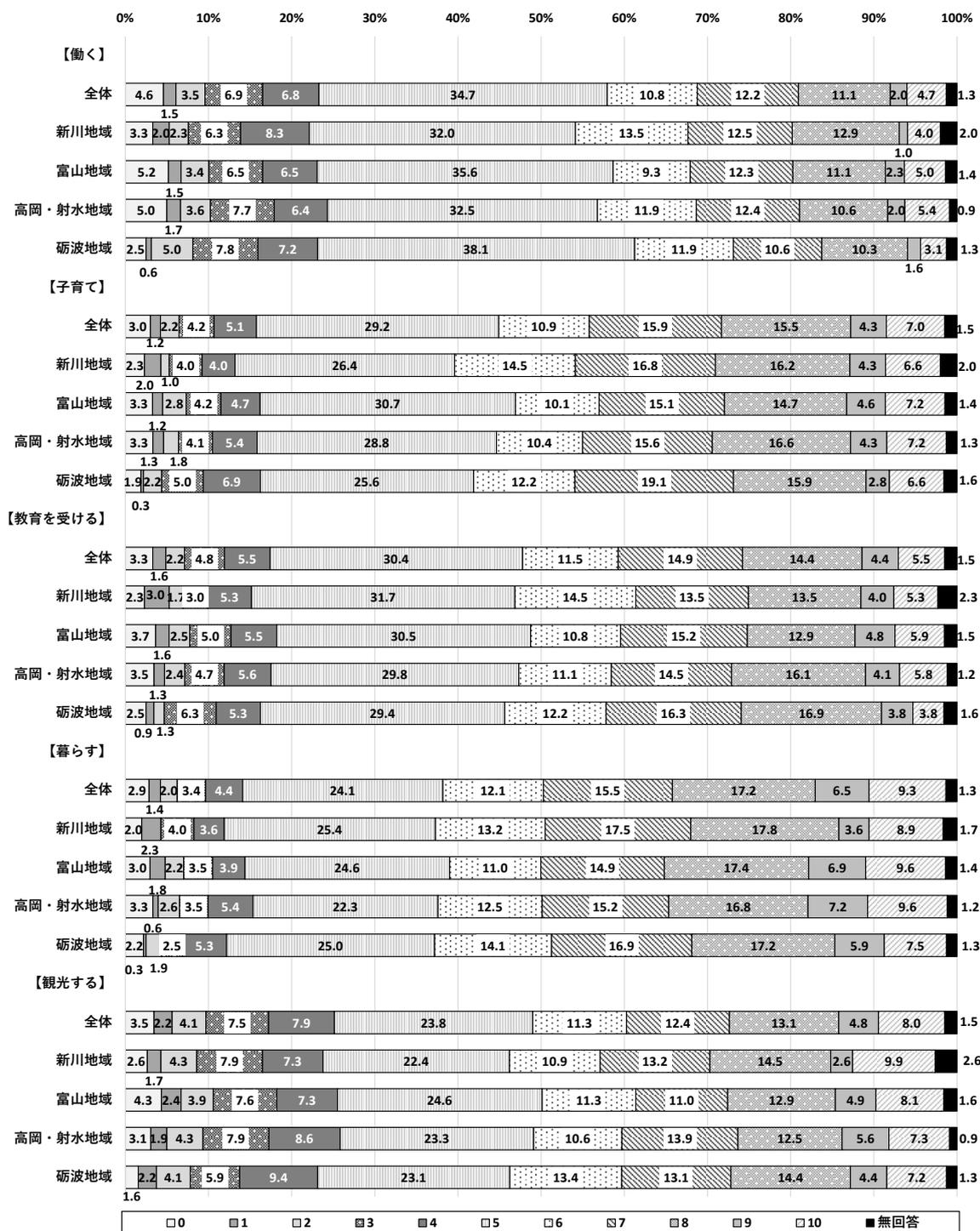


【割合】

すべての地域で、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」において、「新川地域」が他の地域よりも若干高く、「教育を受ける」「暮らす」「観光する」において、「砺波地域」が他の地域よりも若干高い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(地域別)

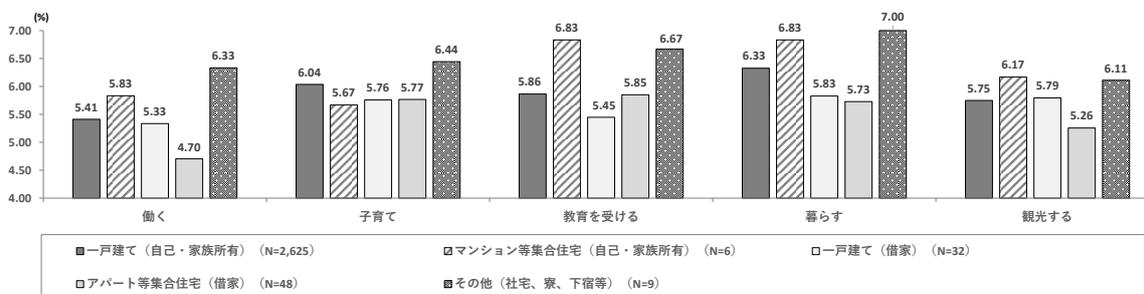


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「子育て」「暮らす」において平均が6を超えている。

図表 15-4-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（住居状況別）

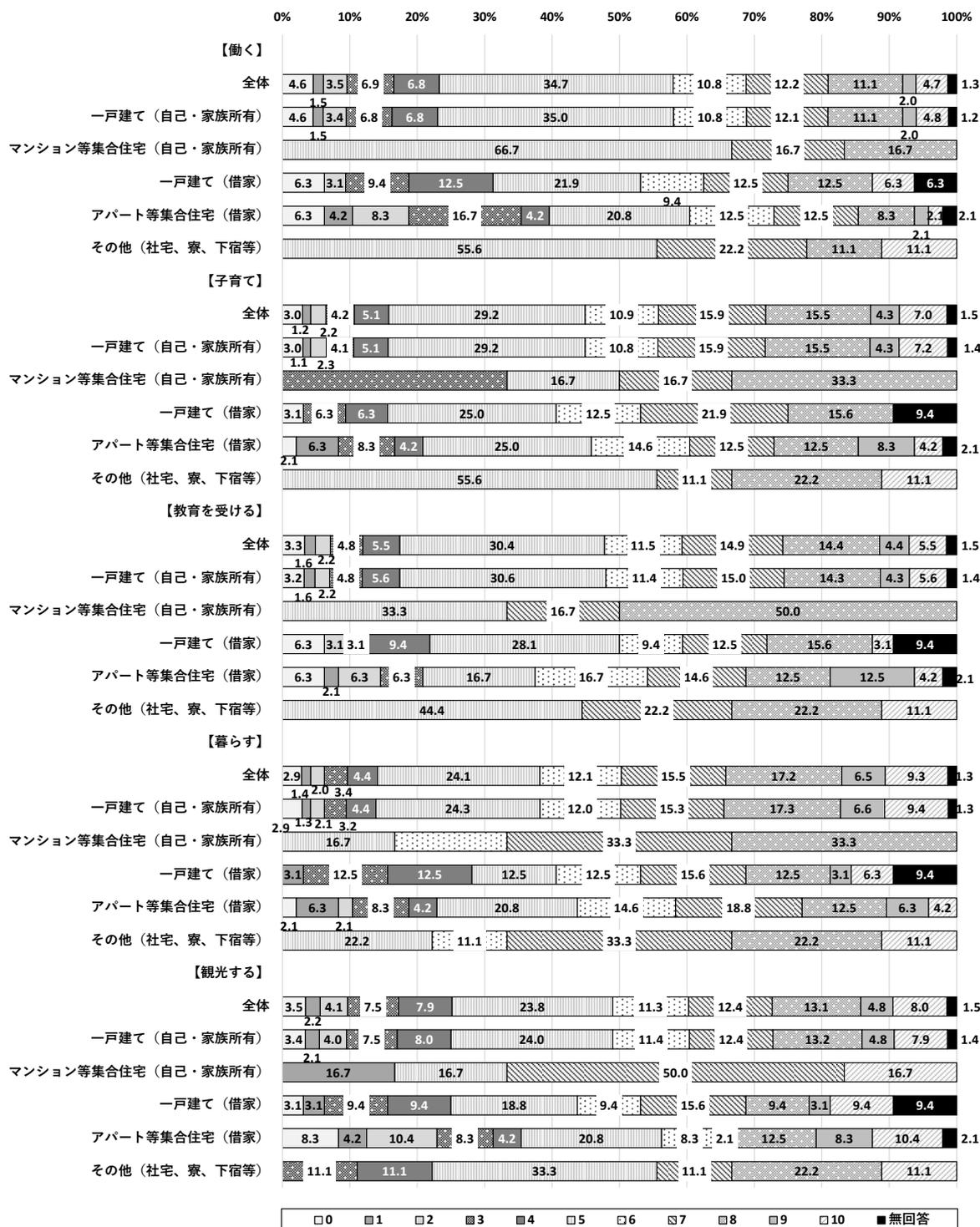


【割合】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「暮らす」が60.6%と最も高くなっている。一方、「働く」が40.8%と他と比べて低くなっている。

図表 15-4-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（住居状況別）

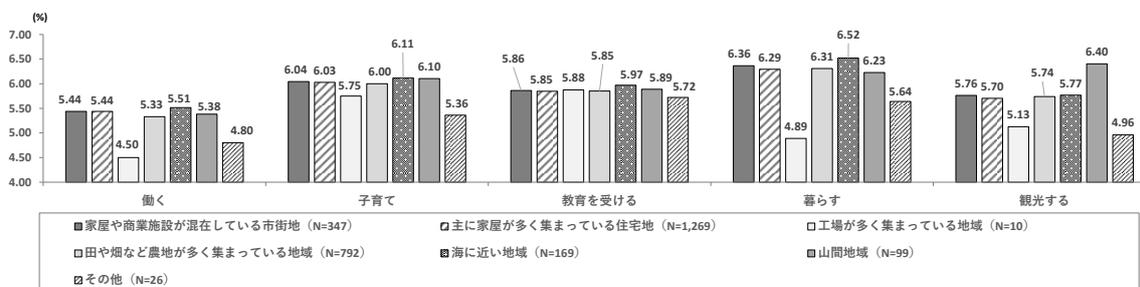


(4) - 3 現在の居住地環境別

【平均】

「子育て」「暮らす」において、すべての居住地環境で平均が6を超えている。

図表 15-4-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(居住地環境別)

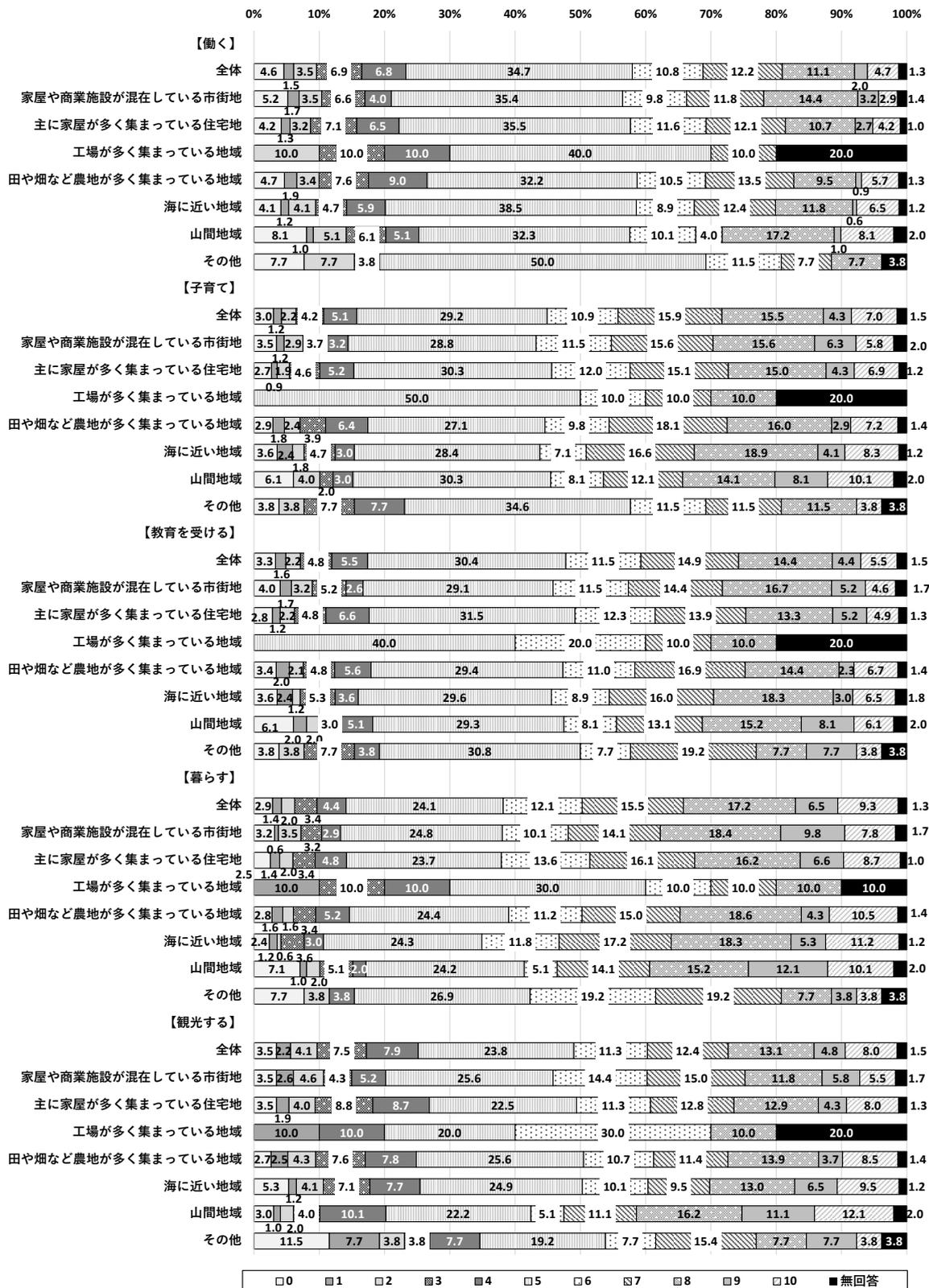


【割合】

どの居住地環境でも、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」において、「家屋や商業施設が混在している市街地」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干高い。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において、「海に近い地域」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干高い。「観光する」において、「山間地域」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干高い。

図表 15-4-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（居住地域環境別）

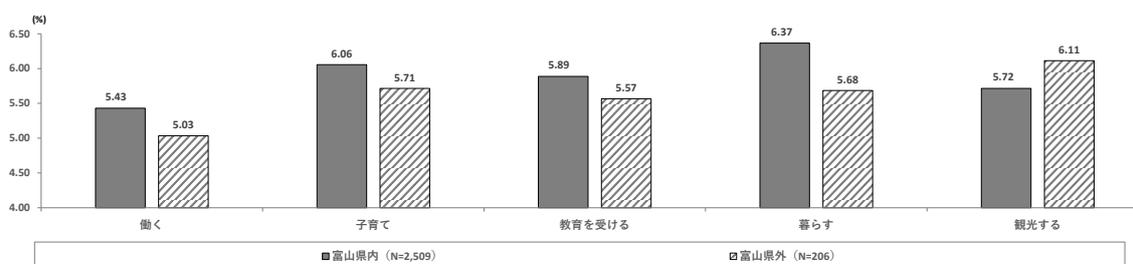


(4) - 4 出身地別

【平均】

「観光する」を除くすべての設問項目において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高くなっている。「富山県内」では「子育て」「暮らす」において6を超えている。

図表 15-4-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(出身地別)

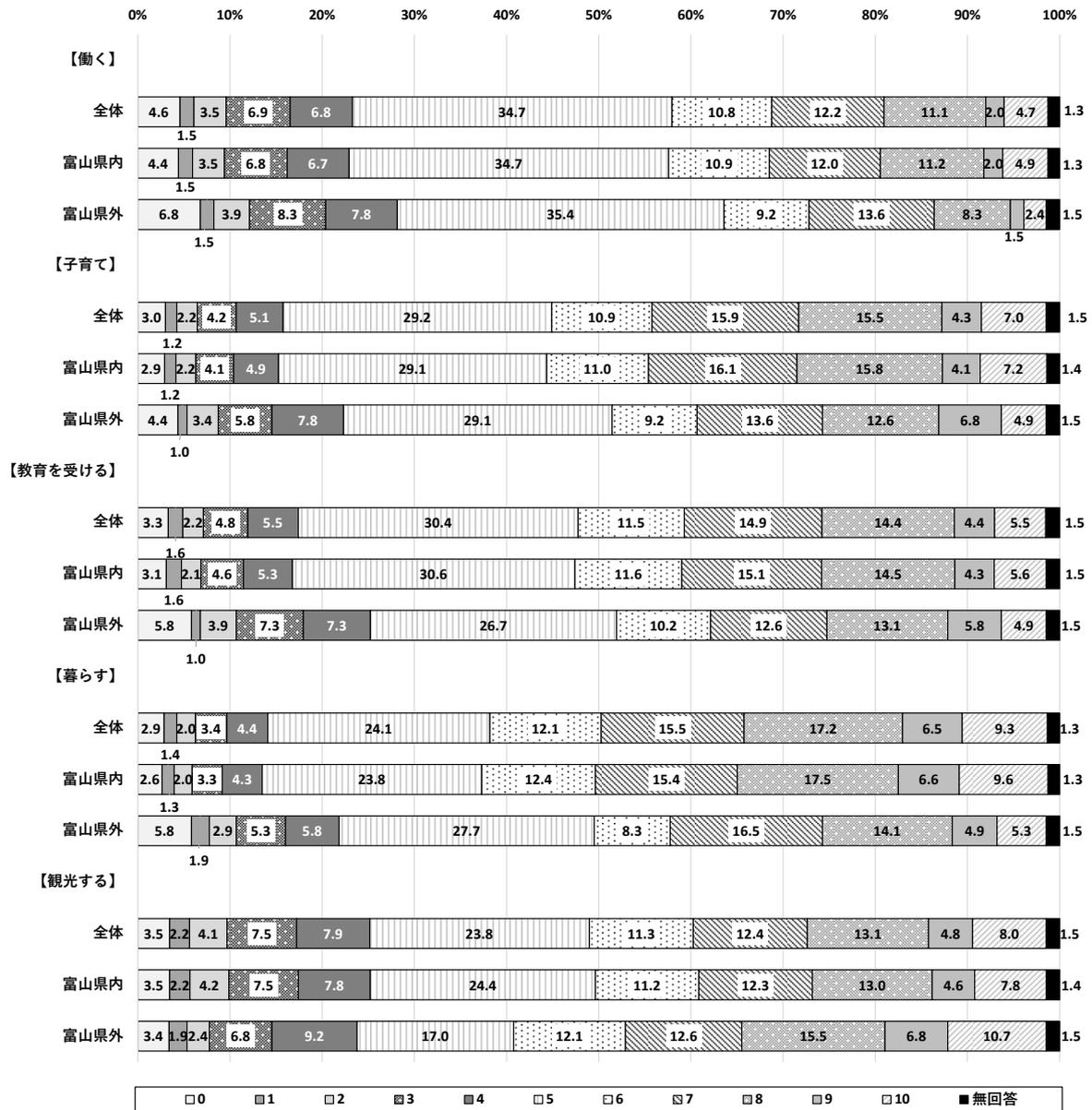


【割合】

「富山県内」「富山県外」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「観光する」を除くすべての設問において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高い。

図表 15-4-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（出身地別）

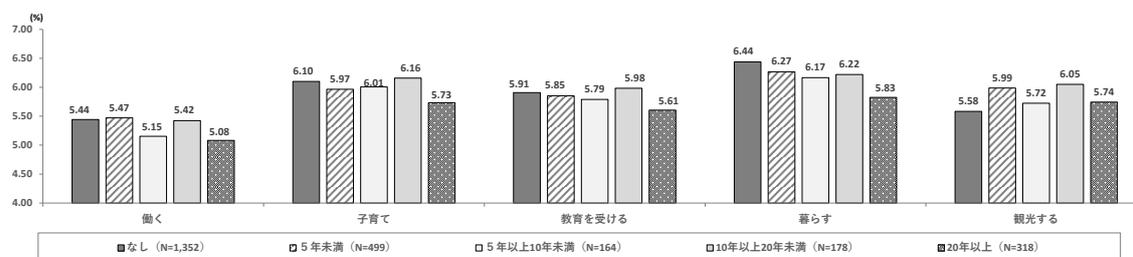


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「暮らす」では、「20年以上」を除くすべての居住年数で6を超えている。「子育て」「教育を受ける」「観光する」では「10年以上20年未満」が最も高い。

図表 15-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（県外居住年数別）

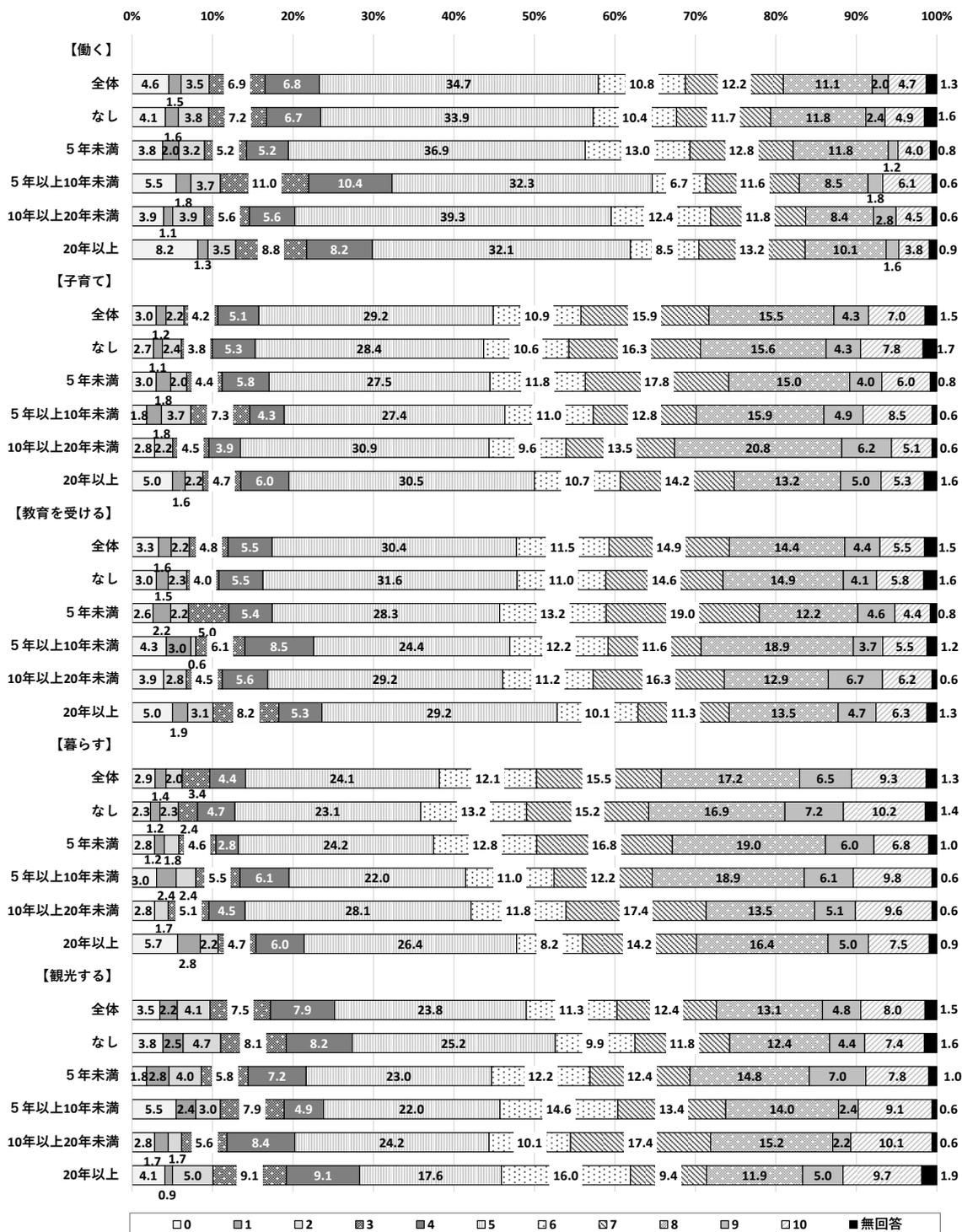


【割合】

どの居住年数でも、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」において、「5年以上10年未満」で他の居住年数と比較して若干低い。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において、「20年以上」で他の居住年数よりも低い。「観光する」において、県外での居住が「なし」で他と比較して低い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（県外居住年数別）

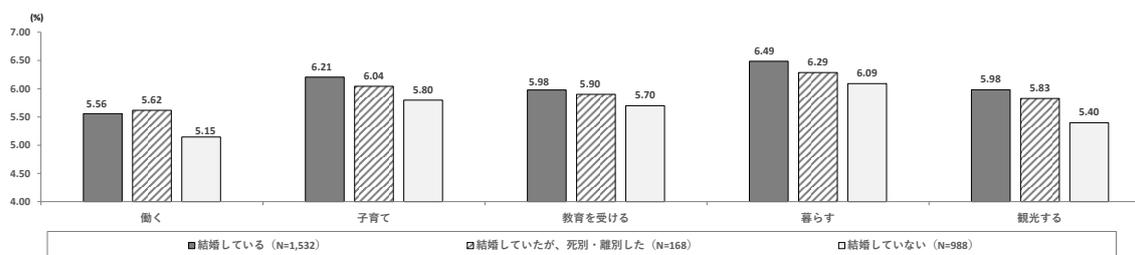


(5) - 1 結婚の有無別

【平均】

「働く」を除くすべての設問項目において、「結婚している」が最も高くなっている。また、「暮らす」ではすべて6を超えている。

図表 15-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（結婚の有無別）

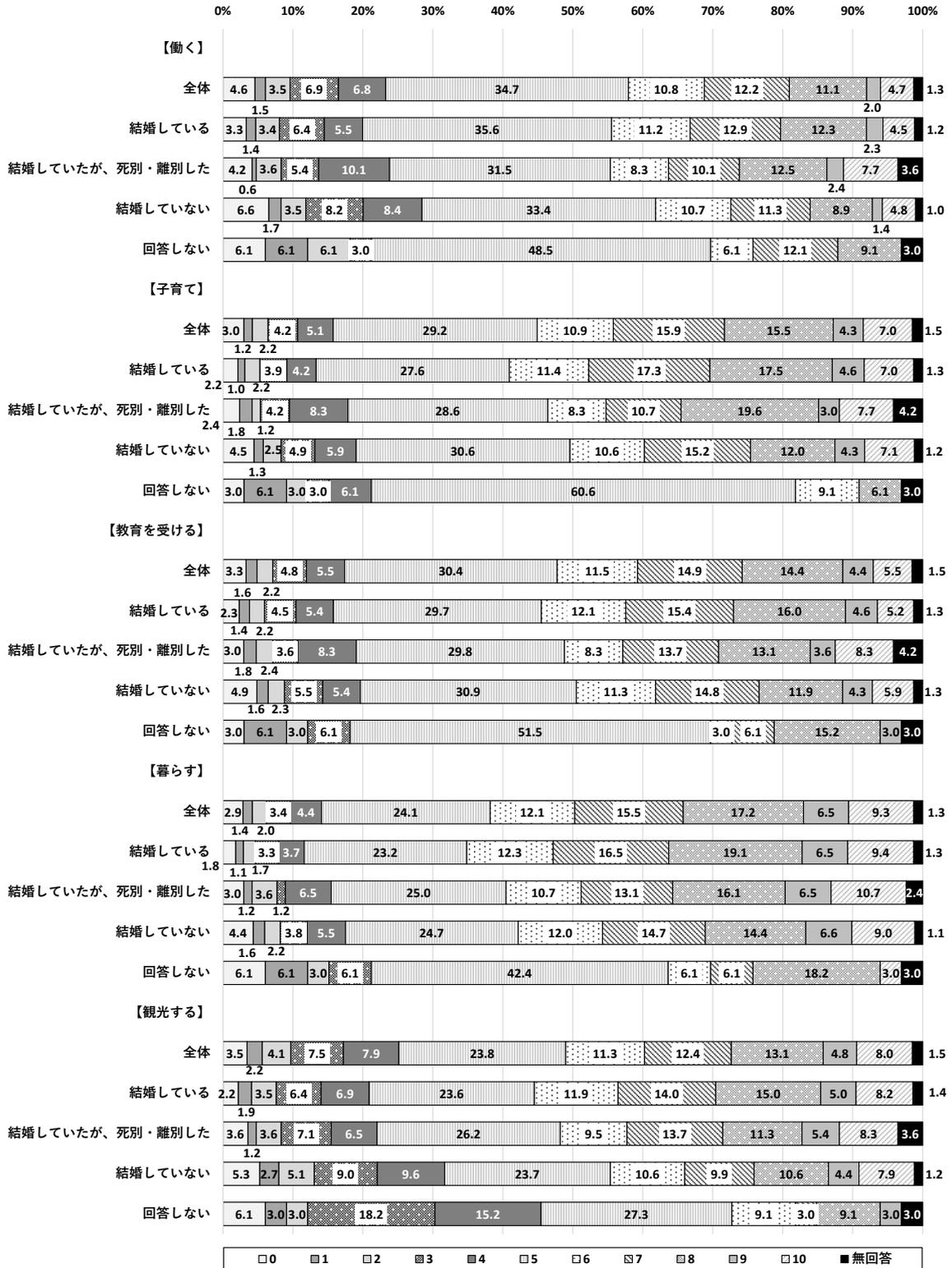


【割合】

結婚の有無に関わらず、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問項目において、「結婚している」が他よりも若干高い。「働く」においては、「結婚していない」が他よりも低い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（結婚の有無別）

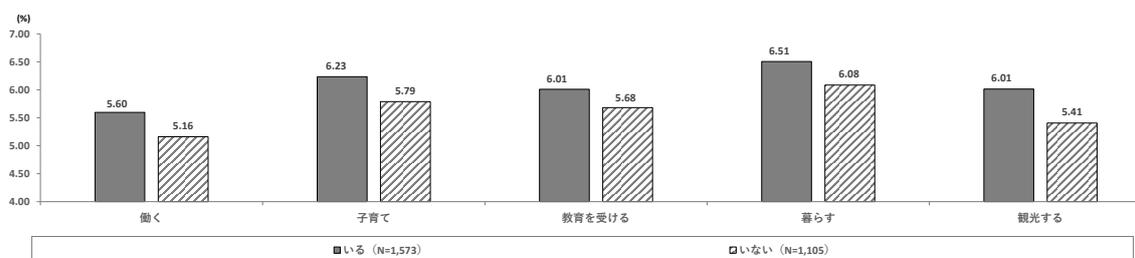


(5) - 2 子どもの有無別

【平均】

すべての設問項目において、子どもが「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。子どもが「いる」では「働く」を除くすべての設問項目において6を超えている。

図表 15-5-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(子どもの有無別)

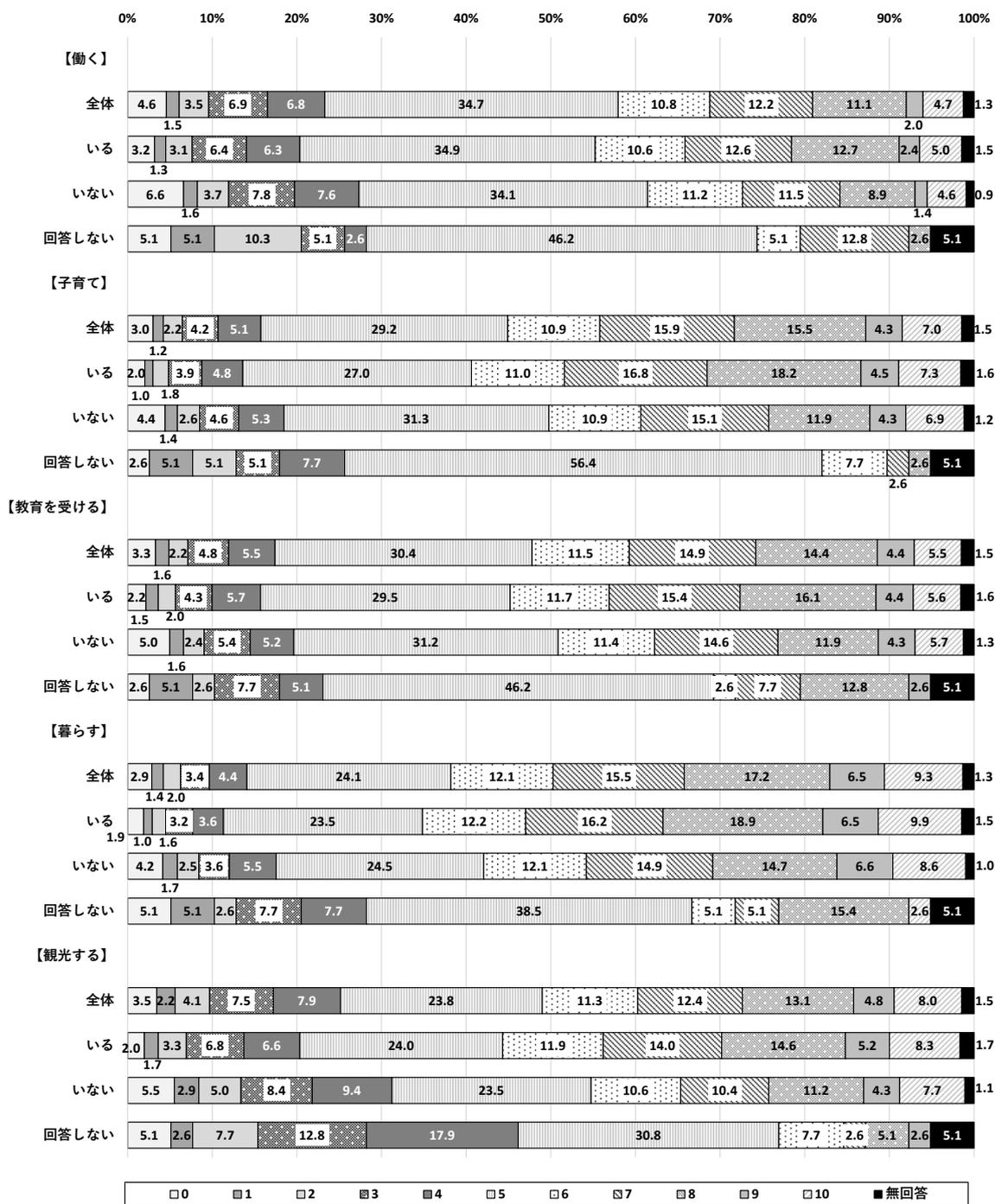


【割合】

子どもの有無に関わらず、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、子どもが「いる」の方が、「いない」よりも高くなっている。「子育て」においては、「いる」の方が8.7ポイント高い。

図表 15-5-2-2 家族や親しい友人等への推薦度（子どもの有無別）

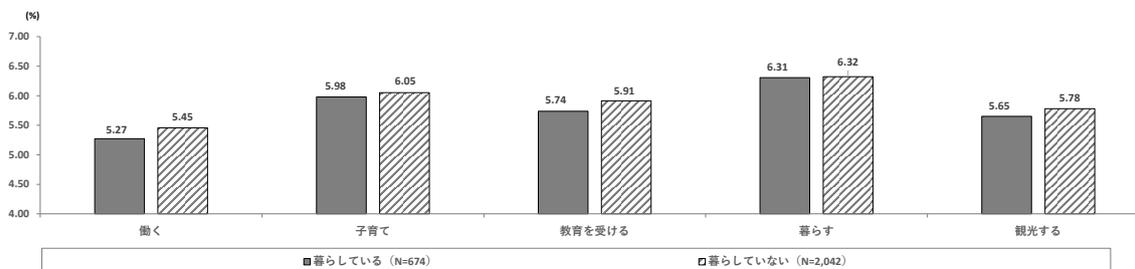


(5) - 3 ペットの有無別

【平均】

すべての設問項目において、ペットと「暮らしていない」の方が若干高い。

図表 15-5-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(ペットの有無別)

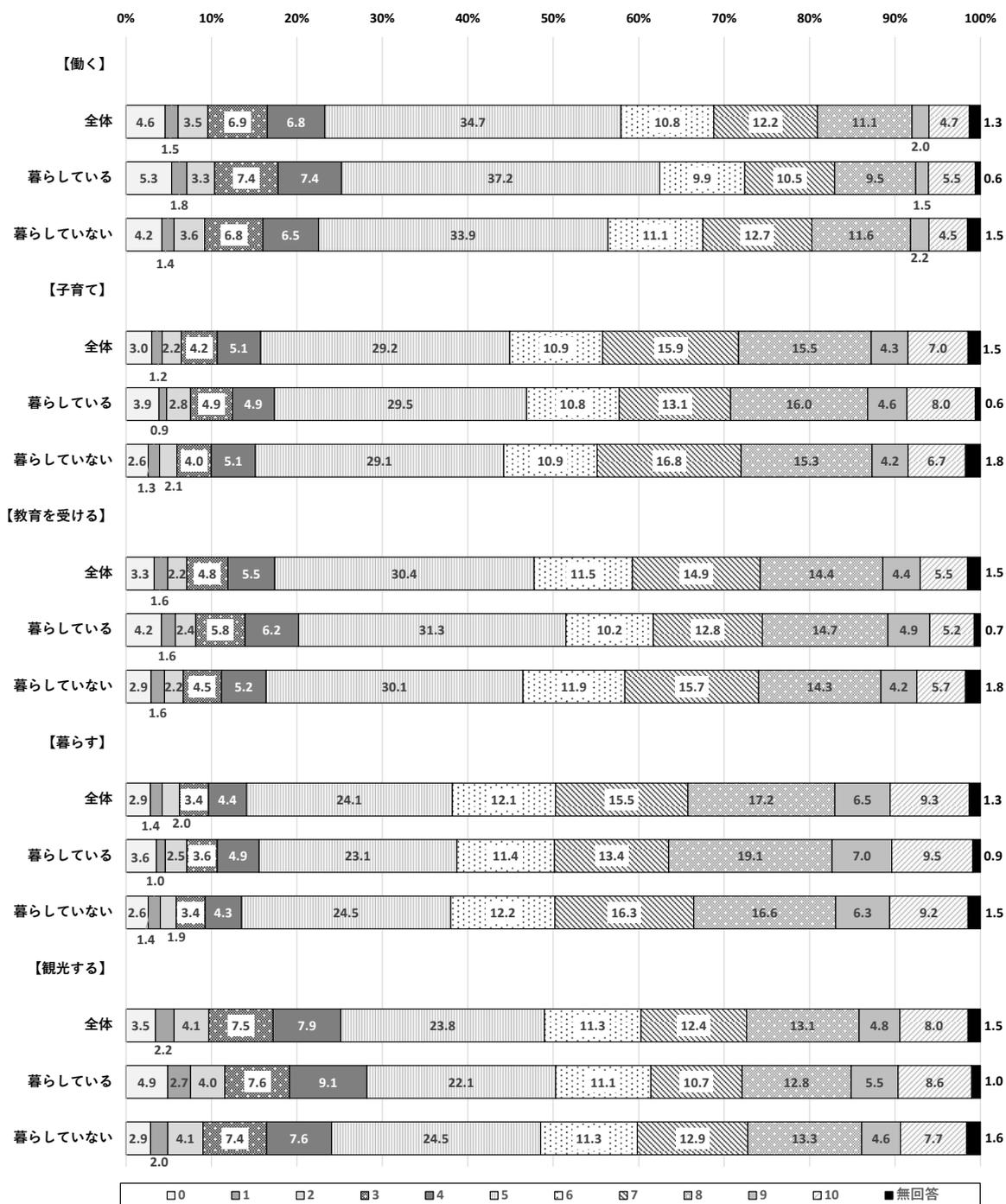


【割合】

ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、ペットと「暮らしていない」が「暮らしている」よりも高くなっている。

図表 15-5-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（ペットの有無別）

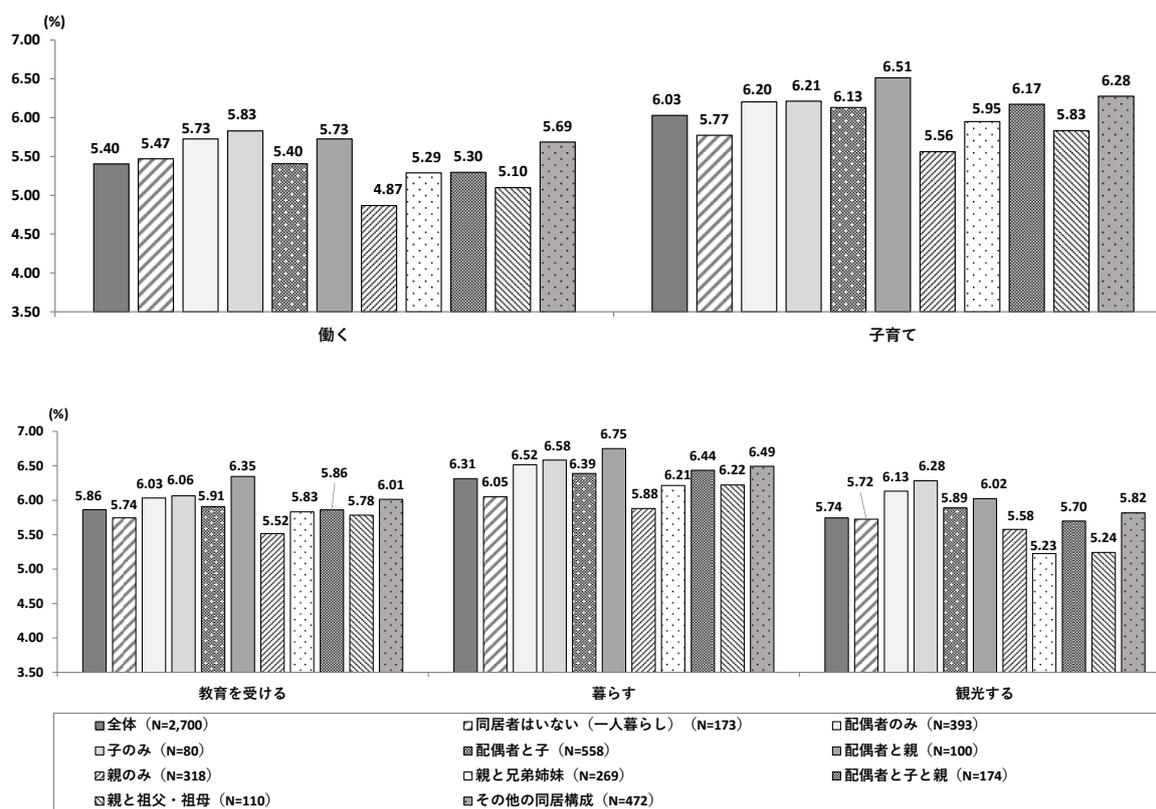


(5) - 4 同居家族の構成別

【平均】

「働く」では、「親のみ」だけが5を下回っている。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において、「配偶者と親」が他と比べて高い。「観光する」では、「子のみ」が6.28と最も高い。

図表 15-5-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（同居家族構成別）

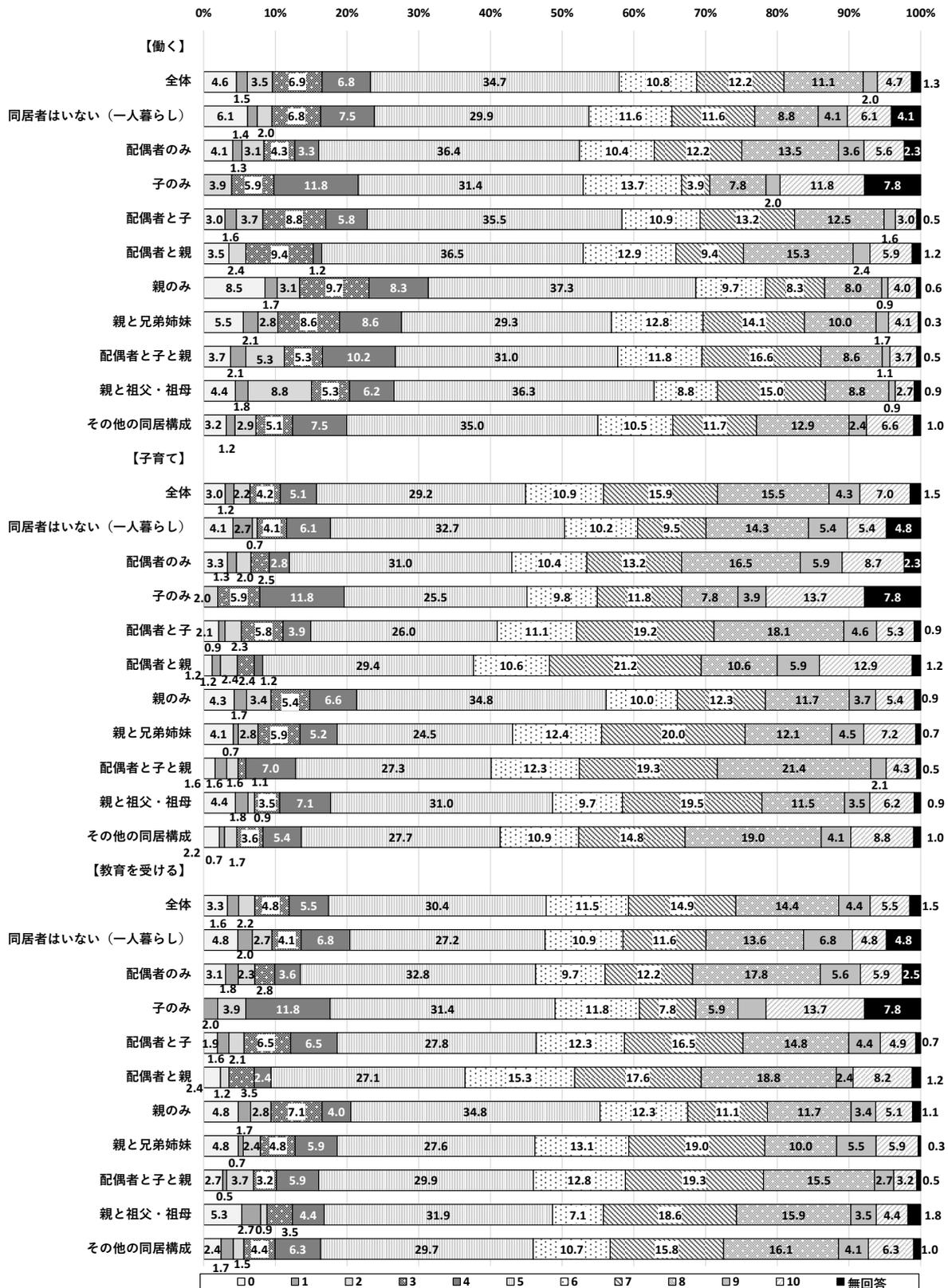


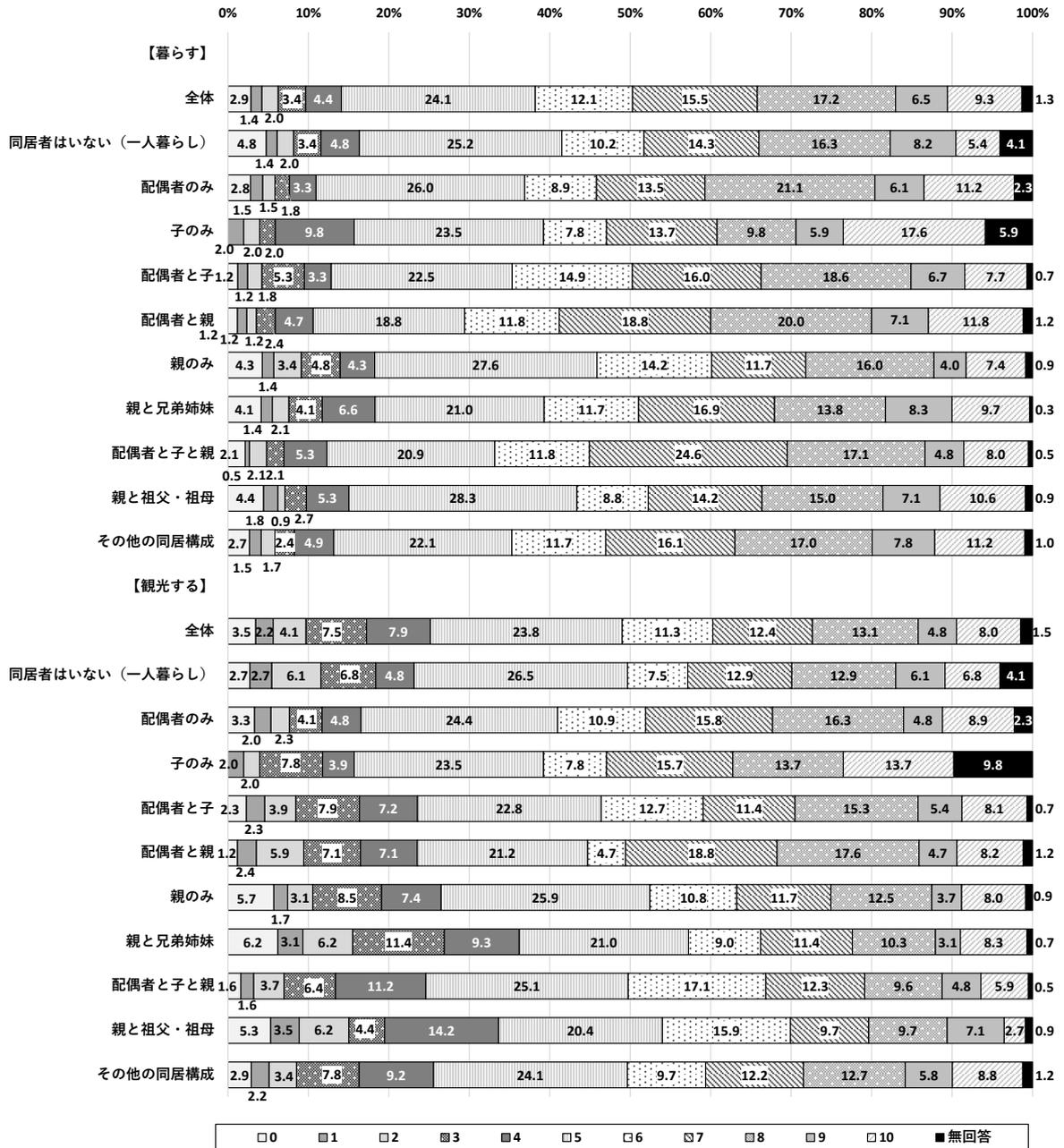
【割合】

すべての設問項目において、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「観光する」を除くすべての設問項目において、「配偶者と親」が他よりも高い。「観光する」においては、「配偶者のみ」が他よりも高い。

図表 15-5-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（同居家族構成別）



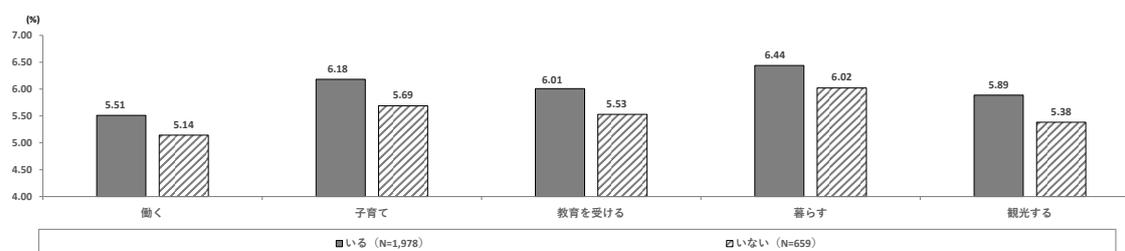


(5) - 5 別居親族の有無

【平均】

すべての設問項目において、別居親族が「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。別居親族が「いる」では「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において6を超えている。

図表 15-5-5-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(別居親族の有無別)

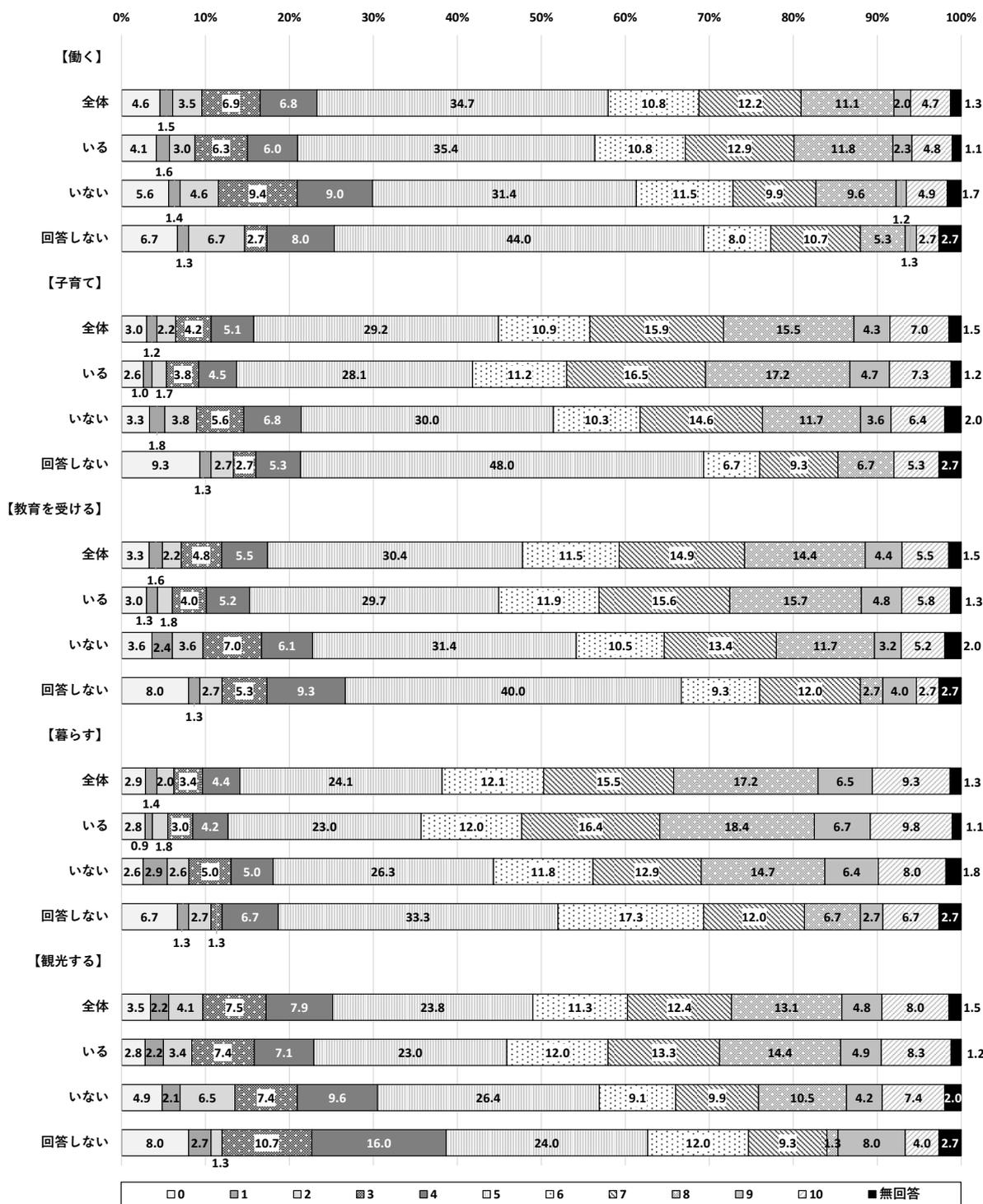


【割合】

別居の親族が「いる」「いない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、別居の親族が「いる」の方が、「いない」よりも高くなっている。「子育て」においては、別居の親族が「いる」の方が10.3ポイント高い。「暮らす」においては、別居の親族が「いる」が6割台と、他と比べて高い。

図表 15-5-5-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（別居親族の有無別）

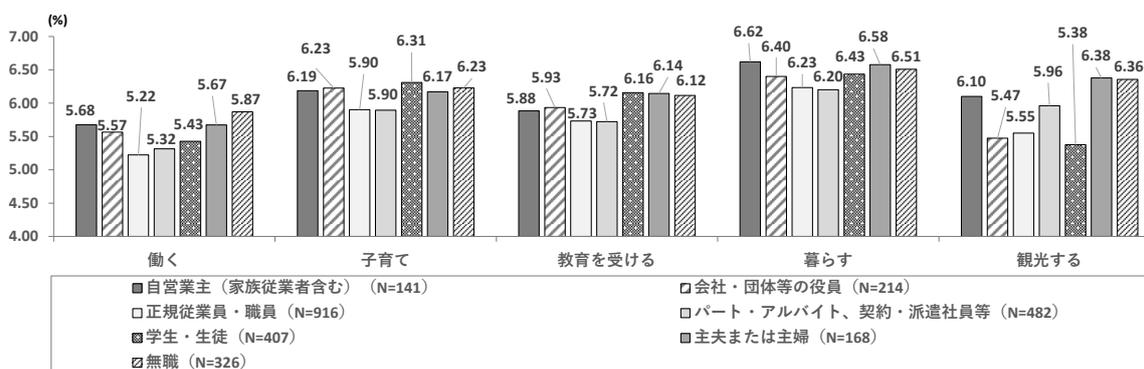


(6) - 1 職業別

【平均】

「暮らす」では、「回答しない」を除くすべてで6を超えている。「子育て」では「学生・生徒」(6.31)が、「暮らす」では「自営業主(家族従業者含む)」(6.62)が最も高い。

図表 15-6-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業別)

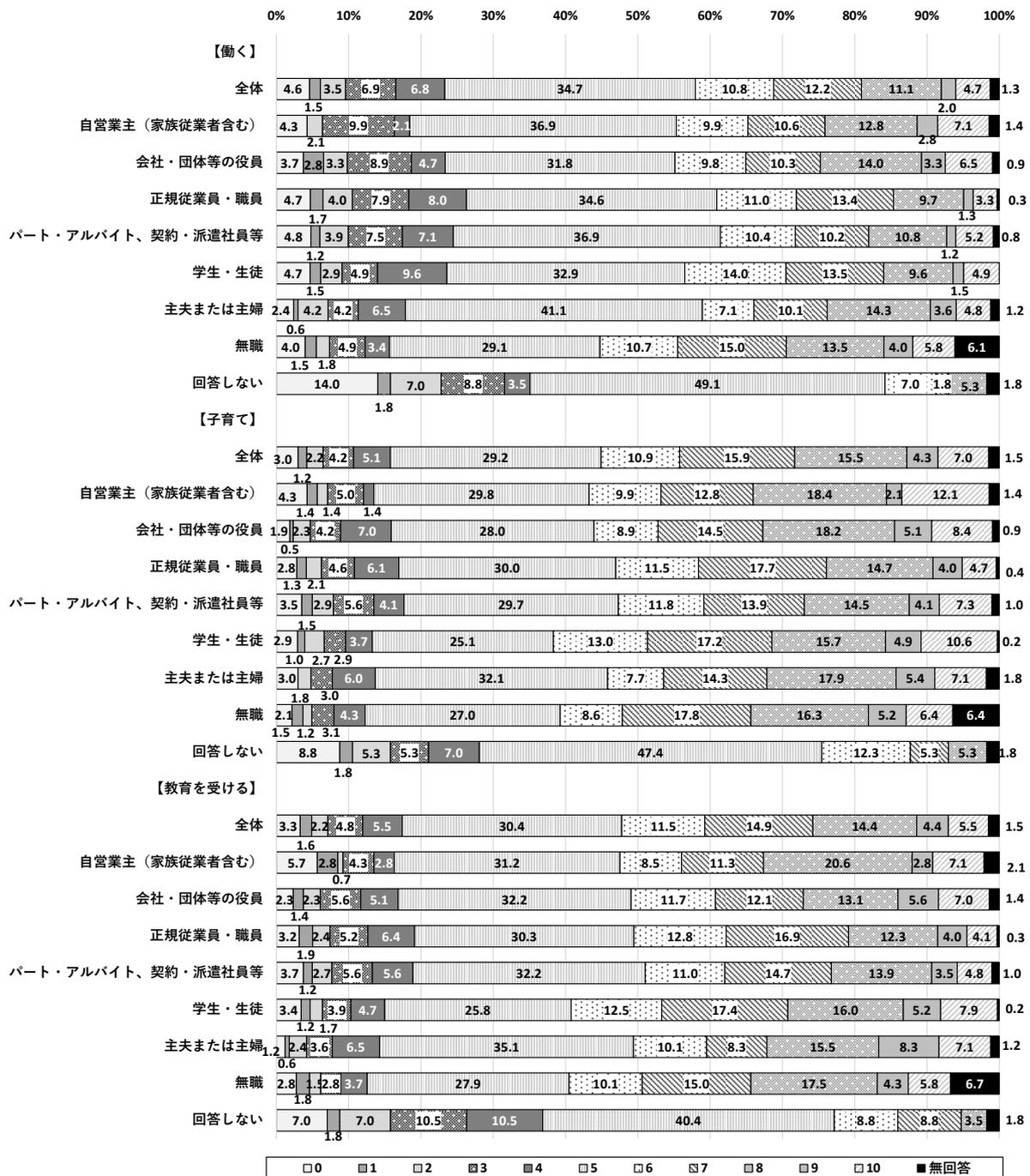


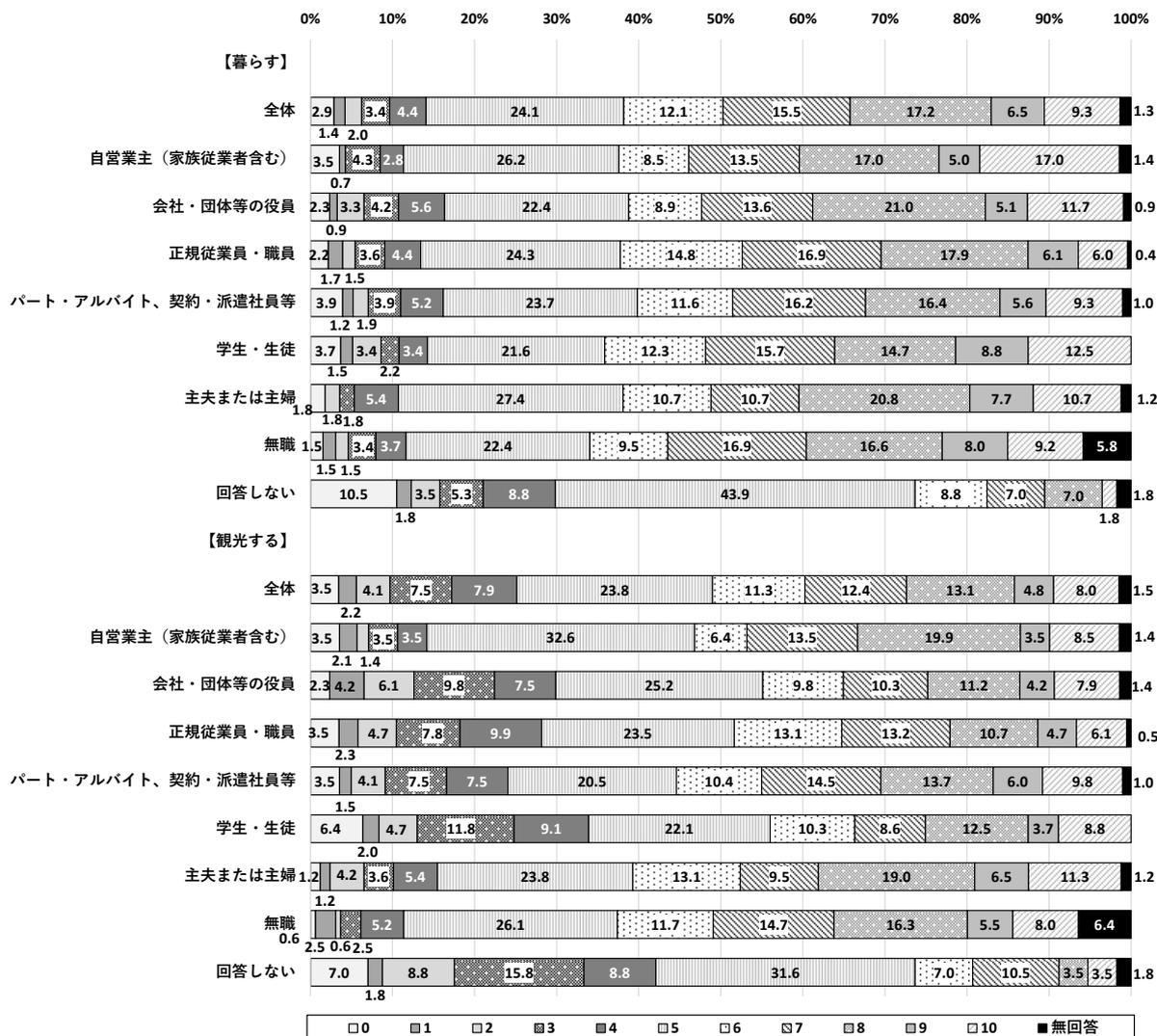
【割合】

すべての設問項目において、どの職業も「5」が最も高くなっている。

「6以上」を見ると、「子育て」においては、「学生・生徒」で、「暮らす」においては、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」と「無職」を除くすべての職業で6割を超えている。

図表 15-6-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業別）



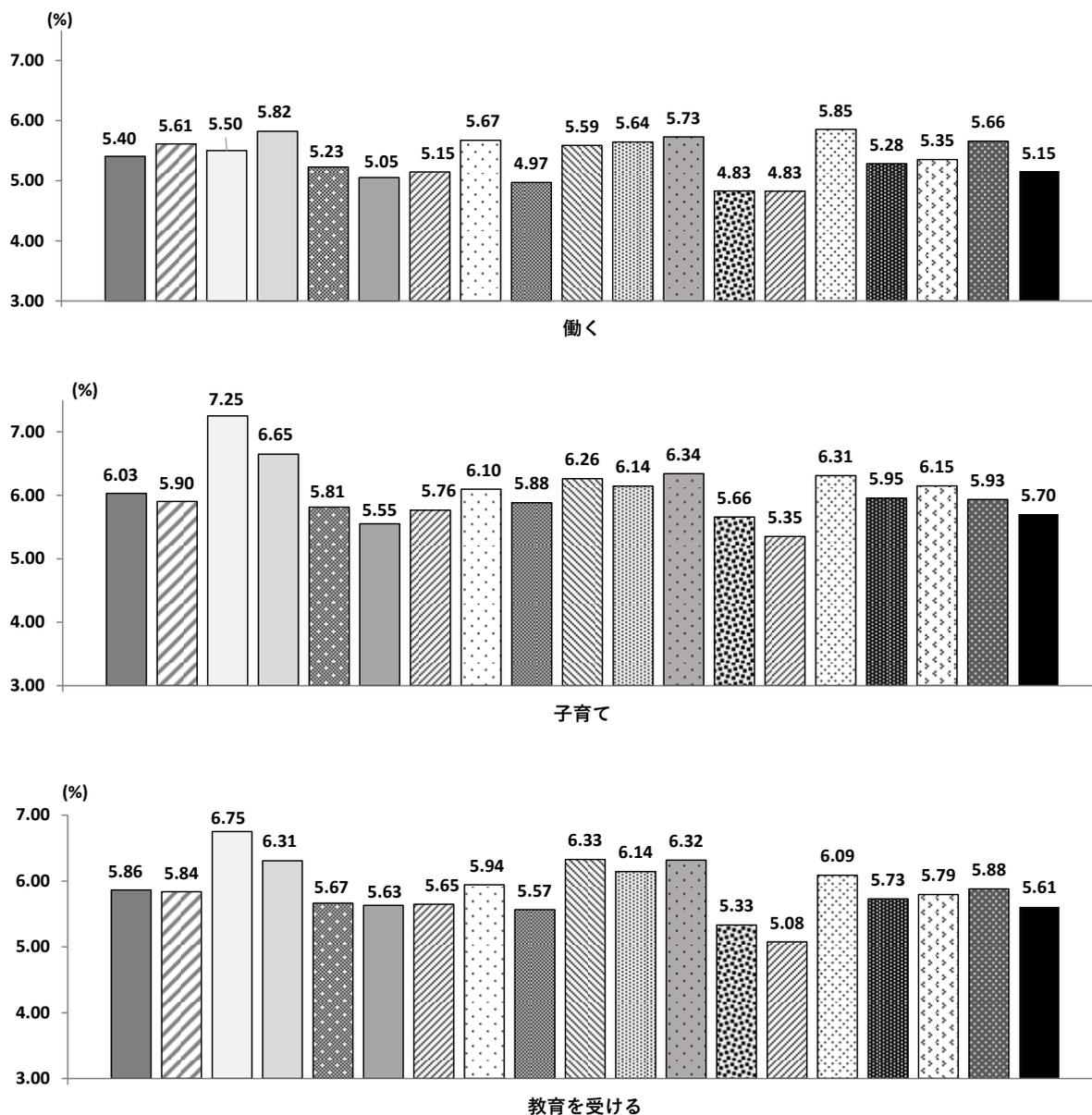


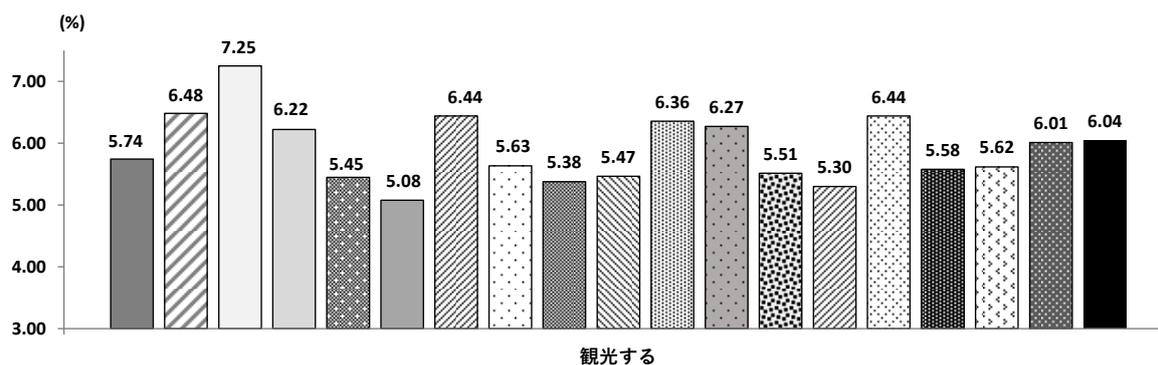
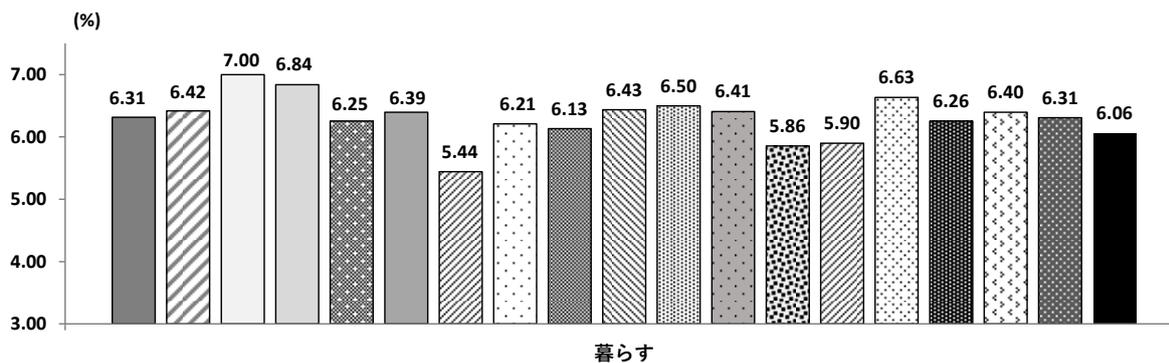
(6) - 2 職業分野別

【平均】

「働く」では「教育、学習支援業」(5.85)が、「子育て」では「建設業」(6.65)が、「教育を受ける」では「金融業・保険業」(6.33)、「暮らす」では「建設業」(6.84)が、「観光する」では「農林漁業」(6.48)が最も高い。

図表 15-6-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業分野別)





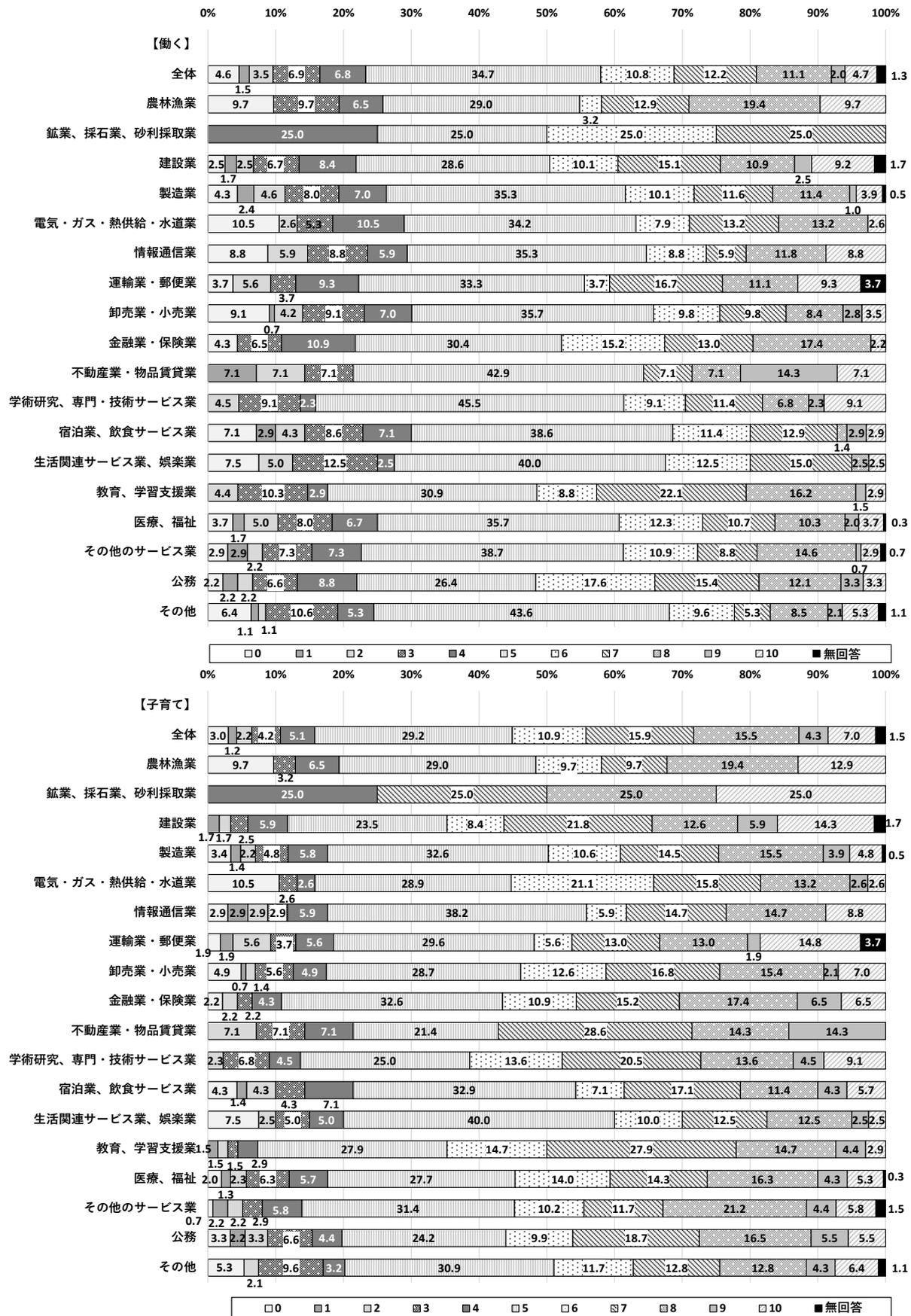
■ 全体 (N=2,700)	□ 農林漁業 (N=45)
□ 鉱業、採石業、砂利採取業 (N=4)	□ 建設業 (N=116)
■ 製造業 (N=403)	□ 電気・ガス・熱供給・水道業 (N=39)
■ 情報通信業 (N=28)	□ 運輸業・郵便業 (N=56)
■ 卸売業・小売業 (N=146)	■ 金融業・保険業 (N=42)
■ 不動産業・物品賃貸業 (N=15)	■ 学術研究、専門・技術サービス業 (N=39)
■ 宿泊業、飲食サービス業 (N=62)	■ 生活関連サービス業、娯楽業 (N=38)
□ 教育、学習支援業 (N=72)	■ 医療、福祉 (N=264)
□ その他のサービス業 (N=118)	■ 公務 (N=97)
■ その他 (N=90)	

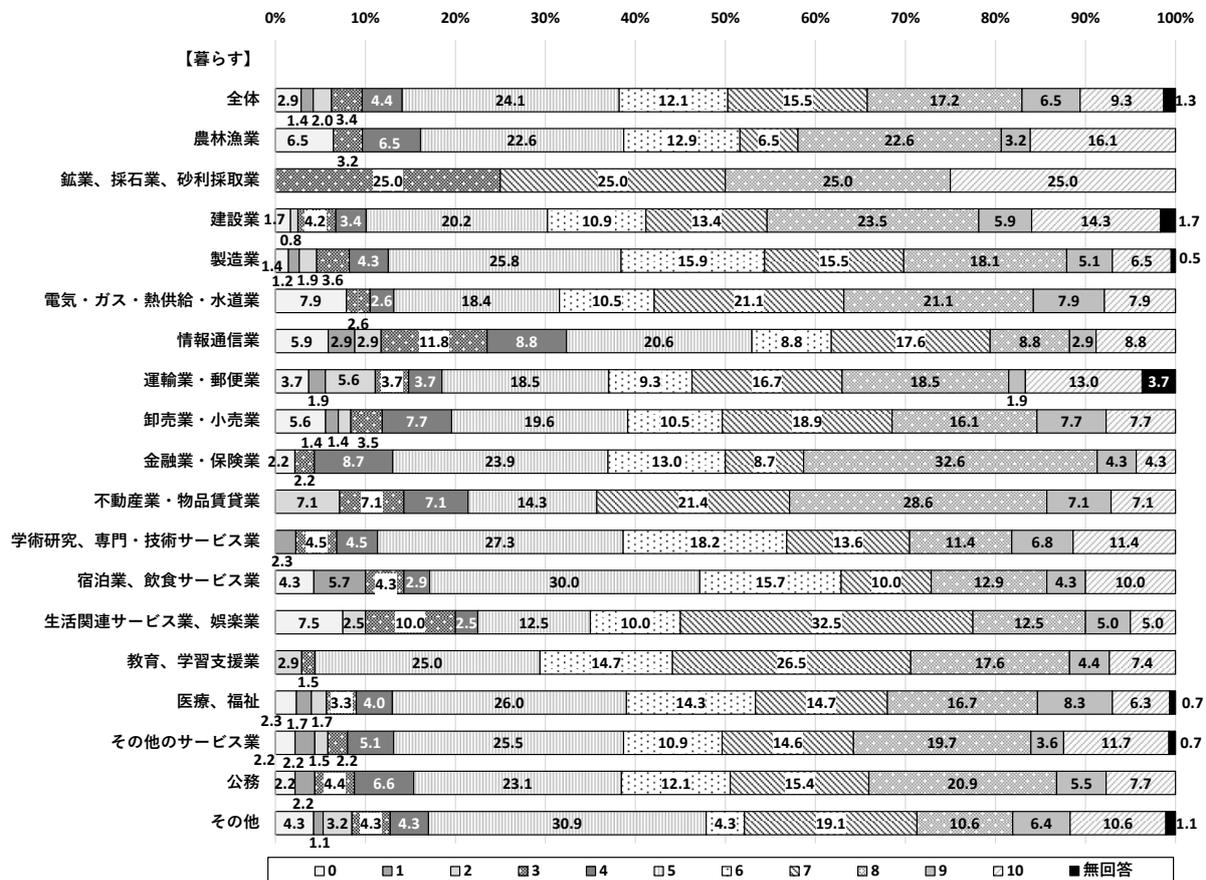
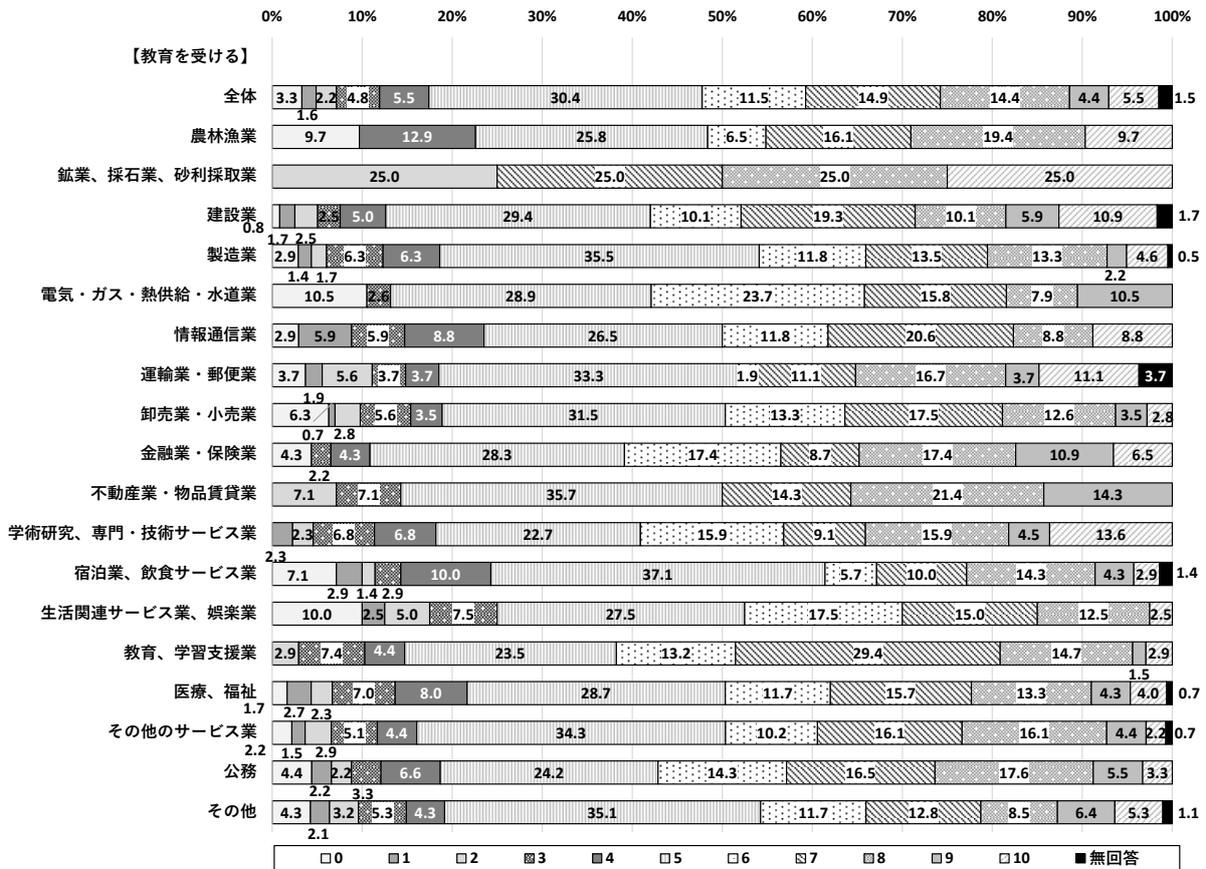
【割合】

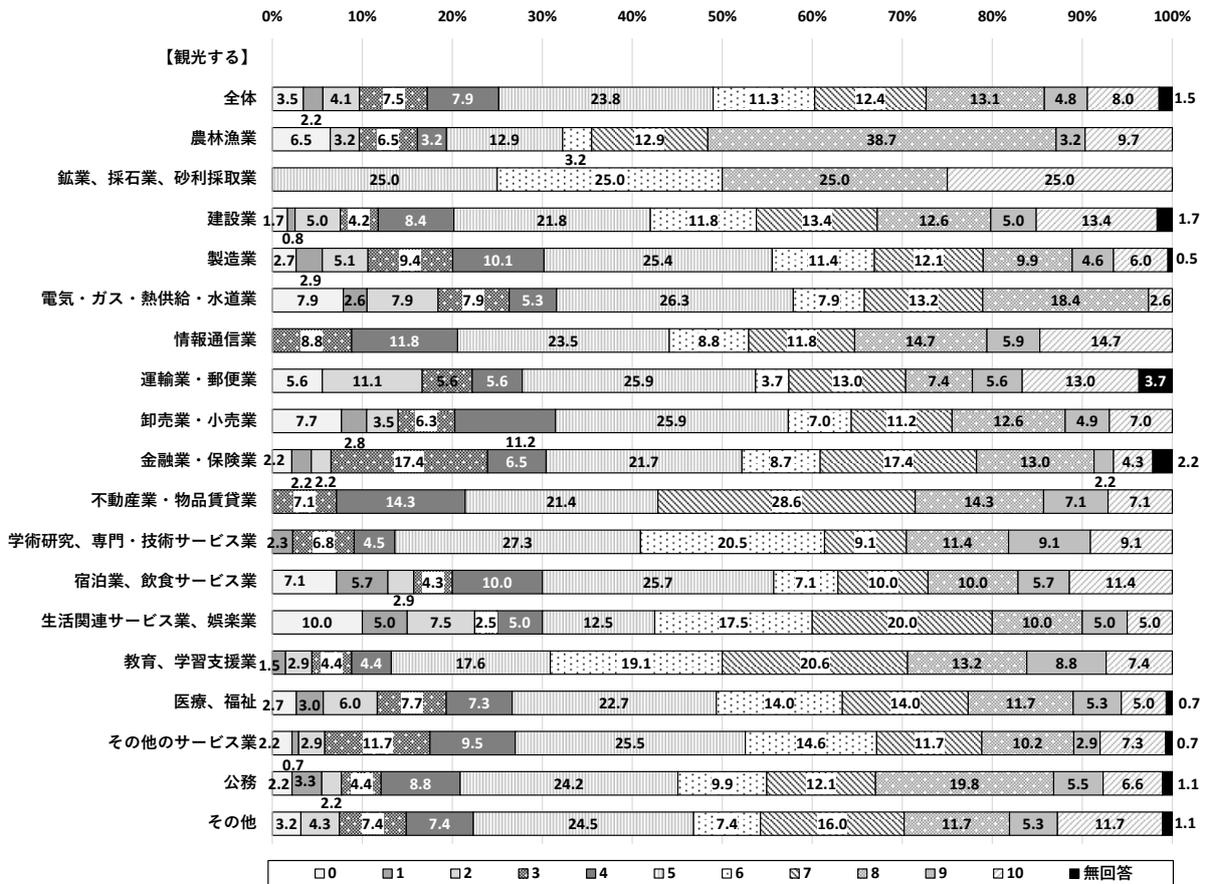
すべての設問項目において、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」においては、「教育、学習支援業」と「公務」が他の職業分野よりも若干高い。「子育て」においては、「建設業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」で6割を超えている。「教育を受ける」においては、「教育、学習支援業」で61.7%と、他の職業分野よりも高い。「暮らす」においては、「教育、学習支援業」が7割台と、他の職業分野よりも高い。

図表 15-6-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業分野別）





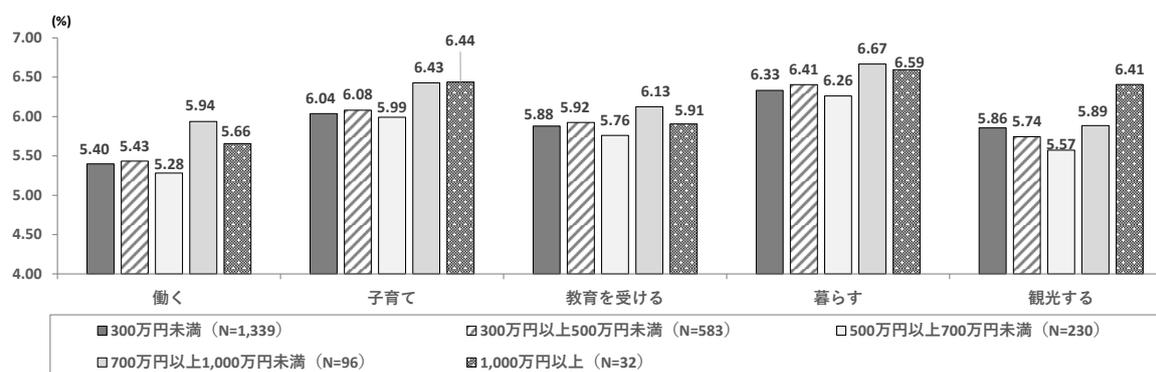


(6) - 3 年収別

【平均】

「暮らす」では、すべてで6を超えている。「子育て」「観光する」では「1,000万円以上」が、「働く」「教育を受ける」「暮らす」では「700万円以上 1,000万円未満」が最も高い。

図表 15-6-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(年収別)

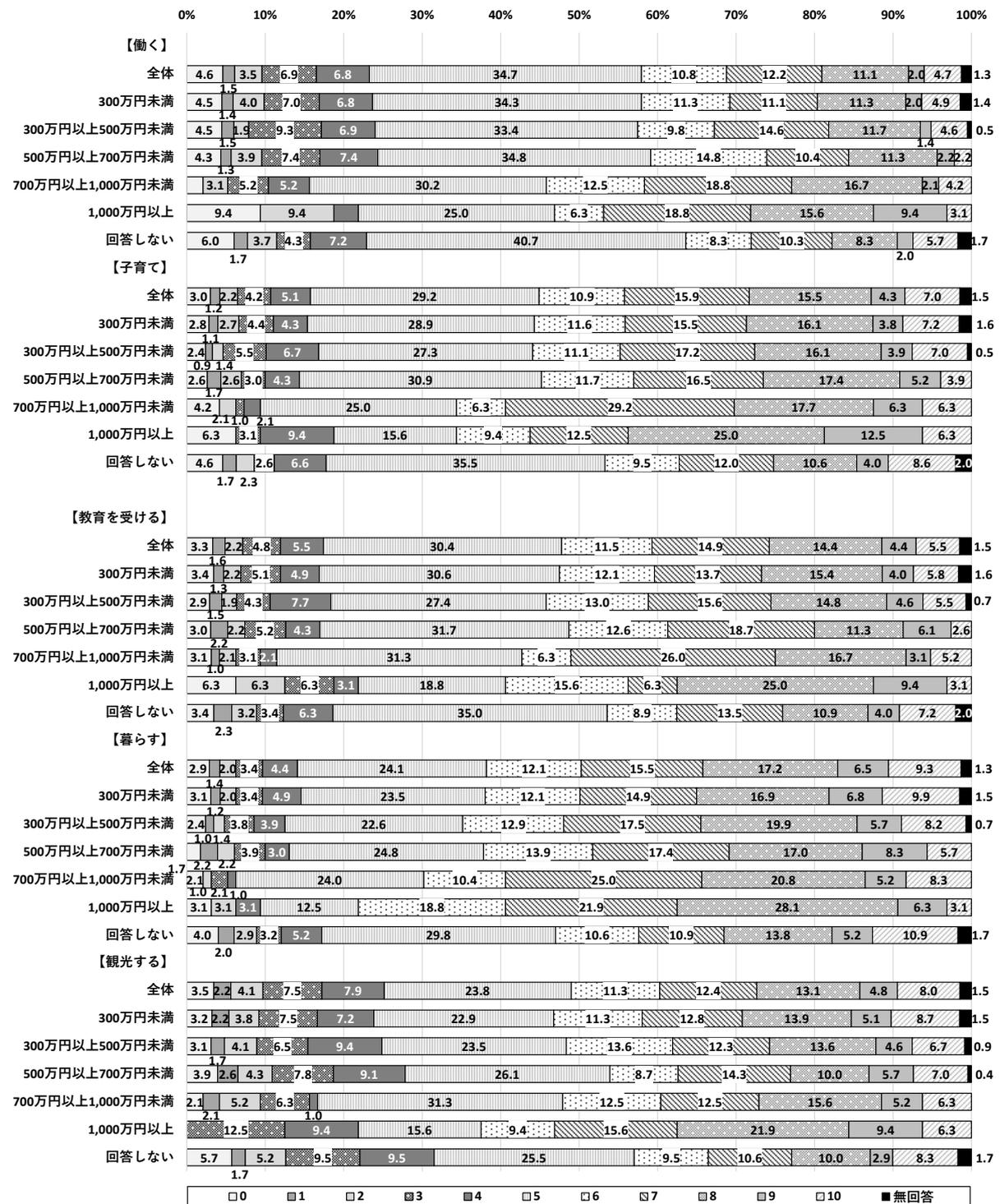


【割合】

「子育て」の「700万円以上 1,000万円未満」では「7」が、「1,000万円以上」では「8」が最も高い。また、「教育を受ける」「暮らす」「観光する」の「1,000万円以上」では「8」が最も高い。その他の属性では「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「教育を受ける」「暮らす」「観光する」においては、「1,000万円以上」が最も高い。特に、「暮らす」においては7割を占め、他よりも高くなっている。

図表 15-6-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（年収別）

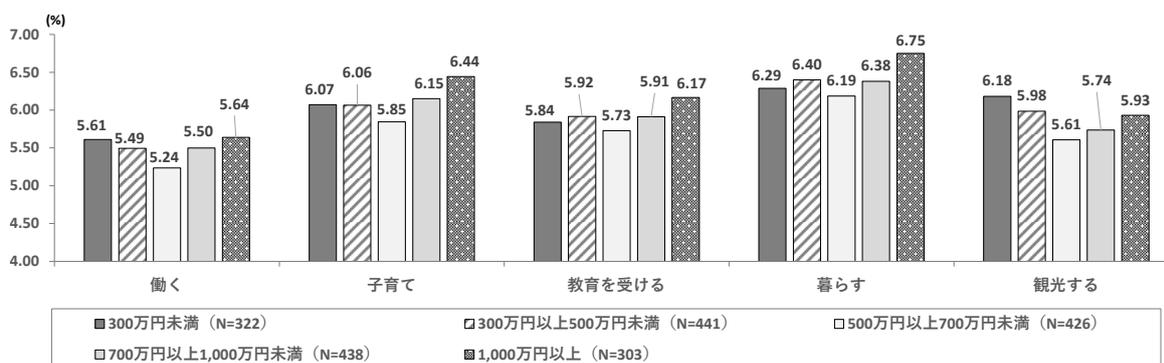


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

「暮らす」では、すべてで6を超えている。「観光する」を除くすべての設問項目において、「1,000万円以上」が最も高い。

図表 15-6-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(世帯年収別)

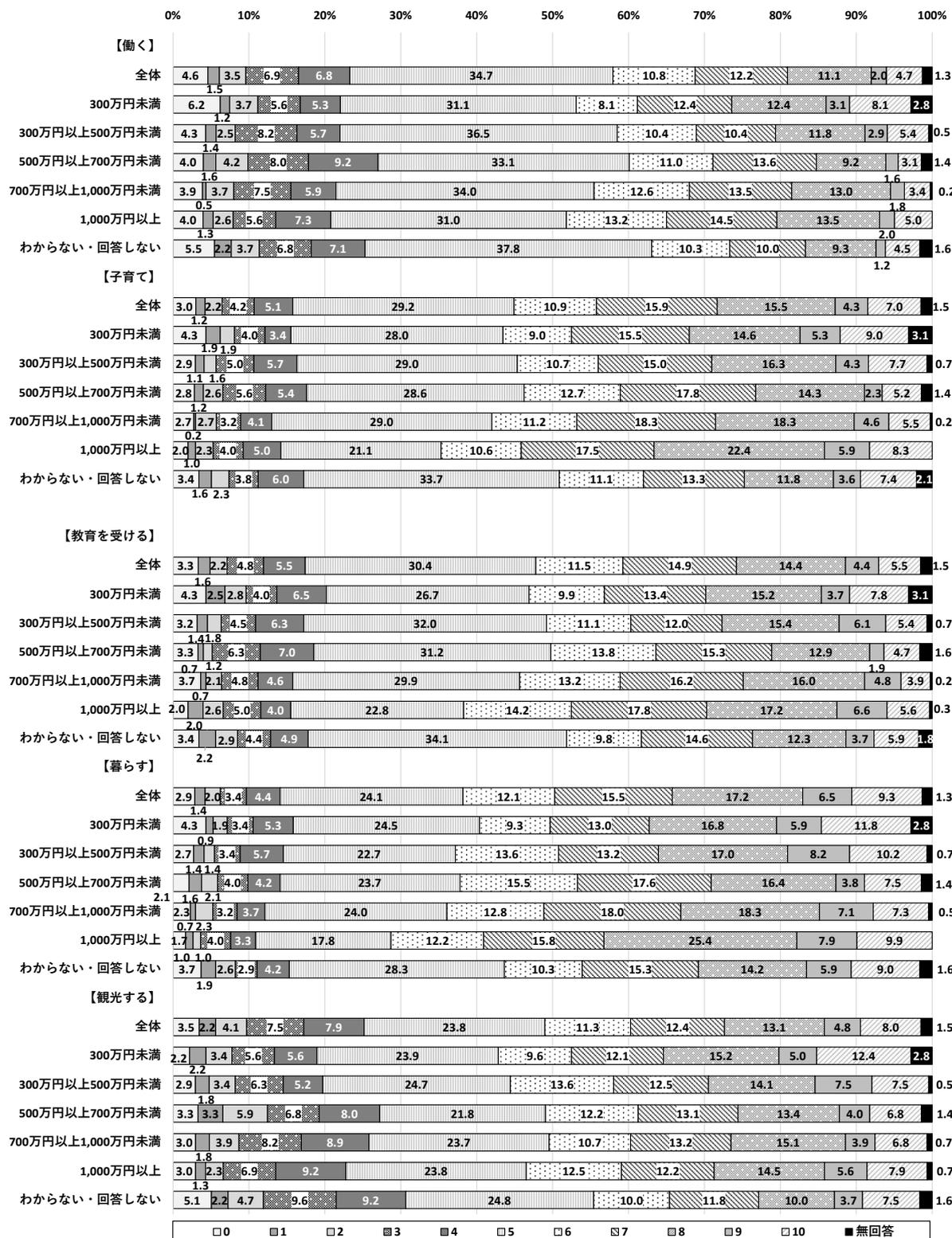


【割合】

すべての属性において、「働く」「教育を受ける」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」においては、「1,000万円以上」が他よりも高くなっている。「観光する」においては、「300万円未満」が他よりも若干高い。

図表 15-6-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(世帯年収別)



IV. 調査票

【1 あなたご自身やご家族のことについて】

問1から問5は、回答を統計的に分析するために、あなたご自身やご家族のことについてお聞きいたします。

問1. あなたの年齢（満年齢）をお答えください。（※記入日現在）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 15～17歳 | 2. 18、19歳 | 3. 20～24歳 |
| 4. 25～29歳 | 5. 30～34歳 | 6. 35～39歳 |
| 7. 40～44歳 | 8. 45～49歳 | 9. 50～54歳 |
| 10. 55～59歳 | 11. 60～64歳 | 12. 65～69歳 |
| 13. 70～74歳 | 14. 75～79歳 | 15. 80歳以上 |

問2. あなたの性別をお答えください。（※記入は任意です）

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問3. お住まい等について

(1) 現在お住まいの市町村は、どちらですか。

- | | | | | |
|---------|----------|---------|--------|--------|
| 1. 魚津市 | 2. 黒部市 | 3. 入善町 | 4. 朝日町 | |
| 5. 富山市 | 6. 滑川市 | 7. 舟橋村 | 8. 上市町 | 9. 立山町 |
| 10. 高岡市 | 11. 氷見市 | 12. 射水市 | | |
| 13. 砺波市 | 14. 小矢部市 | 15. 南砺市 | | |

(2) 現在の住居の状況は、次のどれにあたりますか。

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 一戸建て（自己または家族所有） | 2. マンション等集合住宅（自己または家族所有） |
| 3. 一戸建て（借家） | 4. アパート等集合住宅（借家） |
| 5. その他（社宅、寮、下宿等） | |

(3) 現在お住まいの地域の環境は、次のどれにあたりますか。

（ご自身の判断で、最もあてはまると思うものを1つ選択してください。）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 家屋や商業施設が混在している市街地 | 2. 主に家屋が多く集まっている住宅地 |
| 3. 工場が多く集まっている地域 | 4. 田や畑など農地が多く集まっている地域 |
| 5. 海に近い地域 | 6. 山間地域 |
| 7. その他（いずれにもあてはまらない） | |

(4) **あなたの出身地をお答えください。**

※この設問では、出身地は「生まれてから18歳までの間で、最も長く暮らした地域」を目安としますが、ご自身の判断で構いません。あてはまると思うものをお選びください。

1. 富山県内 2. 富山県外

(5) **富山県外での居住年数(通算)について、1つ選んでください。**

1. なし(生まれてからずっと富山県に住んでいる)
2. 5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満
5. 20年以上

問4. ご家族等について

(1) **あなたは、現在結婚していらっしゃいますか。(※事実婚を含みます。)**

1. 結婚している
2. 結婚していたが、死別・離別した
3. 結婚していない
4. 回答しない

(2) **あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。**

(※成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。)

1. いる → 年齢ごとの人数もお答えください。

0歳～小学校入学前	人
小学生	人
中学生	人
15歳以上(中学生除く)～18歳未満	人
18歳以上	人

2. いない
3. 回答しない

(3) **あなたは、ペットと一緒に暮らしていますか。**

1. 暮らしている 2. 暮らしていない

(4) あなたには、同居されている方はいますか。また、「いる」の場合は、同居されている方の構成もお答えください。

1. いる 2. いない (一人暮らし) 3. 回答しない



あなたとの関係	同居の有無		
① 親 (配偶者の親を含む)	1. していない	2. している (両親)	3. している (父親または母親)
② 兄弟姉妹	1. していない	2. している	
③ 祖父母 (配偶者の祖父母を含む)	1. していない	2. している (祖父と祖母)	3. している (祖父または祖母)
④ 配偶者 (事実婚含む)	1. していない	2. している	
⑤ 子	1. していない	2. している	
⑥ 孫	1. していない	2. している	
⑦ その他	1. していない	2. している	

(5) あなたが普段行き来する、別居の親族(※)はいますか。次の中からあてはまるものを1つお答えください。

[※祖父母 (配偶者の祖父母含む)、父母 (配偶者の父母含む)、兄弟姉妹、子、孫など]

1. いる 2. いない 3. 回答しない

問5. ご職業・年収等について

(1) あなたの主なご職業等について、次の中から1つ選んでください。

1. 自営業主 (自営業を手伝う家族従業者含む)
2. 会社・団体等の役員
3. 正規 (雇用期間の定めなく雇われている) 従業員・職員
4. パート・アルバイト、契約・派遣社員、家庭内での賃仕事 (内職)
5. 学生・生徒
6. 主夫または主婦
7. 無職
8. 回答しない

(2) (1) で 1～4 に○をつけられた方のみお答えください。

該当する職業分野について、あてはまる番号を1つ選んでください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 農林漁業 | 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 |
| 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 6. 情報通信業 |
| 7. 運輸業・郵便業 | 8. 卸売業・小売業 |
| 9. 金融業・保険業 | 10. 不動産業・物品賃貸業 |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業 | 12. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業 | 14. 教育、学習支援業 |
| 15. 医療、福祉 | 16. その他のサービス業 |
| 17. 公務 | 18. その他 |

(3) あなた自身のおおよその年収（税・社会保険料込み）について、次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円以上 300万円未満 |
| 3. 300万円以上 500万円未満 | 4. 500万円以上 700万円未満 |
| 5. 700万円以上 1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上 2,000万円未満 |
| 7. 2,000万円以上 | 8. 回答しない |

(4) あなたの世帯全体のおおよその年収（税・社会保険料込み）の合計額について、次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円以上 300万円未満 |
| 3. 300万円以上 500万円未満 | 4. 500万円以上 700万円未満 |
| 5. 700万円以上 1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上 2,000万円未満 |
| 7. 2,000万円以上 | 8. わからない・回答しない |

【2 生活での実感について】

次に、問6から問12は、あなたの生活での実感や普段のお気持ちをお聞きします。
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

問6. 普段のあなた自身の実感について

		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえ	いいえ	わからない
1	身体の状態は健康だと感じている。	4	3	2	1	0
2	心の状態は健康だと感じている。	4	3	2	1	0
3	生活に必要な所得や資産がある。	4	3	2	1	0
4	自分のしたいことをする、または欲しい物が買える経済的なゆとりがある。	4	3	2	1	0
5	住まいは快適・安全・安心であると感じている。	4	3	2	1	0
6	自分を受け入れてくれて、心から安らげる場所がある。	4	3	2	1	0
7	現在置かれている立場・地位に満足を感じている。	4	3	2	1	0
8	楽しい、嬉しい、面白いなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多い。	4	3	2	1	0
9	自分の選択や行動は、自らの意思で自由に決めている。	4	3	2	1	0
10	自分らしく、ありのままでいられている。	4	3	2	1	0
11	娯楽や趣味、学びを行うための、自分の自由な時間がある。	4	3	2	1	0
12	時間を忘れて夢中になることや没頭することがある。	4	3	2	1	0
13	自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている。	4	3	2	1	0
14	様々な困難があっても、乗り越えていくことができると感じている。	4	3	2	1	0
15	夢や目標に向かって、チャレンジや努力をしている。	4	3	2	1	0
16	将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている。	4	3	2	1	0
17	他の人に対して感謝の心を持ち、「ありがとう」と言葉で伝えている。	4	3	2	1	0
18	他の人を喜ばせたい、楽しませたいという気持ちを持って行動している。	4	3	2	1	0
19	他の人のために、親切な対応や手助けをするよう心がけている。	4	3	2	1	0
20	他の人が自分と異なる価値観や意見を持っていても、それを尊重している。	4	3	2	1	0

問7. 家族との関係について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	家族との関係は良好である。	4	3	2	1	0
2	家族と一緒にいることで、嬉しい、楽しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。	4	3	2	1	0
3	困った時や苦しい時に、家族は力になってくれると感じている。	4	3	2	1	0
4	家族は、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれている。	4	3	2	1	0
5	家族はあなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。（または、応援・協力してくれると感じている。）	4	3	2	1	0

問8. 友人との関係について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	友人との関係は良好である。	4	3	2	1	0
2	友人と一緒にいることで、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。	4	3	2	1	0
3	困った時や苦しい時に、友人は力になってくれると感じている。	4	3	2	1	0
4	友人は、あなたの夢や目標達成のため、応援・協力してくれている。（または、応援・協力してくれると感じている。）	4	3	2	1	0

問9. 在籍・参加している職場や学校、各種団体・グループ等（「職場・学校等」）について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	職場・学校等での人間関係は良好である。	4	3	2	1	0
2	職場・学校等で楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることが多くある。	4	3	2	1	0
3	職場・学校等に愛着や誇りがある。	4	3	2	1	0
4	職場・学校等は、自分の夢や目標を実現できる場である。	4	3	2	1	0

問 10. お住まいの場所の近所や町内（「地域」）について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	地域での人間関係は良好である。	4	3	2	1	0
2	困った時や苦しい時に、地域の人はお助けしてくれると感じている。	4	3	2	1	0
3	地域には、楽しい、嬉しいなど（ポジティブな）明るい気持ちになることができる場所や機会が多くある。	4	3	2	1	0
4	地域の人には、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる。	4	3	2	1	0

問 11. 富山県での暮らしに対するあなたの実感について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
1	富山県での暮らしに不安は <u>ない</u> 。					
	ア) 防災・防犯 面	4	3	2	1	0
	イ) 医療・福祉 面	4	3	2	1	0
	ウ) 移動（交通）面	4	3	2	1	0
2	全体として、あなたの意見や価値観を理解・尊重してくれる環境がある。	4	3	2	1	0
3	全体として、あなたが成長するための学びや経験ができる環境がある。	4	3	2	1	0
4	全体として、あなたの夢や目標が実現できる環境がある。	4	3	2	1	0
5	富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。	4	3	2	1	0
6	富山県ならではの自然や食、文化等に愛着や誇りがある。	4	3	2	1	0

問 12. あなたの生活全体に対する実感について

		はい	どちらかと言え ばはい	どちらかと言え ばいいえ	いいえ	わからない
	総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。	4	3	2	1	0

問 13. あなたにとって、**最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う状態を「0」として、「10」～「0」の11段階で表現すると、**
①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。
 また、**②5年前**は、どの程度の状態であったと思いますか。
 そして、あなたの想像では、**③5年後**どういう状態になっていると思いますか。
それぞれの設問につき1つ、あてはまる段階を選んで○をつけてください。

		← 最悪な状態					→ 最も理想的な状態					
(過去) ↑	② 5年前	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(現在)	① 現在	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
↓ (未来)	③ 5年後	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

【3 その他の事項】

問 14. 以下の各項目について、あなた自身の状況や意識、お考えをお聞きします。
それぞれの設問について、あてはまる番号を1つ選んでください。

		はい	どちらか 言えばはい	どちらか いいえ	いいえ	わからない
1	健康や趣味等のため、身体を動かす運動を十分に行っていると思う。	4	3	2	1	0
2	十分に睡眠をとれていると思う。	4	3	2	1	0
3	栄養バランスや量など健康面を考えて食事をしている。	4	3	2	1	0
4	芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）に関する活動（自ら取り組む、または鑑賞するなど）を積極的に行っている。	4	3	2	1	0
5	特に応援や支持していたり、人に薦めたいほど好感を持っていたりする対象がある。（何かのファンである／いわゆる「推し」がいる）	4	3	2	1	0
6	自分や家族のため、お金に関する知識（収入・支出の管理、貯蓄、投資等）を得ることに努めている。	4	3	2	1	0
7	自分は周りの人や社会の役に立っていると感じている。	4	3	2	1	0
8	家事（炊事、洗濯、掃除、買い物等）や家族の世話（子育て・介護等）に負担を感じている。	4	3	2	1	0

ここまでで、約7割終わりました。あと少し、よろしく願いいたします。

		はい	どちらか 言えばはい	どちらか 言えばいいえ	いいえ	わからない
9	ストレスや緊張、悩みや苦しさ、孤独などネガティブな気持ちを感じる事がよくある。	4	3	2	1	0
10	自分の悩みや困りごとを相談できる人がいる、または相談できる環境がある。	4	3	2	1	0
11	自分らしく、居心地良くいられる場所（自宅、職場、学校、団体、各種コミュニティ（オンライン上のコミュニティ含む）など）が十分にある。	4	3	2	1	0
12	自分の考えや意見を伝えたり、自由に表現したりすることができる機会が十分にある。	4	3	2	1	0
13	家庭や職場・学校以外でも、色々な人と交流したいという気持ちがある。	4	3	2	1	0
14	お住まいの場所の近所や町内（「地域」）の人たちと共に協力し合い、支え合っている。	4	3	2	1	0
15	ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。	4	3	2	1	0
16	地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に関わりたい。	4	3	2	1	0
17	住まいの周辺で、犯罪や事故の発生に対する不安がある。	4	3	2	1	0
18	住まいの周辺で、自然災害が発生する不安がある。	4	3	2	1	0
19	自身の家庭において災害への備え（ハザードマップの確認、食品備蓄、非常用持出品の常備等）をしている。	4	3	2	1	0
20	日常の食料品や生活用品の買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。	4	3	2	1	0
21	趣味や娯楽、ファッション、学びなどに関する買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。	4	3	2	1	0
22	富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない。	4	3	2	1	0
23	富山県内における自家用車以外（公共交通機関など）での移動は快適・便利である。	4	3	2	1	0
24	富山県の自然や文化に触れ合う機会がよくある。	4	3	2	1	0
25	食材の購入または外食の際は、意識して富山県産のものを選んでいる。	4	3	2	1	0
26	富山県には、家族や友人等と楽しく過ごすことができる場所やイベントなどの機会が十分にある。	4	3	2	1	0
27	富山県内の政治や行政に関心を持っている。	4	3	2	1	0
28	富山県外に住みたいと感じている。	4	3	2	1	0

		はい	どちらか 言えばはい	どちらか いいえ	いいえ	わからない
29	人口減少に伴い、自身または家族の生活に影響が出るのではないかと不安に感じる事がよくある。	4	3	2	1	0
30	デジタル化の進展により、自分の暮らしが便利で豊かになったと感じている。	4	3	2	1	0
31	将来の世代のために、リサイクル、廃棄物削減、再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した行動をとっている。	4	3	2	1	0
32	他の人や社会のためになる支出（環境保全や社会貢献につながる消費や投資、寄附・募金等）を意識的に行っている。	4	3	2	1	0
33	県内企業の活動や県内経済の発展に期待感を持っている。	4	3	2	1	0
34	※現在、仕事をされている方にお聞きします。 仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じている。	4	3	2	1	0
35	※現在、仕事をされている方にお聞きします。 あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じている。	4	3	2	1	0

問 15. 次のことについて、家族や親しい友人等にどの程度、おすすめしたいと思いますか。

	← 全く思わない					非常にそう思う →					
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
① 富山県で働くこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
② 富山県で子育てすること	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
③ 富山県で教育を受けること	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
④ 富山県で暮らすこと	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑤ 富山県で観光すること	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

上記回答の理由があれば自由に記入してください。箇条書きでも構いません。

調査は以上で終了です。最後までご協力いただきありがとうございました。

ご回答いただいた内容は、個人の特定ができないよう統計的に処理した上で、集計・分析し、富山県のウェルビーイング向上のための貴重な資料として活用させていただきます。

令和6年度
ウェルビーイング県民意識調査
結果報告書

令和6年12月発行

富 山 県

富山市新総曲輪1番7号

TEL：076-431-4111

担当 知事政策局成長戦略室ウェルビーイング推進課

TEL：076-444-8489

FAX：076-444-3473

集計・分析 株式会社ジェック経営コンサルタント

富山市湊入船町3番30号

TEL：076-444-0035
